

第2回 四街道市教育振興基本計画策定委員会 次第

日 時：令和4年11月17日（木）

午前10時から

場 所：市役所第二庁舎 第2会議室

1. 開 会

2. 教育長挨拶

3. 会長挨拶

4. 議 題

（1）第2期四街道市教育振興基本計画の基本理念について

（2）アンケート集計結果の報告について

5. そ の 他

6. 閉 会

第2期四街道市教育振興基本計画の視点

1. 社会の変化への対応

変化し続ける社会を主体的かつ協働的に生きるために必要な資質や能力を育むとともに、教育デジタルトランスフォーメーション(DX)※1を推進するなど、時代に即した教育体制の構築に取り組みます。

2. 持続可能な社会をつくる人材の育成

社会の持続的な発展を実現するため、持続可能な開発目標(SDGs)への貢献や社会参画に対する意識の醸成を図るとともに、倫理的に考え、自ら能力を発揮し行動する人材を育成します。

3. 多様なウェルビーイング※2の実現

誰もが自分らしく成長し、いきいきとした人生を送るため、多様性あふれる共生社会の実現に向けた教育を進めるとともに、人や自然とつながり、心を豊かにする多様な学びの環境を整備します。

4. 子どもたちをまんやかに“みんな”がつながる計画

四街道の未来である子どもたちを中心(まんなか)に、家庭・学校・地域・行政(みんな)がつながり、ともに学び支え合うことで、まち全体が一体となって子どもたちの健やかな成長を支えます。

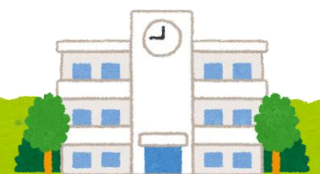
5. 客観的な根拠を重視した教育政策の推進

より効果的・効率的な教育政策の企画・立案を行う観点や、計画の進捗状況を明らかにする観点などから、客観的な根拠を重視した行政運営(EBPM※3)に留意しつつ、施策ごとに成果を測るための指標を設定します。

※1 デジタル技術の活用によって教育のあらゆる面において変革をもたらすこと

※2 Well-being 心身と社会的な健康(幸福・満足など)を意味する概念

※3 Evidence Based Policy Making エビデンスに基づく政策形成



第2期四街道市教育振興基本計画の基本理念（案）

1 基本理念

「学び つながり 輝きあい とともに未来を拓く人づくり」

教育の基本理念は、「教育の根本は人づくり」という考えを基に、作成しています。

○ 学ぶ人

自分らしく幸せな人生を送るために、夢や希望を持ち、生涯にわたって主体的に学び、成長し続ける人を育成します。

○ つながる人

他者と協働・共生し、社会の一員として活躍するとともに、国際的な視野を身に付けた世界とつながる人を育成します。

○ つなぐ人

郷土の自然や歴史を大切にし、伝統文化を継承しながら新しい文化を創造する、ふるさと四街道を未来につなぐ人を育成します。

○ 輝きあう人

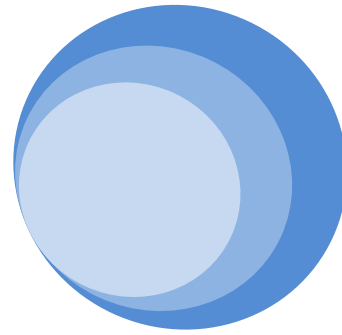
多様な価値観を理解・尊重し、互いの可能性を高め合う、思いやりと活力にあふれた人を育成します。

○ とともに未来を拓く人

絶えず変化する時代の中、一人一人が持続可能な社会の創り手となって、ともに望む未来を切り拓く、心豊かでたくましい人を育成します。

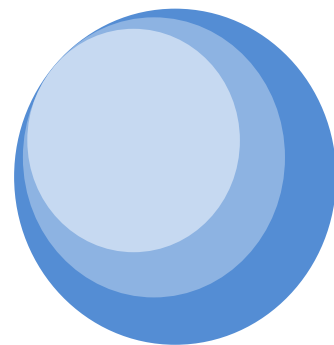
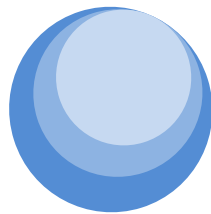
2 四街道市の教育が育む力

- ◆ 相手を思いやり、あらゆる他者の価値を尊重する力 (よ) りそう
- ◆ 多様な主体と関係を築き、協働する力 (つ) ながる
- ◆ 地域や社会の形成に参画し、課題を解決する力 (か) いけつする
- ◆ 変化し続ける社会を主体的に生きる力 (い) きる
- ◆ 目標に向かって挑戦し、粘り強くやり抜く力 (ど) りよくする
- ◆ 自ら学び、考え、判断し、行動する力 (う) ごく



四街道市教育振興基本計画 後期計画

「明日を切り拓く、心豊かでたくましい人づくり」



平成31年3月

四街道市教育委員会

ごあいさつ

近年は、「A I」に代表される革命的なテクノロジーの発達や、これまでの経済理論を遥かに超えた経済活動と人的活動、国という概念を超越したかのようなグローバルでダイナミックな世界の動きを見ることができます。そして、これらのことによる国際的な軋轢も生まれています。

このような時代を生きるためには、まず、人種、性別、宗教、能力、障がい等によりそれぞれ違いがあっても、全ての人には、自分と同様に人格があり、考えや願いがあるということを理解しなければなりません。豊かな心を持ち、思いやりのある人間性を持つことが必要であり、それらのことにより個性が尊重され、一人一人が輝く世界を築いていくことが大切であると思います。

また、変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちにとって、生涯にわたり学び続ける意欲を身につけることが必要です。どのような困難にあっても、自らの知恵と意欲そして仲間とのチームワークや人とのコミュニケーションなどによって乗り越え、前向きに物事をとらえることのできる人に育つことが重要です。私たち大人がその責任を果たさなければならないと考えます。

本市教育委員会では、教育基本法に基づき「四街道市教育振興基本計画」を平成25年度にスタートさせ、以後10年間における基本理念を「明日を切り拓く、心豊かでたくましい人づくり」とするとともに、「四街道市の教育が目指す姿」を実現するための基本方針を定め、前期5年間(※1)の主な施策を明確にし、実施してきました。

今年度で前期計画が終了することから、総括評価を行い、四街道市教育振興基本計画策定委員会に諮問を行いました。この度、その答申に基づき後期計画を策定しました。

後期計画では、子どもたちが、世界のグローバル化、情報化に対応できる資質と能力を育むため、外国語によるコミュニケーション能力の育成やICT教育、急増する外国籍児童生徒への支援に関する施策とともに、小中学校9年間を見通した系統性のある学習等の小中一貫教育を更に進めます。

また、学習指導要領の改訂を受け、「主体的・対話的で深い学び(※2)」を重視した授業の実現を図り、学びに向かう力や未知の状況にも対応できる思考力、判断力などの育成を目指します。更に、一人一人を大切にし、その個性を尊重するとともに、自分だけでなくお互いを大切に思う心などの道徳性を育てるため、道徳教育の充実を図ります。

生涯学習では、スポーツ、文化芸術活動の進展及び市内の文化財の保存活用を図り、市民の皆様の教育的活動を支援いたします。

後期計画においても、基本理念に基づき、引き続き「四街道市の教育が目指す姿」の実現のため、更なる一歩を進めてまいります。

最後に、本計画の策定に当たり多大なるご尽力をいただきました四街道市教育振興基本計画策定委員会委員の皆様、アンケート調査にご協力いただいた市民の皆様、多くのご意見をお寄せいただいた方々に心より感謝申し上げますとともに、後期計画の実践に当たり、市民の皆様の更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(※1)国の教育振興基本計画及び市総合計画との整合性を図るため、前期を平成25年度から30年度の6年間に延長しました。

(※2)アクティブ・ラーニングと同義語です。

平成31年3月

四街道市教育委員会 教育長 高橋 信彦

目次

第1章 計画の策定

| | |
|----------------|---|
| 1 計画策定の趣旨..... | 1 |
| 2 計画の期間..... | 2 |
| 3 計画の策定体制..... | 2 |

第2章 四街道市の目指す教育

| | |
|---------------------|---|
| 1 基本理念..... | 3 |
| 2 四街道市の教育が目指す姿..... | 4 |

第3章 教育の現状

| | |
|--------------------------|----|
| 1 教育をめぐる社会変化 | |
| (1) 少子高齢化..... | 5 |
| (2) 核家族化..... | 6 |
| (3) 情報化に伴う社会システムの変化..... | 7 |
| (4) グローバル化..... | 7 |
| 2 四街道市における教育の現状 | |
| (1) 学校教育..... | 7 |
| (2) 家庭教育..... | 11 |
| (3) 生涯学習・芸術文化・スポーツ..... | 14 |

第4章 前期計画（平成25年度～平成30年度）の成果と課題

| | |
|--|----|
| 1 基本方針1 豊かな感性を育み、強い心で正義を尊ぶ、たくましい子どもを育てます | |
| (1) これまでの取り組みと成果..... | 19 |
| (2) 目標項目の達成状況..... | 20 |
| (3) 今後の課題..... | 21 |
| 2 基本方針2 確かな学力を身につけた子どもを育てます | |
| (1) これまでの取り組みと成果..... | 23 |
| (2) 目標項目の達成状況..... | 24 |
| (3) 今後の課題..... | 25 |
| 3 基本方針3 教師と子どもが深い信頼関係で結ばれた学校づくりを進めます | |
| (1) これまでの取り組みと成果..... | 27 |
| (2) 目標項目の達成状況..... | 28 |
| (3) 今後の課題..... | 29 |
| 4 基本方針4 自己実現を目指す市民の学習・スポーツ活動を支援します | |
| (1) これまでの取り組みと成果..... | 30 |

| | |
|---|-----|
| (2) 目標項目の達成状況..... | 3 1 |
| (3) 今後の課題..... | 3 2 |
| 5 基本方針5 豊かな自然や先人の創り上げた伝統文化を受け継ぎ、新しい文化を創造する市民活動を支援します | |
| (1) これまでの取り組みと成果..... | 3 3 |
| (2) 目標項目の達成状況..... | 3 3 |
| (3) 今後の課題..... | 3 4 |
| 6 基本方針6 家庭・学校・地域のもつ教育力を高め合い、三者が連携する体制づくりを進めます | |
| (1) これまでの取り組みと成果..... | 3 5 |
| (2) 目標項目の達成状況..... | 3 6 |
| (3) 今後の課題..... | 3 6 |

第5章 基本方針と主な施策

| | |
|--|------------|
| 1 今後5年間の基本方針..... | 3 9 |
| 2 基本方針と主な施策 | |
| 基本方針1 豊かな感性を育み、強い心で正義を尊ぶ、たくましい子どもを育てます | |
| (1) 現状と課題..... | 4 0 |
| (2) 施策の方向性..... | 4 0 |
| (3) 目標の設定..... | 4 1 |
| (4) 主な施策..... | 4 2 |
| 基本方針2 確かな学力を身につけた子どもを育てます | |
| (1) 現状と課題..... | 4 4 |
| (2) 施策の方向性..... | 4 4 |
| (3) 目標の設定..... | 4 5 |
| (4) 主な施策..... | 4 6 |
| 基本方針3 教師と子どもが深い信頼関係で結ばれた学校づくりを進めます | |
| (1) 現状と課題..... | 4 8 |
| (2) 施策の方向性..... | 4 8 |
| (3) 目標の設定..... | 4 9 |
| (4) 主な施策..... | 5 0 |
| 基本方針4 自己実現を目指す市民の生涯学習・スポーツ活動を支援し、地域人材を育成します | |
| (1) 現状と課題..... | 5 2 |
| (2) 施策の方向性..... | 5 2 |
| (3) 目標の設定..... | 5 3 |
| (4) 主な施策..... | 5 3 |

基本方針 5 豊かな自然や先人の創り上げた伝統文化を受け継ぎ、新しい文化を創造する芸術文化活動を支援します

| | |
|-----------------|-----|
| (1) 現状と課題..... | 5 5 |
| (2) 施策の方向性..... | 5 5 |
| (3) 目標の設定..... | 5 6 |
| (4) 主な施策..... | 5 6 |

基本方針 6 家庭・学校・地域のもつ教育力を高め合い、三者が連携する体制づくりを進めます

| | |
|-----------------|-----|
| (1) 現状と課題..... | 5 8 |
| (2) 施策の方向性..... | 5 8 |
| (3) 目標の設定..... | 5 9 |
| (4) 主な施策..... | 5 9 |

第6章 計画の推進体制

1 計画の推進体制

| | |
|-----------------------|-----|
| (1) 情報の発信..... | 6 1 |
| (2) 関係機関・団体等との連携..... | 6 1 |
| (3) 事業の実施計画..... | 6 1 |

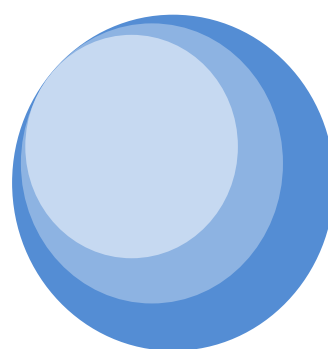
2 計画の進捗状況の把握と見直し

| | |
|--------------------|-----|
| (1) 教育施策の点検評価..... | 6 1 |
| (2) 計画の見直し..... | 6 1 |

資 料

| | |
|----------------------------|-----|
| 1 四街道市教育振興基本計画策定委員会条例..... | 6 3 |
| 2 四街道市教育振興基本計画策定本部要領..... | 6 5 |
| 3 策定経過..... | 6 7 |

第1章 計画の策定



第1章 計画の策定

1 計画策定の趣旨

平成18年12月に、制定から約60年ぶりに教育基本法が改正され、教育の理念を踏まえて、日本の教育が目指すべき姿を国民に明示し、その実現に向けた道筋を明らかにするため、教育基本法第17条に「教育振興基本計画」の策定に関する事項を新たに設け、各地方公共団体へ同様の計画を策定するよう努力目標として位置付けられました。《教育基本法（平成18年12月22日施行）》

（教育振興基本計画）

第十七条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

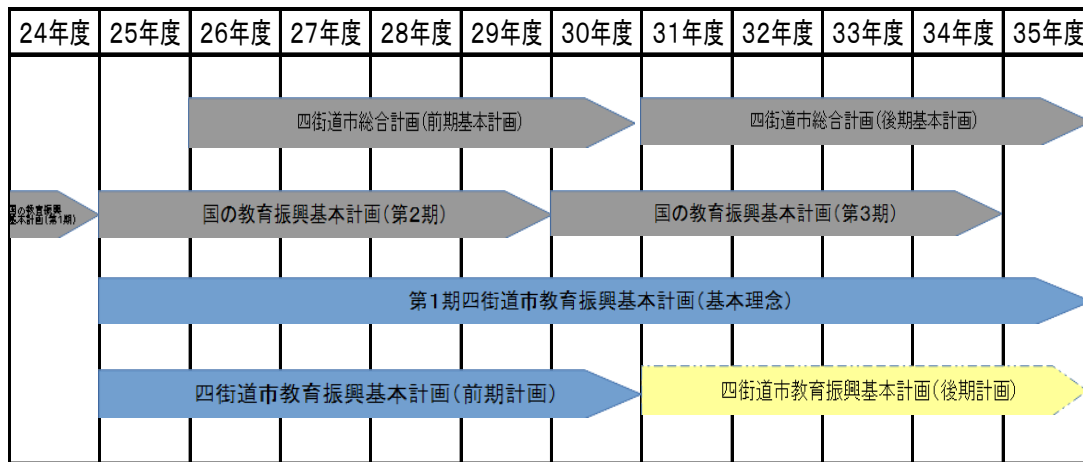
2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

本市では、教育を取り巻く状況等を踏まえ、本市教育の方向性を示す「市教育振興基本計画」を平成25年3月に策定し、「四街道市の目指す教育」の実現のために「明日を切り拓く、心豊かでたくましい人づくり」を本計画策定から10年間の基本理念として定めるとともに、5つの「四街道市の教育が目指す姿」を掲げました。

そして、「四街道市の教育が目指す姿」を実現するため、前期計画として今後5年間に取り組む6つの方針「今後5年間の基本方針」を掲げ、その方針について、主な施策を示しました。また、平成28年11月に国の第3期教育振興基本計画及び「市総合計画」との整合を図るため5年間としていた前期計画の期間を1年間延長しました。

この計画は、基本理念の後半5年間の新たな施策を実施するために策定するものです。

四街道市教育振興基本計画と他計画の期間比較（※1）



2 計画の期間

この計画は、「四街道市の教育が目指す姿」を実現するために、市教育振興基本計画後期計画として、平成31年度から平成35年度までの5年間に取り組む6つの方針「今後5年間の基本方針」を新たに掲げ、その方針について主な施策を示しました。

3 計画の策定体制

国は、平成20年に「教育振興基本計画」を策定し、その後も平成25年に「第2期教育振興基本計画」を策定しました。そして平成30年に「第3期教育振興基本計画」を策定し、第2期計画に引き続いて今後5年間の総合的かつ計画的に取り組むべき施策を示しました。

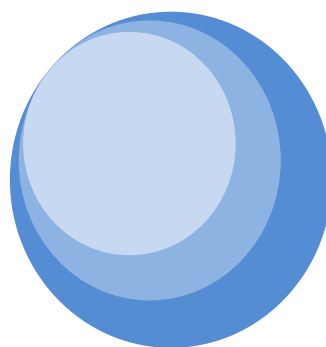
本市では、国の第3期教育振興基本計画を参酌し、「市総合計画」との整合を図りながら策定しました。

策定に関しては、「市教育振興基本計画策定委員会条例」を制定し、学識経験者や社会教育委員、市内児童生徒の保護者、小中学校教職員、公募の市民委員で構成される審議会として「市教育振興基本計画策定委員会」を立ち上げ、議論を重ねました。このほか、児童生徒とその保護者、教職員及び市民を対象としたアンケート調査や、市民意見聴取（パブリックコメント）を通して広く市民の方々にも計画の策定に参画していただきました。

なお、この後期計画に基づき実際に実施する事務事業については、前期計画と同様に、社会情勢や教育を取り巻く環境の変化などに柔軟な対応ができるよう、毎年度に「教育施策」として別途定めるとともに、「教育施策」に掲げた事務事業ごとの実績について、その結果を踏まえて評価と課題等を検討し、事務事業の達成度を評価する「事務の点検・評価」を行い、公表いたします。

※1 元号については、平成31年5月1日に改元されるが、計画策定時において、新元号が公表されていなかったため、本計画書では新元号元年5月1日以降の期日を「平成」で表記している。平成31年5月1日以降の期日は、これに相当する新元号の期日に読み替える

第2章 四街道市の目指す教育



第2章 四街道市の目指す教育

1 基本理念

平成25年度からの四街道市教育振興基本計画の基本理念を次のとおり定めます。

「明日を切り拓く、心豊かでたくましい人づくり」

教育の基本理念は、「教育の根本は人づくり」という考えを基に、作成しています。

1 知・徳・体の調和のとれた教育の推進

変化の激しいこれからの社会を生き抜くために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた生きる力を育成する。

2 心と体の育成を根本とする子育ての推進

「自分のためにも、社会のためにも良い行いを進んで行おうとする心」と「自分の体を思いのままに動かすことができる体力のある体」の育成を根本とする子育てを推進する。

3 生涯を充実して生きていくための資質・能力の向上

充実した人生を送るために、自己実現のための資質と能力の向上に日々努める。

4 社会の形成者となる有為な人づくり

近年の社会構造の大きな変化と政治、経済、文化等のグローバル化に対応できる人づくりを進める。

5 家族を愛し、郷土や国を誇りに思う心の育成

教育によって家族を愛する心と郷土や国を誇りに思う心を醸成するとともに、世界の平和と繁栄に貢献する人を育成する。

2 四街道市の教育が目指す姿

四街道市の教育が目指す5つの姿を掲げます。

1 志をもち、勤勉で勇気ある子どもたち

2 教師と子どもが強い絆で結ばれた明るく楽しい学校

3 生涯にわたり生きがいをもち、充実した日々を過ごす市民

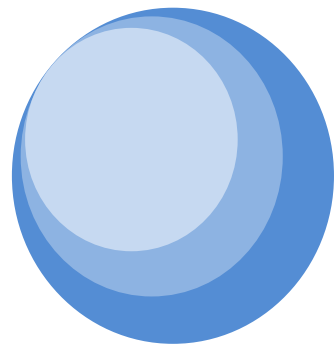
4 自然と歴史を大切にし、伝統文化を継承しながら、

新しい文化を創造する市民

5 家庭・学校・地域が連携し、

それぞれの役割を果たし合う社会

第3章 教育の現状



第3章 教育の現状

1 教育をめぐる社会変化

我が国においては、成人男女の晩婚化による少子化や、医療技術の進歩等で平均寿命が伸びることによる高齢化、核家族化が進行しています。

我が国の人口は、平成29年12月1日現在で、1億2,669万4,630人で、市教育振興基本計画を策定した平成25年10月1日現在の1億2,741万3,888人と比べ、719,258人の減少となっています（総務省統計局：人口推計確定値より）。

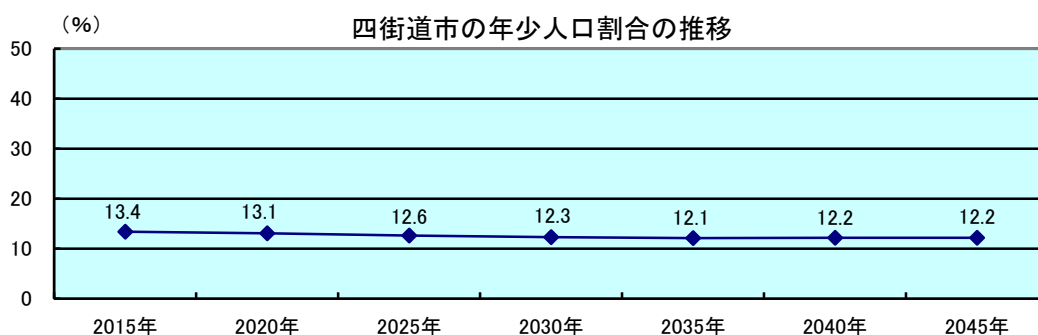
本市の総人口は89,245人（平成27年国勢調査）であり、前回（平成22年国勢調査）の86,726人から比べて2,519人増加、対前回は102.90でした。また、住民基本台帳による本市の総人口は、93,211人（平成30年3月1日現在）で、平成27年国勢調査時に比べて3,966人増加しています。

（1）少子高齢化

少子高齢化は引き続き進展しており、我が国の年少（0歳～14歳）人口の割合は12.5%、老年（65歳以上）人口の割合は26.6%となりました（平成27年国勢調査）。国立社会保障・人口問題研究所が平成29年4月に発表した人口推計（出生中位・死亡中位推計）によると、2020（平成32）年に年少人口の割合は12.0%、老年人口の割合は28.9%、2025（平成37）年には、年少人口の割合は11.5%、老年人口の割合は30.0%と予想しています。

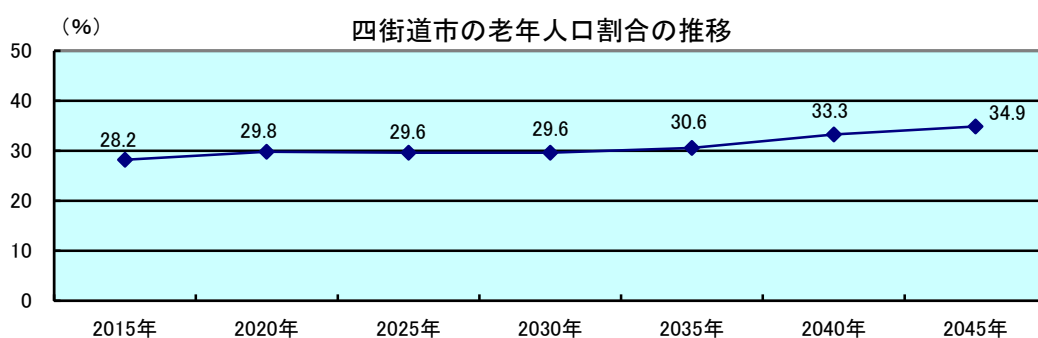
本市における年少人口の割合は、13.4%、老年人口の割合は28.2%でした（平成27年国勢調査）。国立社会保障・人口問題研究所が平成30年3月に発表した人口推計によると、2020（平成32）年に年少人口の割合は13.1%、老年人口の割合は29.8%、2035（平成47）年には、年少人口の割合は12.1%、老年人口の割合は30.6%と予想しており、今後も少子高齢化が緩やかに進むことが想定されます（図1・2参照）。

図 1



※グラフ上の2020（平成32）年以降の数値は、国立社会保障・人口問題研究所が平成30年3月に公表した将来推計人口によるもの。

図2



※グラフ上の2020（平成32）年以降の数値は、国立社会保障・人口問題研究所が平成30年3月に公表した将来推計人口によるもの。

（2）核家族化

我が国における総世帯数は、53,448,685世帯、うち一般世帯数は53,331,797世帯、核家族世帯数は29,754,438世帯で、核家族世帯の割合は55.8%（平成27年国勢調査）で、前回の56.3%（平成22年国勢調査）からやや減少しました。

本市における総世帯数は、35,014世帯、うち一般世帯数は34,876世帯、核家族世帯数は24,292世帯で、核家族世帯の割合は69.7%（平成27年国勢調査）と、割合としては前回の71.5%（平成22年国勢調査）からやや減少しましたが、全国及び千葉県（59.0%、平成27年国勢調査）と比べ、依然として核家族世帯の割合が高い地域であることがうかがえます。今後少子高齢化や核家族化が進むことで、世代間交流の機会を充実させるほか、地域人材の活用により学校運営をサポートするボランティア活動の推進や、家族の教育機会を充実させるために学習機会を提供する家庭教育の支援など、家庭、学校、地域の連携による教育力の向上がさらに重要になると考えられます。

(3) 情報化に伴う社会システムの変化

情報化は日々進化しており、インターネットなどの通信技術の飛躍的な向上に伴い、私たちの日常生活の利便性が向上することで生活様式に関する需要が多様化し、その要求に応えるべく様々な分野での技術革新により多岐にわたり急変しています。2030（平成42）年ごろには、人工知能やビッグデータ、IoT（Internet of Things）等をはじめとする技術革新が一層進展し、産業構造や社会システム変化、雇用環境の変化に伴う就学・就業構造の変化が予想されています。そのため、このような社会システムの変化に対して、情報活用能力や情報モラルを習得するための学習機会の提供が一層重要になると思われまます。

(4) グローバル化

物流システムや交通網、交通手段等の発展に伴い、あらゆる分野で国境を超えた繋がりが活性化しており、他の国の人々とのコミュニケーション能力を必要とする社会が到来することが予想されます。そのため、特に将来のある子どもたちにとっては国際化への対応は必要であると思われまます。英語教育をはじめとした外国語教育は国際化に対応した能力を習得するためのツールとして今後益々重要になると思われまます。

一方、本市では外国籍市民も年々増加傾向にあり、外国籍小学生は115人、中学生は36人で、そのうち日本語指導が必要な小学生は32人、中学生は10人（平成30年5月1日現在）となっています。

2 四街道市における教育の現状

本市は、都心や千葉市のベッドタウンとして人口が増加してきました。本市の特徴は、首都圏のベッドタウンという都市型構造でありながら、比較的豊かな自然環境が数多く残っており、教育にとって大きな財産となっています。これまで本市が培ってきた自然、文化等を子どもたち一人一人が認識して大切にするとともに、“ふるさと”としての誇りを持てる教育を推進することが必要であると思われまます。

(1) 学校教育

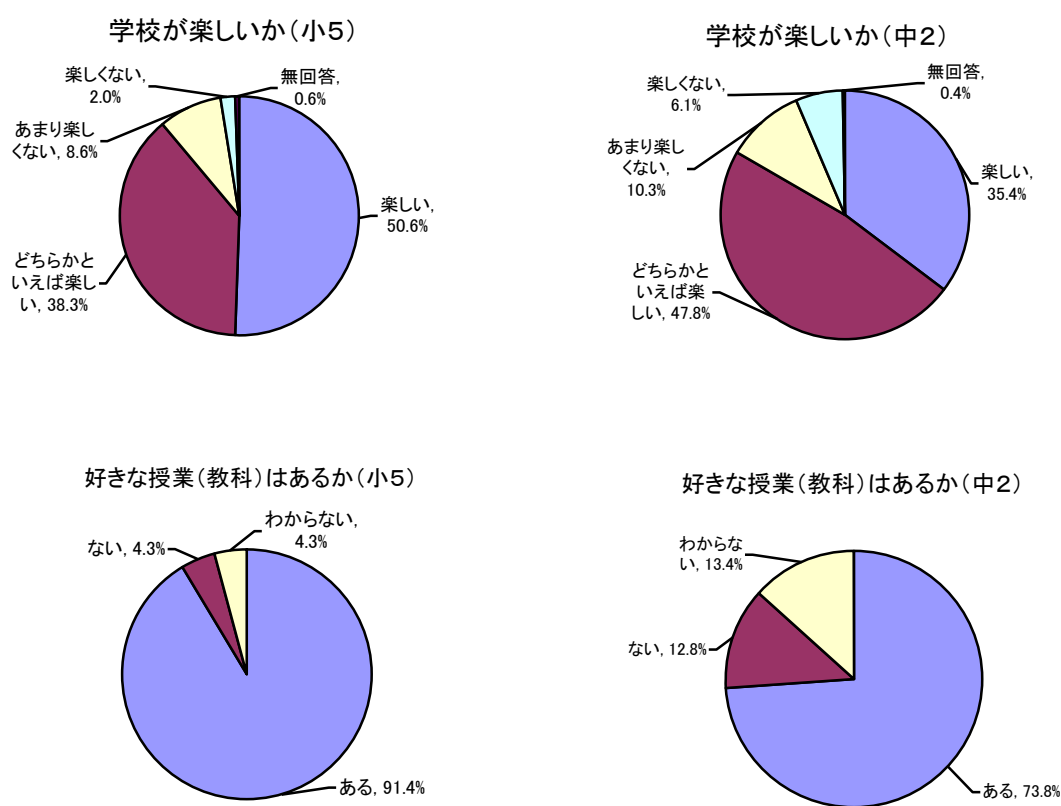
本市の学校教育では、「児童生徒の『思いやる心』、『強い心』、『自尊感情』の育成」をねらいとして、「子どもの立場に立った確かな生徒理解」をはじめとする8つの方策を掲げ、「命の教育」を推進しています。

平成29年12月に実施した「市教育振興基本計画に係るアンケート」（以下「アンケート」という。）によりますと、学校生活面においては、「学校が楽しいか」と質問したところ、小学校5年生の半数以上が、中学校2年生の35.4%が「楽しい」と回答し、「どちらかといえば楽しい」と併せた肯定的な回答は、小学校5年生の9割弱、中学校2年生の8割強となりました（図3上段参照）。また、平成29年度全国学力・学習状況調査によると、「学校に行くのは楽しいと思うか」という問いに対し、肯定的

な回答が本市の小学校6年生で87.7%（同調査で全国平均86.3%）、本市の中学校3年生で78.1%（同調査で全国平均80.9%）となり、全国と比較してもほぼ同じ傾向であることがわかりました。

次にアンケートで「好きな授業（教科）はありますか」と質問したところ、小学校5年生の91.4%、中学校2年生の73.8%が「ある」と回答しました（図3下段参照）。また、全国学力・学習状況調査においても、「学校で、好きな授業がありますか」という問いに対し、肯定的な回答が本市の小学校6年生で91.8%（同調査で全国平均93.0%）、本市の中学校3年生で76.4%（同調査で全国平均79.2%）となりました。このように、多くの児童生徒が学校へ登校することや勉強することに対して前向きに取り組んでいることがうかがえます。

図3



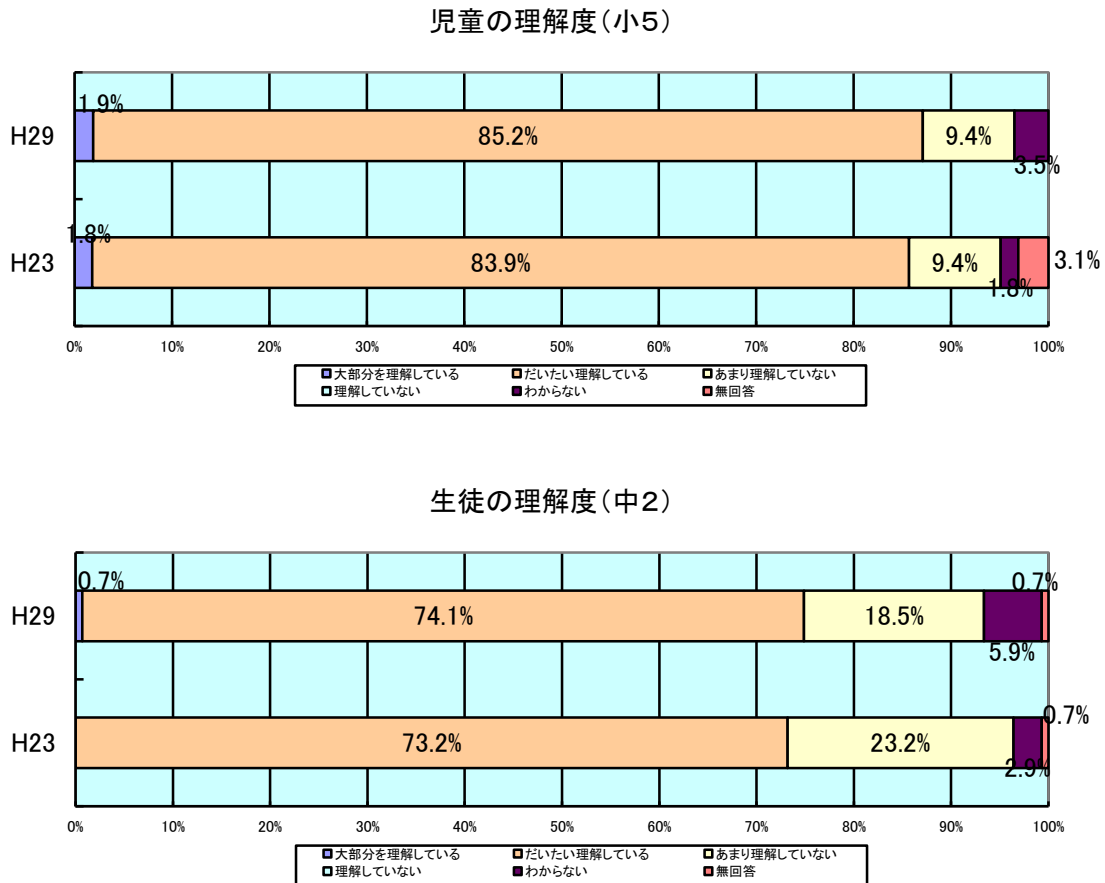
※平成29年12月に実施した「市教育振興基本計画に係るアンケート」より

次に学習面についてですが、体験的な学習や問題解決的な学習の重視、基礎的知識技能の確実な定着など教員の授業力の向上に努めるとともに、少人数指導やティームティーチングなどを行い、児童生徒が主体的に学び合える授業に教員が積極的に取り組みました。

授業での「児童生徒の理解度」について教職員へのアンケートでは、「理解している」、「だいたい理解している」との回答を併せると、小学校では平成23年度85.7%か

ら平成29年度87.1%、中学校では平成23年度73.2%から平成29年度74.8%となり、おおむね小学校で8割の児童が、中学校で7割強の生徒が理解していることがうかがえました（図4参照）。

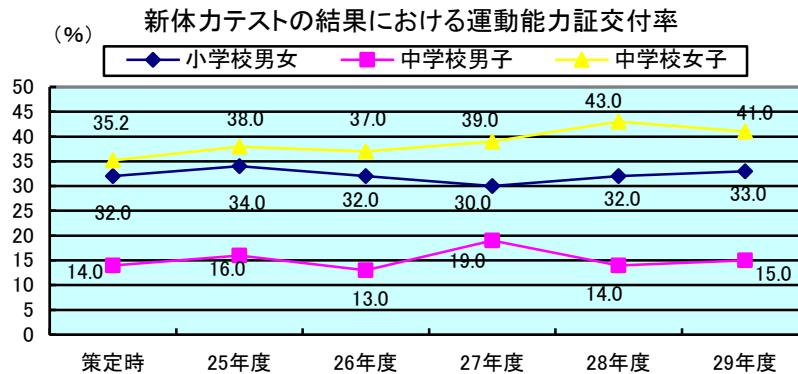
図4



※平成23年5月及び平成29年12月に実施した「市教育振興基本計画に係るアンケート」より

体力・健康面では、新体力テストの結果における運動能力証交付率が、小学校男女が平成23年度の32.0%から年度によって上下はあるものの、平成29年度は33.0%。中学生男子では、平成23年度の14.0%から年度によって上下があるものの、平成29年度は15.0%とほぼ横ばいでした。中学校女子は平成23年度の35.2%から平成29年度は41.0%と増加しました（図5参照）。

図5



児童生徒の相談体制については、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置や学校教育相談室「ルームよつば」を中央小学校に設置し運営するなど、相談体制の整備を図りました。スクールカウンセラーも平成28年度にさらに1人増員することで児童生徒の相談件数が増加するなど、児童生徒やその保護者が気軽に相談できる体制を確保しています。

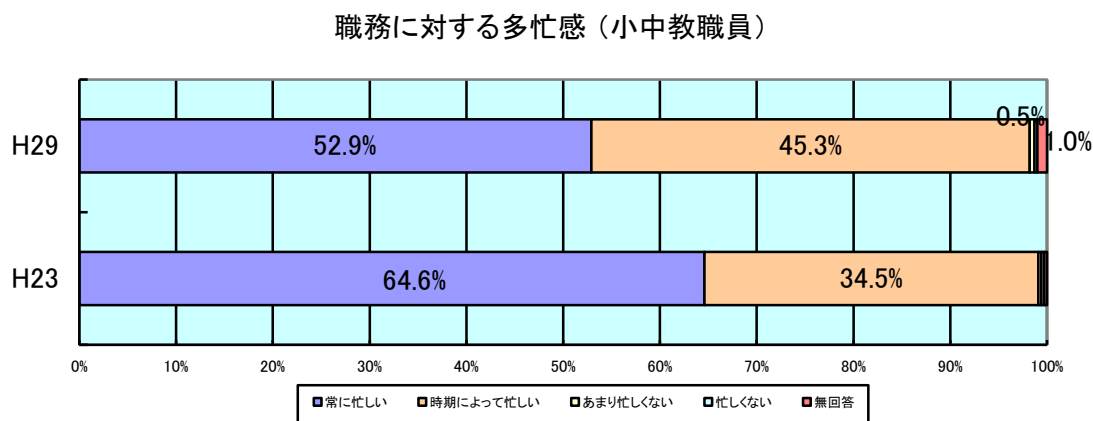
外国籍の児童生徒は小中学校共に増加しています。そのため、学校からの要請に応じて語学指導員（中国語・ペルシャ語）の派遣や、市国際交流協会の日本語指導ボランティアに協力を要請するなど、日本語を学びながら早く学校生活に適応できるよう支援しています。

学校施設については、平成27年度に耐震化率100%を達成したほか、平成28年度には全校の普通教室と特別支援教室に空調機（エアコン）を設置、トイレの洋式化など、安心して快適な学校環境の整備を行っています。また、転入転出に伴う児童生徒数の増減などその推移を勘案し、学校規模の適正化を図ることが求められています。さらに、学校施設の経年劣化に対して補修や改修を順次進める必要があります。

学校教育の指導内容等ソフト面では、教職員の資質向上のための研修会への参加や、他校の研究授業への参観を呼びかけています。また本市では、施設分離型の小中一貫教育について各中学校区の小中学校をモデル校と位置付けて相互授業参観等を実施し研究を行い、平成30年度から完全実施しました。

教職員については、業務量が多いため心身への負担が大きく、また児童生徒との触れ合う時間が少ないことが課題とされていますが、アンケートで教職員に対し「職務に対する多忙感」についてと質問したところ、「常に忙しい」と回答した比率が小中学校教職員全体で平成23年度の64.6%から平成29年度は52.9%となり、減少傾向にあることがわかりました（図6参照）。このことから、メンタルヘルスケアの促進をはじめ、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置、学校支援ボランティアと地域コーディネーター等による学校支援、学校給食の公会計化など、教職員の負担を軽減する事業を実施した結果、一定の効果が表れたものと思われます。また、平成28年度より校務支援システムを導入したことで、教職員の負担が今後さらに軽減されることが期待されます。

図 6



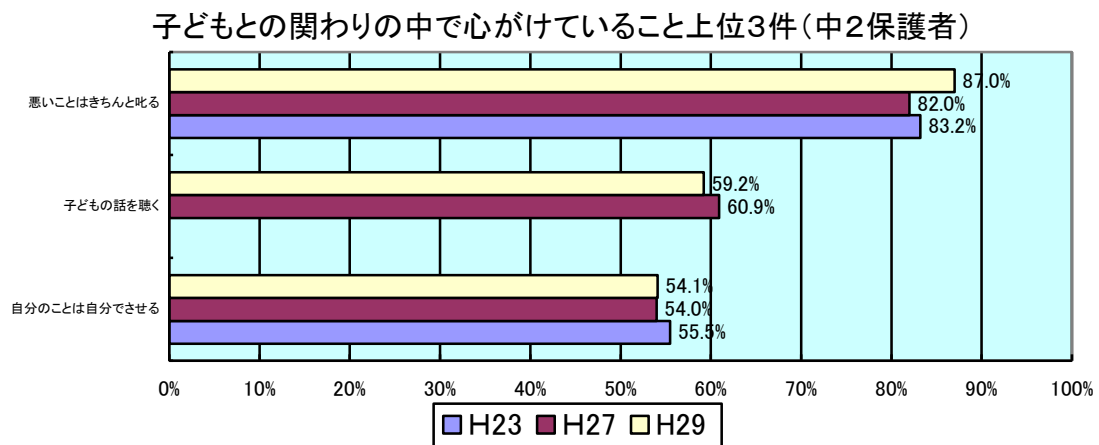
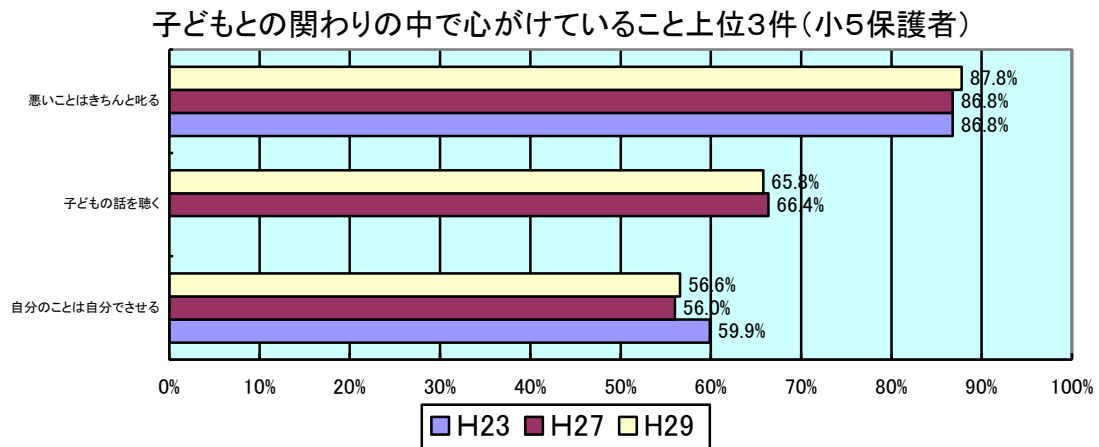
※平成23年5月及び平成29年12月に実施した「市教育振興基本計画に係るアンケート」から作成

（2）家庭教育

家庭は、子どもにとって拠り所であり、家庭教育は「生きる力」を身に付けていく教育の原点であります。子どもは家族と触れ合い、地域の様々な行事を通じて人間関係でのマナーや社会の決まりごとなどを学び、身に付けます。保護者は子どもに対して生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに自立心を育成し、義務教育を受けさせるなど、子どもの教育について第一義的な責任があります。アンケートで、「家庭で子どものかかわりの中で心がけていること」と質問したところ、「悪いことはきちんと叱る」が小学校5年生の保護者で87.8%、中学校2年生の保護者でも87.0%で最も高く、平成23年度調査でも同様な結果でした。次に、「学校での出来事や相談事など子どもの話を聴く」が小学校5年生の保護者で65.8%、中学校2年生の保護者でも59.2%で、子どもとの会話を大切にしていることがわかりました（図7参照）。

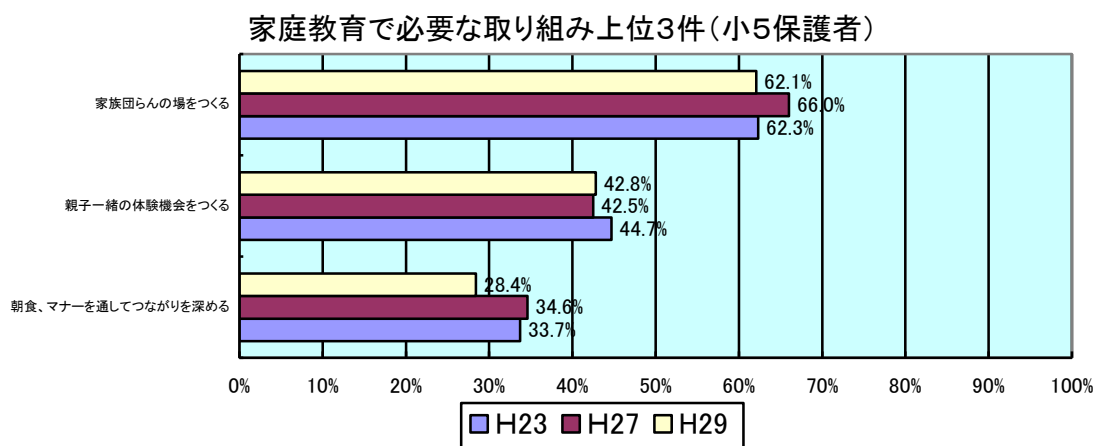
また、「子どもを健全に育む家庭教育としてどのような取組が必要だと思うか」と質問したところ、「家族団らんの場をつくる」が小学校5年生の保護者で62.1%、中学校2年生の保護者でも56.6%、「子どもと保護者が一緒に、様々な体験ができる機会を増やす」が小学校5年生の保護者で42.8%、中学校2年生の保護者でも32.3%となるなど、家族間の会話や触れ合いが重要であると考えていることがわかりました（図8参照）。

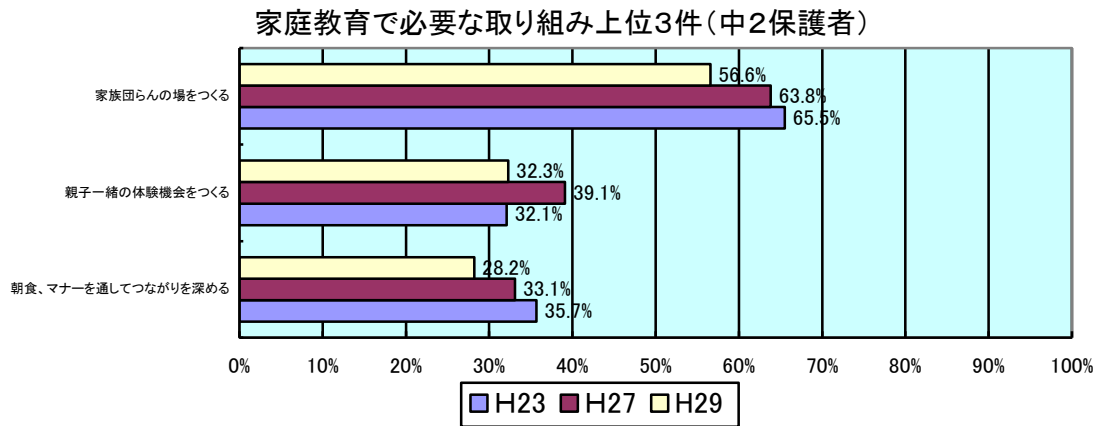
図 7



※「学校での出来事や相談ごとなど子どもの話を聴く」は、平成23年度アンケートでは調査なし
 ※平成23年5月に実施した「市教育振興基本計画に係るアンケート」、
 平成28年2月に実施した「市教育振興基本計画に係る中間アンケート」
 及び平成29年12月に実施した「市教育振興基本計画に係るアンケート」より

図 8





※平成23年5月に実施した「市教育振興基本計画に係るアンケート」、
平成28年2月に実施した「市教育振興基本計画に係る中間アンケート」
及び平成29年12月に実施した「市教育振興基本計画に係るアンケート」より

近年、携帯電話やスマートフォンの普及により、コミュニケーションのツールとして便利になる反面、メールやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）によるいじめや、気軽な情報発信等による個人情報の流出、ゲームや音楽等の過度なダウンロードによる高額請求の問題、スマートフォンを長時間連続して視聴することにより発生する視覚障害など、これまで起こりえなかった様々なトラブルが生じています。

アンケートで、児童生徒に「自分専用の携帯電話やスマートフォンを持っているか」と質問したところ、小学校5年生の50.0%、中学校2年生の75.0%が「持っている」と回答し、平成23年度（小学校5年生の22.2%、中学校2年生の60.9%）と比べて、「持っている」との回答はいずれも増加しました（図9参照）。このことから、小中学生で携帯電話やスマートフォンが広く普及しつつあることがうかがえます。

また、子どもが自分専用の携帯電話を持っていると回答した保護者に「携帯電話にフィルタリングがかかっているか」と質問したところ、小学校5年生の81.4%、中学校2年生の68.8%が「かかっている」と回答しました（図10参照）。

携帯電話・スマートフォンの所有率を考慮すると、携帯電話・スマートフォンの適正利用を含めた情報モラル教育については、その必要性がますます重要になると考えられます。

図9

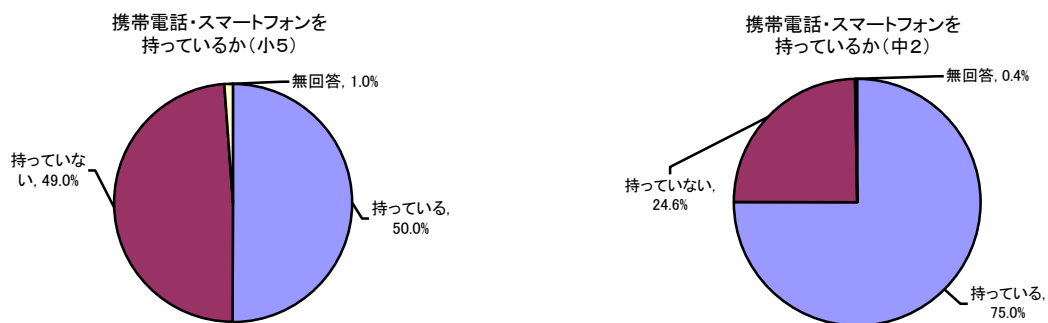
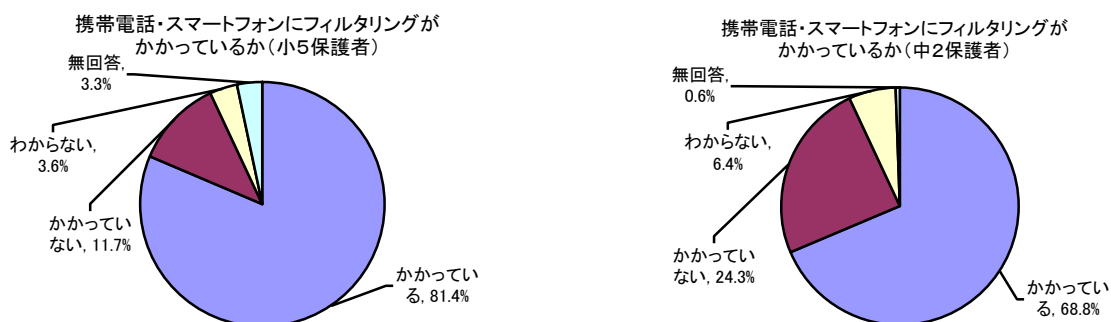


図 10



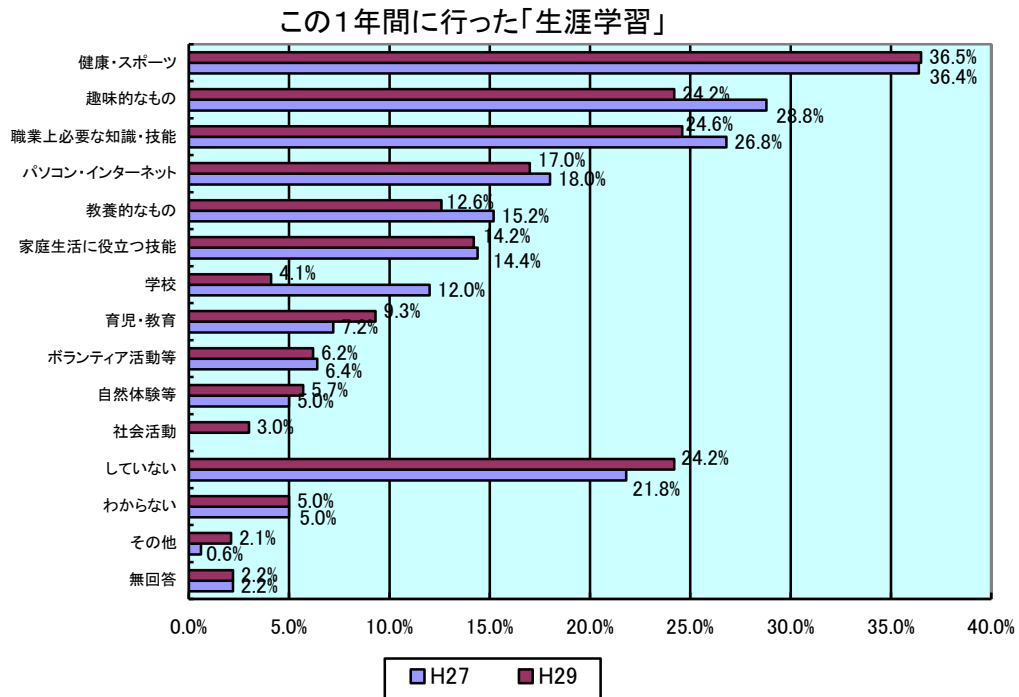
※平成29年12月に実施した「市教育振興基本計画に係るアンケート」より

(3) 生涯学習・芸術文化・スポーツ

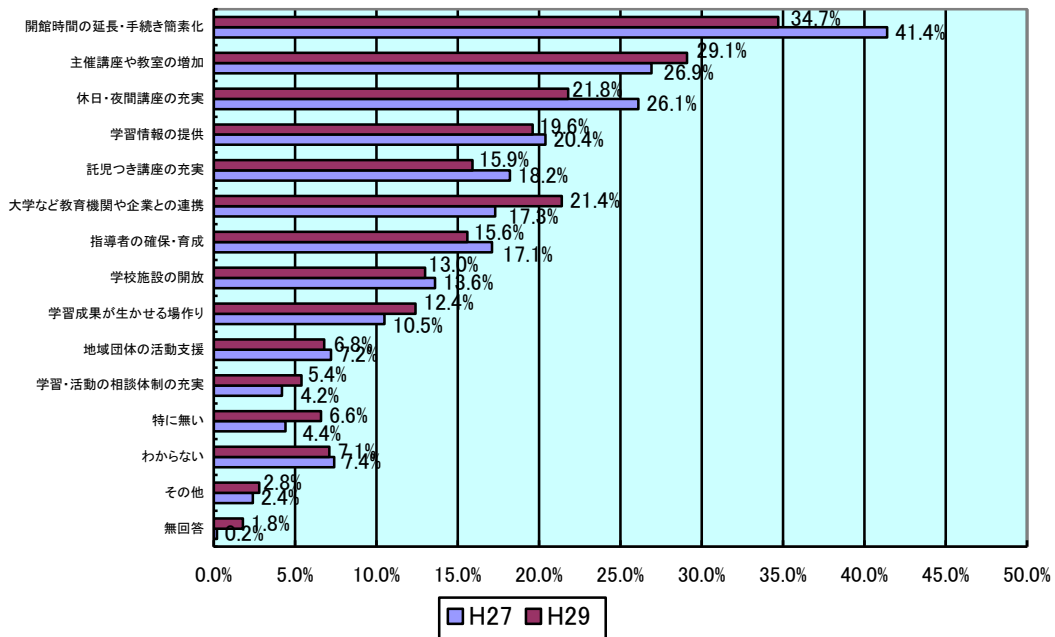
現代社会において、市民は心身共に健康でゆとりのある生活を求めています。市では、施設や様々な講座・プログラムを通して、市民が芸術・文化活動に参加したり、スポーツに取り組んだりして毎日を生き生きと過ごせるようサポートしていますが、特に団塊世代といわれる人たちが高齢化してきた中で、今後もさらにニーズが高まるものと思われます。

アンケートで、満18歳以上の市民（回答：776人）に「この1年に行った生涯学習」について質問したところ、「健康・スポーツ」が36.5%、「職業上必要な知識・技能」が24.6%、「趣味的なもの」が24.2%でした。また、「市民が学びたいときに学べるようにするために、力を入れるべきこと」については、平成29年度では「施設の開館時間の延長や利用手続きの簡素化」が34.7%（平成27年度：41.4%）でもっとも多く、「市主催講座や教室数の増加」が29.1%（26.9%）、「休日や夜間などの講座の充実」が21.8%（26.1%）、「大学など教育機関や企業との連携」が21.4%（17.3%）と続きました（図11参照）。

図 1 1



市民が学びたいときに学べるようにするために、力を入れるべきこと



※平成28年2月に実施した「市教育振興基本計画に係る中間アンケート」
及び平成29年12月に実施した「市教育振興基本計画に係るアンケート」より

生涯学習については、市内及び近隣市にある大学と連携し、高度な知識・技術等を習得できる学習機会を提供する市民大学講座や、市職員が講師になり、市政への理解と関心を高めるための生涯学習まちづくり出前講座などを開催し、ボランティアの育成など市民の学習活動支援を行っています。また、芸術文化活動では、市民文化祭や郷土作家

展など、市民が日ごろ学習した成果を発表したり、市内の郷土芸能に触れたりする機会を提供しています。さらに市内の社会教育関係団体へ補助金等による支援を行っています。

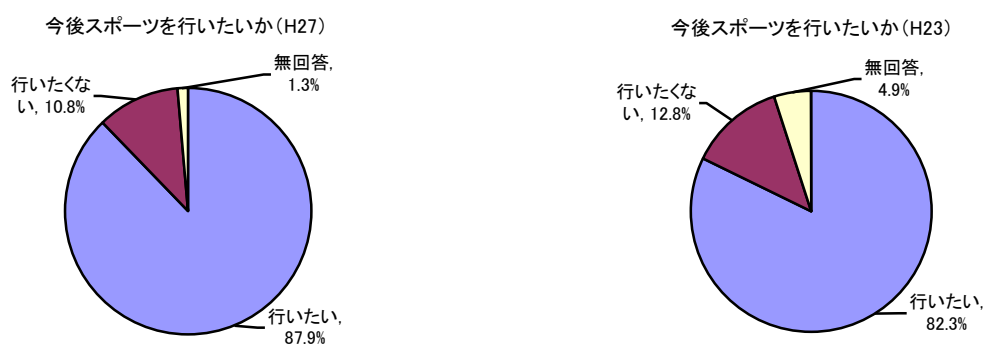
公民館では、指定管理者による運営を行っており、アンケート等を実施して講座の内容を見直すなど、それぞれの公民館で特徴のある講座を開催しています。また、学校・地域と連携・協力を図り、地域住民に対して学習情報の積極的な提供を行っています。

図書館では、窓口等業務の一部を業務委託するとともに、平成29年に「市民のための図書館 四街道市立図書館の運営方針」を策定し、市民に役立つ図書館としてサービスの充実を図っています。

スポーツでは、健康志向ブームを背景に市民の関心が高く、「今後スポーツを行いたい」と質問したところ、「行いたい」が平成27年度で87.9%と平成23年度の82.3%を上回りました（図12参照）。また、平成29年度は現在運動をしていない人のみを対象に「今後スポーツを行いたい」と質問したところ、「行いたい」が73.8%となりました。

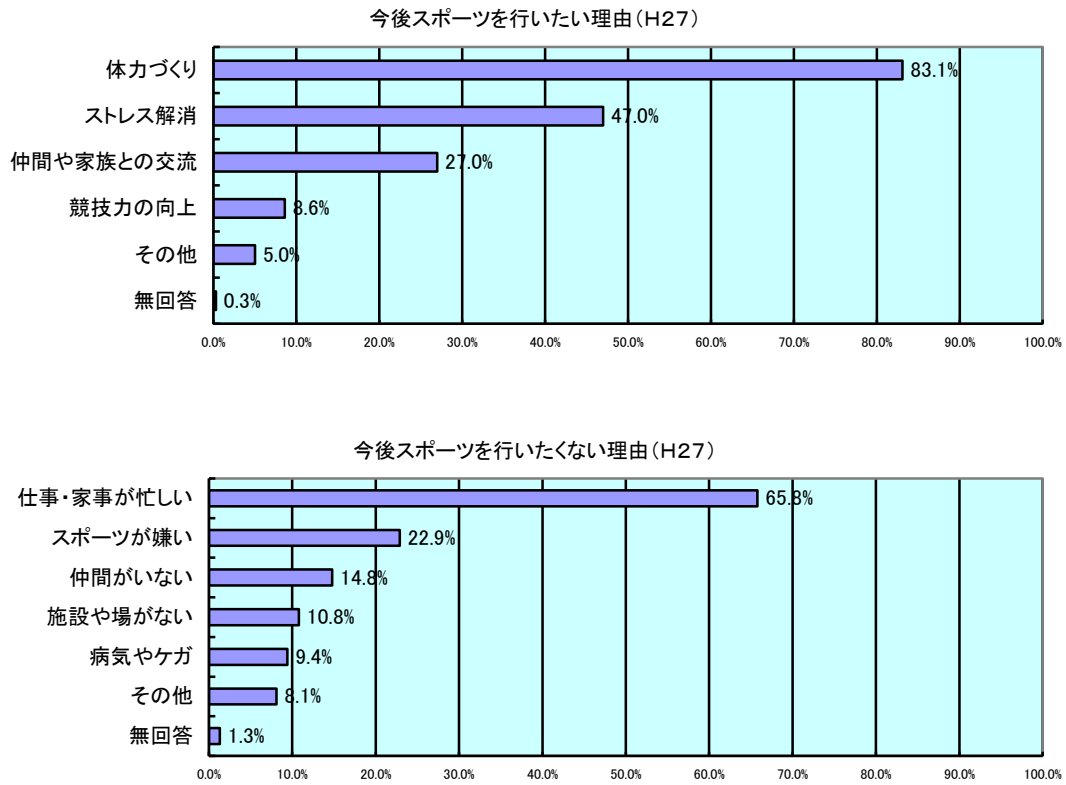
次に平成27年度にうかがった「スポーツを行いたい理由」としては、「体力づくり」が最も多く、次に「ストレス解消」、「仲間や家族との交流」が続きました。一方「スポーツを行いたくない理由」としては、「仕事や家事が忙しい」が最も多く、「スポーツや運動が嫌い、興味が無い」、「仲間がいない」が続きました（図13参照）。このことから、スポーツについては潜在的に行いたいと思っている人が一定数いるが、勉強や仕事、普段の時間の過ごし方の多様化などで実際のところは実現できないといった状況が浮かび上がりました。

図 1 2



※平成23年5月に実施した「市教育振興基本計画に係るアンケート」及び平成28年2月に実施した「市教育振興基本計画に係る中間アンケート」より

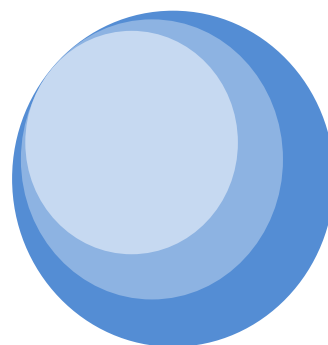
図 1 3



※平成28年2月に実施した「市教育振興基本計画に係る中間アンケート」より

スポーツを気軽にできる環境づくりとして、小中学校の校庭や体育館の開放、総合型地域スポーツクラブ「四街道SSC」の運営の支援を行うとともに、各種スポーツ教室等を開催し、スポーツ活動への参加機会の確保や参加者の体力向上、健康の維持増進に役立てています。

第4章 前期計画（平成25年度～平成30年度）の成果と課題



第4章 前期計画(平成25年度～平成30年度)の成果と課題

本市では、平成25年度から「市教育振興基本計画」で「明日を切り拓く、心豊かでたくましい人づくり」を基本理念に掲げ、前期計画では6つの基本方針をもとに施策を推進してきました。

今般、後期計画を策定するに当たり、各施策における成果と課題を以下のとおり取りまとめました。

基本方針 1

豊かな感性を育み、強い心で正義を尊ぶ、たくましい子どもを育てます

(1) これまでの取り組みと成果

①豊かな感性を育む教育を推進します

各校において、身近な施設や地域人材を積極的に活用した問題解決的、体験的な授業が展開されることで、児童生徒が直接様々な人々とかかわりながら学ぶ機会が増え、多様な考え方に触れる中で豊かな感性を育むことにつながりました。

読書を推進するために策定した「市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校司書の市内全校配置や、学校図書館の蔵書整理、市立図書館との連携構築など、読書活動の推進に努めました。

②強い心と正義感を育成します

各校の実態に応じて計画・実践している『命の教育』については、特に道徳の時間で「いのちのつながり・輝き」を意識した授業展開が全校で行われ、児童生徒への「思いやる心」「強い心」や自尊感情の育成、正義感・規範意識の高揚につなげることができました。

児童生徒やその保護者からの様々な教育に関する相談を受けることができるよう、子どもと親をサポートする専門窓口として平成28年度に「教育サポート室」を新設し、いじめや不登校に関する相談活動を行いました。また、スクールカウンセラーを小学校4校、中学校全校に配置したほか、長期欠席児童生徒のための学校教育相談室「ルームよつば」を運営するとともに、青少年育成センターにスクールソーシャルワーカーを1人配置し、スクールソーシャルワーカーの助言に基づき、青少年育成指導教員による相談活動を実施するなど、教育相談体制の整備・充実に努めました。

いじめの事案に迅速かつ組織的に対応するために、「市いじめ防止対策推進条例」を策定しました。その条例に基づき「市いじめ防止基本方針」を策定し、いじめ撲滅キャンペーンを通して各校における学級活動や集会活動での取組により、いじめをなくそうとする意識の高揚を図ることができました。

③たくましい子どもを育成します

ラジオ体操の推奨に努め、全校で運動会や体育の授業において実施することができました。また、新体力テストを分析し、児童生徒の体力の現状課題についての周知や、各校の課題に応じた取組についての指導・助言を行いました。

小学校への陸上練習の指導者派遣や、中学校への運動部活動の指導者を派遣するなど、教員が専門的な指導を学ぶ機会の確保と、児童生徒の体力や競技力の向上に努めることができました。

小学校での薬物乱用防止教室や、中学校での非行防止教室の実施により、児童生徒の意識向上を図ることができました。

食に関する指導の充実として、教員、栄養教諭、学校栄養職員を対象とした食育研修会を教育研究会（学校給食研究部）との共催で年1回実施しました。また、「弁当の日」を全校で実施し、食に関する教育について、理解を深めることができました。

④幼保・小・中・高・大・特別支援学校等の教育機関の連携を推進します

市内の保育所（園）、幼稚園、小学校で連携した保幼小連携教育研修会を開催し、保育の現状や就学前児童の発達段階についてなど、教育と保育について相互理解を深めることができました。また、市内の保育所（園）、幼稚園、小中学校、高等学校、特別支援学校等と連携して特別支援教育連絡会議を開催し、研修や情報交換を行うなど、途切れない支援体制づくりを推進しました。

（2）目標項目の達成状況

「人の気持ちがわかる人間になりたいと思う」と質問したところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が、小学生では平成21年度の92.7%から平成29年度は91.7%、中学生では平成21年度の92.9%から平成29年度は93.5%と高い比率で推移しています（表1参照）。

「人が困っているときは、進んで助けますか」と質問したところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が、小学生で平成21年度の71.8%から平成29年度は84.7%、中学生で平成21年度の75.0%から平成29年度は83.7%にそれぞれ増加しました（表1参照）。

このことから、人に対する思いやりのある児童生徒の数は数値的にも高く、また着実に増えていることがうかがえます。

表 1

| 目標項目 | | 現状 (計画策定時) | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 | 28 年度 | 29 年度 | 目標 30 年度 |
|---|------------|------------------|------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------------------------|
| 「人の気持ち がわかる人間 になりたいと 思う」という問 いに対し、『そ う思う』『どち らかといえば そう思う』 【全国学力・学 習状況調査】 | 小学校 6 年 | 92.7% (21 年度) | 90.1% | 92.1% | 93.2% | ※3 調査なし | ※2 91.7% | 100% |
| | 中学校 3 年 | 92.9% (21 年度) | 93.1% | 94.1% | 95.5% | ※3 調査なし | ※2 93.5% | 100% |
| 「人が困っ ているときは、進 んで助けます か」という問 いに対し、『そ う思う』『どち らかといえば そう思う』 【全国学力・学 習状況調査】 | 小学校 6 年 | 71.8% (21 年度) | ※3 調査なし | ※3 調査なし | ※4 83.0% | 81.7% | 84.7% | 100% |
| | 中学校 3 年 | 75.0% (21 年度) | ※3 調査なし | ※3 調査なし | ※4 81.7% | 83.4% | 83.7% | 100% |
| 新体カテストの 結果における 運動能力証交 付率 | 小学校 男女 | 32.0% (23 年度) | 34% | 32% | 30% | 32% | 33% | 40% 以上 |
| | 中学校 男子 | 14.0% (23 年度) | 16% | 13% | 19% | 14% | 15% | 25% 以上 |
| | 中学校 女子 | 35.2% (23 年度) | 38% | 37% | 39% | 43% | 41% | 45% 以上 |
| スポーツ、芸術分野での活躍 | | | 5 人 | 1 人 | 5 人 | 1 人 | 2 人 | 全国大会、アジ ア大会、世界大 会出場者を輩出 |

※2 平成29年12月に市内小学校5年生及び中学校2年生を対象に実施した教育振興基本計画に係るアンケートの結果

※3 全国学力・学習状況調査の中の調査項目で、「人の気持ちができる人間になりたいと思う」については平成28年度に、また「人が困っているときは、進んで助けますか」については平成25・26年度に調査がなかったため

※4 平成28年2月に市内小学校5年生及び中学校2年生を対象に実施した教育振興基本計画に係る中間アンケートの結果

(3) 今後の課題

①豊かな感性を育む教育を推進します

読書活動については、学校図書館を活用した授業が積極的に行われるよう、司書教諭や学校司書を中心とした学校内の読書活動推進体制のさらなる強化が課題です。

②強い心と正義感を育成します

教育相談体制については、引き続き十分に対応できるよう検討する必要があります。また、長期欠席児童生徒への対応について、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、各専門機関との連携強化を図り、様々なニーズに対応することのできる相談体制を確立していく必要があります。

いじめ防止対策については、「市いじめ防止対策推進条例」等に基づき、各校で定めたいじめ防止基本方針の周知と毎年の見直しが必要です。また、いじめ問題対策連絡協議会等で市全体の連携を図り、いじめの早期発見、早期解消や継続事案について解決に取り組む必要があります。

③たくましい子どもを育成します

新体力テストにおいては、引き続き向上に努める必要があります。また、小学校の陸上競技練習や中学校の運動部活動について、指導者をいかに確保するかが課題です。

④幼保・小・中・高・大・特別支援学校等の教育機関の連携を推進します

特別支援教育については、子どもたち一人一人に応じた適切な支援を行うために、特別支援教育コーディネーターのさらなる研修が必要であり、コーディネーターが中心となり、特別な支援を必要とする全ての児童生徒について個別の教育支援計画^(※5)、個別の指導計画^(※6)が作成され、円滑に活用されるよう各校を支援していく必要があります。

※5 個別の教育支援計画とは、特別な支援を必要とする児童生徒一人一人のニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考え方の下に、福祉、医療、労働等の関係機関との連携を図りつつ、長期的な視点に立って、一貫して的確な教育的支援を行うために作成した支援計画

※6 個別の指導計画とは、学校の教育課程において、児童生徒一人一人の状態等に応じたきめ細かな指導が行えるよう、個別の教育支援計画等を踏まえて、指導目標や指導内容・方法等を具体的に表した計画

基本方針 2

確かな学力を身につけた子どもを育てます

(1) これまでの取り組みと成果

①魅力ある授業を推進します

本市が定めた少人数学級推進教員配置基準により、対象となる学年全てに講師を配置することができました。また、配置された学校では、少人数指導やチームティーチング等の授業形態で講師を有効活用し、児童生徒一人一人にきめ細かい指導の充実を図ることができました。

授業力向上研究校に全校を指定し、教職員の授業力向上を図るために、各校の研究教科、研究テーマに基づいた公開の研究授業を行いました。その結果、授業後の研究協議でも活発な意見交換が行われ、授業改善につなげることができました。

②夢を育む教育、外国語教育等多様な学びを推進します

小中一貫教育では、市内5中学校区をモデル校として順次指定し、平成30年度の完全実施に向けて実践・研究に取り組みました。また、小中一貫教育推進委員会を開催し、モデル校の実践研究をもとに「市小中一貫教育基本方針」並びに「市小中一貫教育推進要領」を検討し、平成29年3月に策定しました。さらに、義務教育9年間を見通した連続性のある英語教育の推進を図るため、平成29年度より旭中学校区の4小学校を「英語教育推進モデル校」に指定し、専任のALTと特色ある教材を活用することにより、「話す・聞く・読む・書く」力をバランスよく育成する英語教育の在り方の研究を進めました。

キャリア教育の一環として、キャリア教育推進会議を開催し、小学校の職場見学や中学校の職場体験、職業人による講演会など活動の内容や成果を報告する意見交換等を行いました。また、中学生を被爆地である広島または長崎へ毎年派遣する事業を行うことができました。

ALT（外国語指導助手）を中学校全校に配置し、要請に応じて小学校にも派遣するなど、児童生徒が生きた英語と触れ合う機会を増やしました。また、市内中学校3年生を対象に1回限り英語検定試験の受験料を負担することで、英語検定3級程度の取得率及び英語検定3級以上相当の英語力を有すると思われる生徒の割合が全国平均を上回るなど、外国語教育の向上を図ることができました。

コンピュータ機器やネットワークの整備を進め、各校にタブレットやパソコン等を導入し、それらを活用した授業展開を推進しました。また、情報モラル教育研修会を行うなど、スマートフォンやタブレット等によるトラブル防止に関して研修を深めることができました。さらに、校務支援システムを平成28年度に全校へ導入、平成29年度から全面運用を開始したことで、教職員の負担軽減につなげることができました。

③学校教育を充実させるための支援を行います

「家庭で育む生きる力」の市ホームページへの掲載や、リーフレット「四街道市の学校教育」を発行し、教職員および保護者に配付することができました。

生徒指導補充教員を必要とされる学校に派遣したことで、学級担任や教科担任等と連携しながら、きめ細かい指導や支援を行うことができました。

特別支援を必要とする児童生徒のニーズに応じて、特別支援教育支援員を配置しました。また、支援員の資質向上を図るための特別支援教育支援員研修会を開催しました。さらに、巡回相談員による発達相談を実施し、児童生徒一人一人に適した支援について指導・助言を行いました。

(2) 目標項目の達成状況

全国学力・学習状況調査による「基礎基本の問題（A問題）の平均正答率」及び「活用が中心となる問題（B問題）の平均正答率」については、小学校6年生、中学校3年生共に策定時(平成23年度)から平成29年度まで、年度により上下はありましたが、国語、算数・数学共に全国・県平均と比較して概ねほぼ同じでした（表2参照）。

千葉県標準学力検査の平均正答率については、小学校6年生、中学校3年生共に策定時（平成23年度）から平成27年度まで、年度により上下はありましたが、どの教科も県平均と比較して概ねほぼ同じでした。また、平成28年度以降は、小学校6年生、中学校3年生共に全ての教科で県平均をやや上回りました（表2参照）。

全国学力・学習状況調査（年度初め）の結果と千葉県標準学力検査（年度末）の結果を比較すると、特に平成28年度以降は全国学力・学習状況調査と比べ千葉県標準学力検査の結果で県平均を上回っており、学力が向上しその結果が表れたものと思われま

す。英語検定3級程度の比率については、平成25年度の21.0%から上昇傾向にあり、平成29年度は英検3級以上の取得率が45.0%、英検3級程度の英語力を有する生徒の比率が67.6%となりました。このことから、外国語教育については、その年によって学力に差があるものの、上昇傾向にあることがわかりました。

「将来の夢や目標を持っていますか」との質問についての肯定的な回答の割合は、小学校6年生、中学校3年生共に高い比率で推移しております。このことから、年度によって多少の変動はあるものの、将来に対しては概ね明るい展望があることがわかりました。

表 2

| 目標項目 | | 現状 (計画策定時) | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 | 28 年度 | 29 年度 | 目標 30年度 |
|---|-----------|---------------------------|----------------|----------------|---------------|---------------|----------------|--------------|
| 基礎基本の問題 の平均正答率 【全国学力・学習状況調査】 | 小学校 6年 | 全国平均と ほぼ同じ (21年度) | 全国平均を やや下回る | 全国平均と ほぼ同じ | 全国平均と ほぼ同じ | 全国平均と ほぼ同じ | 全国平均と ほぼ同じ | 全国平均を 上回る |
| | 中学校 3年 | 全国平均と ほぼ同じ (21年度) | 全国平均と ほぼ同じ | 全国平均を 上回る | 全国平均と ほぼ同じ | 全国平均と ほぼ同じ | 全国平均を 下回る | 全国平均を 上回る |
| 活用が中心と なる問題の平 均正答率 【全国学力・学習状況調査】 | 小学校 6年 | 全国平均と ほぼ同じ (21年度) | 全国平均と ほぼ同じ | 全国平均を やや上回る | 全国平均と ほぼ同じ | 全国平均と ほぼ同じ | 全国平均と ほぼ同じ | 全国平均を 上回る |
| | 中学校 3年 | 全国平均と ほぼ同じ (21年度) | 全国平均と ほぼ同じ | 全国平均を 上回る | 全国平均と ほぼ同じ | 全国平均を 下回る | 全国平均を やや下回る | 全国平均を 上回る |
| 千葉県標準学力 検査の平均得点 (各学年各教科において) | 小学校 | 県平均と ほぼ同じ (21～23年度) | 県平均と ほぼ同じ | 県平均と ほぼ同じ | 県平均と ほぼ同じ | 県平均と ほぼ同じ | 県平均と ほぼ同じ | 県平均を 上回る |
| | 中学校 | 県平均と ほぼ同じ (21～23年度) | 県平均と ほぼ同じ | 県平均と ほぼ同じ | 県平均と ほぼ同じ | 県平均を 上回る | 県平均を 上回る | 県平均を 上回る |
| 英語検定3級 程度の取得率 (中学校卒業まで) | 中学校 3年 | 21% (23年度) | 23.1% | 36.2% | 40.2% | 29.1% | 45.0% | 50%以上 |
| 学校図書館での 年間貸し出し冊数 (1人当たり) | 小学校 | 25.7冊 (22年度) | 28.1冊 | 33.2冊 | 37.5冊 | 34.9冊 | 39.9冊 | 30冊以上 |
| | 中学校 | 3.4冊 (22年度) | 4.8冊 | 6.3冊 | 7.8冊 | 7.9冊 | 9.3冊 | 10冊以上 |
| 「将来の夢や 目標を持って いますか」の問 いに対する 肯定的な回答 【全国学力・学習状況調査】 | 小学校 6年 | 85.8% (21年度) | 87.6% | 84.6% | 85.2% | 84.9% | 85.3% | 100% |
| | 中学校 3年 | 74.3% (21年度) | 76% | 74.6% | 75.9% | 68.9% | 71.0% | 100% |

(3) 今後の課題

①魅力ある授業を推進します

少人数学級推進教員を配置するための優秀な人材を確保するため、さらなる検討が必要です。

授業力向上や小中一貫教育推進のために他校参観を全教職員に推奨しています。参観率100%に向けて、その意義や効果を周知徹底していく必要があります。また、授業において、「ねらいに応じた適切な活動であるか」を常に見極め、児童生徒の実態から、児童生徒に「つけたい力」を明確にし、それに適した学習活動をいかに設定していくかが課題です。

②夢を育む教育、外国語教育等多様な学びを推進します

キャリア教育については、小中一貫教育の視点から学校や地域の実態に合わせて、義務教育9年間を見通すとともに、児童生徒一人一人の職業的・社会的自立に向けて、キャリア発達に必要な基盤となる能力や資質を育てるための学習計画を立案する必要があります。

英語検定試験の3級程度の取得率は計画策定時から増加傾向にありますが、今後も更なる向上に努めることが必要です。また、市内全ての中学校で生徒が積極的に受験できるよう働きかけることも重要です。

コンピュータ機器やネットワークの整備については、今後パソコン機器、ネットワーク環境（通信速度や容量等）の更新に対応する必要があります。

③学校教育を充実させるための支援を行います

家庭学習について、小中一貫教育推進の中で、各中学校区の実態を踏まえた共通指導事項を整理して、すすめ方をまとめた手引き等を作成し配付するなど周知を図る必要があります。

特別支援教育支援員の配置と巡回相談員の派遣については、引き続き学校からの要望に十分応えられるための支援や相談体制の整備を検討する必要があります。

基本方針 3

教師と子どもが深い信頼関係で結ばれた学校づくりを進めます

(1) これまでの取り組みと成果

①信頼される教職員の育成を図ります

発見や考察、発明、研究等の有益な成果が教育振興に貢献し、特に功労として認められる教員、または本市の学校教育の振興に尽力し、功績として認められる教員等を表彰するために、教育委員会表彰の規程を見直しました。

教職員のメンタルヘルスケアの促進について、定期健康診断だけではなく、各校に配置している教職員保健管理医による健康相談やモラールアップ委員会を開催し、教職員の心身の健康維持や良質な職場環境づくりに取り組むことができました。

外国籍児童生徒への語学指導については、学校からの要請に応じて語学指導員を派遣するとともに、市国際交流協会と連携をとりながら、日本語指導ボランティアを派遣するなど、必要な支援を迅速に行いました。

生徒指導補充教員を必要とされる学校に派遣したことで、学級担任や教科担任等と連携しながら、きめ細かい指導や支援を行うことができました。また、校務支援システムを平成28年度に全校へ導入、平成29年度から全面運用を開始し、出席簿、指導要録、健康診断票作成等事務処理の効率化を図ることで、児童生徒と向き合う時間を確保することができました。

②地域とともにある学校づくりを推進します

全校に学校評議員を置き、地域住民等の意見を幅広く聴取することで、多面的な視野から学校運営を見直しました。

各校に1名ずつ委嘱している地域コーディネーターを対象とした地域コーディネーター会議を開催し、各校の実践発表をもとに協議や情報交換を行うなど、事業の趣旨等について理解を深めることができました。

学校支援コーディネーター^(※7)を学校で行われている学校支援推進会議に派遣することで、各校の状況を把握し、学校の実態に応じて「地域とともにある学校づくり」を推進することができました。また、各校に学校支援地域本部事業のガイドブック「地域の学校応援団」を配付するなど、事業の趣旨や内容が理解されるよう努めました。

子どもたちにとってより良い教育環境を提供し、一層の教育効果の向上を図るために、学区審議会を開催し、通学区域の適正化に努めました。

③安全・安心な学校づくりを推進します

平成27年7月に「市通学路交通安全プログラム」を策定しました。このプログラムに基づき、家庭・学校・地域・関係機関と連携し、毎年7月に通学路の合同点検を実施することで、児童生徒の通学途中での危険箇所解消に努めました。

児童の安全を守るために、小学校1年生全員に防犯ブザー及びランドセルカバーを配付したほか、緊急搬送用自動車としてタクシーを借り上げることで、児童生徒への速や

かな受診対応や各検診の未受診者の受診機会の確保等、より実効性を高めた安全体制を確立しました。

各校の実情に合わせて、交通安全教室、保護者や地域の人による登下校時の見守り、不審者対応訓練を行うなど児童生徒の安全確保に努めました。

各校で実践的な避難訓練や様々な場面を想定したワンポイント避難訓練などを複数回実施することで、児童生徒の危機対応能力や危機回避能力など、危機に対応する意識を高めることができました。

学校施設では、補修、修繕、法定点検等を行い、施設の適切な維持保全に努めました。また、栗山小学校校舎の改築工事及び旭中学校、千代田中学校、四街道西中学校の武道場改築工事の実施により、市内小中学校施設の耐震化率100%を平成27年度に達成しました。

空調設備設置については平成28年度から13年間の賃貸借契約により全校の普通教室及び特別支援教室に設置し、授業に集中できる教育環境の整備を図ることができました。また、普通教室及び特別支援教室が増加した場合は、別途空調設備を設置しました。

※7 学校支援コーディネーターは、学校支援地域本部の推進・調整役として各校を支援する。主な職務は地域コーディネーター会議の企画・運営や地域コーディネーターへの助言など

(2) 目標項目の達成状況

不登校児童生徒の出現率（在籍児童生徒数に占める不登校児童生徒数の割合）については、年度によって増減があるものの、ほぼ横ばいに推移しています。

このことから、登校率が特に中学校で一時的に改善傾向が見られるなど、相談業務をはじめ様々な事業を実施することにより、一定の成果が表れたが、引き続き不登校児童生徒の減少に努める対策が必要であると思われます。（表3参照）。

また、教職員に対し「直近1年間でストレスが増えているか」との質問に「増えた」と回答した比率は、小学校では平成23年度の41.5%から平成29年度は41.0%に、中学校では平成23年度の41.3%から平成29年度は43.7%となりました（表3参照）。

このことから、教職員の負担を軽減する様々な事業を実施した結果、ストレスを抑止する効果が少しずつ表れたものの、さらに改善すべき策を講じる必要があると思われます。

表 3

| 目標項目 | | 現状 (計画策定時) | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 | 28 年度 | 29 年度 | 目標 30 年度 |
|--|------------|------------------|----------|----------|-------------|----------|-------------|-------------|
| 「学校が楽しいか」という問いに対する肯定的な回答 【小5、中2対象アンケート調査】 | 小学校 5 年 | 90.0% (23 年度) | 80.8% | 86.7% | 86.5% | 調査なし | ※9 88.9% | 95%以上 |
| | 中学校 2 年 | 81.7% (23 年度) | 78.1% | 79.1% | 80.2% | 調査なし | ※9 83.3% | 90%以上 |
| 不登校児童生徒の出現率（在籍児童生徒数に占める不登校児童生徒数の割合） | 小学校 | 0.26% (23 年度) | 0.20% | 0.34% | 0.38% | 0.46% | 0.47% | 0% |
| | 中学校 | 2.60% (23 年度) | 3.04% | 3.26% | 2.48% | 2.24% | 2.66% | 2%以下 |
| 「直近1年間でストレスが増えているか」という問いに対し「増えた」との回答 【市内教職員アンケート調査】 | 小学校 | 41.5% (23 年度) | 調査なし | 調査なし | ※8 35.7% | 調査なし | ※9 41.0% | 20%以下 |
| | 中学校 | 41.3% (23 年度) | 調査なし | 調査なし | ※8 30.1% | 調査なし | ※9 43.7% | 20%以下 |
| 学校施設の耐震化率 | | 89.2% (23 年度) | 95.1% | 95.1% | 100% | 100% | 100% | 100% |

※8 平成28年2月に市内小学校5年生及び中学校2年生を対象に実施した教育振興基本計画に係る中間アンケートの結果

※9 平成29年12月に市内小学校5年生及び中学校2年生を対象に実施した教育振興基本計画に係るアンケートの結果

(3) 今後の課題

①信頼される教職員の育成を図ります

教職員に対して、資質向上のために研修の参加を促すとともに、多くの教職員がそのときどきに必要な教育課題について考え、実行力をつけることができる研修プログラムを開発する必要があります。また、支援が必要な外国籍児童生徒への語学指導員の確保についても課題です。

②地域とともにある学校づくりを推進します

学校支援地域本部事業では、各校の地域コーディネーターを中心に多くのボランティアによって様々な学校支援活動を行っていますが、引き続き地域の実情に応じた事業を展開する必要があります。

③安全・安心な学校づくりを推進します

「市通学路交通安全プログラム」に基づき、引き続き関係機関と連携して危険箇所の解消に努めるとともに、地域や関連機関と連携した防災教育を推進する必要があります。

学校ごとに作成している「危機管理マニュアル」について、学校の実態に応じた点検や見直しを行う必要があります。

校舎全体の大規模な改造については「市公共施設等総合管理計画」に基づき、今後の人口推計などを踏まえ計画的に実施する必要があります。

基本方針 4

自己実現を目指す市民の学習・スポーツ活動を支援します

(1) これまでの取り組みと成果

①生涯学習活動、地域づくりのための生涯学習環境の整備を図ります

和良比小学校と四街道中学校の特別教室を空き時間に開放することで、社会教育活動や文化活動の場を提供することができました。

社会教育関係団体や、青少年関係団体に補助金を交付することで、団体の活動の活性化を図ることができました。

市内3公民館を平成26年度から指定管理者による管理運営に移行したことで、施設・設備の管理業務委託や、経年劣化した施設の維持補修に取り組むなど、施設管理に特化した効率的な運営に努めることができました。また、平成28年度より主催事業についても委託したことで、新たな視点で講座内容の見直しを図られるなど、各公民館で特徴ある講座を開催することができました。

図書館の管理運営について、平成25年度から窓口業務等の一部を業務委託することで効率的な運営を行うとともに、開館日数の増加等により市民サービスの向上に努めることができました。また、四街道北高等学校との連携による図書委員のおすすめ本ポスター展示等、特色あるテーマ展示により、蔵書の利用促進と市民の読書意欲の喚起に努めました。

市民から図書館内での学習室設置の要望に伴い、文化センターの会議室を通年で借り上げ、学習室として開設することで、多くの市民が集中して学習する機会を提供できました。また、平成28年度より、小中高校生を対象とした学習室「えんぴつルーム」を開設し、夏休み等の長期期間中に児童生徒が集中して自習できる場所を提供できました。

3～4か月児相談時に絵本を贈る「はじめまして、絵本」やおはなし会、ミニ講座等を通して、子どもたちへの読書普及活動を行うことができました。

「市子ども読書活動推進計画（第三次）」による学校訪問を通して図書館と小中学校図書館との連携が深まり、学校司書の活動を支援することができました。

②心身ともに健康な生活を送るためのスポーツ振興を推進します

小学校の校庭及び小中学校の体育館を開放することで、地域の子どもから高齢者まで様々な人たちが、スポーツ活動を通して地域住民相互の交流促進や体力向上、健康の維持増進につなげることができました。

市主催の各種スポーツ教室を開催することで、子どもから高齢者まで幅広い世代の人たちに体力向上、健康づくりの機会を提供することができました。また、市民のニーズに応じたスポーツ指導者を紹介する制度として平成26年度から開始したスポーツリーダーバンク制度によるスポーツリーダーバンク登録指導者を講師として活用するなど、人材活用に努めました。

地域のスポーツ活動の拠点として総合公園体育館等で活動している総合型スポーツクラブ四街道SSCについて、安定した運営ができるよう施設面等に対し支援をすることで、地域に根ざしたスポーツ活動を奨励することができました。

③高等教育機関等との連携と地域人材の育成・活用を推進します

高等教育機関等との連携として、市内や近隣にある大学と共催で市民大学講座の専門課程及びパソコン講習会を開催し、市民に高度かつ専門的な知識を習得する学習機会を提供することができました。

市民大学講座の一般課程については、市民が主体的に学ぶことができる講座をみんなで地域づくりセンター等と連携することで、地域人材の育成と市民活動の活性化を図りました。また、市民大学講座で学んだ受講者をまちづくりに貢献できる人材として活用することで、学習したことを具現化できる機会を提供することができました。

生涯学習生きがいがづくりアシスト事業については、市民がこれまで得た知識や技術をほかの市民に伝授すべく、学習支援ボランティアとして登録した市民を講師として派遣することで、「教えたい」市民を「学びたい」市民に紹介するなど、地域人材の活用を図ることができました。

(2) 目標項目の達成状況

「生涯学習活動に取り組んでいる人」の割合は平成18年度の67.3%でしたが、平成29年度は71.5%にまで上昇しました。また、「週1回以上運動をする成人」の割合は平成23年度の48.8%で、平成29年度は51.4%にまで上昇し半数を超えました(表4参照)。

公民館利用者数は平成23年度の167,178人から四街道公民館の補修工事などで開館日数が少ない平成25年度を除いては、16万人台で推移しており、ほぼ横ばいの状況となっています(表4参照)。

図書館利用者数については、平成23年度は93,300人でしたが、開館日数を増やしたことで、ここ数年は10万人を超えており、計画策定時に設定した目標数値(100,000人)を大幅に上回っています(表4参照)。

このことから、公民館については利用者数の増減は大きくないものの、利用団体によるサークル活動は引き続き活発であり、アンケート結果での「生涯学習に取り組む人」の高い割合や、公民館等施設での「市主催講座や教室数の増加」、「休日や夜間などの講座の充実」などの要望が多いことから、今後もニーズは拡大するものと考えます。また、図書館については、市民に関心のある事業等を実施することで、今後もさらに利用者が増加するものと思われます。

表 4

| 目標項目 | 現状 (計画策定時) | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 | 28 年度 | 29 年度 | 目標 30年度 |
|-----------------|-----------------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 生涯学習活動に取り組んでいる人 | 67.3% (18年度) | 調査なし | 調査なし | ※10 70.9% | 調査なし | ※11 71.5% | 70%以上 |
| 公民館利用者数 | 167,178人 (1日当たり165人) (23年度) | 149,324人 (170人) | 165,159人 (172人) | 168,630人 (166人) | 162,436人 (160人) | 163,296人 (161人) | 177,300人 (175人) |
| 図書館利用者数 | 93,300人 (1日当たり323人) (23年度) | 100,358人 (306人) | 100,527人 (312人) | 114,696人 (348人) | 110,371人 (336人) | 109,605人 (334人) | 100,000人 (346人) |
| 図書貸出冊数 | 353,591冊 (1人当たり3.8冊) (23年度) | 369,079冊 (3.7冊) | 364,693冊 (3.6冊) | 365,558冊 (3.2冊) | 357,203冊 (3.2冊) | 358,847冊 (3.3冊) | 400,000冊 (4.0冊) |
| 週1回以上運動をする成人 | 48.8% (23年度) | 調査なし | 調査なし | ※10 45.6% | 調査なし | ※11 51.4% | 60% |

※10 平成28年2月に市内小学校5年生及び中学校2年生を対象に実施した教育振興基本計画に係る中間アンケートの結果

※11 平成29年12月に市内小学校5年生及び中学校2年生を対象に実施した教育振興基本計画に係るアンケートの結果

(3) 今後の課題

①生涯学習活動、地域づくりのための生涯学習環境の整備を図ります

公民館事業については、幅広い世代の市民が興味・関心をもち、学習意欲を高めることができる講座を開設できるよう工夫する必要があります。

図書館で管理している視聴覚機材・教材について、管理や今後の運用方針等について検討する必要があります。

②心身ともに健康な生活を送るためのスポーツ振興を推進します

スポーツ関連の公共施設に関して、経年劣化に伴う補修・修繕等の施設整備を進め、安全かつ快適な施設維持に努めていく必要があります。

スポーツリーダーバンク登録者の確保と制度の周知が必要です。また、スポーツリーダーバンク登録者制度を活用して、「教えたが」市民が「学びたい」市民にスポーツ指導を行える環境を整備するなど、さらなる人材の有効活用に努める必要があります。

総合型スポーツクラブ四街道SSCについては、会員の確保と安定した財政力の確保に向け、総合公園体育館以外での拠点づくりなど、より自立した運営ができるよう支援に努める必要があります。

体育協会に関しては、市民が参加しやすい各種大会や教室が開けるよう働きかけるほか、より自立した運営ができるよう支援に努める必要があります。

③高等教育機関等との連携と地域人材の育成・活用を推進します

市民大学講座については、受講後に市民活動へ参加するボランティアに登録してもらえるようなカリキュラムを検討する必要があります。

生涯学習生きがいがづくりアシスト事業では、ボランティア登録する市民が増加するよう、多面的に検討する必要があります。

基本方針 5

豊かな自然や先人の創り上げた伝統文化を受け継ぎ、新しい文化を創造する市民活動を支援します

(1) これまでの取り組みと成果

①四街道の豊かな自然を大切に思う心の醸成を図ります

社会科副読本「わたしたちの四街道」について、学習指導要領の改訂を踏まえて大幅に改定するなど、学習指導要領に合わせた副読本を刊行しました。また、見学・体験を通して学ぶことができる場を提供するために小学校3、4年生の地域学習用のバスの借上げを実施しました。

本市産の野菜を使用した「四街道カレー」を全校で実施するなど、四街道の地場産物を活用した給食の提供や料理教室等を開催することで、食べ物の大切さや生産者に対する感謝の気持ちを育み、食を通したふるさと四街道への愛着を醸成することができました。

②地域や日本の伝統文化の継承を推進していきます

各小学校に市歴史民俗資料室見学のモデル案を示すほか、鹿放ヶ丘ふれあいセンター開拓資料室の見学や、民具等を使った出前授業など、歴史民俗資料を社会科授業で活用することで、ふるさと四街道に関する学習の充実を図ることができました。

「よつかいどう文化財散歩」や「子どもカイク教室」などの事業を開催し、多くの市民が参加したことで、地域の歴史・文化についての学習機会を提供することができました。

地域遺産の保護・保存と継承については、埋蔵文化財包蔵地の保護や、遺跡の分布調査等を行い、文化財の保護や遺跡の保存に努めました。また、市史編さんに関しては、歴史資料の収集や市内旧家古文書の整理・保存等を行い、逐次「四街道の歴史」を刊行することができました。

③四街道の新しい文化の創造を支える市民活動を支援します

市民文化祭の開催や、市役所第二庁舎1階を市民ギャラリーとして開放するなど、市民の芸術文化活動の成果を発表する機会や、市民が身近に芸術文化に触れ合う場を提供することができました。

市民団体との共催で市民ミュージカルをはじめ、市民演劇公演や郷土作家展、子どもミュージカルを開催するとともに、団体に対して芸術文化振興助成金を交付するなど市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供することができました。また、多くの市民が芸術文化に対する関心や興味を持つきっかけをつくることができました。

(2) 目標項目の達成状況

歴史民俗資料室等の来場者数については、市歴史民俗資料室のスペースに限りがあるため、児童数が多い学校などについては市歴史民俗資料室を訪問せずに、職員が直接学

校へ出向いて民具等を使った出前授業等を行うなど、状況に応じた方法で歴史民俗に関する学習機会を提供しています。

芸術文化公演事業等の来場者数は、平成23年度の2,700人から平成29年度は2,309人、市民文化祭への参加団体数は、平成23年度の162団体から平成29年度は151団体となりました（表5参照）。これは、市民の価値観やライフスタイルが多様化し、市民の生涯学習や芸術文化に対する意識や活動の場が広がったことが主な要因であると思われます。また、市民文化祭の参加者数については、様々な企画事業等に取り組んだことにより増加傾向にあります。

表5

| 目標項目 | 現状 (計画策定時) | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 | 28 年度 | 29 年度 | 目標 30年度 |
|----------------|------------------|----------|----------|----------|----------|----------|------------|
| 歴史民俗資料室等の来場者数 | 705人 (23年度) | 1,846人 | 1,653人 | 1,957人 | 1,091人 | 1,277人 | 1,500人 |
| 芸術文化公演事業等の来場者数 | 2,700人 (23年度) | 2,359人 | 2,469人 | 2,432人 | 2,247人 | 2,309人 | 4,000人 |
| 市民文化祭への参加団体数 | 162団体 (23年度) | 158団体 | 173団体 | 169団体 | 155団体 | 151団体 | 180団体 |

(3) 今後の課題

①四街道の豊かな自然を大切に思う心の醸成を図ります

地場産物を使った給食の献立をさらに増やし、児童生徒に食を通してふるさと意識の醸成を推進する必要があります。

②地域や日本の伝統文化の継承を推進していきます

小学校3、4年生が行う地域学習などで市歴史民俗資料室を活用するよう引き続き働きかける必要があります。

「市史編さん基本方針」をもとに「四街道の歴史」の続編を計画通り刊行できるよう体制を整える必要があります。

文化財を保存・展示し、市民が見学・学習できるスペース「歴史民俗資料館」の整備について引き続き検討する必要があります。

③四街道の新しい文化の創造を支える市民活動を支援します

市芸術文化団体連絡協議会の活動に対しては、協議会とさらなる調整を図ることにより、市民向けの体験学習や講習会の実施について一層の支援を図る必要があります。

基本方針 6

家庭・学校・地域のもつ教育力を高め合い、三者が連携する体制づくりを進めます

(1) これまでの取り組みと成果

①家庭の教育力の向上のため、保護者への支援及び地域と連携した事業を推進します

小中学校への入学を控えた児童の保護者を対象に、子育て学習講座を全校で開催することで、家庭教育の重要性を学ぶ機会を提供することができました。また、PTAと共同で地域・家庭教育学級を開催し、家庭と地域の教育力を高めるきっかけをつくることができました。

②子どもたちが健全に育つ環境づくりを推進します

青少年健全育成を推進するために青少年問題協議会を開催し、青少年の健全育成、指導について活発な議論を行うことができました。また、青少年健全育成推進大会を市・青少年問題協議会・教育委員会の主催により毎年実施し、その中で青少年健全育成功労表彰や少年の主張、青少年健全育成キャンペーンなどを行うことで、青少年健全育成意識の醸成を図ることができました。

放課後や週末に子どもたちの安全・安心な居場所として、放課後子ども教室「あそびの城」「まじゅりんこ」「出会い体験夢ひろば」「にこにこ文庫さとの子会」をそれぞれ4つの団体に運営を委託しました。地域の方々の協力を得ながら子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することができました。

青少年体験活動実行委員会と共催で通学合宿を各公民館で行い、参加者や保護者から、参加・体験したことによって様々な面で成長できたとの感想が上がるなど、児童が健やかにたくましく育つ機会を提供することができました。

「新成人のつどい」を成人式実行委員会（市内在住の有志19歳と20歳による構成）と毎年共催することにより、実行委員によるアイデアを取り入れるなど、成人をお祝いする行事として支援することができました。

青少年補導委員及び青少年育成センター所員、地域の高校生等が参加した「愛の一声」運動や有害ビラの撤去などの環境浄化活動を行ったことで、青少年とのコミュニケーションを通して非行の早期発見、未然防止を図ることができました。また、児童生徒を対象に、青少年育成センター2階会議室をオープンスペースとして開放し、子どもたちの安全安心な居場所として提供することができました。

③家庭・学校・地域が連携した事業を推進します

地域コーディネーターを中心に、学習支援ボランティア、環境整備ボランティア、交通安全指導ボランティア等を募集し、学校の教育活動に参加したことで、地域住民の生きがいに寄与するとともに、様々な場面で学校の教育活動の充実を図ることができました。

不審者情報を迅速に提供するために、「よめーる」の配信による不審者情報の発信や、PTAとの連携による「こども110番の家」活動の周知・参加の呼びかけなど、地域社会で子どもの安全を見守る活動を推進することができました。

(2) 目標項目の達成状況

「近所の人に会った時は、挨拶をしているか」と質問したところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合が、小学生では平成21年度は89.1%、平成29年度は88.3%、中学生では平成21年度は79.9%、平成29年度は80.9%と高い割合で推移しています（表6参照）。

「こども110番の家」登録件数は、平成23年度の2,401件から平成29年度には2,917件に増加しました（表6参照）。

「市民一人一人が子どもを見守っている」の割合については、平成23年度が34.5%、平成29年度は32.5%とほぼ横ばいに推移しています（表6参照）。

このことから、こども110番の家の登録件数が増加しているなど、組織的な取組としての見守り活動は増えているものの、日常生活におけるあいさつや注意喚起の声かけなどのかかわりについては概ね変わりがないことがうかがえます。

表6

| 目標項目 | | 現状 (計画策定時) | 25 年度 | 26 年度 | 27 年度 | 28 年度 | 29 年度 | 目標 30年度 |
|---|-----------|------------------|----------|----------|--------------|----------|--------------|------------|
| 「近所の人に会った時は、挨拶をしているか」の問いに対する肯定的な回答 【全国学力・学習状況調査】 | 小学校 6年 | 89.1% (21年度) | 調査なし | 調査なし | ※12 87.3% | 調査なし | ※13 88.3% | 100% |
| | 中学校 3年 | 79.9% (21年度) | 調査なし | 調査なし | ※12 80.2% | 調査なし | ※13 80.9% | 100% |
| 放課後や休日の子どもの居場所づくり | | 3か所 (23年度) | 3か所 | 3か所 | 3か所 | 4か所 | 4か所 | 5か所 |
| 「こども110番の家」登録件数 | | 2,401件 (23年度) | 2,553件 | 2,680件 | 2,777件 | 2,872件 | 2,917件 | 3,000件 |
| 市民一人一人が子どもを見守っている | | 34.5% (23年度) | 調査なし | 調査なし | ※12 28.5% | 調査なし | ※13 32.5% | 50% |

※12 平成28年2月に市内小学校5年生及び中学校2年生を対象に実施した教育振興基本計画に係る中間アンケートの結果

※13 平成29年12月に市内小学校5年生及び中学校2年生を対象に実施した教育振興基本計画に係るアンケートの結果

(3) 今後の課題

①家庭の教育力の向上のため、保護者への支援及び地域と連携した事業を推進します

地域・家庭教育学級については、事業の周知をするだけでなく講座の内容を一層充実させるなど、家庭や地域の教育力をさらに高めていく必要があります。

②子どもたちが健全に育つ環境づくりを推進します

青少年健全育成キャンペーン等を通して、啓発活動を行うなど多くの市民に青少年健全育成の意義をさらに普及する必要があります。

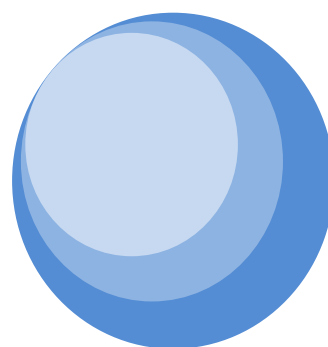
放課後や休日の子どもの居場所づくりをさらに進め、委託団体との協力により子どもを見守り育てる場所を拡大する必要があります。

青少年育成支援では、青少年が活動する地域の実態を把握し、環境浄化活動の範囲や実施回数を拡大していくことを検討する必要があります。

③家庭・学校・地域が連携した事業を推進します

学校支援については、どの学校においても教育活動を支援するボランティアが積極的に参加し、教育活動が円滑に運営できるよう支援する必要があります。

第5章 基本方針と主な施策



第5章 基本方針と主な施策

1 今後5年間の基本方針

「四街道市の教育が目指す姿」を実現するため、今後5年間に取り組む6つの方針を掲げます。

基本方針 1

豊かな感性を育み、強い心で正義を尊ぶ、たくましい子どもを育てます

基本方針 2

確かな学力を身につけた子どもを育てます

基本方針 3

教師と子どもが深い信頼関係で結ばれた学校づくりを進めます

基本方針 4

自己実現を目指す市民の生涯学習・スポーツ活動を支援し、地域人材を育成します

基本方針 5

豊かな自然や先人の創り上げた伝統文化を受け継ぎ、新しい文化を創造する芸術文化活動を支援します

基本方針 6

家庭・学校・地域のもつ教育力を高め合い、三者が連携する体制づくりを進めます

2 基本方針と主な施策

今後5年間に取り組む6つの方針について、それぞれの現状と課題、施策の方向性、目標の設定、主な施策について示します。

基本方針 1

豊かな感性を育み、強い心で正義を尊ぶ、たくましい子どもを育てます

(1) 現状と課題

本市の小中学校では、自尊感情を育むとともに、思いやる心と強い心の育成を目指し、道徳教育の充実に努めています。また、子どもたちの人権意識の高揚のための指導を重視し、高い人権意識をもって人とかかわる力を育てることを目指しています。

本市はスクールカウンセラーを学校に配置するとともにスクールソーシャルワーカーを青少年育成センターに配置することで、児童生徒や保護者、教職員に対する相談体制の充実に努めました。今後は、長期欠席児童生徒への対応をはじめ、様々なニーズに応じた相談体制をどのように拡充させるか検討する必要があります。また、いじめ防止対策については、引き続きいじめの早期発見、早期解消や継続事案など解決に向けて取り組む必要があります。

健康・スポーツ面では、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果で体力合計点が小学生・中学生男女共に全国平均、県平均を上回っていますが、その内容を分析し、さらに向上に努める必要があります。そのため、子どもの体力向上や、食育と健康教育を推進します。

特別支援教育については、本市には様々な校種の学校が数多くあり、市内にある保育所（園）、幼稚園や高等学校、大学、特別支援学校など教育機関とのネットワークを構築しました。今後そのネットワークを活用して、特別な支援を必要とする児童生徒一人一人に応じた適切な支援を行うために、個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成、活用を推進します。

(2) 施策の方向性

- ①豊かな感性を育む教育を推進します
- ②強い心と正義感を育成します
- ③たくましい子どもを育成します
- ④保幼・小・中・高・大・特別支援学校等の教育機関の連携を推進します

(3) 目標の設定

| 目 標 項 目 | 現 状 | 目標 (平成35年度) |
|--|---|-------------|
| 「人の気持ちがわかる人間になりたいと思う」という質問に対し、『そう思う』『どちらかといえばそう思う』 | 小学生 91.7% 中学生 93.5% (平成29年度) | 増加を目指します |
| 「人が困っているときは、進んで助けますか」という質問に対し、『そう思う』『どちらかといえば思う』 | 小学生 84.7% 中学生 83.7% (平成29年度) | 増加を目指します |
| 新体力テストの結果における運動能力証交付率 | 小学校男女 33% 中学校男子 15% 中学校女子 41% (平成29年度) | 増加を目指します |
| スポーツ、芸術分野での活躍した人数 (国際大会等で) | 2人 (平成29年度) | 増加を目指します |
| 「学校のきまり・規則、友だちとの約束を守っている」という質問に対し、『そう思う』『どちらかといえば思う』 | 小学生 90.7% 中学生 94.5% (平成29年度) | 増加を目指します |
| 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という質問に対し、『そう思う』『どちらかといえば思う』 | 小学生 95.9% 中学生 92.6% (平成29年度) | 増加を目指します |

(4) 主な施策

①豊かな感性を育む教育を推進します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|-----------------------|--|
| 1 | 心がわくわくする 体験的な学習の充実 | 子どもの感性を磨き、豊かな心を育むために、様々なかかわりを通して学ぶ体験的な学習を推進します。 |
| 2 | 豊かな心を育む読 書活動の推進 | 「市子ども読書活動推進計画」に基づき、司書教諭を中心に、教職員と学校司書とが連携し、学校図書館を活用した授業の推進を図るとともに、児童生徒の発達段階に応じた適切な本の紹介を行うなど、本の魅力を伝える活動を推進します。 また、学校図書館システムを活用し、蔵書等の図書環境の充実に努めるとともに、学校と図書館、学校間のネットワーク化を推進します。 |

②強い心と正義感を育成します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|-----------------|---|
| 1 | 自尊感情の育成 | 授業や部活動等、日々の学校生活の様々な場面で、子どもたち一人一人が、「人の役に立っている」「人から必要とされている」といった自己有用感、「できた」「やり遂げた」といった自信等を、実感として味わえる教育活動の充実に努めます。 また、道徳科を中心として、他者への思いやりの心や感謝の気持ちなどの育成にも力を入れ、豊かな体験を通して感性を磨き、より良い生き方を追求できるよう支援します。 |
| 2 | 正義感・規範意識の 育成 | 道徳教育をはじめ、様々な教育活動を通して、偏見や差別のない心、正義感などを育む人権教育の充実に図ります。 いじめ問題に対しては、「市いじめ防止基本方針」をもとに、「いじめは絶対に許されない」との認識のもと、いじめの未然防止や早期発見、早期対応を可能にするため、家庭・学校・地域・関係機関等が連携し、「いじめを許さない学校づくり」を進めます。また、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーと連携し、相談支援体制の充実に努めます。さらに、組織的な生徒指導体制の確立と家庭との連携のもと、規範意識を育成し、子どもたち一人一人が自分で考え、判断し、行動する能力を身に付けられるようにします。 |

③たくましい子どもを育成します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|-------------|--|
| 1 | 子どもの体力向上の推進 | <p>学校生活全般における体育的活動の充実を図るとともに、心身共にたくましい子どもを育成するために、運動部活動が充実するよう支援を行います。</p> <p>また、専門知識・技能を有する外部指導者を小中学校に派遣し、競技力の向上と教職員の指導力向上を図ることで、スポーツの楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって豊かな運動習慣を身に付けた子どもの育成を目指します。</p> |
| 2 | 食育と健康教育の推進 | <p>子どもたちが、正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるように、食に関する指導の充実を図るとともに、親子で一緒に調理を体験する機会をつくるなど、食や料理への関心、食材や調理する人への感謝の気持ちを育成します。</p> <p>また、生涯にわたって健康で充実した生活を営む能力を身に付けるため、健康の維持増進に必要な継続的な運動や心の健康保持、望ましい生活習慣を身に付ける活動を推進します。</p> |

④保幼・小・中・高・大・特別支援学校等の教育機関の連携を推進します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|------------------|---|
| 1 | 異校種・教育機関との連携推進 | <p>保育所（園）、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学そして特別支援学校という多様な校種が市内にあり、その教育環境を有効に活用し、発達段階に応じた継続的な指導を実施するとともに、校種間の連携を通して教育活動の充実を図ります。</p> <p>また、人格形成の基礎を培う幼児教育の推進のために、保育所（園）や幼稚園と小学校の連携を支援します。</p> |
| 2 | 一人一人が輝く特別支援教育の推進 | <p>長年培ってきた特別支援教育の成果を生かし、就学前から義務教育終了後も含めた生涯にわたる途切れのない支援を目指して、保幼・小・中・高・特別支援学校、関係機関が一体となる支援体制を推進します。</p> <p>また、この体制をもとにした学校内外の交流及び共同学習や、特別支援学校に在籍する子どもが、居住する地域で学ぶ居住地校交流を支援します。</p> |

基本方針 2

確かな学力を身につけた子どもを育てます

(1) 現状と課題

本市では、学校で子どもの学力に応じた基礎的・基本的な知識・技能を習得させることや、家庭学習を柱とした日常的な学習習慣確立のための生活改善を図ることに努めています。

確かな学力を身につけるために、児童生徒を対象とした全国学力・学習状況調査や、千葉県標準学力検査を活用することで、児童生徒の実態に応じた学力向上への取組を充実させる必要があります。また、教職員の授業力の向上においては、全校を授業力向上研究校に指定し、各校の研究教科、研究テーマに基づいた研究授業等を行うことで、授業改善につなげることができました。今後は、「ねらいに応じた適切な活動であるか」を常に見極め、児童生徒の実態からつきたい力を明確にし、それに適した学習活動を設定できるようにする必要があります。

本市では、平成29年に「市小中一貫教育基本方針」を策定しました。そして平成30年度より小中一貫教育を完全実施し、義務教育9年間を見通した系統性を持たせた教育を推進するとともに、各中学校区でその特色を生かして「15歳の姿」を設定し、その実現を目指した様々な取組を行っています。今後は、学校間の連絡・調整役を担うため各校に設置された小中一貫教育コーディネーターをパイプ役として小中学校合同の研究会を実施するなど、それぞれ中学校区の地域性に即した取組を推進します。

また、特色のある教育を推進しており、新学習指導要領で示された小学校における外国語教育については、平成29年度より旭中学校区の各小中学校を「市英語教育推進モデル校」に指定しています。モデル校の小学校については、平成30年度より文部科学省の教育課程特例校の指定を受け、1年生から「英語科」の授業に取り組んでいます。

さらに、英語検定3級程度の英語力を有する率が平成29年度には67.6%となり、国が定める英語検定3級以上の取得又は相当の英語力を有する生徒の割合の目標数値(50%)を大きく超えました。今後も英語学習の成果として3級以上の取得率向上に努める必要があります。

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)など情報化が急速に広がる中、児童生徒や保護者に対して情報モラル教育をすすめ、SNSに関するトラブルを未然に防ぐ必要があります。

(2) 施策の方向性

- ①魅力ある授業を推進します
- ②夢を育む教育、外国語教育等多様な学びを推進します
- ③学校教育を充実させるための支援を行います

(3) 目標の設定

| 目 標 項 目 | | 現 状 | 目 標 (平成35年度) |
|--|----------------------|---|--------------|
| 全国学力・ 学習状況調査 | 基礎基本の問題の 平均正答率 | 小学校6年生 全国平均とほぼ同じ 中学校3年生 全国平均を下回る (平成29年度) | 全国平均以上を目指します |
| | 活用が中心となる 問題の平均正答率 | 小学校6年生 全国平均とほぼ同じ 中学校3年生 全国平均をやや下回る (平成29年度) | 全国平均以上を目指します |
| 千葉県標準学力検査の平均得点 (各学年各教科において) | | 小学生 県平均とほぼ同じ 中学生 県平均を上回る (平成29年度) | 県平均以上を目指します |
| 英語検定3級以上の取得率 (中学校卒業まで) | | 中学校3年生 45.0% (平成29年度) | 増加を目指します |
| 英語検定3級程度の英語力を有する率 (中学校卒業まで) | | 中学校3年生 67.6% (平成29年度) | 増加を目指します |
| 学校図書館での年間貸し出し冊数 (1人当たり) | | 小学校 39.9冊 中学校 9.3冊 (平成29年度) | 増加を目指します |
| 「将来の夢や目標をもっていますか」の質問に対する肯定的な回答 | | 小学生 85.3% 中学生 71.0% (平成29年度) | 増加を目指します |
| 学校から帰った後、一日あたり1時間以上勉強している児童生徒の割合 | | 小学生 36.1% 中学生 42.0% (平成29年度) | 増加を目指します |
| 「授業のわかりやすさ」という質問に対して『良いと思う』『どちらかといえば良いと思う』 | | 小学生 84.9% 中学生 75.7% (平成29年度) | 増加を目指します |

(4) 主な施策

①魅力ある授業を推進します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|-------------------------|--|
| 1 | 少人数学級の推進 | 小中学校におけるきめ細かい指導の充実のため、少人数学級、少人数指導等で児童生徒一人一人の実態に応じた丁寧な指導に努め、基礎基本の定着を図ることで、わかる喜びと学ぶ楽しさを味わえる学習環境を整えます。 |
| 2 | 教職員の授業力の向上 | 各小中学校を授業力向上研究校に指定し、全ての教職員が公開授業の実施と他校の授業参観を行うことで、教職員の授業力を向上させる機会を充実させていきます。 |
| 3 | 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 | 新学習指導要領で重視されている主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について教職員の理解を深め、各学校において、児童生徒の実態を的確に把握し、単元・題材など内容や時間のまとまりを見通しながら授業改善が図られるよう支援します。 |

②夢を育む教育、外国語教育等多様な学びを推進します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|-----------|--|
| 1 | 小中一貫教育の推進 | 義務教育9年間を一体的に捉え、子どもの学力向上、豊かな心の育成、基本的生活習慣の確立を図れるよう、市内全小中学校での小中一貫教育を推進します。 |
| 2 | 夢を育む教育の推進 | キャリア教育を推進し、子どもが将来の夢と希望を抱き、社会の中で自分らしい生き方を見出すことができるような取組を支援するとともに、様々な分野で活躍している人の講話を聞く会、科学やスポーツなど子どもたちに興味や関心を促す学習機会の充実を図ります。 |
| 3 | 外国語教育の推進 | 外国語指導助手の配置及び姉妹都市リバモア市との国際交流等を活用し、生きた外国語に触れる機会を一層充実させます。 また、小中一貫教育における英語教育として、義務教育9年間を見通した学習を推進し、小学校では体験型授業から、活動型授業、教科型授業へと移行し、中学校では英語による授業を行うなど実践的な英語力の育成を図り、社会のグローバル化に対応できる人間形成を目指します。 |

| | | |
|---|---------|---|
| 4 | 情報教育の推進 | <p>情報活用能力を育成するために、ICT（情報通信技術）機器を活用し、わかりやすく深まりのある授業を展開するとともに、情報へのかかわり方を学ぶ情報モラル教育を推進します。また、小学校においては、プログラミングを体験しながら論理的思考力を身に付けるプログラミング教育を推進します。</p> <p>情報教育を充実させるため、地域の人材や教育機関を活用するとともに、教材機器や通信環境の整備を推進し、その積極的な活用を促進します。</p> |
|---|---------|---|

③学校教育を充実させるための支援を行います

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|------------------|--|
| 1 | 家庭との連携による学習習慣の形成 | <p>子どもたちの基礎的、基本的な知識・技能の確実な習得のためには、学校だけでなく、家庭との連携協力が必要であることから、望ましい家庭学習の在り方について、小中一貫教育の観点から中学校区ごとに共通した「手引き等」を作成し、学校や家庭を支援します。</p> |
| 2 | 子どもたちの学びを支える支援 | <p>各校の要請や実態に応じ、個別の対応が必要な子どもたちのために、生徒指導補充教員や特別支援教育支援員、巡回相談員を派遣するなど様々な支援を行います。</p> <p>また、部活動での活躍を支援するために、運動部活動の指導を支援する人材の派遣や、大会参加費用を助成する費用面での支援を行います。</p> <p>さらに、外国籍児童生徒については、学校からの要請に応じて語学指導員や市国際交流協会などを通して日本語指導ボランティアを派遣するなど、語学指導に必要な支援が迅速に行われるよう努めます。</p> |

基本方針 3

教師と子どもが深い信頼関係で結ばれた学校づくりを進めます

(1) 現状と課題

本市では、教職員と児童生徒の信頼関係の構築を重視し、子どもたちが学習や運動その他の活動に生き生きと取り組めるよう授業・行事等の工夫改善や、教職員の負担軽減、子どもと向き合う時間の確保に努めています。

教職員については、アンケートの結果から「職務に対する多忙感」が減少傾向であることがわかりましたが、引き続き心身への負担軽減や児童生徒との触れ合う時間を増やすことが求められています。そのため、教職員に対するメンタルヘルスケアや、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる相談体制の活用、校務支援システム導入などによる教職員に対する一層の負担軽減は重要であると考えます。

子どもたちの安全安心を確保するために、平成27年に策定された「市通学路交通安全プログラム」に基づき、家庭・学校・地域・関連機関と連携して通学路の安全点検を毎年実施するなど安全教育・体制の充実を図っています。今後も子どもたちが安全に通学できるよう安全安心体制の充実を図る必要があります。

施設の整備については、子どもたちの「学び舎」として安全安心な学校施設の整備を推進していきます。校舎全体の大規模な改造などは、今後の人口推計や対象学区の児童生徒数の推移を加味した上で「市公共施設等総合管理計画」に基づいた計画を立て、確実に実施できるよう検討する必要があります。

(2) 施策の方向性

- ①信頼される教職員の育成を図ります
- ②地域と共にある学校づくりを推進します
- ③安全・安心な学校づくりを推進します

(3) 目標の設定

| 目 標 項 目 | 現 状 | 目 標 (平成35年度) |
|--|------------------------------------|--------------|
| 「学校が楽しいか」という質問に対して、『楽しい』『どちらかといえば楽しい』 | 小学生 88.9% 中学生 83.3% (平成29年度) | 増加を目指します |
| 不登校児童生徒の出現率 (在籍児童生徒数に占める不登校児童生徒の割合) | 小学生 0.47% 中学生 2.66% (平成29年度) | 減少を目指します |
| 市内教職員アンケート調査で「直近1年間でストレスが増えているか」という質問に対し「増えた」 | 小学校 41.0% 中学校 43.7% (平成29年度) | 減少を目指します |
| 「先生との関係」という質問に対して『良いと思う』『どちらかといえば良いと思う』 | 小学生 77.1% 中学生 77.2% (平成29年度) | 増加を目指します |
| 「学校の職員として生きがいを感じるか」という質問に対して、『感じる』『どちらかといえば感じる』 | 小学校 88.2% 中学校 87.4% (平成29年度) | 増加を目指します |
| 「自身の学校の児童生徒の理解度」という質問に対して、『大部分を理解している』『だいたい理解している』 | 小学校 87.1% 中学校 74.8% (平成29年度) | 増加を目指します |

(4) 主な施策

①信頼される教職員の育成を図ります

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|----------------|---|
| 1 | 教職員の資質能力の向上 | <p>品位や魅力あふれる教職員を育成するために、教科についての専門的知識や指導技術などを確実に身に付けるとともに、いじめや不登校、友人や学習についての悩み等に関する対応、教育相談に係る相談スキルの習得など、様々な教育問題に適切に対応できる資質の向上のために、研修内容の充実に努めます。</p> <p>また、既存の研究団体が実施する各種の研究会・研修会及び自主研修会の運営・参加についても支援することで、自らの力量を高める機会の充実に努めます。</p> <p>さらに、本市の教育振興や教育活動へ貢献したと認められる優れた教職員の顕彰を進めます。</p> |
| 2 | 子どもに向き合える環境づくり | <p>教職員が子どもたちと向き合う時間を確保するために人的支援を行うとともに、各校において、教職員の多忙要因とされる会議や行事等の精選や重点化、校務支援システムなどICT機器の効果的な活用、調査や報告事務の簡略化などの見直しを行い、学校事務の効率化を図ります。</p> <p>また、教職員の心の健康維持のため、相談体制の充実など、メンタルヘルスケアの促進を図ります。</p> |

②地域と共にある学校づくりを推進します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|--------------------|--|
| 1 | 地域が誇れる開かれた学校づくりの推進 | <p>地域の方々が学校の教育活動に参加したり、教職員が地域の活動に積極的にかかわることなど、保護者・地域と教職員が教育についての問題意識を共有することで、地域が誇れる開かれた学校づくりを推進します。</p> <p>また、学校や地域の実態に即して、地域と連携した魅力的な学校づくりを推進し、学校の教育力が地域の中で十分な役割を果たすよう努めます。</p> |
| 2 | 適正規模・適正配置 | <p>適正な学校規模を確保し、子どもたちにとってより良い教育環境を提供し、一層の教育効果の向上を図るため、「市公共施設等総合管理計画」に基づき計画的に学校の適正規模や適正配置の検討を進めます。</p> |

③安全・安心な学校づくりを推進します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|--------------|--|
| 1 | 安全教育・安全体制の充実 | <p>大規模な自然災害を想定した防災教育の実施、交通安全指導や不審者への注意喚起、避難訓練の実施等を通して、実践的な危機対応能力、危機回避能力を育てるとともに、地域や関係機関と連携した安全教育が推進されるよう、指導・助言を行います。</p> <p>また、学校内外に発生する事件・事故から子どもたちを守るため、「市通学路交通安全プログラム」に基づき通学路の安全を確保するとともに、「学校安全計画」や「危機等発生時対処要領（危機管理マニュアル）」について、実態に応じた見直しを適宜行います。</p> <p>さらに、教職員については、即時の対応が求められることから、事前に相互の役割を認識し合い、研修等を通して意識化に努めるなど安全体制の充実を図ります。</p> |
| 2 | 施設整備の充実 | <p>法令による点検及び維持管理点検を確実にを行い、安全安心な教育環境を維持し、各校の状況に応じた大規模改修や修繕等を行います。また、施設の整備については「市公共施設等総合管理計画」に基づき計画的に進めます。</p> |

基本方針 4

自己実現を目指す市民の生涯学習・スポーツ活動を支援し、
地域人材を育成します

(1) 現状と課題

近年、団塊世代の高齢化により、地域社会で活動する人が増えることで、市民の学習意欲や健康志向、芸術・スポーツ活動などへの関心がさらに高まっています。市民の学習意欲の向上を支援するために、市民ニーズに沿った魅力ある公民館主催講座や市民大学講座などの生涯学習活動、ガス灯ロードレース大会をはじめとするスポーツ活動など、市民が気軽に参加できる機会を引き続き提供していきます。

一方、市内の公共施設は経年劣化が進んでおり、市民が快適に施設を利用できるよう修繕・工事等の整備を行う必要があります。そのため、「市公共施設等総合管理計画」に基づき計画的に生涯学習環境の整備を行います。

また、市民の主体的な学びの推進やまちづくりへの参加を通して、市民活動を推進する人材の育成を図ります。そのために、市民大学講座を通じて受講した人から市民活動に参加するボランティアへの登録者や、スポーツリーダーバンク登録者など、地域人材の確保と育成、またその活用方法についてさらに検討する必要があります。

図書館では、蔵書の充実並びに様々な年齢層から利用される図書館の推進を図っています。また、学校図書館との連携については、市内小中学校の図書館だけでなく、市内の高校、大学や盲学校の図書館との連携も視野に入れて推進します。

(2) 施策の方向性

- ①生涯学習活動、地域づくりのための生涯学習環境の整備を図ります
- ②心身共に健康な生活を送るためのスポーツ振興を推進します
- ③高等教育機関等との連携と地域人材の育成・活用を推進します

(3) 目標の設定

| 目 標 項 目 | 現 状 | 目標 (平成35年度) |
|-----------------|---------------------------------------|---------------------------|
| 生涯学習活動に取り組んでいる人 | 71.5% (平成29年度) | 増加を目指します |
| 公民館利用者数 | 163,296人 (1日当たり161人) (平成29年度) | 168,700人 (1日当たり162人) |
| 図書館等利用者数 | 109,605人 (1日当たり334人) (平成29年度) | 115,000人 (1日当たり350人) |
| 図書貸出冊数 | 358,847冊 (市民1人当たり3.3冊) (平成29年度) | 400,000冊 (市民1人当たり4.0冊) |
| 週1回以上運動する成人 | 51.4% (平成29年度) | 増加を目指します |

(4) 主な施策

①生涯学習活動、地域づくりのための生涯学習環境の整備を図ります

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|-----------|--|
| 1 | 生涯学習環境の整備 | 経年劣化に伴う公民館や図書館の施設設備の点検や補修を実施するとともに、「歴史民俗資料館」の設置など社会教育施設の整備を「市公共施設等総合管理計画」に基づき計画的に進め、生涯学習や地域活動の拠点づくりを進めます。 |
| 2 | 公民館活動の充実 | 指定管理者制度により民間活力を生かし、生涯学習を通じた地域活動の拠点となる公民館運営を推進します。 |
| 3 | 図書館の利用の促進 | 市民が必要とする多様な情報について、積極的に資料を収集し、提供します。 また、インターネットによる図書予約や学校図書館との連携を進め、利用者の利便性の向上に努めるとともに、専門職員による図書館サービスの提供と、一部業務委託の活用による効率的な図書館運営を推進します。 |

②心身共に健康な生活を送るためのスポーツ振興を推進します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|---------------|--|
| 1 | スポーツ環境の整備 | <p>子どもから大人まで、全ての市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を図ります。</p> <p>また、社会体育施設が、経年劣化に伴う修繕の頻度が増えていることから、市民が安全かつ快適に施設を利用できるよう適正な維持補修と管理に努めます。</p> |
| 2 | 活力あるスポーツ活動の支援 | <p>スポーツ活動が多様化・高度化している中、市民ニーズに応じた質の高い指導ができる人材の養成・確保・活用を図るとともに、個々のライフスタイルに応じて健康づくりをはじめとした身体を動かすことへの習慣化を図れるよう努めます。</p> <p>また、ガス灯ロードレース大会をはじめ、各種スポーツ大会等を通して市民が気軽にスポーツを楽しめる機会を提供するとともに、総合型スポーツクラブの自立運営に向けた支援を進めるなど、身の回りにある施設を利用して取り組めるスポーツの推奨に努めます。</p> |

③高等教育機関等との連携と地域人材の育成・活用を推進します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|----------------------|---|
| 1 | 高等教育機関等との連携した学習機会の提供 | <p>大学等の高等教育機関と連携し、多様な学習情報を提供するとともに、市民大学講座において市民活動や人材育成に重点を置いた講座カリキュラムを取り入れるなど、生涯学習の成果を活用し、まちづくりに貢献できる人材の育成を図ります。</p> <p>また、印旛管内市町との合同事業など、広域連携事業を実施することで市民により多くの学習機会を提供できるよう努めます。</p> |
| 2 | 地域における人材の育成・活用 | <p>市民の主体的な学習活動の推進やまちづくりへの参加を通して、活動を推進する市民の人材の育成を図ります。</p> <p>また、芸術文化・スポーツなど市民の学習成果を生かし、ボランティア人材として登録するなど、市民の「教えたい」と「学びたい」をつなぐ学習活動支援を行うとともに、市政への理解や各種まちづくり活動、学校教育での活用を推進します。</p> |

基本方針 5

豊かな自然や先人の創り上げた伝統文化を受け継ぎ、新しい文化を創造する芸術文化活動を支援します

(1) 現状と課題

本市では、子どもたちの「ふるさと四街道」としての学習を支援するために、学習指導要領を踏まえた社会科副読本「わたしたちの四街道」を刊行しています。また、緑豊かな里山が隣接するなど自然豊かな素晴らしい環境を今後も維持するために、市民共通の「ふるさと四街道」としての価値観の醸成を推進しています。

四街道の産物を市内小中学校の給食を通じて提供することで、郷土を誇りに思う心の育成を推進しています。今後も地場産物を使った給食の献立を取り入れ、児童生徒に食を通してふるさと意識の醸成を引き続き推進する必要があります。

一方で、市内には文化財も数多く点在しており、地域の風習や伝統文化を継承するために民俗資料も収集・保存しています。子どもから大人まで全ての市民が気軽に四街道の歴史を学ぶことや、貴重な文化財、民俗資料を活用することが求められています。そこで、郷土の歴史を明らかにし後世に継承するために、引き続き市史編さんを進めるとともに、文化財を保護・展示し、市民が見学・学習できる「歴史民俗資料館」について、「市公共施設等総合管理計画」に基づき検討する必要があります。

芸術文化の裾野を広げるため、市民文化祭や郷土作家展の開催、演劇・ミュージカルなど芸術・文化に関する活動をさらに支援する必要があります。

(2) 施策の方向性

- ①四街道の豊かな自然を大切に思う心の醸成を図ります
- ②地域や日本の伝統文化の継承を推進します
- ③四街道の新しい文化の創造を支える芸術文化活動を支援します

(3) 目標の設定

| 目 標 項 目 | 現 状 | 目 標 (平成35年度) |
|--|------------------------------------|--------------|
| 歴史民俗資料室等の見学者数 | 1, 277人 (平成29年度) | 1, 500人 |
| 市民芸術公演事業等の入場者数 | 2, 309人 (平成29年度) | 4, 000人 |
| 市民文化祭参加者数 | 28, 420人 (平成29年度) | 29, 000人 |
| 「四街道市を『ふるさと』であると感じるか」の質問に『感じる』『どちらかといえば感じる』と答えた児童生徒の割合 | 小学生 66.0% 中学生 55.1% (平成29年度) | 増加を目指します |

(4) 主な施策

①四街道の豊かな自然を大切に思う心の醸成を図ります

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|---------------------|---|
| 1 | “ふるさと四街道”自然環境の学習 | <p>自然を利用した遊びや自然観察、フィールドワークによる調査や活動等を通して、現在の四街道の自然を守る心を育てる学習を推進します。</p> <p>地域団体やNPO等による自然観察会や、冒険広場などを利用した自然の中での遊びの体験など、豊かな自然を認識できるような体験活動プログラム等の事業を通して、四街道の自然を肌で感じ、心に刻む機会の充実を図ります。</p> <p>また、子どもたちが主体となり、教職員や地域住民と協力して、地域環境を改善しながら、地域と地球を視野に入れた環境学習を推進します。</p> |
| 2 | 食を通じたふるさと四街道への愛着の醸成 | <p>地場産物を積極的に活用し、本市産の野菜を使ったり、子どもたちのアイデアを取り入れたりした給食の献立や、様々な食文化の学習等を通して、郷土を心の拠り所にする気持ちを養います。</p> <p>また、教員や学校栄養職員を対象に、学校における食育に関する研修会を実施し、児童生徒の食育の推進に努めます。</p> |

②地域や日本の伝統文化の継承を推進します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|---------------------------------|---|
| 1 | “ふるさと四街道” 伝統文化の学習と地域遺産の保護・保存、継承 | <p>社会科副読本や歴史民俗資料室の見学、民俗資料を活用し地域の伝統行事に触れる授業等を通して、今も生きる伝統文化を受け継いでいこうとする心を育てる学習を推進します。</p> <p>また、本市の歴史資料の収集、整理・分析及び保存を行い市内の文化財を活用した文化財巡りなど学習機会の充実を図るとともに、地域に伝わる伝統文化や伝統行事など、無形民俗文化財の保存・継承事業を支援します。</p> <p>さらに、文化財の保護と有効な活用を促進するため、本市の歴史の学習とまちづくりの活動拠点となる「歴史民俗資料館」の整備について、「市公共施設等総合管理計画」に基づき検討を進めます。</p> |

③四街道の新しい文化の創造を支える芸術文化活動を支援します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|-----------|--|
| 1 | 芸術文化活動の支援 | <p>市民の芸術文化活動を活性化させるため、市民文化祭の開催などを通して芸術文化団体への支援と育成を行います。</p> <p>また、市民ギャラリーや展示ブースを利用し、市民の作品等の展示発表の場を提供し、芸術文化活動の向上や裾野の拡大を図り、本市の特徴を生かした新たな文化の発見や創造につながる活動への支援を推進します。</p> |

基本方針 6

家庭・学校・地域のもつ教育力を高め合い、三者が連携する体制づくりを進めます

(1) 現状と課題

本市では、心身共に健全な子どもを育てるために、学校以外での教育を家庭だけでなく、地域社会が一体となって支援する体制を整備するとともに、安全安心な地域づくりと、子どもたちをめぐる様々な危険等から身を守るために、家庭・学校・地域が連携して取り組むことを推進しています。

子どもの教育は、保護者が第一義的責任者ですが、近年の家庭環境の多様化に伴い、地域全体で家庭教育を支えることが求められています。本市でも、入学を控えた未就学児及び児童の保護者を対象に全校で実施する子育て学習講座や、PTAと共同で地域・家庭教育学級を毎年開催しており、地域ごとの状況に合わせて講座の内容を一層充実させるなど、家庭や地域の教育力をさらに高めていくことが必要です。

また、地域に信頼される学校づくりを進めるために、地域の人材・資源を活用し、地域が学校にかかわり子どもの学習や成長を支えとともに、学校が地域にかかわっていくことも重要です。地域ごとに行われている学校支援については、各校の地域コーディネーターを中心に、地域のボランティアの人たちと共に学校の教育活動に参加するなど、地域と学校の連携が図れました。今後も地域の協力のもと、ボランティアを確保して積極的に活用することで、教育活動を円滑に運営できるように支援する必要があります。

(2) 施策の方向性

- ①家庭の教育力の向上のため、保護者への支援及び地域と連携した事業を推進します
- ②子どもたちが健全に育つ環境づくりを推進します
- ③家庭・学校・地域が連携した体制づくりを推進します

(3) 目標の設定

| 目 標 項 目 | 現 状 | 目 標 (平成35年度) |
|--------------------------------------|------------------------------------|--------------|
| 「近所の人に会った時は、あいさつをしているか」の質問に対する肯定的な回答 | 小学生 88.3% 中学生 80.9% (平成29年度) | 増加を目指します |
| 放課後や休日の子どもの居場所づくり | 3か所 (平成30年度) | 4か所 |
| 「こども110番の家」登録件数 | 2,917件 (平成29年度) | 3,000件 |
| 市民一人一人が子どもを見守っている | 32.5% (平成29年度) | 増加を目指します |
| 「愛の一声」運動としての街頭補導活動の回数 | 152回 (平成29年度) | 160回 |
| 朝食を欠食する児童生徒の割合 | 小学生 14.9% 中学生 19.5% (平成29年度) | 減少を目指します |

(4) 主な施策

①家庭の教育力の向上のため、保護者への支援及び地域と連携した事業を推進します

| 施策の主題 | 内 容 |
|-----------|--|
| 1 家庭教育の支援 | <p>未就学児や児童生徒の保護者等に家庭教育の大切さを学ぶ機会を提供します。</p> <p>あいさつや言葉づかいなど家庭教育における基本的な生活習慣づくりや、人、物、自然を大切にする心を育成するなど人格の形成に必要な支援を進めます。</p> <p>また、子育てに関する情報の提供、講座等による学習会や親子のふれあいの機会を設けるなど家庭教育の充実を図るとともに、地域で子どもを育む環境づくりを進め、PTA等と連携し、家庭の教育力を高めます。</p> |

②子どもたちが健全に育つ環境づくりを推進します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|--------------------|--|
| 1 | 心豊かで健やかに育つ環境づくりの推進 | <p>地域の人々との協働によって、放課後や週末の子どもたちの安全・安心な居場所を開設します。また、補導委員による「愛の一声」運動や、有害環境の浄化などを通して、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育つ環境づくりを推進します。</p> <p>中学生模擬議会で決議した取組^(※14)を家庭・学校・地域で広め、あいさつを通して周りの人への感謝や思いやりの心をもって接することを大切にする地域づくりを推進します。</p> |
| 2 | 体験・交流活動等の場づくり | <p>地域の市民・団体・企業の協力を得て、子どもたちがその年齢に応じた生活や社会の中で役立つ技能の取得などの体験活動事業を推進します。</p> <p>また、社会貢献活動を通して、自己の存在感を認識できるような場を提供します。</p> |

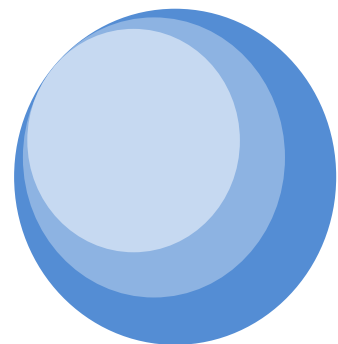
※14 平成29年度中学生模擬議会では、「スマイル よつかいどう ～笑顔の輪を広げよう～」が決議された

③家庭・学校・地域が連携した体制づくりを推進します

| | 施策の主題 | 内 容 |
|---|---------------------------|--|
| 1 | 地域人材の活用による学校支援や地域づくり活動の推進 | <p>総括支援コーディネーター^(※15)並びに各校の地域コーディネーターと連携し、地域の協力を得て学校支援活動事業の一層の充実を図ります。</p> <p>また、学校を地域コミュニティの拠点として捉え、地域と共に教職員が教育活動に専念できる体制づくりや、市民の生きがいづくり及び地域の教育力の向上を図ります。</p> |
| 2 | 地域ぐるみの安全体制の構築 | <p>保護者や地域ボランティア、関係機関との連携により地域ぐるみで危険箇所の点検に努め、子どもたちの登下校時の安全を見守る取組や体制を強化します。</p> <p>また、防犯効果を高めるために、不審者情報を配信する「よめーる」による情報の共有化や、「こども110番の家」の協力件数の増加に努めます。</p> |

※15 総括支援コーディネーターとは、平成30年度より学校支援コーディネーターの名称を改めたもの。学校支援コーディネーターについては、P27参照

第6章 計画の推進体制



第6章 計画の推進体制

1 計画の推進体制

(1) 情報の発信

本計画は、教育行政推進の指針であり、子どもから大人までの市民全体が計画を推進しなければなりません。そのため、市政だよりや市ホームページなどで市民への周知を図っていきます。

(2) 関係機関・団体等との連携

より効果的に本計画を推進するため、関係機関・団体等との連携を深め、理解と協力を求めています。

(3) 事業の実施計画

本計画をもとに毎年度「教育施策」を策定します。この施策は予算を含め具体的な事業の実施計画として位置付けされます。本計画の目標を達成するための重点的な施策と事業を示します。

2 計画の進捗状況の把握と見直し

(1) 教育施策の点検評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が、その権限に属する事務の管理・執行状況について、学識経験者の知見活用を図りながら教育施策について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表しています。これにより、PDCAサイクルの理念に基づいて次年度以降の事業立案に反映させることが可能になります。

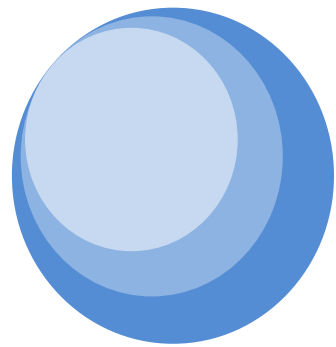
(2) 計画の見直し

現代における社会経済状況の変化はめまぐるしく、それに伴い、教育を取り巻く課題もその時々に応じて変化します。その結果、教育に対する市民ニーズも大きく変化すると思われまます。

そこで、時代の変化に適切に対応するため、計画の期間内であっても、必要があれば計画を見直します。

なお、この計画の策定以後に、教育分野における各施策を推進するために計画を策定する際には、本計画の理念及び「四街道市の教育が目指す姿」に則って策定します。

資料



1 四街道市教育振興基本計画策定委員会条例

(設置)

第1条 市は、教育基本法（平成18年法律第120号）第17条第2項に規定する教育の振興のための施策に関する基本的な計画（以下「教育振興基本計画」という。）を策定するため、地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定に基づき、四街道市教育振興基本計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定委員会は、四街道市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じて、教育振興基本計画の策定に関し、必要な事項について調査し、及び審議する。

(組織)

第3条 策定委員会は、委員13人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 教育に関する学識経験を有する者
- (2) 市内の小学校及び中学校の教職員
- (3) 市内在住の児童及び生徒の保護者
- (4) 社会教育委員
- (5) 公募による市民

3 委員の任期は、3年とする。

4 委員が欠けた場合は、補欠の委員を委嘱することができる。この場合において、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 策定委員会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、策定委員会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 策定委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 策定委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対し、会議に出席を求めて意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提供を求めることができる。

(庶務)

第6条 策定委員会の庶務は、教育委員会規則で定める機関において処理する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、策定委員会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

四街道市教育振興基本計画策定委員会委員名簿

| 委員氏名 | 選出区分 | 備考 |
|--------|----------|-----|
| 田村 孝 | 学識経験者 | 会長 |
| 花井 育代 | 学識経験者 | 副会長 |
| 安江 博昭 | 小中学校教員 | |
| 池田 覚 | 小中学校教員 | |
| 植谷 祥 | 小中学校教員 | |
| 中村 圭吾 | 小中学校教員 | |
| 神田 雅美 | 児童生徒の保護者 | |
| 山内 和子 | 児童生徒の保護者 | |
| 窪 ケイ子 | 社会教育委員 | |
| 金子 篤正 | 社会教育委員 | |
| 上田 裕佳子 | 公募による市民 | |
| 中尾 英夫 | 公募による市民 | |
| 米家 靖子 | 公募による市民 | |

2 四街道市教育振興基本計画策定本部要領

(設置)

第1条 四街道市教育振興基本計画（以下「計画」という。）を策定するため、計画策定本部（以下「策定本部」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定本部は、次の各号に掲げる事項について処理するものとする。

- 2 計画の策定に関する資料を収集すること。
- 3 計画の素案等を作成し、計画策定委員会に報告すること。
- 4 その他計画を策定する上で必要となる事項を調査検討すること。

(策定本部の組織)

第3条 策定本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって組織する。

- 2 本部長には教育長を、副本部長には教育部長を、本部員は、別表1に掲げる職にある者をもって充てる。
- 3 本部長は、策定本部を統括し、策定本部を代表する。
- 4 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(策定本部の会議)

第4条 策定本部の会議は、本部長が招集し、本部長が議長となる。

- 2 本部長は、必要があると認めるときは、関係者を会議に出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(作業部会)

第5条 策定本部に作業部会を設置する。

- 2 作業部会の長は、教育部長の職にある者とし、部会員は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 3 作業部会は、計画の策定に関する資料収集、素案作成等を行うほか、特に部会長が必要と認めた事項について調査検討する。
- 4 作業部会の会議は、部会長が招集し、部会長が議長となる。
- 5 部会長に事故あるとき又は欠けたときは、部会長があらかじめ指名した者がその職務を代理する。

(庶務)

第6条 策定本部の庶務は、教育部教育総務課において処理する。

(補則)

第7条 この要領に定めるもののほか、策定本部の運営に関して必要な事項は、本部長が別に定める。

附 則

この要領は、平成22年9月17日から施行する。

この要領は、平成24年4月 1日から施行する。

この要領は、平成29年4月 1日から施行する。

この要領は、平成30年4月 1日から施行する。

別表 1
(策定本部会)

| 策定本部会 | 所 属 | 職 |
|-------|---------------|------|
| 本部長 | 教育委員会 | 教育長 |
| 副本部長 | 教育部 | 教育部長 |
| 本部員 | 教育部 | 次長 |
| 本部員 | 教育部 教育総務課 | 課長 |
| 本部員 | 教育部 学務課 | 課長 |
| 本部員 | 教育部 指導課 | 課長 |
| 本部員 | 教育部 社会教育課 | 課長 |
| 本部員 | 教育部 スポーツ振興課 | 課長 |
| 本部員 | 教育部 図書館 | 館長 |
| 本部員 | 教育部 青少年育成センター | 所長 |
| 本部員 | 教育部 北部共同調理場 | 所長 |

別表 2
(作業部会)

| 作業部会 | 所 属 | 職 |
|------|---------------|----------|
| 部会長 | 教育部 | 教育部長 |
| 部会員 | 教育部 | 次長 |
| 部会員 | 教育部 教育総務課 | 課長 |
| 部会員 | 教育部 教育総務課 | 財務施設係長 |
| 部会員 | 教育部 学務課 | 管理係長 |
| 部会員 | 教育部 指導課 | 指導係長 |
| 部会員 | 教育部 社会教育課 | 学習振興係長 |
| 部会員 | 教育部 スポーツ振興課 | スポーツ振興係長 |
| 部会員 | 教育部 図書館 | 図書係長 |
| 部会員 | 教育部 青少年育成センター | 指導主事 |

3 策定経過

(1) アンケート調査

- ①平成29年 8月 策定本部会による設問の作成に着手
- ②平成29年10月 策定委員会によるアンケート調査設問審議
- ③平成29年11月 アンケート回答用紙の作成・配付（委託）
- ④平成29年12月1日から12月22日 アンケート調査実施

調査対象

| | |
|--------------|--------|
| 小学校5年生とその保護者 | 各833人 |
| 中学校2年生とその保護者 | 各782人 |
| 小学校教職員 | 283人 |
| 中学校教職員 | 157人 |
| 18歳以上の市民 | 2,000人 |

- ⑤平成30年2月 調査結果集計分析（委託）
- ⑥平成30年3月 「市教育振興基本計画」に係るアンケート調査報告書公表

※「市教育振興基本計画」に係るアンケート調査報告書は別掲載

(2) 四街道市教育振興基本計画策定委員会

| | | | |
|-----|-------------|-----|----|
| 第1回 | 平成29年10月26日 | 傍聴人 | 1人 |
| 第2回 | 平成30年 2月22日 | 傍聴人 | 3人 |
| 第3回 | 平成30年 5月24日 | 傍聴人 | 1人 |
| 第4回 | 平成30年 7月26日 | 傍聴人 | 2人 |
| 第5回 | 平成30年 9月27日 | 傍聴人 | 1人 |

(3) 四街道市教育振興基本計画後期計画（案）提出

平成30年10月18日

策定委員会 田村 孝会長より、高橋信彦教育長に提出

(4) パブリックコメント

期間 平成30年11月1日から12月3日

人数 6人

件数 延べ 18件

(5) 教育委員会会議等

| 名 称 | 年 月 日 | 内 容 |
|------------|-------------------|----------------------------|
| 教育委員会委員協議会 | 平成 30 年 5 月 23 日 | 計画書素案について |
| | 平成 30 年 8 月 24 日 | 四街道市教育振興基本計画 (案) について |
| | 平成 30 年 10 月 26 日 | パブリックコメントの実施について |
| | 平成 31 年 1 月 18 日 | パブリックコメントの結果について |
| 教育委員会会議 | 平成 31 年 1 月 25 日 | 四街道市教育振興基本計画の議決 |
| その他 | 随時 | 策定委員会資料の内容・進捗状況等についての報告・確認 |

文部科学省 中央教育審議会教育振興基本計画部会 (第7回) 資料1

次期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方 (素案)

※本資料はこれまでの計画部会等における議論を事務局において整理したもの

0. 次期教育振興基本計画のコンセプト

- 予測困難な時代の象徴としての新型コロナウイルス感染症拡大による影響とロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化、浮き彫りになった課題と学校・教育の役割、学びの変容
- 誰一人取り残さず、すべての人の可能性を引き出すための教育の実現に向けて、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、学習者（学修者）主体の学び等の充実を図り、日本型ウェルビーイングの概念整理を踏まえた上で、多様な個人のウェルビーイングの実現を目指す。また、共生社会の実現・地域コミュニティの再構築に向けて、個人と社会のウェルビーイングの実現をつなぐ学校や社会教育施設の役割・機能を重視する。
- 少子化・人口減少の中で、持続可能な社会の発展を生み出していく人材を育むため、主体的に社会の形成に参画し、生涯にわたって学び続ける学習者としての基盤を学校教育において培うとともに、社会や時代の変化に応じて課題を発見・解決するための学びをいつでも受けられる教育・社会環境を整備する。
- コロナ禍を契機としてデジタルが飛躍的に社会に浸透。将来の社会基盤に変化をもたらすデジタルトランスフォーメーションを教育・学習全体の中に組み込む。
- これらを通じた価値創造により、人間中心社会としての Society 5.0 の実現を目指す。

I. 我が国の教育をめぐる現状と課題**(1) 教育の普遍的な使命**

- 明治5年に我が国最初の全国規模の近代教育法令である「学制」が公布されてから令和4年で150年を迎えた。この間、各般の教育改革を経て、我が国の教育は国際的に高い水準を達成するに至り、社会の発展に大きく寄与してきた。
- 近時の新型コロナウイルス感染症の拡大やロシアによるウクライナ侵略は、平穏な日常が脅かされ、基本的な価値が揺らぐという共通経験をもたらし、平成18年に改正された教育基本法の前文にある「たゆまぬ努力によって築いてきた民主的で文化的な国家を更に発展させるとともに、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献する」ことの重要性を再確認する契機となった。
- 同法第1条においては、教育の目的として「人格の完成」「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」

が規定されるとともに、第2条においては教育の目標として、①知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した個人、②公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民、③我が国の伝統と文化を基盤として国際社会を生きる日本人の育成を目指すことが規定されている。

- これら教育基本法の理念・目的・目標は、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代においても変わることのない、立ち返るべき教育の「不易」である。教育振興基本計画は、「不易」なるものを普遍的な使命としつつ、「流行」としての社会や時代の変化の中で、我が国の教育という大きな船の羅針盤となるものであり、その指し示す進むべき方向に向けて必要な政策を着実に実行していかなければならない。

(2) 第3期計画期間中の成果と課題

- 教育基本法の改正後、国は同法に基づく教育振興基本計画をこれまで第1期、第2期、第3期と策定し、教育の目的や理念を具体化する施策を総合的、体系的に位置づけて取組を進めてきた。
- 第1期教育振興基本計画（平成20年7月1日閣議決定）においては、今後10年間を通じて目指すべき教育の姿を示して計画を推進し、その検証結果も踏まえて、第2期教育振興基本計画（平成25年6月14日閣議決定）においては「自立」「協働」「創造」を基軸とした生涯学習社会の構築に向けて教育政策を推進した。
- 第3期教育振興基本計画（平成30年6月15日閣議決定）においては、第2期計画の理念を引き継ぎつつ、2030年以降の社会の変化を見据えた教育政策の在り方を示すとともに「教育を通じて生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化する」ことを基本的な方針として掲げ、「教育立国」の実現に向けて取組を進めた。
- こうした取組の成果として、まず初等中等教育段階においては、PISA等の国際調査において、高い学力水準を維持しているほか、GIGAスクール構想により1人1台端末と高速通信ネットワーク等のICT環境の整備が飛躍的に進展した。また、小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等の教職員定数改善と支援スタッフの充実が図られた。また、インクルーシブ教育システムを推進するため、通級による指導の担当教員の基礎定数化、教職課程における特別支援教育に関する科目の必修化、外部人材への財政支援の拡充等を実施した。
- 高等教育段階においては、グランドデザイン答申を踏まえ、大学の認証評価のための法改正、全学的な教学マネジメントや質保証システムの確立、高等教育機関の連携・統合のための体制整備、大学設置基準の改正等、学修者本位の

教育への転換に向けた取組を推進した。

- さらには学校段階を通じた教育費負担の軽減として、幼児教育・保育の無償化、高等学校等就学支援金の充実、高等教育修学支援新制度の導入が実施された。これにより、経済的に困難な世帯の子供の大学進学率が向上するとともに、経済的な理由による大学等中退者・高校中退者の減少がもたらされた。また、質の高い教育研究環境の整備を推進するとともに、安全・安心の確保に向けて施設の長寿命化や耐震化などが着実に実施された。
- 一方、新型コロナウイルス感染症の拡大により、留学をはじめとするグローバルな人的交流が激減したほか、様々な体験活動の停滞をもたらした。また、学校が子供たちの居場所・セーフティネットとして身体的・精神的な健康を支えるという学校の福祉的役割を再認識する契機ともなった。
- 近年、いじめの重大事態の発生件数や児童生徒の自殺者数は増加傾向にあり、憂慮すべき状況である。また、不登校児童生徒数は増加しており、個々の状況に応じた適切な支援が求められている。なお、不登校が家庭の貧困につながるなどの懸念も指摘されている。
- 学校における働き方改革については、その成果が着実に出つつあるものの、依然として長時間勤務の教職員も多く、引き続き取組を加速させていく必要がある。
- 近年の大量退職等に伴う採用者数の増加や既卒の受験者数の減少、産休・育休取得者や特別支援学級の増加等が要因となり、採用倍率の低下や教師不足といった課題も生じている。
- 地域の教育力の低下や、地域コミュニティ機能の強化の重要性が指摘される中で、地域と学校の連携・協働体制の構築の取組であるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組は全体としては進んでいる一方で、自治体間・学校種間で差が生じている。また、共働き家庭やひとり親家庭の増加、地域のつながりの希薄化など、家庭を取り巻く環境が変化する中、子育てに不安を持つ保護者も多く、地域全体で家庭学習を支えることの重要性が高まっている。
- 社会経済の発展の観点からは、イノベーション人材の不足や労働生産性の低迷が指摘される中、社会人の学び直しが十分に進んでいない状況に対し、リカレント教育やリスキリングの重要性が指摘されているところである。
- 大学等の高等教育機関においては、授業外学修時間の増加などコロナ禍における学修機会の確保の取組の成果が見られる一方、全学的な教学マネジメントの確立に向けた具体的な取組の進展について大学間の差が見られるとともに博士課程進学率が低い傾向が続いており、引き続き、学生の学びの質・量確保に向けた取組が求められる。

(3) 社会の現状や変化への対応

- 現代は将来の予測が困難な時代であり、その特徴である変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の頭文字を取って「VUCA」の時代とも言われている。これまでの3回にわたる計画の中で、少子化・人口減少や高齢化、グローバル化の進展と国際的な地位の低下、地球規模の課題、子供の貧困、格差の固定化と再生産、地域間格差、社会のつながりの希薄化などは、社会の課題として継続的に掲げられてきた。こうした中、第3期計画期間中に発生した新型コロナウイルス感染症拡大の影響及びロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化は、まさに予測困難な時代を象徴する事態であったと言えよう。このような危機にいかに対応していくかという観点は今後の重要な課題である。また、デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展は社会により良い変化をもたらす可能性のある変革として注目されている。
- 2040年以降の社会を見据えたとき、現時点で予測される社会の課題や変化に対応して人材を育成するという視点と、予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していくという視点の双方が必要となる。
- 予測できる社会の変化としてはまず、人口減少が挙げられ、現在の生産年齢人口である15～64歳の人口は、2050年には現在の2/3に減少すると推計されている。我が国の労働生産性は国際的に見て低く、このままでは社会経済の活力や水準の維持が危ぶまれる状況にある。また、人口減少・高齢化は特に地方において深刻であり、地方創生の観点からの対応も必要である。
- デジタルトランスフォーメーションや地球温暖化と関連して、デジタル人材やグリーン（脱炭素）人材が不足するとの予測がある。また、AIやロボットの発達により、特定の職種では雇用が減少し、今後は問題発見力や的確な予測、革新性といった能力が一層求められることが予測されており、労働市場が今後変容していくことが見通される。
- 経済先進諸国においては、経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがいを捉える「ウェルビーイング（Well-being）」の考え方が重視されてきており、経済協力開発機構（OECD）の「Learning Compass 2030（学びの羅針盤 2030）」では、個人と社会のウェルビーイングは共通の「目的地」とされている。
- 社会の多様化が進む中、障害の有無や年齢、文化的・言語的背景、家庭環境などにかかわらず、誰一人取り残すことなく、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会の実現を目指し、その実現に向けた社会的包摂を推進する必要がある。
- 成年年齢や選挙権年齢が18歳に引き下げられ、若者の自己決定権の尊重や積

極的な社会参画が図られるとともに、こども家庭庁設置法及びこども基本法が成立し、子供の権利擁護及び意見表明などについて規定されたことを踏まえた対応が必要である。

- そして、VUCAの時代において、予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していくという視点からは、一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、「持続可能な社会の創り手」になることを目指すという、学習指導要領前文に定められた姿がまさに求められる。その際、教育基本法の理念・目的・目標について規定されている普遍的価値を共有した上で、主体的な社会の創り手となる考え方が重要である。
- 今後目指すべき未来社会像として、第6期科学技術・イノベーション基本計画において、持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人一人が多様な幸せを実現できる、人間中心の社会としての Society5.0（超スマート社会）が示されている。
- これら社会の現状や変化、目指すべき社会像の中での教育・学習の在り方を本計画で示すものである。

(4) 教育政策に関する国内外の動向

- 第3期計画期間中には、中央教育審議会において、「学校における働き方改革」答申、「令和の日本型学校教育」答申、「高等教育のグランドデザイン」答申、「第3次学校安全の推進に関する計画の策定」答申が示された。また、生涯学習分科会、初等中等教育分科会、大学分科会、「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会において、審議まとめ等がとりまとめられるとともに、文部科学省に設置された各種の有識者会議において教育政策に係る各種の提言がなされた。
- また、教育未来創造会議第一次提言、総合科学技術・イノベーション会議の教育・人材育成に関する政策パッケージ、経済産業省の未来人材ビジョンなど、関係省庁においても、教育政策に関する議論・提言が行われている。
- 国外では、経済協力開発機構（OECD）において、2030年の教育を見据えた「Learning Compass 2030（学びの羅針盤 2030）」が示されるとともに、ユネスコでは「教育の未来」グローバルレポートがとりまとめられている。

II. 今後の教育政策に関する基本的な方針

- 前述の我が国の教育を巡る現状と課題を踏まえ、本計画においては、以下の5つの基本的な方針を定める。
 - ①日本型ウェルビーイングの向上・共生社会の実現に向けた教育の推進

- ②社会の持続的な発展を生み出す人材の育成
- ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

（5つの基本的な方針）

① 日本型ウェルビーイングの向上・共生社会の実現に向けた教育

（日本型ウェルビーイングの概念整理）

- ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものである。また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念である。
- ウェルビーイングの捉え方は国や地域の文化的・社会的背景により異なりうるものであり、一人一人の置かれた状況によっても多様なウェルビーイングの求め方がありうる。

【第7回会議で議論】

- ウェルビーイングの国際的な比較調査においては、自尊感情や自己効力感が高いことが人生の幸福をもたらすとの考え方が強調されているが、これは獲得的な幸福を重視する欧米的な文化的価値観に基づくものであり、同調査によると日本を含むアジアの文化圏の子供や成人のウェルビーイングは低いとの傾向が報告されることがある。しかし、我が国においては人とのつながりや思いやり、利他性、社会貢献意識などを重視する協調的な幸福感がウェルビーイングにとって重要な意味を有しており、獲得的幸福感と協調的幸福感とのバランスを取り入れた日本型ウェルビーイングの実現を目指すことが求められる。こうした調和と協調（Balance and Harmony）あるウェルビーイングの考え方は世界的にも取り入れられつつある。
- 日本型ウェルビーイングの構成要素としては、「主観的な幸福感（現在と将来、自分と周りの他者）」、「開放的協調性と多様なつながり」、「自己肯定感と自己実現」、「安全・安心な環境」などが考えられる。これらを教育を通じて向上させていくことが求められる。
- そのためには教師のウェルビーイングを確保することが不可欠であり、学校が教師のウェルビーイングを高める場となることが重要である。子供の成長実感や保護者や地域との信頼関係があり、職場の心理的安全性が保たれ、労働環境などが良い状態であることなどが求められる。このことが学びの土壌や環境を良い状態に保ち、学習者のウェルビーイングを向上する基盤となり、結果として家庭や地域のウェルビーイングにもつながるものとなる。

○ さらに、生涯学習・社会教育を通じて地域コミュニティを基盤としてウェルビーイングを実現していく視点も大切である。

(誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す学びによる共生社会の実現)

- 一人一人の多様なウェルビーイングの実現のためには、誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す学びを、学校をはじめとする教育機関の日常の教育活動に取り入れていく必要がある。
- 近年、いじめの重大事態の発生件数や児童生徒の自殺者数は増加傾向であり、憂慮すべき状況である。また、不登校児童生徒数が増加しており、個々の状況に応じた適切な支援が求められている。特別支援教育を受ける障害のある子供は近年増加傾向にあり、病気療養中の子供やヤングケアラー、貧困など、子供の抱える困難は多様化・複雑化している。また、特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援の必要性も高まっている。我が国で学ぶ外国人の子供や海外で学ぶ日本人の子供の学びも保障される必要がある。
- 誰一人取り残さず、相互に多様性を認め、高め合い、他者のウェルビーイングを思いやることのできる教育環境を個々の状況に合わせて整備することで、つらい様子の子供が笑顔になり、その結果として自分の目標を持って学習等に取り組むことができる場面の一つでも多く作り出すことが求められる。
- その際、支援を必要とする子供やマイノリティの子供の「弱み」に着目して支えるという視点だけではなく、そうした子供たちが持っている「長所・強み」に着目し、可能性を引き出して発揮させていく視点（エンパワメント）を取り入れることも大切である。このことは、マイノリティの子供の尊厳を守るとともに、周りの子供や大人が多様性を尊重することを学び、マジョリティの変容につながるものとなるものと考えられる。
- また、一人一人のニーズに合わせた教育資源の配分を行うという「公平、公正」の考え方も重要となる。「多様性」、「包摂性」に「公平、公正」を加え頭文字を取ったDE&I (Diversity, Equity and Inclusion) の考え方も重視されてきている。
- 加えて、離島、中山間地域等の地理的条件にかかわらず、全国どこでも子供たちが充実した教育を受けられるようにすることが重要である。
- こうした方向性は教育段階を通じて求められるものであり、初等中等教育段階だけでなく、大学や専門学校等の高等教育機関における障害のある学生・生徒の学習機会の提供や学校を卒業した障害のある方への生涯学習機会の提供も充実していく必要がある。
- 一人一人が多様な他者を理解・尊重し、包摂的な社会を築いていくためには、例えば障害の有無にかかわらず共に学ぶ「交流及び共同学習」や、国内外

において外国人児童生徒学生等と交流する留学・異文化交流・国際理解教育、地域で子供が交流・協働するキャリア教育・職業教育など、自らとは異なる立場や地域にいる人々と接する機会や異なる環境に身を置く機会を持つことが重要である。

- これまで学校では「みんなで同じことを、同じように」することを過度に要求され、「同調圧力」を感じる子供が増えてきたことが指摘されている。異なる立場や考え、価値観を持った人々同士が、お互いの組織や集団の境界を越えて混ざり合い、学び合うことは、「同調圧力」への偏重から脱却する上で重要であり、学校のみならず社会全体で重視していくべき方向性である。また、そのことを可能にするための土壌として、「風通しの良い」組織・集団であることが大切である。
- こうしたことを通じて、一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重する共生社会を実現していくことが求められる。また、組織や集団における多様性の尊重は、後述するイノベーション創出にもつながる重要な考え方である。

(共生社会の実現に向けた教育の方向性)

- 令和の日本型学校教育答申で提言された「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」は、多様な子供の状況に応じた学びを進めるとともに、多様な他者と学び合う機会を確保するものであり、共生社会の実現に向けて必要不可欠な教育政策の方向性である。高等教育においても、グランドデザイン答申をはじめとする累次の答申・審議まとめ等において、多様な価値観を持つ多様な人材が集まるキャンパスにおいて、一人一人の学生の学修意欲を喚起し、学修者本位の教育を提供していく方向性が示されている。こうした目指すべき教育の方向性を共生社会の実現という観点から改めて捉え直し、教育に携わる者が共有した上で、日常の教育の営みの中に取り込んでいかなければならない。
- その際、第3期計画期間中に飛躍的に整備されたICT環境を効果的に活用していく必要がある。GIGAスクール構想による1人1台端末や高速通信ネットワーク環境の整備などにより、距離や場所、時間の制約が取り払われ、様々な国や地域との交流が容易になるとともに、へき地における教育環境の充実や登校できない子供の学びや交流の機会の充実が可能となっている。また、デジタルの特性を生かした障害のある子供や外国人児童生徒等のアクセシビリティの向上も期待される。ICTを活用した新たな取組の実践を通じて、一人一人の状況やニーズに応じたより良い教育環境を目指していく必要がある。
- 児童生徒に対する生徒指導は、学習指導と並んで、共生社会実現に向けた資質・能力の育成に重要な意義を有するものである。児童生徒が自発的・主体的

に自らを発達させていくことが尊重され、その過程を学校や教職員が支えていくという発達支持的生徒指導を重視していくことが求められる。また、児童生徒が将来において社会的な自己実現ができるような資質・能力・態度を形成するように働きかけるための教育相談も、生徒指導と一体化させ、全教職員が一致して取組を進めることが求められる。

- コロナ禍によりその機会が減少した様々な体験活動（自然体験活動、社会体験活動、文化芸術活動等）は、自己肯定感や協調性、主観的幸福感など、ウェルビーイングの向上に資するものであり、体験を通して他者と協働することにより共生社会の実現にもつながる意義を有するものであり、その機会の充実を図っていくことが求められる。また、児童生徒等の心身の健やかな育成に向けた学校保健、食育、スポーツ活動、豊かな感性を育む読書活動の推進も重要である。

（個人と地域・社会のウェルビーイングのつながり）

- 社会全体のウェルビーイングの実現に向けては、個人のウェルビーイングが様々な場において高められ、個人の集合としての場や組織のウェルビーイングが高い状態が実現され、そうした場や組織が社会全体に増えていくことが必要となる。子供たち一人一人が幸福や生きがいを感じられる学びを保護者や地域の人々とともにつくっていくことで、学校に携わる人々のウェルビーイングが高まり、その広がり一人一人の子供や地域を支え、さらには世代を超えて循環していくという在り方が求められる。
- そのためには、保護者や地域住民等が学校運営に当事者として参画するコミュニティ・スクールや、地域住民等の参画により地域と学校が連携・協働する地域学校協働活動を一体的に推進するとともに、地域の多様な人材を活用した家庭教育支援チームの活動を推進していくことが効果的である。高等教育段階では地域連携プラットフォームや大学等連携推進法人の枠組みを活用することなどにより、学生と地域との協働を進めていくことが求められる。学び手、学校、保護者・地域住民等が「三方よし」となり、それぞれのウェルビーイングが高まるよう三者が一体となって取組を推進することが求められる。

② 社会の持続的な発展を生み出す人材の育成

（社会の持続的な発展に向けて）

- 気候変動などの地球環境問題や少子化・人口減少、都市と地方の格差などの社会的課題やロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化の中で、国民一人一人の持続的な幸福としてのウェルビーイングを実現していくためには、この社会を持続的に発展させていく必要がある。特に我が国においては少子

化・人口減少が著しく、将来にわたって現在の経済水準を維持するためには一人一人の生産性向上と多様な人材の社会参画を促進する必要がある。また、社会的課題の解決と経済成長を結び付けて新たなイノベーションにつながる取組を推進することが求められる。Society5.0時代においてこれらを実現していくために不可欠なのは「人」の力であり、「人への投資」を通じて社会の持続的な発展を生み出す人材を育成していかなければならない。

(主体的社会参画意識の醸成と価値創造の志向)

- 我が国の子供たちは社会に主体的に参画する意識が低いことが指摘されている。社会の持続的な発展を生み出す人材を養成するためには、自らが社会を形成する一員であり、合意形成を経て自らルールや仕組みを作ることができる存在であるという認識を持つことが重要である。このことはOECDのLearning Framework2030における生徒のエージェンシー（変革を起こすために目標を設定し、振り返りながら責任ある行動をとる能力）の重視とも軌を一にする方向性である。地域の具体的な課題など実社会における課題解決学習やキャリア教育、主権者教育など、様々な活動を通じて主体的社会参画意識を醸成していく必要がある。なお、校則の策定や見直しの過程で児童生徒が関与することについては、自ら校則を守ろうとする意識の醸成につながるものと考えられる。
- あわせて、社会の持続的な発展のためには、その時代において将来を見通した時に求められる分野の人材を養成することが必要である。現在、デジタルやグリーン（脱炭素など）等がこれからの社会における価値創造にとって重要な分野であることが見通されており、こうした成長分野における人材養成へのシフトを機動的に行っていく必要がある。また、社会経済の課題が多様化・複雑化する中、専門知による課題解決が困難となり、「総合知」の重要性が指摘されている。こうした観点から、大学において文理横断・文理融合教育を推進するとともに、初等中等教育では探究・STEAM教育を強化し、あわせて理数系分野におけるジェンダーギャップの解消にも取り組むことが求められる。

(主体的・対話的で深い学び、アクティブ・ラーニング、大学教育の質保証)

- 令和の日本型学校教育答申において指摘されている「正解（知識）の暗記」、「正解主義」への偏りから脱却し、学びの動機付けや幅広い資質・能力の育成に向けて「主体的・対話的で深い学び」に基づく授業改善を行っていくことは、社会の持続的な発展を生み出す人材養成において不可欠である。学習指導要領前文に示された「持続可能な社会の創り手」を育成するための教育実践が求められる。
- こうした、学習者を主体として、他者との協働や課題解決型学習などを通

じ、深い学習を体験し、自ら思考することを重視する考え方は、初等中等教育のみならず、高等教育や生涯学習・社会教育においても重要である。生涯の人格形成の基礎となる幼児教育や義務教育で培ってきた資質・能力や学習意欲を、後期中等教育、高等教育において損なわずに更に伸ばさせていくことができるよう、高等学校教育改革、大学入学者選抜の改善、大学等における問題解決学習（PBL）等によるアクティブ・ラーニングの充実などに取り組む必要がある。

- また、特に大学教育については、大学進学率が50%を超える中で質保証に対する懸念が指摘されていることも踏まえ、全ての大学において3つのポリシーや内部質保証、教学マネジメント、学生や社会の声を反映した不断の見直しが行われ、学修者本位の教育が実現されるよう、各大学の取組を促していくことが重要である。

（グローバル人材育成、持続可能な社会の志向）

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大及びロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化により、世界経済の停滞や国際的分断の進行の懸念が高まっている。こうした中で、グローバルな立場から社会の持続的な発展を生み出す人材として、地球規模の諸課題を自らに関わる問題として捉え、世界を舞台に国際的なルール形成をリードしたり、社会経済的な課題解決に参画したりするグローバルリーダーや、グローバルな視点を持って地域社会の活性化を担う人材の育成を推進していく必要がある。日本や外国の言語や文化を理解し、日本への愛着や誇りを持ちつつ、グローバルな視野で活躍するための資質・能力の育成が求められており、留学等の国際的な交流活動の推進や外国語教育の充実、外国人留学生の受入れ環境や大学等のグローバル化の基盤・ルールの整備、外国人への教育の充実などを図っていく必要がある。
- その際、「持続可能な社会の創り手」を育成する視点が重要であり、持続可能な開発のための目標（SDGs）の実現に貢献するESDを推進するとともに、多くの児童生徒学生等がグローバルな環境を体験する機会を与えられることが望まれる。特に距離や場所、時間の制約を克服するデジタルの活用により様々な国際交流の可能性が生まれており、遠隔・オンラインとリアルを組み合わせたプログラムの展開が求められる。

（地域・産学官連携、職業教育）

- 地域が持続的に発展していくためには、その地域への愛着・誇りを持ち、仕事を通じて経済的に自立し、地域の課題解決に主体的に参加する人材を育成することが必要である。また地域住民同士が相互につながり、かかわりあう関係

を築いていくことが求められる。

- 社会経済の発展を牽引するイノベーションの創出や各地域における産業振興に向けて、学校と産業界が一体となって人材育成に取り組むことが一層重要となっている。経済産業省の「未来人材ビジョン」においては、今後重視される「問題発見力」「的確な予測」「革新性」等が求められる職種では労働需要が増加し、相対的に求められない職種では減少することが示唆されており、産学官が対話をしつつ共に各地域や産業分野において求められる資質・能力を育てていく必要がある。
- そのためには、学校を地域や社会に対して開いていくことが重要である。小中高等学校等においてコミュニティ・スクールや地域学校協働活動、探究活動、キャリア教育・職業教育等において、地域や産業界などの声を聞くとともに、教育実践への協力を得ていくことが求められる。また、実践的・創造的な技術者の養成を行う高等専門学校における教育の充実、地域産業における中核的な役割を担う専門人材育成に向けた専修学校における職業教育の充実を図ることも重要である。大学においては、地域や産業界等と大学との連携強化や、地域ニーズを踏まえた教育プログラムの構築、大学教育の質に関する情報公表等を進めることが期待される。さらに、アントレプレナーシップ教育（起業家精神教育）をあらゆる学校段階で推進していくことや機関の枠を超えた産業界等との連携により大学院教育を強化していくことが求められる。
- 大学のキャンパスは、高度で先進的な人材や設備が集積しており、地域における人材育成、イノベーション・産業振興のハブや脱炭素化等の様々な面で重要な役割を果たしていることから、大学における教育研究活動とその活動の場となるキャンパス環境の整備が一体となった共創拠点（イノベーション・commons）化を推進していくことが重要である。

（多様な才能・能力を生かす教育）

- 近年、海外において多様な才能を有する人物のアイデアにより非連続なイノベーションが創出され、企業価値や行政機能が高められた事例が注目されている。他方、我が国においては、これまで学校教育において一人一人の子供たちの多様な才能をどのように伸ばしていくのかという議論が十分行われてこなかった。子供たち一人一人の多様な才能・能力を埋もれさせず、その才能を伸ばしていくための教育を行っていくことは重要な課題である。これまでの同一年齢で同一内容を学習することを前提とした教育の在り方にとらわれず、日本型学校教育の優れた蓄積も生かして、個々に最適な学びを提供するとともに、正解（知識）の暗記や画一的な教育による弊害を排し、多様な才能・能力を生かす教育を行っていくことが求められる。

(生涯にわたって学び続ける学習者の育成と環境整備)

- 人生 100 年時代において、社会の構造的な変化に対応するため、社会人の学び直し（リカレント教育）をはじめとする生涯学習の必要性が高まっている。特に我が国においては大人になってから大学等において学ぶ学生の割合が低く、社外学習や自己啓発を行っていない社会人が諸外国と比べて突出して多いとの報告もあり、社会人の学び直しは喫緊の課題であるとともに、生産性向上のための伸び代でもある。
- 生涯学習社会を実現するためには、まず、生涯にわたって学び続ける学習者としての基盤を学校教育等において培うことが重要である。初等中等教育や高等教育において、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解することや、興味・関心を喚起する学びを提供することなどにより、学びを習慣化し、生涯にわたって能動的に学び続けるための態度を涵養することが重要である。
- そして、学び直しの中核的機関である大学・専門学校等の高等教育機関において、社会人が学びやすい教育プログラムが提供されるとともに、企業等において学び直しの成果が適切に評価され、さらには学ぶ意欲がある人への支援の充実などの環境整備が図られるべきである。その際、産学官で対話・連携することが重要である。産業界が Society5.0 において期待する資質として「主体性」、「チームワーク・リーダーシップ・協調性」、「実行力」、「学び続ける力」、能力として「課題設定・解決能力」、「論理的思考力」、「創造力」が挙げられており、こうした認識を共有しつつ、教育プログラムを開発・提供していくことが求められる。

③ 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育

(社会教育を通じた持続的な地域コミュニティの基盤形成)

- 社会教育は、地域住民が共に学ぶものであり、地域コミュニティ形成の営みという性格を強く有している。近年、防災、福祉、産業振興、文化交流など、広義のまちづくり・地域づくりに関する多様な行政分野において、その地域課題の解決に向けて、関係省庁が地域コミュニティに関する政策を提示している。これらの政策は地域コミュニティが維持されていてこそ機能するものであり、社会教育の役割が重要となる。
- 地域において人々の関係を共感的・協調的なものとするためには、社会教育による「学び」を通じて人々の「つながり」や「かかわり」を作り出し、協力し合える関係としての土壌を耕しておくことが求められる。こうして形成された地域の人々の関係は持続的な地域コミュニティの基盤となり、ひいては社会

全体の基盤となる。「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環が生み出されることにより、地域コミュニティにおける個人と地域全体のウェルビーイングの向上がもたらされる。

- このため、前述したコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進など、社会教育の充実による地域の教育力の向上や地域コミュニティの基盤強化を図ることが求められる。

(公民館等の社会教育施設の機能強化、社会教育人材の養成と活躍機会の拡充)

- 公民館や図書館等の社会教育施設は、デジタル田園都市国家構想基本方針においてデジタル技術を活用し、地域の生かした地域の社会課題の解決・地域の魅力向上が提言される中、社会教育の拠点として、自らが果たす役割を明確化することが求められている。それにあたっては、地域住民の意向を運営に取り入れることなどにより、機能強化を図ることが重要である。その際、貧困の状態にある子供、外国人、障害のある方やその家族、社会的に孤立しがちな若者や高齢者など、困難な立場におかれている人々の社会的包摂の観点からの対応が求められる。
- また、社会教育施設には、オンラインによる講座等の受講機会の拡充やデジタル教育の充実とともに、住民同士が対面によりつながりを持てる機会の充実も求められる。あわせて、学校施設との複合化や、文教施設を官民連携で整備することも、地域コミュニティの拠点を形成するうえで重要である。
- 社会教育に対するニーズが高まる中、地域において社会教育活動を支える社会教育主事及び社会教育士の役割はその重要性を増している。都道府県・市町村における社会教育主事の配置促進や社会教育士の活躍機会の拡充に向けた取組を推進することが必要である。

(生涯学習社会の実現、障害者の生涯学習の推進)

- 生涯学習は、一人一人が豊かな人生を送ることができるよう、個人の自発的意思に基づいて行うことを基本として、生涯を通じて行うものである。特に社会人を対象とした職業能力向上のためのリカレント教育は前述のとおりであるが、教養を高め、多様な人々と出会い、自己実現を図るための学習も重要である。広く国民が生涯にわたって学ぶ社会を実現していくことが求められる。
- その中でも、障害者の生涯学習機会が不足している状況にあり、機会拡充に向けて一層推進していく必要がある。国や地方公共団体において、障害者の生涯学習の推進を生涯学習・社会教育推進施策として位置付け、人材育成・確保や理解促進のための取組を促進していくことが求められる。

④ 教育デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進

(DX の段階)

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、世界全体にデジタル化の飛躍的進展をもたらした。今後、社会全体のデジタルトランスフォーメーション (DX) が加速していく中で、教育の分野において ICT を活用することが特別なことではなく「日常化」するなど、デジタル化を更に推進していくことが不可欠である。

【第7回会議において議論】

- DX には一般に「デジタルイゼーション」、「デジタルライゼーション」、「デジタルトランスフォーメーション (DX)」の3段階があると言われている。第1段階のデジタルイゼーションは紙の書類などアナログな情報をデジタル化することを表し、例えば紙のプリントをデジタル化して配信することがこれに該当する。第2段階のデジタルライゼーションは、サービスや業務プロセスをデジタル化することを表し、例えば紙の教材の組み合わせからデジタル教材のリコメンドを参考に最適な選択を行うことができるようになることがこれに該当する。第3段階のデジタルトランスフォーメーションは、デジタル化でサービスや業務、組織を変革することを指し、例えば教育データに基づく教育内容の重点化と教育リソースの配分の最適化が該当する。
- 教育DXを推進していくためには、①教育データの標準化などの共通的なルールの整備、②基盤的ツールの開発・活用、③教育データの分析・利活用について、可能な部分から着手し全国的な仕組みにつなげていく必要がある。
- GIGA スクール構想により1人1台端末の実現をはじめ、第3期計画期間中に全国の小中高等学校等における ICT 環境整備は飛躍的に進展した。これにより第1段階の準備は整ったところである。今後は、全ての学校において第1段階を着実に実行しつつ、当面、第3段階を見据えながら、全国すべての学校で、第1段階から第2段階への移行を着実に進めることが適当である。その際、デジタル技術とデータを活用して、知見の共有と新たな教育価値の創出を目指す、将来的な第3段階の構想を、各段階での ICT 活用やデータ利活用のイメージを、教育行政や教師をはじめとする教育関係者が共有した上で取組を進めることが重要である。

(各学校段階における教育DXの推進)

- 初等中等教育においては、学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力を育成するとともに、そのための教師の指導力向上・ICT環境整備の更なる充実が求められる。また、デジタル教科書・教材・学習支援ソフトの活用に向

けた取組の推進、クラウド活用による次世代の校務 DX を通じた、教育データの利活用、学校における働き方改革にも取り組む必要がある。

- 高等教育においては、コロナ禍において世界的に遠隔・オンライン教育が進展し、高等教育の新たな可能性を拓くものとなった。面接授業と遠隔授業を効果的に組み合わせたハイブリッド型教育やデジタルを活用した教育の高度化を図るとともに、データサイエンス等の履修促進などを進めることが求められる。また、社会の DX を支える DX 人材の養成も重要である。
- 生涯学習においては、遠隔・オンライン教育の活用による受講の利便性の向上や学習履歴の可視化におけるデジタル技術の活用を推進すべきである。また、公民館や図書館等の社会教育施設におけるデジタル基盤の強化やデジタル教育の充実も求められる。
- これらの取組の推進に当たっては、デジタルリテラシーやサイバーセキュリティの知識を身に付け、自分で考え行動できる力を育むことも求められる。
- また、誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出すための教育を実現する観点から、遠隔・オンライン教育やデジタル機器の機能を最大限に活用して誰もが質の高い教育を受ける機会を確保することが重要である。さらに、子供の貧困や虐待、いじめなどの困難の中には実態が見えにくく、子供に支援が届きにくいという課題がある中で、関係機関とも連携して学校の福祉的役割をより発揮していくためには、データを基に子供の SOS を把握してプッシュ型支援につなげていくことが重要である。

【第7回会議において議論】

(デジタルの活用とリアル（対面）活動の重要性)

- 学びに新たな可能性をもたらしたデジタルを活用した教育は積極的に活用されることが求められる。また、リアル（対面）による授業や課外活動の役割も教育において不可欠である。デジタルとアナログ、遠隔・オンラインと対面・オフラインは、いわゆる「二項対立」の関係には立たないことに留意が必要である。これらの最適な組み合わせは、学校段階や学習場面、また一人一人の状況によって異なるものであり、双方のメリット・デメリットを考慮する必要がある。
- 例えば、大学においては、遠隔・オンライン教育のメリットとして、自分のペースで学修できることや自分の選んだ場所で授業を受けられること等が挙げられている。一方で、質問等、相互のやり取りの機会が少ないこと、友人と授業を受けられないこと、身体的疲労が大きいことなどがデメリットとして挙げられている。その他、遠隔・オンライン教育であれば国内外の他大学等の授業を履修することが容易となる、通学が困難な状況でも学修機会を確保すること

ができるといった利点も想定される。

- 小中高等学校においては、従来の教師による対面指導に加え、一斉学習や個別学習、協働学習など様々な学習場面において ICT を活用することや、目的に応じ遠隔授業やオンデマンドの動画教材を取り入れるなど、子供の主体的な学びを支援する伴走者としての教師の役割を果たしつつ、リアルとデジタルを融合した授業づくりに取り組むことが考えられる。その際、デジタル教科書・教材・ソフトウェアの活用も重要である。さらに、学校で学びたくても学べない児童生徒への遠隔・オンライン教育や個々の才能を伸ばすための高度な学びへの対応など、デジタルの利点を生かした活用も考えられる。
- 一方、コロナ禍においては、子供たちのリアルな体験機会が大きく減少しており、地域や企業と連携・協働して、リアルな体験活動の機会を充実させていくことも必要である。
- これらの効果と課題等を踏まえ、それぞれの学校等において、教育効果を最大限に発揮する活用方法を検討することが求められる。

⑤ 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

(教育政策推進の実効性の確保)

- 基本的な方針の1～4までの教育政策を推進し、本計画の実効性を確保するためには、経済的・地理的状况によらず子供たちの学びを確保するための支援、指導体制・ICT環境の整備、安全安心で質の高い教育研究環境の整備、大学の経営基盤の確立、各高等教育機関の機能強化などを図ることが重要である。

(経済的状况によらず学びの機会を確保するための支援)

- 子供たちの学びの経済的支援については、幼児教育・保育の無償化、義務教育段階の就学援助、高等学校等就学支援金・高校生等奨学給付金、高等教育の修学支援新制度及び貸与型奨学金など、幼児期から高等教育段階まで切れ目のない支援により、希望する誰もが質の高い教育を受けられるための環境が整備されてきた。今後、教育未来創造会議第一次提言の内容を踏まえ、新たな時代に対応する学びの支援の充実を図ることが求められる。

(指導体制・ICT環境等の整備)

- 我が国の初等中等教育は国際的にも高く評価されており、これは教育現場で日々子供たちに向き合う教師の熱意と努力に支えられている。他方、近年、子供たちが抱える困難が多様化するとともに、情報活用能力など新たな能力育成の要請等もあり、我が国の教師の勤務時間は国際的に見て長くなっていること

に加え、教師不足の問題が顕在化している。次期教育振興基本計画の実効性確保のためには、教師の人材確保が不可欠であり、学校における働き方改革の更なる推進とあわせて、指導體制の整備等を通じ、教職の魅力の向上を図る必要がある。その際、多様化する困難等に対し「チーム学校」として対応するためには、教員業務支援員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の支援スタッフの役割も重要である。また、本年度実施の教員勤務実態調査の結果等を踏まえ、給特法等の法制的な枠組みを含めた処遇の在り方を検討していく必要がある。

- 加えて、ICT環境の充実が計画の実効性の確保のために不可欠である。GIGAスクール構想で整備した1人1台端末の持続的な活用やネットワーク環境の更なる改善に取り組むとともに、校務のDX、ICT支援員の配置、GIGAスクール運営に係る体制の強化等を引き続き推進していく必要がある。
- 大学においては、学修者本位の教育を実現していくため、教員の多様性の確保、大学のミッションに応じた教員評価、TA・RAの活用、教職協働の推進、教育研究の時間を生み出す組織マネジメントの確立・推進等が求められる。

(NPO・企業等多様な担い手との連携・協働)

- 「自前主義からの脱却」は学校段階を通じて今後重要となる学校経営の方向性である。学校外の多様な担い手による学びの提供や多様な支援体制の確保は子供たちのウェルビーイングを育む上で重要な役割を果たす。不登校の児童生徒や引きこもりの青少年の支援などに取り組むNPO法人、子供たちの体験活動の機会提供やICT教育支援を行う企業、地域において部活動の担い手となるスポーツ及び文化芸術団体など、多様な担い手と学校との連携・協働を推進すべきである。高等教育段階においても学外のような機関との連携・協働を行うことが求められる。さらに、少子化が進展する中で、他校・他大学との連携を進めることも重要な視点である。
- また、医療・保健機関、福祉機関、警察・司法との連携により、子供の健康や安全を守るための取組を引き続き推進する必要がある。

(安全・安心で質の高い教育研究環境の整備、社会教育施設等の整備)

- 新しい時代として、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や、社会変化に対応してデジタルやグリーン、ウェルビーイングや共生社会等を推進するためには、安全・安心で質の高い教育研究環境の確保も極めて重要である。小中高等学校から高等教育段階を通じて、長寿命化改修をはじめとした計画的な老朽化対策や防災機能強化を行うとともに、脱炭素化やバリアフリー化、地域との連携・共創拠点等の観点から環境整備を推進する必要がある。

- また、質の高い学びを実現するため、学校図書館や教材の整備の充実を図る必要がある。社会教育施設については、利用者の学習機会の充実の観点から、デジタル基盤を強化することが求められる。

(児童生徒等の安全確保)

- 「第3次学校安全の推進に関する計画」に基づき、全ての児童生徒等が、自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう、安全に関する資質・能力を身に付けるとともに、学校安全に関する組織的取組の推進、家庭・地域・関係機関等との連携・協働、学校における安全管理の取組の充実等を推進する必要がある。

(各ステークホルダーとの対話を通じた計画策定・フォローアップ)

- 計画策定に向けては、教育関係団体から意見を聴くとともに、教育の当事者である子供からの意見を聴くことも必要である。その上で、対話を通じて計画の策定・広報・フォローアップを行うことで、教育現場、地方公共団体、子供・学生・保護者、大学等の高等教育機関など、各ステークホルダーと政府が一体となって教育を振興していく共通意識を持つことが重要である。

Ⅲ. 今後の教育政策の遂行に当たって特に留意すべき事項

- 教育政策の持続的改善のための評価・指標の在り方
- 教育投資の在り方

Ⅳ. 今後5年間の教育政策の目標と基本施策

- 目標、指標、基本施策



今後議論

資料4

第2期四街道市教育振興基本計画策定に係る

アンケート調査

【令和4年6月実施】

四街道市教育委員会

目次

| | | |
|------------------|-------|----|
| ○ 調査概要 | ----- | 1 |
| ○ アンケート調査票（サンプル） | | |
| 1. 児童・生徒 | ----- | 2 |
| 2. 保護者（小学校・中学校） | ----- | 10 |
| 3. 保護者（幼稚園・保育所等） | ----- | 17 |
| 4. 教職員（小学校・中学校） | ----- | 21 |
| 5. 市民 | ----- | 28 |
| ○ 回答結果 集計表 | | |
| 1. 児童 | ----- | 36 |
| 2. 生徒 | ----- | 44 |
| 3. 保護者（小学校） | ----- | 50 |
| 4. 保護者（中学校） | ----- | 56 |
| 5. 保護者（幼稚園・保育所等） | ----- | 61 |
| 6. 教職員（小学校） | ----- | 70 |
| 7. 教職員（中学校） | ----- | 75 |
| 8. 市民 | ----- | 80 |

調査概要

本調査は、市民等の意向を把握することにより本市の教育の現状や課題を抽出し、令和6年度を開始年度とする新たな教育振興基本計画（第2期四街道市教育振興基本計画）を策定する上での基礎資料とすることを目的として実施しました。

| 調査対象 | 児童・生徒 | | 保護者 | | | 教職員 | | 市民 |
|------|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------|-------|----------------------------|
| | 小学校 (5年生) | 中学校 (2年生) | 小学校 (5年生) | 中学校 (2年生) | 幼稚園・ 保育所等 | 小学校 | 中学校 | 18歳以上 の男女 |
| 標本数 | 895人 | 830人 | 895人 | 830人 | 3,195人 | 334人 | 180人 | 2,000人 |
| 抽出方法 | 悉皆 | | | | | 県費負担職員 | | 住民基本 台帳から の無作為 抽出 |
| 回収数 | 873人 | 593人 | 490人 | 342人 | 941人 | 240人 | 115人 | 743人 |
| 回収率 | 97.5% | 71.4% | 54.7% | 41.2% | 29.5% | 71.9% | 63.9% | 37.2% |
| 調査方法 | インターネット | | | | | | | インター ネット又 は郵送 |
| 調査期間 | 令和4年6月1日～6月30日 | | | | | | | |

アンケート調査票（サンプル）

児童・生徒

アンケート調査票

I. あなたご自身についておうかがいします

※回答は、該当する番号に○印をしてください

問1 性別

1. 男
2. 女
3. 回答しない

Ⅱ. 学校や勉強についておうかがいします

問2-1 あなたは、学校に通うのが楽しいですか

1. 楽しい
2. どちらかといえば楽しい
3. あまり楽しくない
4. 楽しくない

問2-2 問2-1で「1. 楽しい」、「2. どちらかといえば楽しい」と回答した方だけにおききます。楽しいと思う理由はなんですか

(あてはまるものすべて)

1. 友だちと話ができる、または遊べる
2. 先生と話ができる、または遊べる
3. 授業がおもしろい
4. 放課後の時間が楽しい
5. 給食の時間が楽しい
6. クラブ活動や部活動が楽しい
7. その他 ()

問2-3 問2-1で「3. あまり楽しくない」、「4. 楽しくない」と回答した方だけにおききます。楽しくないと思う理由は何ですか

(あてはまるものすべて)

1. 友だち関係がうまくいかない
2. 先生とあわない
3. いじめられる
4. 授業がつまらない
5. 授業がわからない
6. 勉強したくない
7. やりたくないことが多い
8. クラスになじめない
9. その他 ()

問3-1 あなたは、学習の内容をどの程度理解していると思いますか

1. 大部分を理解している
2. だいたい理解している
3. あまり理解していない
4. 理解していない

問3-2 問3-1で「3.あまり理解していない」または「4.理解していない」と回答された方に伺います。授業を理解できない原因は何だと思えますか
(あてはまるものすべて)

1. 学習意欲がわからない
2. 学ばなければならない量が多すぎる
3. 先生の教え方が良くない
4. 授業に集中する雰囲気が学級の中にない
5. 勉強の内容が難しすぎる
6. 原因がわからない
7. その他 ()

問4 あなたが勉強するのはどうしてですか。勉強する理由を教えてください
(あてはまるものすべて)

1. 新しいことを知るのが楽しいから
2. テストでいい点数をとるとうれしいから
3. 勉強しないと家の人におこられるから
4. 友だちに負けたくないから
5. 希望する高校や大学に入りたいから
6. 世の中で役に立つ人になりたいから
7. 夢をかなえたいから
8. 友だちと一緒に勉強することが好きだから
9. 将来役にたつから
10. 充実した(楽しい)人生を送りたいから
11. その他 ()

問5 あなたは、英語を使ってどのようなことがしたいですか
(あてはまるものすべて)

1. 英語検定等の資格を取得したい
2. 英語の歌を聴いたり歌ったりしたい
3. 英語音声の映画やテレビ番組、動画Webサイトを見たい
4. メールやSNSなどで英文のメッセージを書きたい
5. 英語の本(教科書や参考書以外)を自分から進んで読みたい
6. 外国の人と英語で話したい(学校の授業以外で)
7. 将来英語を使う仕事をしたい

問6 あなたは、学校生活に関する次のようなことについて、どれくらいだと思いますか

| | 良いと思う | ば良いと思う | どちらかといえ わな | あまり良いと思 い | 良いと思わない | わからない |
|-------------------|-------|--------|---------------|--------------|---------|-------|
| ①友だちとの関係 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ②先生との関係 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ③クラスのごしやすさや雰囲気 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ④授業のわかりやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑤タブレットを使った授業 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑥ALT（外国語の先生）の授業 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑦自然や資源等の授業 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑧遠足や運動会などの学校行事 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑨学校のきまりやルール | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑩給食のメニューや量 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑪校舎や教室のきれいさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑫校舎や教室の広さ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑬学校図書館（図書室）の使いやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑭クラスの係や委員会活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑮クラブ活動や部活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |

問7 学校に対して、どのようなことを望みますか

（あてはまるものすべて）

1. 興味のあることをたくさん勉強したい
2. クラスの人数を少なくしてほしい
3. 体験学習を増やしてほしい
4. 一人一人の学力に合わせて教えてほしい
5. 校舎や教室、学習で使う道具をよくしてほしい
6. 全国の中で自分の学力がどれくらいかを知りたい
7. いけないことは、しっかり注意してほしい
8. 悩みや意見をじっくり聞いてほしい
9. がんばっていることをもっと認めてほしい
10. いじめのない学校づくりをしてほしい
11. 先生にはみんな平等に接してほしい
12. その他（ ）

Ⅲ. ふだんの生活についておうかがいします

問8 あなたは、朝食を食べていますか

1. 毎日食べている
2. 週に1～2日食べない日がある
3. 週に3～4日食べない日がある
4. ほとんど食べない

問9 あなたは、規則正しい生活ができていますか

1. できている
2. だいたいできている
3. あまりできていない
4. できていない

問10 あなたは、ふだん学校がある日に次のことをどのくらいしていますか

| | ない | 全くして いない | 30分未 満 | 1時間未 満 | 30分～ 1時間未 満 | 1～2時 間未 満 | 2～3時 間未 満 | 3時 間以 上 |
|--------------------------|----|-------------|-----------|-----------|-------------------|-----------------|-----------------|---------------|
| ①勉強をする（自宅で） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| ②読書（マンガ・雑誌を除く）をする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| ③音楽を聴く | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| ④テレビや動画を見る | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| ⑤電話やメール（LINEなど含む）をする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| ⑥マンガ・雑誌を読む | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| ⑦ゲームをする（スマホゲームやTVゲームを含む） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| ⑧学習塾や習いごと | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |
| ⑨運動やスポーツをする（学校以外で） | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | | |

問11 あなたは、ふだん何時間くらい寝ていますか

1. 5時間未満
2. 5～7時間未満
3. 7～9時間未満
4. 9時間以上

問12-1 あなたは、自分専用の携帯電話やスマートフォン・タブレットを持っていますか（学校のタブレットは除く）

1. 持っている
2. 持っていない

問 12-2 あなたは、携帯電話やスマートフォン・タブレットを平日どのくらい使いますか

1. 4時間以上
2. 3時間～4時間位
3. 2時間～3時間位
4. 1時間～2時間位
5. 1時間未満
6. 全くしていない

問 12-3 あなたは、携帯電話やスマートフォン・タブレットを休日どのくらい使いますか

1. 4時間以上
2. 3時間～4時間位
3. 2時間～3時間位
4. 1時間～2時間位
5. 1時間未満
6. 全くしていない

問 12-4 あなたが、インターネットを利用するうえで気を付けていることはなんですか

(あてはまるものすべて)

1. 相手の気持ちを考えてメールする
2. 自分や相手の個人情報（写真や画像）をSNS等に載せたり送信したりしない
3. 人の悪口をSNS等に載せたり送信したりしない
4. パスワード等を人に教えない
5. 相手に許可なく写真や動画を撮影しない
6. その他

問 12-5 学習時にタブレットを使ってどのくらいのことができますか

(あてはまるものすべて)

1. キーボードを使って文字が入力できる
2. 検索サイトから知りたい情報を調べられる
3. プレゼンテーションソフトを使って、発表資料を作れる
4. 学習支援ソフトで「ドリル学習」ができる
5. オンライン授業に参加できる
6. カメラ機能を使って撮影できる

問 13 あなたは、心配事や悩みがありますか

- | |
|---|
| 1. ある 2. ときどきある 3. あまりない 4. 全くない |
|---|

問 14 あなたは、心配事や悩みがあるとき、だれに相談しますか
(あてはまるものすべて)

- | |
|---|
| 1. 友だち 2. 家族 3. 先生 4. その他 () 5. 相談する相手がいない 6. だれにも相談しない |
|---|

問 15 あなたは、この1年間で、学校の行き帰りに、次のような危険な目にあっ
たことがありますか
(あてはまるものすべて)

- | |
|---|
| 1. あやしい人に声をかけられた 2. 車とぶつかった(ぶつかりそうになった) 3. ブロック塀や建物がくずれてきた(くずれそうになった) 4. その他 () 5. 危険な目にあつたことはない |
|---|

問 16 あなたは、次のことについてどれくらいあてはまりますか

| | あてはまる | あてはまる どちらかといえ ば | あてはまらない どちらかといえ ば | あてはまらない |
|----------------------------|-------|-----------------------|-------------------------|---------|
| ①学校のきまりを守っている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ②友だちとの約束を守っている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③人が困っているときは、進んで助けている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④近所の人に会ったときは、あいさつをしている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤人の気持ちがわかる人間になりたいと思う | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦人の役に立つ人間になりたいと思う | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧将来、実現したい夢や仕事がある | 1 | 2 | 3 | 4 |

IV. おわりに

問 17 あなたは、四街道市を「ふるさと」と感じますか

1. 感じる
2. どちらかといえば感じる
3. あまり感じない
4. 感じない
5. わからない

問 18 四街道市の歴史や文化に興味がありますか

1. 興味がある
2. 興味がない
3. どちらでもない

問 19 学校について思っていることがあれば、自由に書いてください

アンケートは以上です

お忙しいところ最後までご協力いただきまして、誠にありがとうございました

保護者（小学校・中学校）

アンケート調査票

I. あなたご自身についておうかがいします

※回答は、該当する番号に○印をしてください

問1 お子様との続柄

1. 父親
2. 母親
3. 祖父
4. 祖母
5. その他

問2 年齢

1. 29歳以下
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60歳以上

Ⅱ. 四街道市の教育についておうかがいします

問3 現在の教育施策について、次の項目にどのくらい満足されていますか

| | 満足 | え ば 満足 | ど ち ら か と い | い ど ち ら で も な | え ば 不 満 | ど ち ら か と い | 不 満 |
|---------------------------|----|--------------|----------------------------|---------------------------------|------------------|----------------------------|--------|
| ①体験的な学習の充実について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ②読書活動の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ③自尊感情の育成について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ④正義感・規範意識の育成について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑤子どもの体力向上について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑥食育と健康教育の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑦異校種・教育機関との連携推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑧特別支援教育の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑨少人数学級の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑩教職員の授業力の向上について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑪主体的・対話的で深い学びの実現について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑫小中一貫教育の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑬夢を育む教育の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑭外国語教育の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑮情報教育の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑯家庭との連携による学習習慣の形成について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑰子どもたちの学びを支える支援について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑱地域が誇れる開かれた学校づくりについて | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑲安全教育・安全体制の充実について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ⑳施設整備の充実について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ㉑四街道の自然環境の学習について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ㉒食を通したふるさと四街道への愛着の醸成について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ㉓四街道の伝統文化の学習について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ㉔家庭教育の支援について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ㉕青少年の健全育成について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ㉖体験・交流活動等の場づくりについて | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ㉗地域人材の活用による学校支援や地域づくりについて | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| ㉘地域ぐるみの安全体制の構築について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |

問4 今後の教育施策について、次の項目はどのくらい重要だと思いますか

| | とても重要 | 重要 | ふつう | あまり重要ではない | 重要ではない |
|------------------------------------|-------|----|-----|-----------|--------|
| ① ICT機器を活用した教育（オンライン教育を含む）、情報モラル教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② ALTと連携した外国語教育、実践的な英語力の育成 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 理数教育、科学技術教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 自然をいかした教育、環境教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 望ましい勤労観や職業観を育てる教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 小中学校の連携教育、小中一貫教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ 学校間（幼・保・小・中・高・大等）の連携 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ 学校図書館を活用した教育、読書活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ 豊かな心を育む道徳教育、命の教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩ 体力向上、健やかな体を育てる教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪ 望ましい食習慣の形成、健康に関する教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑫ 障害のある児童・生徒への支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑬ いじめ・不登校の解消、相談体制の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑭ 教職員の資質・指導力の向上 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑮ 少人数教育、個に応じた指導 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑯ 教職員の働き方改革、児童・生徒と向き合う時間の確保 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑰ 防災・防犯教育、安全・安心な学校づくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑱ 家庭や地域社会との連携、多様な地域人材の活用 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑲ 学校の教育活動や運営状況に関する情報の発信 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑳ 相談活動、街頭補導活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉑ 国際理解を重視した教育、グローバル教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉒ 外国にルーツを持つ児童・生徒への支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉓ 市の歴史・文化・風土を重視した教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉔ 学校施設・設備の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉕ 夢を育む教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉖ 多様性を認め合う教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

Ⅲ. お子様についておうかがいします

問5 あなたのお子様は、次のような能力や態度がどの程度身についていますか

| | 身についている | 身についている どちらかといえば | いない | あまり身につけていない | 身につけていない | わからない |
|------------------------|---------|---------------------|-----|-------------|----------|-------|
| ①教科の基礎的な学力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ②ICT機器を活用する力や情報モラル | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ③外国語（英語）を聞いたり、話したりする力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ④環境やエネルギーを大切にする意識 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑤健康や安全を自己管理する力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑥基本的な生活習慣や食習慣、整理整頓 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑦生き方や進路について考える力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑧自ら学び、考え、主体的に行動する力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑨新しいものを生み出す創造的な力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑩表現力やコミュニケーション力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑪豊かな心や情操 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑫思いやりの心や、善悪の判断など道徳心 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑬物事をやり遂げる粘り強さ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑭社会生活に必要な常識やマナー、あいさつ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑮社会に役立とうとする心や公共心 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑯伝統や文化を大切にし、郷土・国を愛する心 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑰体力や運動能力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑱人間関係を築く力 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑲集団生活での協調性、きまりやルールへの順守 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |

問6 あなたのご家庭では、お子様とのかかわりの中で次のことをどのくらい心がけていますか

| | 心がけている | 心がけている どちらかといえば | ない | あまり心がけていない | 心がけていない |
|-----------------------------------|--------|--------------------|----|------------|---------|
| ①規則正しい生活習慣を身につけさせる | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ②子どもが手伝う家事の分担を決める | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ③悪いことはきちんと叱る | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ④自分でできることは自分でさせる | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑤家族で食事をする | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑥将来の夢や目標について話をする | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑦子どもの勉強をみる | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑧ものづくりや自然体験の機会をつくる | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑨運動やスポーツをする機会をつくる | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑩学校での出来事や相談事などをきく | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑪家族・地域の人にあいさつをさせる | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑫学習環境を整える | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑬地域行事への参加を促す | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑭社会のきまりの大切さについて話をする | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑮学校教育と社会とのつながりについて話をする | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑯自分や家族の仕事について話をする | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑰子どものプライバシーを尊重する | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ⑱ゲームや携帯電話・スマートフォンの使用についてルールや約束を作る | 1 | 2 | 3 | 4 | |

問7 あなたは、お子様にどのように育てほしいと思いますか

(主なもの3つまで)

1. 学力がある
2. 思いやりがある
3. 協調性がある
4. 他人を認めることができる
5. 心身がたくましい
6. 我慢強さがある
7. 自立心がある
8. 行動力がある
9. 柔軟性がある
10. 創造性が豊か
11. 適切な判断力がある
12. 礼儀正しい
13. 特にない

IV. 家庭・学校・地域の連携についておうかがいします

問8 あなたは、学校の活動に参加したり、先生に協力したりしたいと思いますか

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

V. おわりに

問9 四街道市の歴史や文化に興味がありますか

1. 興味がある
2. 興味がない
3. どちらでもない

問10 四街道市の教育に関して、ご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください

アンケートは以上です

お忙しいところ最後までご協力いただきまして、誠にありがとうございました

保護者（幼稚園・保育所等）

アンケート調査票

I. あなたご自身についておうかがいします

※回答は、該当する番号に○印をしてください

問1 お子様との続柄

1. 父親
2. 母親
3. 祖父
4. 祖母
5. その他

問2 年齢

1. 29歳以下
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60歳以上

問3 お住まいの地域（中学校区）

1. 四街道中学校区
2. 四街道西中学校区
3. 四街道北中学校区
4. 千代田中学校区
5. 旭中学校区
6. わからない

Ⅱ. 四街道市の教育についておうかがいします

問4 今後の教育施策について、次の項目はどのくらい重要だと思いますか

| | とても重要 | 重要 | ふつう | あまり重要ではない | 重要ではない |
|------------------------------------|-------|----|-----|-----------|--------|
| ① ICT機器を活用した教育（オンライン教育を含む）、情報モラル教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② ALTと連携した外国語教育、実践的な英語力の育成 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 理数教育、科学技術教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 自然をいかした教育、環境教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 望ましい勤労観や職業観を育てる教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 小中学校の連携教育、小中一貫教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ 学校間（幼・保・小・中・高・大等）の連携 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ 学校図書館を活用した教育、読書活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ 豊かな心を育む道徳教育、命の教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩ 体力向上、健やかな体を育てる教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪ 望ましい食習慣の形成、健康に関する教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑫ 障害のある児童・生徒への支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑬ いじめ・不登校の解消、相談体制の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑭ 教職員の資質・指導力の向上 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑮ 少人数教育、個に応じた指導 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑯ 教職員の働き方改革、児童・生徒と向き合う時間の確保 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑰ 防災・防犯教育、安全・安心な学校づくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑱ 家庭や地域社会との連携、多様な地域人材の活用 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑲ 学校の教育活動や運営状況に関する情報の発信 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑳ 相談活動、街頭補導活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉑ 国際理解を重視した教育、グローバル教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉒ 外国にルーツを持つ児童・生徒への支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉓ 市の歴史・文化・風土を重視した教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉔ 学校施設・設備の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉕ 夢を育む教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉖ 多様性を認め合う教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

Ⅲ. お子様についておうかがいします

問5 あなたはお子様に、どのような能力や態度を身につけて欲しいですか
(主なもの3つまで)

1. 教科の基礎的な学力
2. ICT機器を活用する力や情報モラル
3. 外国語(英語)を聞いたり、話したりする力
4. 環境やエネルギーを大切にすること意識
5. 健康や安全を自己管理する力
6. 基本的な生活習慣や食習慣、整理整頓
7. 生き方や進路について考える力
8. 自ら学び、考え、主体的に行動する力
9. 新しいものを生み出す創造的な力
10. 表現力やコミュニケーション力
11. 豊かな心や情操
12. 思いやりの心や、善悪の判断など道徳心
13. 物事をやり遂げる粘り強さ
14. 社会生活に必要な常識やマナー、あいさつ
15. 社会に役立つ心とする心や公共心
16. 伝統や文化を大切に、郷土・国を愛する心
17. 体力や運動能力
18. 人間関係を築く力
19. 集団生活での協調性、きまりやルールの順守

問6 あなたは、お子様にどのように育ててほしいと思いますか
(主なもの3つまで)

1. 学力がある
2. 思いやりがある
3. 協調性がある
4. 他人を認めることができる
5. 心身がたくましい
6. 我慢強さがある
7. 自立心がある
8. 行動力がある
9. 柔軟性がある
10. 創造性が豊か
11. 適切な判断力がある
12. 礼儀正しい
13. 特になし

IV. おわりに

問7 四街道市の教育に関して、ご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください

アンケートは以上です

お忙しいところ最後までご協力いただきまして、誠にありがとうございました

教職員（小学校・中学校）

アンケート調査票

I. あなたご自身についておうかがいします

※回答は、該当する番号に○印をしてください

問1 性別

1. 男
2. 女
3. 回答しない

問2 年齢

1. 29歳以下
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60歳以上

問3 経験年数

1. 4年以下
2. 5～9年
3. 10～19年
4. 20～29年
5. 30年以上

Ⅱ. 四街道市の教育についておうかがいします

問4 現在の教育施策について、次の項目はどのくらい充実していると思いますか

| | 充実している | 充実している どちらかといえば | どちらでもない | 充実していない | 充実していない どちらかといえば |
|---------------------------|--------|--------------------|---------|---------|---------------------|
| ①体験的な学習の充実について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ②読書活動の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③自尊感情の育成について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④正義感・規範意識の育成について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤子どもの体力向上について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥食育と健康教育の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦異校種・教育機関との連携推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧特別支援教育の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨少人数学級の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩教職員の授業力の向上について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪主体的・対話的で深い学びの実現について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑫小中一貫教育の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑬夢を育む教育の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑭外国語教育の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑮情報教育の推進について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑯家庭との連携による学習習慣の形成について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑰子どもたちの学びを支える支援について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑱教職員の資質能力の向上について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑲子どもに引き合える環境づくりについて | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑳地域が誇れる開かれた学校づくりについて | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉑安全教育・安全体制の充実について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉒施設整備の充実について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉓四街道の自然環境の学習について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉔食を通じたふるさと四街道への愛着の醸成について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉕四街道の伝統文化の学習について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉖家庭教育の支援について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉗青少年の健全育成について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉘体験・交流活動等の場づくりについて | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉙地域人材の活用による学校支援や地域づくりについて | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ㉚地域ぐるみの安全体制の構築について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問5 今後の教育施策について、次の項目はどのくらい重要だと思いますか

| | とても重要 | 重要 | ふつう | はない | あまり重要ではない | 重要ではない |
|------------------------------------|-------|----|-----|-----|-----------|--------|
| ① ICT機器を活用した教育（オンライン教育を含む）、情報モラル教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ② ALTと連携した外国語教育、実践的な英語力の育成 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ③ 理数教育、科学技術教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ④ 自然をいかした教育、環境教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑤ 望ましい勤労観や職業観を育てる教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑥ 小中学校の連携教育、小中一貫教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑦ 学校間（幼・保・小・中・高・大等）の連携 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑧ 学校図書館を活用した教育、読書活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑨ 豊かな心を育む道徳教育、命の教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑩ 体力向上、健やかな体を育てる教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑪ 望ましい食習慣の形成、健康に関する教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑫ 障害のある児童・生徒への支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑬ いじめ・不登校の解消、相談体制の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑭ 教職員の資質・指導力の向上 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑮ 少人数教育、個に応じた指導 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑯ 教職員の働き方改革、児童・生徒と向き合う時間の確保 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑰ 防災・防犯教育、安全・安心な学校づくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑱ 家庭や地域社会との連携、多様な地域人材の活用 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑲ 学校の教育活動や運営状況に関する情報の発信 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ⑳ 相談活動、街頭補導活動 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ㉑ 国際理解を重視した教育、グローバル教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ㉒ 外国にルーツを持つ児童・生徒への支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ㉓ 市の歴史・文化・風土を重視した教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ㉔ 学校施設・設備の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ㉕ 夢を育む教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| ㉖ 多様性を認め合う教育 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |

問6 あなたの学校の児童・生徒は、学習の内容をどの程度理解していると思いますか

1. 大部分を理解している
2. だいたい理解している
3. あまり理解していない
4. 理解していない
5. わからない

Ⅲ. 勤務の状況などについておうかがいします

問7 あなたは、ご自身の職務について忙しいと感じていますか

1. 常に忙しい
2. 時期によって忙しい
3. あまり忙しくない
4. 忙しくない

問8 次のうち、勤務していて増えたと感じるものはありますか

(あてはまるものすべて)

1. 授業の工夫
2. 一人一人に応じた学習指導
3. 生活指導が必要な児童・生徒
4. 放課後や土曜日の指導
5. 保護者や地域住民への対応
6. 対応が難しい苦情や要望
7. 会議時間
8. 校務分掌
9. 事務関係の書類作成
10. 教育委員会や管理職からの指示・伝達
11. 安全性確保の時間（校内外の見回り、新型コロナウイルス感染症対策など）
12. 教材作成などの授業準備の時間
13. 児童・生徒の学習評価に費やす時間
14. 研修などの出張
15. 時間的な余裕
16. その他（ ）

問9 あなたは、直近の1年間でストレスは増えましたか

1. 増えた
2. 少し増えた
3. あまり増えていない
4. 増えていない

問10 あなたは、学校の教職員として生きがいを感じますか

1. 感じる
2. どちらかといえば感じる
3. あまり感じない
4. 感じない

問11 あなたは、日々の職務の中で課題と感ずることは何ですか

(あてはまるものすべて)

1. 児童・生徒の基礎学力の低下
2. 児童・生徒の道徳心や規範意識などの低下
3. 児童・生徒の健康状態や体力の低下
4. 児童・生徒の基本的な生活習慣の乱れ
5. 児童・生徒の問題行動やいじめ・不登校
6. 地域や家庭環境などによる児童・生徒の教育格差
7. 家庭の教育力の低下
8. 地域の教育力の低下
9. 家庭・地域・学校の連携
10. 学校の施設や設備
11. 授業など学習指導
12. 教職員の心身の健康状態
13. 職場の人間関係
14. 特に感ずない
15. その他 ()

問12 あなたは、どのような研修を受けたいと思ひますか

(あてはまるものすべて)

1. 学年・学級経営
2. 教科の指導や専門性
3. 総合的な学習の時間の指導
4. 道徳や特別活動などの指導
5. ICT教育の指導
6. 児童・生徒のニーズに依じた指導
7. 生徒指導・生徒理解に関する指導
8. カウンセリングやコーチングの技術
9. 教職員の倫理観を高める研修
10. 円滑な人間関係を築く能力を高める研修
11. 民間企業の職場体験
12. 学校経営・学校運営に関する研修
13. その他 ()

IV. おわりに

問 13 四街道市の教育に関して、ご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください

アンケートは以上です

お忙しいところ最後までご協力いただきまして、誠にありがとうございました

市民

アンケート調査票

I. あなたご自身についておうかがいします

※回答は、該当する番号に○印をしてください

問1 性別

1. 男
2. 女
3. 回答しない

問2 年齢

1. 29歳以下
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60歳以上

問3 お住まいの地域（中学校区）

1. 四街道中学校区
2. 四街道西中学校区
3. 四街道北中学校区
4. 千代田中学校区
5. 旭中学校区
6. わからない

Ⅱ. 四街道市の教育についておうかがいします

問4 現在の教育施策について、次の項目にどのくらい満足されていますか

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらでもない | どちらかといえば不満 | 不満 |
|---------------------------|----|------------|---------|------------|----|
| ①生涯学習環境について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ②公民館活動について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③図書館の利用について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④スポーツ環境について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤スポーツ活動の支援について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥高等教育機関等と連携した学習機会について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦地域における人材の育成・活用について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧地域遺産の保護・保存、継承について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨芸術文化活動の支援について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩家庭教育の支援について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪青少年の健全育成について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑫体験・交流活動等の場づくりについて | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑬地域人材の活用による学校支援や地域づくりについて | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑭地域ぐるみの安全体制の構築について | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問5 今後の教育施策について、次の項目はどのくらい重要だと思いますか

| | とても重要 | 重要 | ふつう | あまり重要ではない | 重要ではない |
|--------------------------|-------|----|-----|-----------|--------|
| ①生涯学習の推進 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ②社会教育施設（公民館・図書館）の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③公民館事業の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④図書館事業の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤スポーツ施設（総合公園体育施設等）の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥スポーツ事業の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦各種団体・サークル等の活動支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧イベントの開催、文化・芸術・歴史等に触れる機会 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨講座・教室など学習機会の提供・情報発信 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩地域人材の育成・活用 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪伝統文化・地域遺産の継承 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑫家庭教育の支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑬青少年の健全育成の推進 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑭家庭・学校・地域の連携 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

Ⅲ. 子どもの教育についておうかがいします

問6 あなたは、四街道市の子どもたちに、どのように育てほしいと思いますか

(主なもの3つまで)

1. 学力がある
2. 思いやりがある
3. 協調性がある
4. 他人を認めることができる
5. 心身がたくましい
6. 我慢強さがある
7. 自立心がある
8. 行動力がある
9. 柔軟性がある
10. 創造性が豊か
11. 適切な判断力がある
12. 礼儀正しい
13. 特にない

問7 子どもたちや、教育について課題と感ずることは何ですか

(あてはまるものすべて)

1. 基礎学力の低下
2. 道徳心や規範意識などの低下
3. 健康状態や体力の低下
4. 基本的な生活習慣の乱れ
5. 問題行動やいじめ・不登校
6. 家庭環境などによる教育格差
7. 家庭の教育力の低下
8. 地域の教育力の低下
9. 家庭・学校・地域の連携
10. 学校の施設や設備
11. 教職員の指導力の低下
12. 特に感じない
13. その他 ()

問 13 四街道市の歴史や文化に興味がありますか

1. 興味がある
2. 興味がない
3. どちらでもない

V. 健康や運動についておうかがいします

問 14 あなたは、健康についてどのように感じていますか

1. 健康である
2. 普通
3. 健康に不安を感じる
4. 健康でない

問 15-1 あなたは、どの程度の頻度で運動をしていますか

1. ほとんど毎日
2. 週に2～3回程度
3. 週に1回程度
4. 月に1～3回程度
5. 全くしていない

問 15-2 問 15-1 で1～4 と回答した方にお伺いします

あなたはどこで運動をしていますか

(あてはまるものすべて)

1. 自宅及び周辺
2. 市内公共施設 (公園、体育館)
3. 市内民間施設 (ジム、スポーツクラブ)
4. 市外公共施設 (公園、体育館)
5. 市外民間施設 (ジム、スポーツクラブ)

問 15-3 問 15-1 で5 と回答した方にお伺いします

条件が合えば運動したいと思いますか

1. 運動したい
2. 運動したくない

Ⅵ. おわりに

問 16 四街道市の教育に関して、ご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください

アンケートは以上です

お忙しいところ最後までご協力いただきまして、誠にありがとうございました

回答結果 集計表 < 児童 >

I-1 性別

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| (1) 男 | 434 | 49.7% |
| (2) 女 | 428 | 49.0% |
| (3) 回答しない | 11 | 1.3% |
| 計 | 873 | 100.0% |

II-2-1 あなたは、学校に通うのが楽しいですか

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------------|-----|--------|
| (1) 楽しい | 491 | 56.2% |
| (2) どちらかといえば楽しい | 299 | 34.2% |
| (3) あまり楽しくない | 59 | 6.8% |
| (4) 楽しくない | 24 | 2.7% |
| 計 | 873 | 100.0% |

II-2-2 問2-1で「1. 楽しい」、「2. どちらかといえば楽しい」と回答した方だけにおききます。 楽しいと思う理由は何ですか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|----------------------|-----|-------|---------------|
| (1) 友だちと話ができる、または遊べる | 702 | 88.9% | |
| (2) 先生と話ができる、または遊べる | 232 | 29.4% | |
| (3) 授業がおもしろい | 318 | 40.3% | |
| (4) 放課後の時間が楽しい | 325 | 41.1% | |
| (5) 給食の時間が楽しい | 299 | 37.8% | |
| (6) クラブ活動や部活動が楽しい | 448 | 56.7% | |
| (7) その他（ ） | 62 | 7.8% | 図書室、係・委員会、行事等 |
| 計 | 790 | | |

II-2-3 問2-1で「3. あまり楽しくない」、「4. 楽しくない」と回答した方だけにおききます。 楽しくないと思う理由は何ですか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|-------------------|-----|-------|--------------|
| (1) 友だち関係がうまくいかない | 26 | 31.3% | |
| (2) 先生とあわない | 13 | 15.7% | |
| (3) いじめられる | 9 | 10.8% | |
| (4) 授業がつまらない | 29 | 34.9% | |
| (5) 授業がわからない | 15 | 18.1% | |
| (6) 勉強したくない | 27 | 32.5% | |
| (7) やりたくないことが多い | 34 | 41.0% | |
| (8) クラスになじめない | 14 | 16.9% | |
| (9) その他（ ） | 13 | 15.7% | 運動が苦手、学校が遠い等 |
| 計 | 83 | | |

II-3-1 あなたは、学習の内容をどの程度理解していると思いますか

| | 回答数 | 構成比 |
|----------------|-----|--------|
| (1) 大部分を理解している | 235 | 26.9% |
| (2) だいたい理解している | 564 | 64.6% |
| (3) あまり理解していない | 69 | 7.9% |
| (4) 理解していない | 5 | 0.6% |
| 計 | 873 | 100.0% |

II-3-2 問3-1で「3. あまり理解していない」または「4. 理解していない」と回答された方へ伺います。 授業を理解できない原因は何だと思えますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|-----------------------|-----|-------|-------------------|
| (1) 学習意欲がわからない | 27 | 36.5% | |
| (2) 学ばなければならない量が多すぎる | 33 | 44.6% | |
| (3) 先生の教え方が良くない | 3 | 4.1% | |
| (4) 授業に集中する雰囲気学級の中にない | 12 | 16.2% | |
| (5) 勉強の内容が難しすぎる | 35 | 47.3% | |
| (6) 原因がわからない | 20 | 27.0% | |
| (7) その他（ ） | 9 | 12.2% | コロナになったから、外国人だから等 |
| 計 | 74 | | |

II-4 あなたが勉強するのはどうしてですか。勉強する理由を教えてください（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|-------------------------|-----|-------|-------------------|
| (1) 新しいことを知るのが楽しいから | 389 | 44.6% | |
| (2) テストでいい点数をとるとうれしいから | 534 | 61.2% | |
| (3) 勉強しないと家の人におこられるから | 128 | 14.7% | |
| (4) 友だちに負けたくないから | 199 | 22.8% | |
| (5) 希望する高校や大学に入りたいから | 317 | 36.3% | |
| (6) 世の中で役に立つ人になりたいから | 265 | 30.4% | |
| (7) 夢をかなえたいから | 401 | 45.9% | |
| (8) 友だちと一緒に勉強することが好きだから | 292 | 33.4% | |
| (9) 将来役にたつから | 444 | 50.9% | |
| (10) 充実した（楽しい）人生を送りたいから | 399 | 45.7% | |
| (11) その他（ ） | 41 | 4.7% | 出来る嬉しい、幸せになりたいから等 |
| 計 | 873 | | |

II-5 あなたは、英語を使ってどのようなことがしたいですか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 |
|---------------------------------|-----|-------|
| (1) 英語検定等の資格を取得したい | 185 | 21.2% |
| (2) 英語の歌を聴いたり歌ったりしたい | 410 | 47.0% |
| (3) 英語音声の映画やテレビ番組、動画Webサイトを見たい | 192 | 22.0% |
| (4) メールやSNSなどで英文のメッセージを書きたい | 144 | 16.5% |
| (5) 英語の本（教科書や参考書以外）を自分から進んで読みたい | 195 | 22.3% |
| (6) 外国の人と英語で話したい（学校の授業以外で） | 450 | 51.5% |
| (7) 将来英語を使う仕事をしたい | 102 | 11.7% |
| 計 | 873 | |

II-6 あなたは、学校生活に関する次のようなことについて、どれくらいだと思いますか

| | 回答数 | | | | | 全体 |
|-----------------------|-------|-----------------------|--------------------|-------------|-----------|-----|
| | 良いと思う | どちらか といえば 良いと思う | あまり良 いと思わ ない | 良いと思 わない | わから ない | |
| (1) 友だちとの関係 | 593 | 206 | 33 | 19 | 22 | 873 |
| (2) 先生との関係 | 392 | 340 | 35 | 23 | 83 | 873 |
| (3) クラスのすごしやすさや雰囲気 | 431 | 316 | 62 | 35 | 29 | 873 |
| (4) 授業のわかりやすさ | 538 | 250 | 45 | 14 | 26 | 873 |
| (5) タブレットを使った授業 | 561 | 234 | 39 | 12 | 27 | 873 |
| (6) ALT（外国語の先生）の授業 | 517 | 256 | 47 | 18 | 35 | 873 |
| (7) 自然や資源等の授業 | 497 | 271 | 39 | 11 | 55 | 873 |
| (8) 遠足や運動会などの学校行事 | 704 | 120 | 21 | 10 | 18 | 873 |
| (9) 学校のきまりやルール | 473 | 298 | 52 | 23 | 27 | 873 |
| (10) 給食のメニューや量 | 536 | 212 | 70 | 21 | 34 | 873 |
| (11) 校舎や教室のきれいさ | 372 | 333 | 103 | 35 | 30 | 873 |
| (12) 校舎や教室の広さ | 524 | 240 | 54 | 23 | 32 | 873 |
| (13) 学校図書館（図書室）の使いやすさ | 673 | 143 | 24 | 14 | 19 | 873 |
| (14) クラスの係や委員会活動 | 584 | 214 | 37 | 10 | 28 | 873 |
| (15) クラブ活動や部活動 | 662 | 156 | 21 | 7 | 27 | 873 |

II-7 学校に対して、どのようなことを望みますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|----------------------------|-----|-------|--------------------------|
| (1) 興味のあることをたくさん勉強したい | 526 | 60.3% | |
| (2) クラスの人数を少なくしてほしい | 83 | 9.5% | |
| (3) 体験学習を増やしてほしい | 490 | 56.1% | |
| (4) 一人一人の学力に合わせて教えてほしい | 252 | 28.9% | |
| (5) 校舎や教室、学習で使う道具をよくしてほしい | 201 | 23.0% | |
| (6) 全国の中で自分の学力がどれくらいかを知りたい | 290 | 33.2% | |
| (7) いけないことは、しっかり注意してほしい | 249 | 28.5% | |
| (8) 悩みや意見をじっくり聞いてほしい | 185 | 21.2% | |
| (9) がんばっていることをもっと認めてほしい | 259 | 29.7% | |
| (10) いじめのない学校づくりをしてほしい | 463 | 53.0% | |
| (11) 先生にはみんな平等に接してほしい | 237 | 27.1% | |
| (12) その他（ ） | 40 | 4.6% | 遊具を増やしてほしい、休み時間を長くしてほしい等 |
| 計 | 873 | | |

Ⅲ-8 あなたは、朝食を食べていますか

| | 回答数 | 構成比 |
|--------------------|-----|--------|
| (1) 毎日食べている | 762 | 87.3% |
| (2) 週に1～2日食べない日がある | 80 | 9.2% |
| (3) 週に3～4日食べない日がある | 9 | 1.0% |
| (4) ほとんど食べない | 22 | 2.5% |
| 計 | 873 | 100.0% |

Ⅲ-9 あなたは、規則正しい生活ができていますか

| | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| (1) できている | 324 | 37.1% |
| (2) だいたいできている | 456 | 52.2% |
| (3) あまりできていない | 74 | 8.5% |
| (4) できていない | 19 | 2.2% |
| 計 | 873 | 100.0% |

Ⅲ-10 あなたは、ふだん学校がある日に次のことをどのくらいしていますか

| | 回答数 | | | | | | 全体 |
|-----------------------------|-------------|-----------|-------------------|-------------|-------------|-----------|-----|
| | 全くして いない | 30分未 満 | 30分～ 1時間未 満 | 1～2時 間未満 | 2～3時 間未満 | 3時間以 上 | |
| (1) 勉強をする（自宅で） | 72 | 236 | 334 | 159 | 44 | 28 | 873 |
| (2) 読書（マンガ・雑誌を除く）をする | 248 | 340 | 168 | 61 | 23 | 33 | 873 |
| (3) 音楽を聴く | 167 | 307 | 165 | 97 | 46 | 91 | 873 |
| (4) テレビや動画を見る | 35 | 107 | 194 | 216 | 132 | 189 | 873 |
| (5) 電話やメール（LINEなど含む）をする | 461 | 256 | 76 | 35 | 19 | 26 | 873 |
| (6) マンガ・雑誌を読む | 333 | 277 | 133 | 53 | 29 | 48 | 873 |
| (7) ゲームをする（スマホゲームやTVゲームを含む） | 117 | 159 | 182 | 173 | 90 | 152 | 873 |
| (8) 学習塾や習いごと | 207 | 43 | 187 | 244 | 87 | 105 | 873 |
| (9) 運動やスポーツをする（学校以外で） | 177 | 181 | 154 | 146 | 94 | 121 | 873 |

Ⅲ-11 あなたは、ふだん何時間くらい寝ていますか

| | 回答数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| (1) 5時間未満 | 26 | 3.0% |
| (2) 5～7時間未満 | 145 | 16.6% |
| (3) 7～9時間未満 | 513 | 58.8% |
| (4) 9時間以上 | 189 | 21.6% |
| 計 | 873 | 100.0% |

Ⅲ-12-1 あなたは、自分専用の携帯電話やスマートフォン・タブレットを持っていますか（学校のタブレットは除く）

| | 回答数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| (1) 持っている | 582 | 66.7% |
| (2) 持っていない | 291 | 33.3% |
| 計 | 873 | 100.0% |

Ⅲ-12-2 あなたは、携帯電話やスマートフォン・タブレットを平日どのくらい使いますか

| | 回答数 | 構成比 |
|--------------|-----|--------|
| (1) 4時間以上 | 77 | 8.8% |
| (2) 3時間～4時間位 | 60 | 6.9% |
| (3) 2時間～3時間位 | 107 | 12.3% |
| (4) 1時間～2時間位 | 189 | 21.6% |
| (5) 1時間未満 | 230 | 26.3% |
| (6) 全くしていない | 210 | 24.1% |
| 計 | 873 | 100.0% |

Ⅲ-12-3 あなたは、携帯電話やスマートフォン・タブレットを休日どのくらい使いますか

| | 回答数 | 構成比 |
|--------------|-----|--------|
| (1) 4時間以上 | 159 | 18.2% |
| (2) 3時間～4時間位 | 79 | 9.0% |
| (3) 2時間～3時間位 | 116 | 13.3% |
| (4) 1時間～2時間位 | 166 | 19.0% |
| (5) 1時間未満 | 171 | 19.6% |
| (6) 全くしていない | 182 | 20.8% |
| 計 | 873 | 100.0% |

Ⅲ-12-4 あなたが、インターネットを利用するうえで気を付けていることはなんですか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 |
|--|-----|-------|
| (1) 相手の気持ちを考えてメールする | 533 | 61.1% |
| (2) 自分や相手の個人情報（写真や画像）をSNS等に掲載したり送信したりしない | 468 | 53.6% |
| (3) 人の悪口をSNS等に掲載したり送信したりしない | 487 | 55.8% |
| (4) パスワード等を人に教えない | 574 | 65.8% |
| (5) 相手に許可なく写真や動画を撮影しない | 489 | 56.0% |
| (6) その他 | 124 | 14.2% |
| 計 | 873 | |

Ⅲ-12-5 学習時にタブレットを使ってどのくらいのことができますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 |
|------------------------------|-----|-------|
| (1) キーボードを使って文字が入力できる | 776 | 88.9% |
| (2) 検索サイトから知りたい情報を調べられる | 729 | 83.5% |
| (3) プレゼンテーションソフトを使って、発表資料を作る | 371 | 42.5% |
| (4) 学習支援ソフトで「ドリル学習」ができる | 627 | 71.8% |
| (5) オンライン授業に参加できる | 703 | 80.5% |
| (6) カメラ機能を使って撮影できる | 678 | 77.7% |
| 計 | 873 | |

Ⅲ-13 あなたは、心配事や悩みがありますか

| | 回答数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| (1) ある | 99 | 11.3% |
| (2) ときどきある | 267 | 30.6% |
| (3) あまりない | 189 | 21.6% |
| (4) 全くない | 318 | 36.4% |
| 計 | 873 | 100.0% |

Ⅲ-14 あなたは、心配事や悩みがあるとき、だれに相談しますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|----------------|-----|-------|---------------|
| (1) 友だち | 469 | 53.7% | |
| (2) 家族 | 572 | 65.5% | |
| (3) 先生 | 220 | 25.2% | |
| (4) その他（ ） | 29 | 3.3% | 親戚、監督、コーチ、医師等 |
| (5) 相談する相手がいない | 34 | 3.9% | |
| (6) だれにも相談しない | 170 | 19.5% | |
| 計 | 873 | | |

Ⅲ-15 あなたは、この1年間で、学校の行き帰りに、次のような危険な目にあったことがありますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|--------------------------------|-----|-------|--------------|
| (1) あやしい人に声をかけられた | 45 | 5.2% | |
| (2) 車とぶつかった（ぶつかりそうになった） | 74 | 8.5% | |
| (3) ブロック塀や建物がくずれてきた（くずれそうになった） | 9 | 1.0% | |
| (4) その他（ ） | 56 | 6.4% | 自転車、マンホール、蜂等 |
| (5) 危険な目にあったことはない | 722 | 82.7% | |
| 計 | 873 | | |

Ⅲ-16 あなたは、次のことについてどれくらいあてはまりますか

| | 回答数 | | | | 全体 |
|-------------------------------|-------|---------------|-----------------|---------|-----|
| | あてはまる | どちらかといえばあてはまる | どちらかといえばあてはまらない | あてはまらない | |
| (1) 学校のきまりを守っている | 423 | 398 | 40 | 12 | 873 |
| (2) 友だちとの約束を守っている | 576 | 270 | 16 | 11 | 873 |
| (3) 人が困っているときは、進んで助けている | 418 | 357 | 77 | 21 | 873 |
| (4) 近所の人に会ったときは、あいさつをしている | 482 | 281 | 81 | 29 | 873 |
| (5) 人の気持ちがわかる人間になりたいと思う | 633 | 188 | 33 | 19 | 873 |
| (6) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う | 699 | 137 | 23 | 14 | 873 |
| (7) 人の役に立つ人間になりたいと思う | 622 | 200 | 29 | 22 | 873 |
| (8) 将来、実現したい夢や仕事がある | 604 | 150 | 58 | 61 | 873 |

IV-17 あなたは、四街道市を「ふるさと」と感じますか

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------------|-----|--------|
| (1) 感じる | 406 | 46.5% |
| (2) どちらかといえば感じる | 225 | 25.8% |
| (3) あまり感じない | 100 | 11.5% |
| (4) 感じない | 50 | 5.7% |
| (5) わからない | 92 | 10.5% |
| 計 | 873 | 100.0% |

IV-18 四街道市の歴史や文化に興味がありますか

| | 回答数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| (1) 興味がある | 417 | 47.8% |
| (2) 興味がない | 168 | 19.2% |
| (3) どちらでもない | 288 | 33.0% |
| 計 | 873 | 100.0% |

IV-19 学校について思っていることがあれば、自由に書いてください

もっと難しい問題を出して欲しい

いい学校だと思います。

うるさくしてる人に厳しくして欲しい

楽しい

友達といろいろなことを話せて楽しい。

なぜ自転車通学がダメなのか

1年生ともっと友達になりたい。

一部の水道などがたまに壊れていることがある。

四街道小はいつできたのか

学校は最高の場所

毎日楽しいです！

学校は、いじめもないのでとてもいいです！

楽しいです

古い校舎なので、歴史があるんだな、と思った。

仲いい子ともっと話したい(違うクラスの子)

校舎内がとても汚いし、シャープペンシル禁止やボールペン禁止などのブラック校則があり、本当にイライラすると思っています。

遊べて楽しい

楽しい

壊れているところをなおしてほしいです。

休み時間にうるさくて耳が痛くなるときがある

汚い

せっかくの、宿泊学習なのに班を自分で決められない事。仲良しこよしはダメなのは分かるけど。・・・

学校は楽しいと思います。二つ不満があるなら先生の(担任の先生)声大きい事です。もう少し声を落としてほしいです。後は修学旅行の班を自分たちで決めたいです。よろしく願いいたします。

私は4年生の初めのころにきて今年経っていますが先生に出会ってから様々な人に出会ってやっと慣れたので次は学校の役に立ちたいです。

学校は楽しいと思う。けど一つ不満があります。それは、担任の先生の声が大きいです

学校をきれいにしてほしいし、壊れているところをなおしてほしいです。

古い物を直してほしい

なかのよい友達とおなじくらすにほしい

クラスの人数を、少なくしてほしい。喧嘩をしたときに1人の話を聞くんじゃなくて両方の話を聞いて欲しい

これから頑張ってください

きれえ

前の学校でもっと友達と楽しめたかった

クラブ活動の日数を増やしてほしい

転入生をもっと増やして友達をたくさん増やしたい 体育を増やしてほしい

みんなが楽しく過ごせるような学校生活を遅れるようにしたい

150年間良く頑張ったと思う

楽しい学校、人のことをよくおもっている

くらすがえをしたい

もっと南小学校の校庭が広ければなあ・・・。

いじめのない学校でいいと思う。男女関係なく喋るのがいいと思う。

給食が美味しい。陸上楽しい。

いじめはよくない！

雨の日ではなくてもパソコンをやらせてほしい!!

友達関係がある

友達も、先生も優しいから毎日がとても楽しみ。でも、給食に豆が多すぎると思う。僕は、豆が大嫌いなのでやめてほしい。

最近、スズメバチやゴキブリを体育館でみました。わたしは大丈夫ですが、できれば駆除してほしいです。

先生が優しい
みんな、掃除がもくどうできていていいと思います。
登校の道が変わったから、ワクワクした。
鬼ごっこをしたい。
タブレットやりたい
学校超楽しい!!!!
特に何も思っていない
怪我などがなく、安全に楽しく過ごせるといいと思います。
学校ではいつも楽しく勉強できています。先生と同じクラスのお友達と一緒に最高の一年間を過ごして行きたいです。
ロング休みがあることがうれしい。
みんな、もう少しいい挨拶をした方がいいと思う
先生達は、すごい優しくて、接しやすいので、いいと思います！
体験があって楽しいですが、悲しい、苦しい悩みもあるので話を聞いてほしいです。
学校はとても楽しい！！
楽しい。明るい。面白い。
すごく楽しい
体育が楽しい。のびのびタイムと休みの時遊べるのが楽しい
タブレットやりたい
もっと学校がきれいだったら過ごしやすい。
晴れの日でもタブレットをやらせて欲しいです
普通
給食が美味しい。たくさんの人と友達になれる。
学校で上着についているフードをかぶらせてほしい
すごく一人一人の個性を大切にしていると思います。
ブランコ増やしてください。
もっとみんなが笑顔に学校生活を送れるようにしてほしい！特に問題児への、対応をもう少し頑張してほしい
もっと個人の気持ちに寄り添ってしっかり話を聞いてほしい。(出来れば)友達関係があまり良くない時に相談相手になってほしい。自分をもっと認めてほめて欲しい。
もっと、周りの目を気にしないで相談できる様になれば嬉しいです。
楽しく過ごしたい。
みんな優しいけど、メリハリはしっかりとつけてほしいです。
学習とか休み時間、休みなどはいいと思うんですが、たまに下級生がしているドッジボールのボールが自分のあたまにぶつかって危なかったり、ブランコに乗ってる同級生が勢いがついてる状態で飛んで危ないなと思居ます。
まあまあいいと思う
給食のメニューを辛いメニューをなるべくなくしてほしいです
クラスの雰囲気や先生はすごく良いと思う。しかしたまに友達関係が崩れたりけんかしてしまったりすることがたまにあるからもっと友達と仲良く過ごしたい
みんな仲良くいれたらいいと思います。
いやだな〜って思う時もあるけど楽しい時が多いから学校に通っていてよかったな〜って思います
「いじめ撲滅!!」といっている割には、いじめられるいやな思いをするひとがいる(経験上)。口調が悪い人がいる多い。楽しいことはある
学校のトイレが汚いと思う。
体育が多いといい。活動が多いといい。
いじめをなくしてほしい
どんぐり祭を復活させてほしい。
プールを直してほしい
熱中症のため午前中だけの授業にしてほしい
優しい人が多いと思ってる。イケメンが多い。
小動物を増やしてほしい
楽しい
意見箱みたいなのが欲しい
教室が狭い
どんぐり祭を戻してほしいとスマイルコンサートをやしてほしいうんどうかいをちゃんとやってほしい
遊具がどんどん壊されているので大日山など作り直してほしいです。
影でいじめや困らせている、などを無くしてほしい
校長先生がうざい、手を引っぱられた
らねんせいを3くらすにほしい。
楽しいです
楽しい
優しい先生やとても優しい友達のいる学校に行けて良かったです！！
楽しいから
pcを使った授業を増やしてほしい。
結論 学校最高!!
いい学校だと思えます。
とても過ごしやすい学校
いじめをする人を減らしてほしい。
クラブや、委員会活動の種類がたくさんあっていいと思います。

毎日よく勉強できるいい学校だと自分は、思います。

遠足や、体験学習などの、友達と仲良くなれる様な非日常を増やしてほしい。

素晴らしい学校思う。思いやりのあるがっこうだと思う。

給食が美味しい

勉強は、あまり好きではないけど、先生方の教え方が分かりやすくて苦手な教科も好きになりました！ありがとうございます。

いろんな人とかかわれてまあ楽しい

クラブ活動を、もう少し多くしてほしいです。

とても学校が楽しいし、友達や先生も優しくしてくれるのでこのままの学校生活を送っていきたい

学校生活が楽しくなるように、もう少しみんなで話し合う機会を作ってくれればうれしいです。

時々、いじめが起きているので、対応してほしい。

学校に危険な場所があるから直してほしい

とても楽しいです。

給食がおいしい

パンの給食の日を増やしてほしい。パンの種類を増やしてほしい。

クラブ活動が、楽しいと思います。

自然にふれたい

楽しい

そろそろひび割れ等を直す改修工事を行ってほしい。

みんなで仲良くできる、学校生活がおくれている。

いつも楽しい

学校の決まりを守ってほしい

みんな仲いいし、差別をしないで生活ができていていいと思う

たまに、古くて教室の床の板外れてしまったから直してほしい

みんなが優しい。

楽しい

楽しい

学習のできるいい所

もっとみんなで遊びたい

すごく楽しい

先生によって教え方が違うからいいと思います。

みんなと一緒に遊んで楽しくて新しいことを知れて楽しいです

担任の先生が給食をおかわりさせてくれない

友達の意地悪をしない

挨拶がたくさんできて、いいと思います。

ドリルタイムをなくしてほしい。1時間目の休み時間をちゃんととってほしい。

授業が長く感じる

もっと、あまり話さない人や他のクラスの人、他の学年の人と積極的に関わられるようにしてほしい。(授業や縦割りなどで積極的に活動する)

僕は、みんなの素顔が見たい。だから、マスクを出きるはんいに外したい。体験学習や校外学習を増やしてほしい。(時間・数)

もう少し、体育の内容を増やして欲しいです。

友達学校に、来たくないと言ってるので行きたいと思う学校にしてほしい。

ロッカーが狭いので大きくしてほしい。昇降口を出て日陰がないので日陰を作してほしい。

学校は楽しいけどちょっと心配があるから(いやなこと)があるからたまにいきたくない。

宿泊学習は自分たちがグループを決めたい！！！！

勉強がムズイ

さんずうがむずい

いじめのない学校にしたい。

算数・社会の学習が難しい

友達ができて楽しい

これからも、楽しく和良比小学校で学んでいきたいです。

楽しい

先生が時に優しく面白くたまに怖くしてくれているところ。授業が分かりやすい。友達や先生と話ができる。

トイレが汚い

マスク・友達との関わりという厳しいルールが気になる。校外学習やイベントを増やして友達とかかわりたい。コロナに関する対策について考えてほしい。

いじめのない学校にする

大きいサッカーゴールが校庭にあると思います

図工や体育、家庭科などの楽しい授業を増やしてほしい

毎日すごく楽しい 休み時間に友達と話したり、遊んだりできる。先生の授業がわかりやすい。

いじめのない平和な学校にしてほしいです。

楽しい

いじめをなくしてほしいです。

人数が増えて欲しい

学校は優しい人がたくさんいるけど遊びとかでけんかをしてしまうことがあるのでけんかを止めたらとてもいい学校になると思います。(こんなことを言ってますみません。)

学校は楽しく学習できていいと思った

階段が滑りやすい

優しい子が多いいいがっこう

もう少し学校内をきれいにして欲しいです。いじめを無くして欲しいです。給食でお寿司を出してほしいです。

楽しい

最も親身に話、言わずらいことを聞いてほしい

回答結果 集計表 < 生徒 >

I-1 性別

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| (1) 男 | 276 | 46.5% |
| (2) 女 | 305 | 51.4% |
| (3) 回答しない | 12 | 2.0% |
| 計 | 593 | 100.0% |

II-2-1 あなたは、学校に通うのが楽しいですか

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------------|-----|--------|
| (1) 楽しい | 289 | 48.7% |
| (2) どちらかといえば楽しい | 239 | 40.3% |
| (3) あまり楽しくない | 48 | 8.1% |
| (4) 楽しくない | 17 | 2.9% |
| 計 | 593 | 100.0% |

II-2-2 問2-1で「1. 楽しい」、「2. どちらかといえば楽しい」と回答した方だけにおききます。 楽しいと思う理由は何ですか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|----------------------|-----|-------|---------------|
| (1) 友だちと話ができる、または遊べる | 487 | 92.2% | |
| (2) 先生と話ができる、または遊べる | 85 | 16.1% | |
| (3) 授業がおもしろい | 137 | 25.9% | |
| (4) 放課後の時間が楽しい | 202 | 38.3% | |
| (5) 給食の時間が楽しい | 133 | 25.2% | |
| (6) クラブ活動や部活動が楽しい | 293 | 55.5% | |
| (7) その他（ ） | 16 | 3.0% | 図書室、係・委員会、通学等 |
| 計 | 528 | | |

II-2-3 問2-1で「3. あまり楽しくない」、「4. 楽しくない」と回答した方だけにおききます。 楽しくないと思う理由は何ですか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|-------------------|-----|-------|--------------|
| (1) 友だち関係がうまくいかない | 16 | 24.6% | |
| (2) 先生とあわない | 9 | 13.8% | |
| (3) いじめられる | 1 | 1.5% | |
| (4) 授業がつまらない | 20 | 30.8% | |
| (5) 授業がわからない | 25 | 38.5% | |
| (6) 勉強したくない | 28 | 43.1% | |
| (7) やりたくないことが多い | 31 | 47.7% | |
| (8) クラスになじめない | 17 | 26.2% | |
| (9) その他（ ） | 10 | 15.4% | 集団が苦手、学校が嫌い等 |
| 計 | 65 | | |

II-3-1 あなたは、学習の内容をどの程度理解していると思いますか

| | 回答数 | 票数/人数 |
|----------------|-----|--------|
| (1) 大部分を理解している | 95 | 16.0% |
| (2) だいたい理解している | 403 | 68.0% |
| (3) あまり理解していない | 85 | 14.3% |
| (4) 理解していない | 10 | 1.7% |
| 計 | 593 | 100.0% |

II-3-2 問3-1で「3. あまり理解していない」または「4. 理解していない」と回答された方に伺います。 授業を理解できない原因は何だと思えますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|-----------------------|-----|-------|--------------------------|
| (1) 学習意欲がわからない | 54 | 56.8% | |
| (2) 学ばなければならない量が多すぎる | 52 | 54.7% | |
| (3) 先生の教え方が良くない | 4 | 4.2% | |
| (4) 授業に集中する雰囲気学級の中にない | 3 | 3.2% | |
| (5) 勉強の内容が難しすぎる | 50 | 52.6% | |
| (6) 原因がわからない | 18 | 18.9% | |
| (7) その他（ ） | 7 | 7.4% | 授業のスピードが早い、欠席が多い、習い事が多い等 |
| 計 | 95 | | |

II-4 あなたが勉強するのはどうしてですか。勉強する理由を教えてください（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|-------------------------|-----|-------|---------------|
| (1) 新しいことを知るのが楽しいから | 113 | 19.1% | |
| (2) テストでいい点数をとるとうれしいから | 333 | 56.2% | |
| (3) 勉強しないと家の人におこられるから | 168 | 28.3% | |
| (4) 友だちに負けたくないから | 128 | 21.6% | |
| (5) 希望する高校や大学に入りたいから | 347 | 58.5% | |
| (6) 世の中で役に立つ人になりたいから | 98 | 16.5% | |
| (7) 夢をかなえたいから | 188 | 31.7% | |
| (8) 友だちと一緒に勉強することが好きだから | 72 | 12.1% | |
| (9) 将来役にたつから | 280 | 47.2% | |
| (10) 充実した（楽しい）人生を送りたいから | 272 | 45.9% | |
| (11) その他（ ） | 23 | 3.9% | 達成感がある、義務だから等 |
| 計 | 593 | | |

II-5 あなたは、英語を使ってどのようなことがしたいですか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 |
|---------------------------------|-----|-------|
| (1) 英語検定等の資格を取得したい | 200 | 33.7% |
| (2) 英語の歌を聴いたり歌ったりしたい | 263 | 44.4% |
| (3) 英語音声の映画やテレビ番組、動画Webサイトを見たい | 177 | 29.8% |
| (4) メールやSNSなどで英文のメッセージを書きたい | 100 | 16.9% |
| (5) 英語の本（教科書や参考書以外）を自分から進んで読みたい | 106 | 17.9% |
| (6) 外国の人と英語で話したい（学校の授業以外で） | 213 | 35.9% |
| (7) 将来英語を使う仕事をしたい | 59 | 9.9% |
| 計 | 593 | |

II-6 あなたは、学校生活に関する次のようなことについて、どれくらいだと思いますか

| | 回答数 | | | | | 全体 |
|-----------------------|-------|---------------------------|--------------------|-------------|-----------|-----|
| | 良いと思う | どちらか といえ ば良い と思う | あまり良 いと思 わない | 良いと思 わない | わから ない | |
| (1) 友だちとの関係 | 360 | 195 | 16 | 7 | 15 | 593 |
| (2) 先生との関係 | 242 | 265 | 32 | 7 | 47 | 593 |
| (3) クラスの過ごしやすさや雰囲気 | 277 | 246 | 39 | 17 | 14 | 593 |
| (4) 授業のわかりやすさ | 215 | 304 | 37 | 14 | 23 | 593 |
| (5) タブレットを使った授業 | 260 | 229 | 64 | 19 | 21 | 593 |
| (6) A L T（外国語の先生）の授業 | 291 | 228 | 40 | 12 | 22 | 593 |
| (7) 自然や資源等の授業 | 244 | 251 | 35 | 1 | 62 | 593 |
| (8) 遠足や運動会などの学校行事 | 385 | 158 | 21 | 10 | 19 | 593 |
| (9) 学校のきまりやルール | 205 | 266 | 87 | 18 | 17 | 593 |
| (10) 給食のメニューや量 | 287 | 219 | 52 | 16 | 19 | 593 |
| (11) 校舎や教室のきれいさ | 214 | 260 | 84 | 27 | 8 | 593 |
| (12) 校舎や教室の広さ | 251 | 235 | 73 | 15 | 19 | 593 |
| (13) 学校図書館（図書室）の使いやすさ | 261 | 176 | 42 | 9 | 105 | 593 |
| (14) クラスの係や委員会活動 | 287 | 247 | 30 | 7 | 22 | 593 |
| (15) クラブ活動や部活動 | 342 | 176 | 29 | 15 | 31 | 593 |
| 計 | | | | | | |

II-7 学校に対して、どのようなことを望みますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|----------------------------|-----|-------|-------------------------------|
| (1) 興味のあることをたくさん勉強したい | 249 | 42.0% | |
| (2) クラスの人数を少なくしてほしい | 71 | 12.0% | |
| (3) 体験学習を増やしてほしい | 262 | 44.2% | |
| (4) 一人一人の学力に合わせて教えてほしい | 227 | 38.3% | |
| (5) 校舎や教室、学習で使う道具をよくしてほしい | 168 | 28.3% | |
| (6) 全国の中で自分の学力がどれくらいかを知りたい | 175 | 29.5% | |
| (7) いけないことは、しっかり注意してほしい | 95 | 16.0% | |
| (8) 悩みや意見をじっくり聞いてほしい | 88 | 14.8% | |
| (9) がんばっていることをもっと認めてほしい | 157 | 26.5% | |
| (10) いじめのない学校づくりをしてほしい | 201 | 33.9% | |
| (11) 先生にはみんな平等に接してほしい | 201 | 33.9% | |
| (12) その他（ ） | 34 | 5.7% | 楽しい授業にしてほしい、部活の種類や時間を増やしてほしい等 |
| 計 | 593 | | |

Ⅲ-8 あなたは、朝食を食べていますか

| | 回答数 | 構成比 |
|--------------------|-----|--------|
| (1) 毎日食べている | 464 | 78.2% |
| (2) 週に1～2日食べない日がある | 82 | 13.8% |
| (3) 週に3～4日食べない日がある | 17 | 2.9% |
| (4) ほとんど食べない | 30 | 5.1% |
| 計 | 593 | 100.0% |

Ⅲ-9 あなたは、規則正しい生活ができていますか

| | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| (1) できている | 167 | 28.2% |
| (2) だいたいできている | 321 | 54.1% |
| (3) あまりできていない | 94 | 15.9% |
| (4) できていない | 11 | 1.9% |
| 計 | 593 | 100.0% |

Ⅲ-10 あなたは、ふだん学校がある日に次のことをどのくらいしていますか

| | 回答数 | | | | | | 全体 |
|-----------------------------|-------------|-----------|-------------------|-------------|-------------|-----------|-----|
| | 全くして いない | 30分未 満 | 30分～ 1時間未 満 | 1～2時 間未満 | 2～3時 間未満 | 3時間以 上 | |
| (1) 勉強をする（自宅で） | 65 | 113 | 183 | 164 | 54 | 14 | 593 |
| (2) 読書（マンガ・雑誌を除く）をする | 238 | 207 | 79 | 41 | 17 | 11 | 593 |
| (3) 音楽を聴く | 53 | 174 | 139 | 99 | 50 | 78 | 593 |
| (4) テレビや動画を見る | 12 | 56 | 97 | 163 | 110 | 155 | 593 |
| (5) 電話やメール（LINEなど含む）をする | 68 | 174 | 137 | 102 | 55 | 57 | 593 |
| (6) マンガ・雑誌を読む | 239 | 171 | 95 | 51 | 19 | 18 | 593 |
| (7) ゲームをする（スマホゲームやTVゲームを含む） | 114 | 74 | 100 | 123 | 72 | 110 | 593 |
| (8) 学習塾や習いごと | 191 | 16 | 41 | 175 | 118 | 52 | 593 |
| (9) 運動やスポーツをする（学校以外で） | 188 | 138 | 83 | 92 | 39 | 53 | 593 |

Ⅲ-11 あなたは、ふだん何時間くらい寝ていますか

| | 回答数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| (1) 5時間未満 | 38 | 6.4% |
| (2) 5～7時間未満 | 250 | 42.2% |
| (3) 7～9時間未満 | 276 | 46.5% |
| (4) 9時間以上 | 29 | 4.9% |
| 計 | 593 | 100.0% |

Ⅲ-12-1 あなたは、自分専用の携帯電話やスマートフォン・タブレットを持っていますか（学校のタブレットは除く）

| | 回答数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| (1) 持っている | 560 | 94.4% |
| (2) 持っていない | 33 | 5.6% |
| 計 | 593 | 100.0% |

Ⅲ-12-2 あなたは、携帯電話やスマートフォン・タブレットを平日どのくらい使いますか

| | 回答数 | 構成比 |
|--------------|-----|--------|
| (1) 4時間以上 | 129 | 21.8% |
| (2) 3時間～4時間位 | 112 | 18.9% |
| (3) 2時間～3時間位 | 153 | 25.8% |
| (4) 1時間～2時間位 | 134 | 22.6% |
| (5) 1時間未満 | 48 | 8.1% |
| (6) 全くしていない | 17 | 2.9% |
| 計 | 593 | 100.0% |

Ⅲ-12-3 あなたは、携帯電話やスマートフォン・タブレットを休日どのくらい使いますか

| | 回答数 | 構成比 |
|--------------|-----|--------|
| (1) 4時間以上 | 286 | 48.2% |
| (2) 3時間～4時間位 | 110 | 18.5% |
| (3) 2時間～3時間位 | 94 | 15.9% |
| (4) 1時間～2時間位 | 57 | 9.6% |
| (5) 1時間未満 | 33 | 5.6% |
| (6) 全くしていない | 13 | 2.2% |
| 計 | 593 | 100.0% |

Ⅲ-12-4 あなたが、インターネットを利用するうえで気を付けていることはなんですか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 |
|--|-----|-------|
| (1) 相手の気持ちを考えてメールする | 435 | 73.4% |
| (2) 自分や相手の個人情報（写真や画像）をSNS等に掲載したり送信したりしない | 427 | 72.0% |
| (3) 人の悪口をSNS等に掲載したり送信したりしない | 422 | 71.2% |
| (4) パスワード等を人に教えない | 418 | 70.5% |
| (5) 相手に許可なく写真や動画を撮影しない | 337 | 56.8% |
| (6) その他 | 37 | 6.2% |
| 計 | 593 | |

Ⅲ-12-5 学習時にタブレットを使ってどのくらいのことができますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 |
|------------------------------|-----|-------|
| (1) キーボードを使って文字が入力できる | 545 | 91.9% |
| (2) 検索サイトから知りたい情報を調べられる | 545 | 91.9% |
| (3) プレゼンテーションソフトを使って、発表資料を作る | 362 | 61.0% |
| (4) 学習支援ソフトで「ドリル学習」ができる | 418 | 70.5% |
| (5) オンライン授業に参加できる | 483 | 81.5% |
| (6) カメラ機能を使って撮影できる | 426 | 71.8% |
| 計 | 593 | |

Ⅲ-13 あなたは、心配事や悩みがありますか

| | 回答数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| (1) ある | 70 | 11.8% |
| (2) ときどきある | 215 | 36.3% |
| (3) あまりない | 177 | 29.8% |
| (4) 全くない | 131 | 22.1% |
| 計 | 593 | 100.0% |

Ⅲ-14 あなたは、心配事や悩みがあるとき、だれに相談しますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|----------------|-----|-------|---------------------|
| (1) 友だち | 355 | 59.9% | |
| (2) 家族 | 311 | 52.4% | |
| (3) 先生 | 151 | 25.5% | |
| (4) その他（ ） | 100 | 16.9% | スクールカウンセラー、塾の先生、医師等 |
| (5) 相談する相手がいない | 14 | 2.4% | |
| (6) だれにも相談しない | 11 | 1.9% | |
| 計 | 593 | | |

Ⅲ-15 あなたは、この1年間で、学校の行き帰りに、次のような危険な目にあったことがありますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|--------------------------------|-----|-------|---------|
| (1) あやしい人に声をかけられた | 18 | 3.0% | |
| (2) 車とぶつかった（ぶつかりそうになった） | 54 | 9.1% | |
| (3) ブロック塀や建物がくずれてきた（くずれそうになった） | 1 | 0.2% | |
| (4) その他（ ） | 16 | 2.7% | 自転車、階段等 |
| (5) 危険な目にあったことはない | 509 | 85.8% | |
| 計 | 593 | | |

Ⅲ-16 あなたは、次のことについてどれくらいあてはまりますか

| | 回答数 | | | | 全体 |
|-------------------------------|-------|---------------|-----------------|---------|-----|
| | あてはまる | どちらかといえばあてはまる | どちらかといえばあてはまらない | あてはまらない | |
| (1) 学校のきまりを守っている | 335 | 239 | 16 | 3 | 593 |
| (2) 友だちとの約束を守っている | 393 | 191 | 9 | 0 | 593 |
| (3) 人が困っているときは、進んで助けている | 238 | 300 | 50 | 5 | 593 |
| (4) 近所の人に会ったときは、あいさつをしている | 279 | 234 | 70 | 10 | 593 |
| (5) 人の気持ちがわかる人間になりたいと思う | 434 | 139 | 18 | 2 | 593 |
| (6) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う | 457 | 122 | 11 | 3 | 593 |
| (7) 人の役に立つ人間になりたいと思う | 361 | 198 | 29 | 5 | 593 |
| (8) 将来、実現したい夢や仕事がある | 268 | 177 | 69 | 79 | 593 |

IV-17 あなたは、四街道市を「ふるさと」と感じますか

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------------|-----|--------|
| (1) 感じる | 180 | 30.4% |
| (2) どちらかといえば感じる | 200 | 33.7% |
| (3) あまり感じない | 103 | 17.4% |
| (4) 感じない | 45 | 7.6% |
| (5) わからない | 65 | 11.0% |
| 計 | 593 | 100.0% |

IV-18 四街道市の歴史や文化に興味がありますか

| | 回答数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| (1) 興味がある | 126 | 21.2% |
| (2) 興味がない | 223 | 37.6% |
| (3) どちらでもない | 244 | 41.1% |
| 計 | 593 | 100.0% |

IV-19 学校について思っていることがあれば、自由に書いてください

髪の毛の校則が厳しすぎだと思います

50分授業と45分授業の切り替えが面倒くさいからどっちかにしてほしい

休日の部活動の時間を増やしてほしい。

楽しい

人のレベルに合わせて授業ペースを変えたほうが良いと思った

すごく楽しいです。でも、もっと他学年の先輩や後輩と、交流を持ちたいです。あと、校外学習がしたいです。

椅子を直してほしい

いって言う人とダメって言う人がいるんですけどダメな場合なんでツープロダメなんですか？

テストの順位が正確に出るようにしてほしい

校則をみなおしてほしい

学年の順位を出して欲しいと思う

ジャージの使用時間の仕組みがいまいちわからない

流石に部活の最終下校6時は長いのでせめて5時半にしてください。定期テストの3日前に部活動停止は遅すぎるので1週間にしてください。

私にとって学校は大嫌いです、行きたくないです、楽しくないです

月に一回くらいはリモート授業をやってみたい

帰宅部も正式に部活として認めてほしい

もっと良い学校にする方法はたくさんあると思う

毎日楽しく、千代田中の歌声が響く良い学校だと思う。

授業と授業の間の移動時間が短い。(特に体育の後に理科などの移動教室があると忙しい。)いちいち制服に着替える必要が分からない。

校外学習や修学旅行を増やしてほしい

タブレットをもっと授業に使ったらよいと思います。

生徒が先生への信頼がないので信頼できる行動をしてほしい。部活へのやる気がない生徒がいるので、指導してほしい。

文庫本が少ない。理科の実験道具などが少ない。

コロナウイルスについての連絡をもっとはやくしてほしいです。

部活が少ない

給食の時間が短い

一つ一つの校則の理由を教えてください。

サッカー部なのでグラウンドを整備して欲しい。

何で体育祭あるの

毎日が楽しいです。充実した生活を送れていると思います。

部活動は恋愛禁止なのか

ありません

なるべく早く美術室にエアコンをつけて欲しいです。

面白くない。髪の毛染めていいと思う。ピアスOK。校則が厳しい。

校則をもう少し緩くしてほしい。

テニスコートを増やしてほしいです。

テニスコートをもっときれいにしてほしい。テニスコートの数を増やしてほしい。

通学路の負担が多すぎて帰る行くがとても大変なので改善してほしい。極端なツープロック禁止とかいう頭のおかしい校則を改善してほしい。靴下の色の指定を止めてほしい。言いたいことをまとめると、頭のおかしい人が作った頭のおかしい校則の即時撤廃を求めたい。

グラウンド状況が悪いです。もっと水はけのよい土・砂がいいです。あと石が多いです。

校則をもうちょっと軽くしてほしい。

部活の午後練習の帰りはジャージでいいのに朝練はあるときでも制服で登校が意味不明。自転車は危険性を考えてジャージはわかるが朝練あっても制服で着替えないといけない徒歩より優遇されている気がする。

校庭が狭い

トイレが汚い。部活が多い。先生がいい加減適当。校舎が古い。教室が狭い。うるさい奴が多い。校則が少し古い。

普段、評議委員として働いている僕は友達に呼びかけをされると嫌な顔をされたり嫌味を言われたり悩みが増えた。自分で言うのはちょっと違う気もするが、ちゃんとやってる方が嫌な気持ちになるのは違うと思うから、そこは先生方にフォローしていただきたいです。

もっと教育相談の時間を長くして欲しいです。（教育相談以外でも、もっと先生と話す時間が欲しいです。）

ご飯の炊き方をもう少し工夫できませんか？自分含めちらほらご飯がべちゃべちゃして気に入らないという人がいるような気がします。

なぜ家庭学習があるかなくすことはできないのか理由は何か言いて欲しい

体育館の雨漏りによって荷物がぬれたり、滑ったりする。北中は、避難場所にもなっているののでしっかり直して災害時に備えてほしいと思いました。

とても楽しい

テニスコートをきれいにしてほしいです。

学校についてじゃないかもしれませんが、美術部で活動するときに正直冷風機や扇風機じゃ足りない気がします。なので、部活動中使っていない冷房のついている教室で作業させてもらうなどさせてほしいなと思います。

二分前着席はありますか？

ところどころ壊れているものとかがあるから直したり買い変えてほしい

校則が厳しいと思います。

平日の部活動の時間を延ばしてほしい

友達がもっと欲しいです。あまり学校には行きたくありません

部室が欲しいです

トイレをきれいにしてほしい。

髪型は自由にしてほしいです。（ツーブロックなど。髪染めなどは除く。）タブレットで、その日の授業を放課後などに見返せるようにしてほしい。（録画して、Teamsにアップするなど。）

マンガの使用

忙しいのはわかっていますが、もっと担任の先生と話す時間が欲しいです。（教育相談など）

休み時間に奇声を出していたり、授業中でも大声で話している生徒がいる

グループつくってが苦手

衣替えの時期を毎年同じ期間と、決めないほうが良いと思う。理由は、年々地球温暖化などで気候が変わってきているし、寒い・暑い人はそれぞれだから。

体育館の雨漏りや壁の板を直してほしい

掃除用具をきれいにしてほしい

少しトイレが汚いのと変な匂いがする

学校の配布されているPCのスペックがとても低いので、上げてほしい。cpuがceleronN4000にメモリ4gb、emmc64gbは低すぎる。個人的にはcpuは12世代のi5か、ryzen6000シリーズのryzen5以上にしてほしい。メモリは16gb以上、ssd512gbにしてほしい

体育館の雨漏りをなんとかしてほしい。

トイレが狭い、体育館の電気が明るくなるのがおそい、部活中に体育館で扇風機を使っているときに急に止まる

校舎がぼろい

開校して35年もたってるせいかトイレや校内などで若干老朽化の見える場所があるのでその部分の更新工事とか特別校舎のクーラ設置をお願いします。

校舎を直して欲しい（雨漏り）

給食の白米がべちゃべちゃしていて食べにくいので、改善してほしい。・席替えや学校行事では、本当に生徒のことを考えて頂きたい。

回答結果 集計表 < 保護者（小学校） >

I-1 お子様との続柄

| | 回答数 | 構成比 |
|--------|-----|--------|
| (1) 父親 | 24 | 4.9% |
| (2) 母親 | 464 | 94.7% |
| (3) 祖父 | 0 | 0.0% |
| (4) 祖母 | 0 | 0.0% |
| 計 | 2 | 0.4% |
| | 490 | 100.0% |

I-2 年齢

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| (1) 29歳以下 | 6 | 1.2% |
| (2) 30歳代 | 158 | 32.2% |
| (3) 40歳代 | 298 | 60.8% |
| (4) 50歳代 | 28 | 5.7% |
| (5) 60歳以上 | 0 | 0.0% |
| 計 | 490 | 100.0% |

II-3 現在の教育施策について、次の項目にどのくらい満足されていますか

| | 回答数 | | | | 不満 | 全体 |
|-------------------------------|-----|--------------------|-------------|--------------------|----|-----|
| | 満足 | どちらか といえば 満足 | どちらで もない | どちらか といえば 不満 | | |
| (1) 体験的な学習の充実について | 50 | 226 | 148 | 57 | 9 | 490 |
| (2) 読書活動の推進について | 87 | 200 | 160 | 37 | 6 | 490 |
| (3) 自尊感情の育成について | 33 | 154 | 265 | 30 | 8 | 490 |
| (4) 正義感・規範意識の育成について | 33 | 172 | 251 | 26 | 8 | 490 |
| (5) 子どもの体力向上について | 53 | 175 | 172 | 78 | 12 | 490 |
| (6) 食育と健康教育の推進について | 67 | 213 | 169 | 35 | 6 | 490 |
| (7) 異校種・教育機関との連携推進について | 23 | 99 | 305 | 47 | 16 | 490 |
| (8) 特別支援教育の推進について | 44 | 144 | 278 | 18 | 6 | 490 |
| (9) 少人数学級の推進について | 50 | 166 | 220 | 41 | 13 | 490 |
| (10) 教職員の授業力の向上について | 43 | 176 | 204 | 50 | 17 | 490 |
| (11) 主体的・対話的で深い学びの実現について | 24 | 144 | 263 | 47 | 12 | 490 |
| (12) 小中一貫教育の推進について | 35 | 132 | 280 | 30 | 13 | 490 |
| (13) 夢を育む教育の推進について | 29 | 122 | 283 | 44 | 12 | 490 |
| (14) 外国語教育の推進について | 52 | 199 | 157 | 62 | 20 | 490 |
| (15) 情報教育の推進について | 46 | 186 | 203 | 38 | 17 | 490 |
| (16) 家庭との連携による学習習慣の形成について | 32 | 151 | 243 | 48 | 16 | 490 |
| (17) 子どもたちの学びを支える支援について | 34 | 136 | 260 | 46 | 14 | 490 |
| (18) 地域が誇れる開かれた学校づくりについて | 38 | 149 | 245 | 39 | 19 | 490 |
| (19) 安全教育・安全体制の充実について | 51 | 200 | 190 | 31 | 18 | 490 |
| (20) 施設整備の充実について | 44 | 168 | 168 | 78 | 32 | 490 |
| (21) 四街道の自然環境の学習について | 74 | 213 | 167 | 27 | 9 | 490 |
| (22) 食を通じたふるさと四街道への愛着の醸成について | 43 | 158 | 244 | 32 | 13 | 490 |
| (23) 四街道の伝統文化の学習について | 46 | 157 | 250 | 29 | 8 | 490 |
| (24) 家庭教育の支援について | 27 | 120 | 263 | 64 | 16 | 490 |
| (25) 青少年の健全育成について | 28 | 129 | 295 | 26 | 12 | 490 |
| (26) 体験・交流活動等の場づくりについて | 28 | 142 | 250 | 55 | 15 | 490 |
| (27) 地域人材の活用による学校支援や地域づくりについて | 38 | 147 | 267 | 28 | 10 | 490 |
| (28) 地域ぐるみの安全体制の構築について | 55 | 186 | 212 | 23 | 14 | 490 |

II-4 今後の教育施策について、次の項目はどのくらい重要だと思いますか

| | 回答数 | | | | | 全体 |
|--------------------------------------|-------|-----|-----|-----------|--------|-----|
| | とても重要 | 重要 | ふつう | あまり重要ではない | 重要ではない | |
| (1) ICT機器を活用した教育（オンライン教育を含む）、情報モラル教育 | 225 | 195 | 62 | 7 | 1 | 490 |
| (2) ALTと連携した外国語教育、実践的な英語力の育成 | 246 | 197 | 44 | 1 | 2 | 490 |
| (3) 理数教育、科学技術教育 | 143 | 211 | 131 | 5 | 0 | 490 |
| (4) 自然をいかした教育、環境教育 | 155 | 200 | 131 | 2 | 2 | 490 |
| (5) 望ましい勤労観や職業観を育てる教育 | 154 | 216 | 109 | 9 | 2 | 490 |
| (6) 小中学校の連携教育、小中一貫教育 | 55 | 184 | 213 | 32 | 6 | 490 |
| (7) 学校間（幼・保・小・中・高・大等）の連携 | 78 | 200 | 173 | 36 | 3 | 490 |
| (8) 学校図書館を活用した教育、読書活動 | 113 | 229 | 137 | 11 | 0 | 490 |
| (9) 豊かな心を育む道徳教育、命の教育 | 270 | 168 | 50 | 2 | 0 | 490 |
| (10) 体力向上、健やかな体を育てる教育 | 195 | 223 | 66 | 5 | 1 | 490 |
| (11) 望ましい食習慣の形成、健康に関する教育 | 158 | 221 | 109 | 1 | 1 | 490 |
| (12) 障害のある児童・生徒への支援 | 218 | 203 | 69 | 0 | 0 | 490 |
| (13) いじめ・不登校の解消、相談体制の整備 | 307 | 148 | 33 | 1 | 1 | 490 |
| (14) 教職員の資質・指導力の向上 | 274 | 171 | 43 | 2 | 0 | 490 |
| (15) 少人数教育、個に応じた指導 | 177 | 218 | 92 | 3 | 0 | 490 |
| (16) 教職員の働き方改革、児童・生徒と向き合う時間の確保 | 225 | 225 | 38 | 2 | 0 | 490 |
| (17) 防災・防犯教育、安全・安心な学校づくり | 225 | 212 | 53 | 0 | 0 | 490 |
| (18) 家庭や地域社会との連携、多様な地域人材の活用 | 114 | 223 | 146 | 5 | 2 | 490 |
| (19) 学校の教育活動や運営状況に関する情報の発信 | 103 | 235 | 148 | 4 | 0 | 490 |
| (20) 相談活動、街頭補導活動 | 96 | 203 | 180 | 9 | 2 | 490 |
| (21) 国際理解を重視した教育、グローバル教育 | 204 | 199 | 81 | 4 | 2 | 490 |
| (22) 外国にルーツを持つ児童・生徒への支援 | 130 | 205 | 148 | 7 | 0 | 490 |
| (23) 市の歴史・文化・風土を重視した教育 | 69 | 185 | 215 | 18 | 3 | 490 |
| (24) 学校施設・設備の充実 | 161 | 240 | 86 | 2 | 1 | 490 |
| (25) 夢を育む教育 | 165 | 210 | 108 | 4 | 3 | 490 |
| (26) 多様性を認め合う教育 | 231 | 186 | 67 | 5 | 1 | 490 |

III-5 あなたのお子様は、次のような能力や態度がどの程度身についていますか

| | 回答数 | | | | | 全体 |
|---------------------------|---------|-----------------|-------------|----------|-------|-----|
| | 身につけている | どちらかといえば身につけている | あまり身につけていない | 身につけていない | わからない | |
| (1) 教科の基礎的な学力 | 117 | 293 | 75 | 1 | 4 | 490 |
| (2) ICT機器を活用する力や情報モラル | 56 | 281 | 118 | 11 | 24 | 490 |
| (3) 外国語（英語）を聞いたり、話したりする力 | 19 | 162 | 221 | 67 | 21 | 490 |
| (4) 環境やエネルギーを大切にする意識 | 34 | 198 | 196 | 34 | 28 | 490 |
| (5) 健康や安全を自己管理する力 | 70 | 269 | 124 | 17 | 10 | 490 |
| (6) 基本的な生活習慣や食習慣、整理整頓 | 52 | 253 | 152 | 30 | 3 | 490 |
| (7) 生き方や進路について考える力 | 22 | 143 | 232 | 52 | 41 | 490 |
| (8) 自ら学び、考え、主体的に行動する力 | 36 | 218 | 179 | 38 | 19 | 490 |
| (9) 新しいものを生み出す創造的な力 | 38 | 203 | 178 | 39 | 32 | 490 |
| (10) 表現力やコミュニケーション力 | 60 | 237 | 146 | 29 | 18 | 490 |
| (11) 豊かな心や情操 | 85 | 281 | 91 | 10 | 23 | 490 |
| (12) 思いやりの心や、善悪の判断など道徳心 | 127 | 324 | 31 | 4 | 4 | 490 |
| (13) 物事をやり遂げる粘り強さ | 75 | 218 | 156 | 29 | 12 | 490 |
| (14) 社会生活に必要な常識やマナー、あいさつ | 99 | 302 | 77 | 6 | 6 | 490 |
| (15) 社会に役立とうとする心や公共心 | 38 | 236 | 150 | 22 | 44 | 490 |
| (16) 伝統や文化を大切にし、郷土・国を愛する心 | 27 | 138 | 206 | 51 | 68 | 490 |
| (17) 体力や運動能力 | 91 | 228 | 130 | 32 | 9 | 490 |
| (18) 人間関係を築く力 | 78 | 288 | 89 | 11 | 24 | 490 |
| (19) 集団生活での協調性、きまりやルールの順守 | 148 | 300 | 29 | 5 | 8 | 490 |

Ⅲ-6 あなたのご家庭では、お子様とのかかわりの中で次のことをどのくらい心がけていますか

| | 回答数 | | | | 全体 |
|---------------------------------------|--------|----------------|------------|---------|-----|
| | 心がけている | どちらかといえば心がけている | あまり心がけていない | 心がけていない | |
| (1) 規則正しい生活習慣を身につけさせる | 275 | 205 | 9 | 1 | 490 |
| (2) 子どもが手伝う家事の分担を決める | 110 | 225 | 140 | 15 | 490 |
| (3) 悪いことはきちんと叱る | 405 | 84 | 0 | 1 | 490 |
| (4) 自分でできることは自分でさせる | 261 | 209 | 20 | 0 | 490 |
| (5) 家族で食事をする | 332 | 144 | 12 | 2 | 490 |
| (6) 将来の夢や目標について話をする | 168 | 247 | 70 | 5 | 490 |
| (7) 子どもの勉強をみる | 167 | 229 | 89 | 5 | 490 |
| (8) ものづくりや自然体験の機会をつくる | 96 | 220 | 159 | 15 | 490 |
| (9) 運動やスポーツをする機会をつくる | 192 | 179 | 114 | 5 | 490 |
| (10) 学校での出来事や相談などをきく | 293 | 190 | 4 | 3 | 490 |
| (11) 家族・地域の人にあいさつをさせる | 272 | 200 | 16 | 2 | 490 |
| (12) 学習環境を整える | 168 | 278 | 44 | 0 | 490 |
| (13) 地域行事への参加を促す | 66 | 200 | 203 | 21 | 490 |
| (14) 社会のきまりの大切さについて話をする | 230 | 229 | 28 | 3 | 490 |
| (15) 学校教育と社会とのつながりについて話をする | 98 | 224 | 152 | 16 | 490 |
| (16) 自分や家族の仕事について話をする | 207 | 220 | 59 | 4 | 490 |
| (17) 子どものプライバシーを尊重する | 157 | 276 | 56 | 1 | 490 |
| (18) ゲームや携帯電話・スマートフォンの使用についてルールや約束を作る | 226 | 210 | 51 | 3 | 490 |

Ⅲ-7 あなたは、お子様にどのように育ててほしいと思いますか（主なもの3つまで）

| | 回答数 | 票数/人数 |
|------------------|-----|-------|
| (1) 学力がある | 103 | 21.0% |
| (2) 思いやりがある | 367 | 74.9% |
| (3) 協調性がある | 112 | 22.9% |
| (4) 他人を認めることができる | 153 | 31.2% |
| (5) 心身がたくましい | 151 | 30.8% |
| (6) 我慢強さがある | 61 | 12.4% |
| (7) 自立心がある | 117 | 23.9% |
| (8) 行動力がある | 89 | 18.2% |
| (9) 柔軟性がある | 100 | 20.4% |
| (10) 創造性が豊か | 51 | 10.4% |
| (11) 適切な判断力がある | 194 | 39.6% |
| (12) 礼儀正しい | 116 | 23.7% |
| (13) 特にない | 1 | 0.2% |
| 計 | 490 | |

Ⅳ-8 あなたは、学校の活動に参加したり、先生に協力したりしたいと思いますか

| | 回答数 | 構成比 |
|------------------|-----|--------|
| (1) そう思う | 147 | 30.0% |
| (2) どちらかといえばそう思う | 263 | 53.7% |
| (3) あまりそう思わない | 68 | 13.9% |
| (4) そう思わない | 12 | 2.4% |
| 計 | 490 | 100.0% |

Ⅴ-9 四街道市の歴史や文化に興味がありますか

| | 回答数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| (1) 興味がある | 188 | 38.4% |
| (2) 興味がない | 97 | 19.8% |
| (3) どちらでもない | 205 | 41.8% |
| 計 | 490 | 100.0% |

子どもたちについていただいた先生方はどの先生も多忙な中なのに、子どもに熱心に対応して下さっていて、本当に感謝しております。PTAを嫌悪する保護者が目立ちつつありますが、PTA役員をやっても学校や先生のサポートしたいと思う保護者も沢山いると思いますので、PTAとは別に学校が人手が欲しい時にお手伝いに行けるようなサポート隊みたいな制度があると良いなと思いました。

いじめの対応や個人の入学からの情報をちゃんと引き継ぎして欲しい

スクールカウンセラーなどに相談したりする事がとてもしづら。フルタイムでシフト調整が難しい親は相談できない。障害児、発達障害児、グレーゾーンの子たくさんいると思うのですが相談窓口がわからない。相談できたとしてもその後の展開がやややで先に進まない。役所、教育委員会も連携して困りことがある子供、そしてその親にも手を差し伸べて欲しいです。

大人が子供を指導するという価値観に立って、教育を考えるから、子供の自尊心も信頼感も、主体的対話的学びも育たない。子供も大人も対等に共に育ち合うという視点で、学校教育を転向していただきたい。この少子化の時代に全国で不登校20万人、子供の自殺が年間500人にもなります。「学校に行きたくない」と言って死んでいく子供がどんどん増えていくこの状況において、いまだ何十年も前の教育観を引きずり続け、子供が苦しんでいることに気づかないのは私たち大人の責任です。10年後、20年後子供たちが生きる社会は、多くの仕事はAIに取って代わり、今よりはるかに多様なはず。自分を大事にし、隣にいる人を大切にできる子供たちが育つには、今の教育の在り方で本当にいいと思いますか？いまだ子供たちに対し、人権侵害かと思うような先生の言葉使いや関わりがあったり、やるべき、すべき、とがんじがらめの答えありきの教え込み教育、一斉教育で、どうやって、「主体的対話的、深い学び」、「多様な社会を生き抜く」ことが得られるのか疑問です。チームで子供を見れば、担任の当たりハズレもなくなるはず。わからないことは、子供同士で話し合い、学びを深めていくこともできるはず。少人数制にすれば、先生方が、一人一人の困りごとに気づきやすくなり、先生一人で負う負担も軽減します。そもそも、子供が好きで教師になっているはずなのに、先生たちは、学校で子供たちの日常のエピソードを話し合う機会がありますか？先生が子供の前で本音を言えていますか？授業をいかにうまくやるか、は求めません。そういった技術はいくらでもなんとでもなります。子供たちが望んでいるのは、「私たちの声を聞いてほしい」です。学校は、本来子供のための場所です。しかも、一日の大半を過ごす暮らしの場でもあります。大人が何を与えるか、教え込むのではなく、子供が大人と共に作っている実感できる、子供のための学校を、作ってください。全国の心ある行政、教育関係者はすでに行動を起こしています。どうか、子供の自尊心、信頼感の根をこれ以上引っこ抜かないでいただきたい。子供を育てる親として、子供に関わり続ける人として、私も地域でできることを続けていきます。

子どもの為に頑張ってください先生達に協力したいと思う保護者は沢山いると思いますので、ぜひ気軽に保護者が学校活動に協力出来る仕組み作りをお願い致します。

下志津新田地区に住んでいる。通学路が交通量が多く、事故が多い。歩道もなかつたり狭かつたりしていたり、民家の植木や生垣の木や枝が歩道にはみ出してでそれを避けて通るため、車道との距離がちかくなってしまっていて危ない。とても心配なので朝は途中まで送っていつている。通学路の安全を見直して欲しい。

PTAのあり方について、コロナ禍を機会に一度見直しをすべきと思います。子供の安全や先生方の負担軽減になる活動のみに絞ってスリム化が必要です。前例踏襲でなかなか大きく改革できる状況にないのに、児童数は減り小規模校では保護者間でのトラブルにも繋がっており、市をあげて見直しの号令をかけてもらえるとありがたいです。

市立図書館をもっと大きく、充実したものにして欲しいです。

司書の方を配置してくださっているおかげで、読書をとても楽しんでます。市の図書館が一層充実すると良いなと思っています。働き方改革、子どもたちの深い学びのためにも、専科教員の配置・増員を今後もお願いします。給食を楽しみに、毎日おいしくいただいています。栄養教諭の方の所属校ではないため、なかなかお会いする機会がないようです。受配校でも食育の機会があるとありがたいです。(現在コロナの関係で難しい面もありますが。)みその温水プールを活用する予定はありますか？学校全体が穏やかな雰囲気、安心して通うことができている。今後も子供の人権を尊重して、学校と家庭と一緒に大切に育てていきたいです。

学習支援を強化して欲しい。サポート枠を増やして欲しい

先生によっていろいろ変わると思いますが、学習の仕方、宿題の出し方など校長がある程度把握してほしいと思います。校長や教頭が変わることで、学校の雰囲気が変わりすぎることもダメではないですか？今年、新しく赴任した先生の宿題が、習っていないことが出たり、自学ばかりで、子供達も困惑しています。もっと子供たちに寄り添ってほしい、自分の価値観だけでなく、目の前にいる子供たちを見てほしい。学校とは勉強だけでなく、人と人との関わりを学ぶ場所でもあると思っているのですが、どうも学力だけを見られている気がしてなりません。

保護者や地域の方が、子どもたちの学力向上のために参加できる仕組みを作ってほしい。タブレット学習の導入は進んだが、目を休めるなどのケアが少ないので、そのような取り組みを増やしてほしい。

南小学校は人数が増えたのに、学校がせまく、昼休みものびのびと遊べない、図工室がないなど狭いことで、子供たちの教育において、他の学校と、とても差を感じる。吹奏楽部や体操部など市内小学校はあるのに、南小は何もない。全校児童数が変わらないうのに、同じように活動できないのは疑問に感じる。住んでいる地域で決まった小学校に行くので、行きたい小学校を選べないのが不公平だと思う。南小も活発な学校になってほしい。

千葉市の様にもっと学校をやってほしい。休みが多いのに、コロナの時の学習の補填がない。

PTA活動の見直し。共働きやシングル世帯が増えている中で、バレーボール大会やソフトボール大会の運営などは本当にやらなければならないPTA活動なのか考えるべき。任意団体故に、加入者が減る前に、活動の抜本的見直しと、外部化を図るべき。外部化でお金を動かしたほうが、結果的に地域経済の活性化を狙うことができる。

外部と交流する機会ももっとあってほしいと思う。例えば体育なら専門家からレッスンを受けるなど。小中一貫教育も今どころ交流があるような実感が無い。もう少し相互交流などがあればいいと思う。

担任の力量によって、そのクラスの良い、悪いにかなり差が出るように思います。今のクラスの先生は子どもをしっかりと叱ることができないのか、授業中にしゃべる子がいたり、とにかくうるさく、きちんと授業ができてくるのか不安になります。今の担任は、去年のクラスでも学級崩壊していたらしく、とにかく不安で仕方ありません。そういう教師にはできれば担任はもってほしくありません。きちんとした指導をお願いします。

安全面にもう少し気を配ってほしい。

ランドセルが重い事が問題になっているが、使わないタブレットを毎日持ち帰りさせるなど適切な指導をしているとは思えない。コロナ禍で運動量の低下により体力・筋力が落ちて中、ますます体への負担がかかっている。ランドセル以外の軽いバッグを使う地域もあるが、教材の持ち帰りが減らせないのなら、代替案を出すべきではないか？

四街道はアフガニスタン人等、外国人がとても増えているので、外国語をもっと特化し教育をして欲しいと願います。他市からのモデルとなるような、新しい教育の時間もあって欲しいと思います。

スクールカウンセラーの先生との接点を増やす。話したい、相談したくなったら…じゃなくて 普段から交流の場を増やし話しやすい環境を作って欲しい。

生徒主体の探究型の授業をもっと取り入れてほしい。

同じ市内の学校なのに、休日のタイミングや水泳教室、外国語授業の回数などなど、色々な違いや差がありすぎる気がします。もう少し擦り合わせて、教育の質に差が出ないようにしていただきたいです。

ランドセルが重たすぎるので、その日に家庭で必要のないものは極力学校に置くなど、臨機応変に考えて効率よく生きる能力にもつながると思うので、積極的に置き勉を推奨して欲しいです。いつも全部を持ち帰り特に月曜日は重すぎて可哀想です。

コロナにより制限がかかって大変だと思っていますが、可能な限り様々な体験をさせて頂けたら有難いと思います。

中央小学校は、中学で、四街道北中と、四街道中にわかれてしまいます。しかも、四街道中は、少人数です。中央小学校で先生方と友達とたくさん学んで、築きあげた友情や信頼関係を継続させる環境をつくってほしいです。中学生は、とても難しい時期です。毎年、毎年、本当は、北中に行きたいという近隣のお子さんの声を耳にします。小中学校一貫教育の本当の実現をどうぞよろしくおねがいします。

四街道の歴史についてきちんと教えて欲しいです。大土手山や陸軍があったことなど。。。

同年代だけでのコミュニケーションについて検討してもよいかと存じます。色々な世代との交友を増やして、年齢を障害としないコミュニケーション能力が今後必要と考えます。

防犯カメラを増やし子供が守られている事を自覚させる必要がある。実際に守ることも出来る。

放課後の居場所がもっと増えてほしい

大日小学校のプールは、いつか直るのでしょうか？暑い中、徒歩でプールに行かせるのは心配です。せめて、バスを利用する等、対策が欲しいです。外国人のお子さんの受け入れをするなら、言語まで責任をとるべきではないでしょうか。会話も出来ない子、授業内容もわからずただ1日座って過ごすクラスメイトに子ども達は戸惑っています。

コロナ禍で色々ストップしていた行事が少しずつできるようになってほしいです。

コロナで行事や体験学習が簡素化されて難しい世の中になっていると思います。アンケートの質問、わからない内容が多すぎます。その質問について、学校でどのような活動が行われているか具体的に知りません。

今の担任が嫌です。他の子ども達も嫌がってます。どうにかなりませんか。

一人一台タブレットを貸与していただき、学校を休んでいるときもオンライン授業をしっかりとやっていただけることが、とてもありがたいと思っております。2年前にコロナで中学校の修学旅行に行けなかった子どもがいて、その代替行事もいまいちで残念な思いはしていますが、その後はできる限り学校行事を充実させる努力をしてくださり、5年生の子どもは宿泊学習、オーケストラ鑑賞などいろいろな活動を経験させていただきとても喜んでます。ありがとうございます。あと、これから中学生になるにあたって、中学校の部活動の充実を強く望みます。

小学校のことに限らず、市内の中学校も含めた意見です。学習障害のある子への支援が不十分だと思います。合理的配慮の申請を法的な手順で申請した子については、もっと積極的に配慮してあげてください。権利が認められているので、人員不足は配慮不可の理由にならないと思います。たくさん生徒の中の1人かもしれませんが、その子の未来がかかっていることを理解し、助けてほしいです。人員不足だとしても、工夫次第で配慮をすることは出来ると思います。前向きに取り組もうという姿勢が感じられません。出来ないということは簡単ですが、そこに至るまで、何年も家庭で悩み、労力を費やしてきたことをわかっていただきたい。時代の流れからしても、もっとしっかり受け止めていただける環境がほしいです。市としても人材を育成する、派遣する等、できることがあるのではないのでしょうか。切実な願いです。よろしくおねがいいたします。

学習面を重要視する方向性が国からも示されていますが、学校内での子供たちを見てみると、まずは生活面での土台作りが重要なのではないかと思います。始業時間を過ぎていても悪びれずに堂々と入ってくる子。学年を問わず、です。挨拶が出来ない子。掃除をしない子、等々。社会に出てから必要なのは、人との関わりであったり、生活力であったり、学力が高くて社会人としては落第な人が沢山います。まずは、基本的な集団生活における必要な事柄の習得に努めるべきだと考えます。

アンケートに多数の項目がありました。教育委員会、現場は、これらのことに気を配って行っていることなのでしょうか？正直なところ、そんな目標があったんだ？と驚きました。学校は楽しく通っています。先生も、ここ数年は相性の良い先生に当たっているのか、心の成長が見られます。ただ、学力については、学校の最終目標がわからないので、自宅で進めるしかないと感じています。先生は多様な業務を行いながら、子供達を見守ってくださっている事に、頭が下がります。いくら教員採用試験に受かっているとはいえ、得手不得手があると思います。また業務も多様で先生の負担が大きいと思いますので、役割分担を進めて、それぞれの先生が自分の得意なところを更に伝えられるような現場であると良いと思います。先生に余裕がある方が、子供達のびのびと成長できると思います。全ての子供達にとって学校が楽しく活動できる場所であることを願っています。教育費用ですが、子供が多いので、義務教育とはいえ、給食費や教材費の集金が負担です。給食費や教材費は、無償化されることはないのでしょうか？

中学校の制服のデザインを変えてほしいです。

他人の家の前で複数で遊んで騒いだりする子供を何とかしてほしい

皆平等に接して欲しい。授業がわからなかった時の為にタブレットで授業の内容を見られたりわかりやすい説明などを動画又は文で載せて欲しい。

学校教育などに協力したい気持ちはあっても、仕事や家庭事情で大変難しいのが現状です。

子供達が安心安全に遊べるような場所を増やして欲しい。お年寄りからの苦情の方が多い気がする。

PTAの参加が負担。廃止してほしい。

ランドセルがいつもいっぱい重いことを改善してほしい。

佐倉市の子供達の郷土意識の高さ、継承される強い繋がり、新しい街創りも含め、学ぶべき事は多い。これ以上の遅れ、古い体質は見直すべきだと思う。親世代が四街道市の文化に興味や持てないのだから、子供には？

学校の設備面についてです。雨漏りしているところは、直してほしい。トイレが薄暗く、臭いが気になる。また、教育を受ける子どもたちは、先生方が健康でないと教育を受けることができない。先生方の健康を保つために、先生方の意見を聞いて業務改善を行ってほしい。

四街道市は子育てがしやすい街だと思います。これからも寄り添っていただける体制であって欲しいなと思います。

黙食を続けている以上、どんなにいい食材で美味しい給食が出ようと、様々な取り組みをしようと、食育には繋がららないと思います。いまだに黙食をさせる意味(黙食をしているのは学校だけではないでしょうか？会社でもしていないと思います。)、子どもたちに与える影響を考え直してほしいと思います。

コロナの影響もありますが、体力づくりの機会が減ったように感じ、体力の低下が心配です。

ALTの先生との関わり合いが他の市より少ないと思います。日本人の英語の先生も良いですが、生の英語で耳を慣らすことが大事、外国人との接触機会も大事だと思います。また、栗山小学校はALTの先生が何年も変わっていません。色々な先生と毎年交流する事も大事だと思います。

栗山小です。給食を増やす事は出来ているそうですが、おかわりは禁止になっているそうです。食育の観点において、いかがなものかと思えます。子どもたちも残念がっています。

命の大切さ、性教育について、四街道市でも学校講義に来てもらいたい。習志野、八千代エリアで活躍中の助産師鶴岡先生の話聞いて、ぜひ四街道の子供たちにも聞かせたいと思った。

子どもだけでなく、親世代、その上の世代は、こどもに恥ずかしくない行動が取れるよう、適切な指導者がいてほしい。そのための親世代教育の方が四街道には必要と感じる。教育者の人選も間違えたら未来の子どもたちに失礼なので、適切な教育者を育成してほしい。

課外活動をもっと増やしてほしいです。勉強も大切だがそれ以上に自然の中で友達と遊び、協力することを学ばせたい。コロナになり中止になったイベントが多すぎた。校外にでて色々学んでほしい。

読書を推進しているのに、四街道市図書館は狭い本が少ない。千葉市や佐倉市の図書館のようなあると、いいと思う。わるうべの里に本があるが、かなり古いものばかりで、借りたいと思わない。新しい本がおけないのであれば、場所がもったいないので、自習スペースにすると良いと思う。

昔よりもカリキュラムが増えたのに、授業時間数は、増えていないと思います。親が子供の時代には、もう少し授業の単元の進み具合も遅かったと思います。なので、今の子供達は、気の毒だなあと感じました。先生方も感染対策等、毎日の仕事量が以前よりも増え大変かと思えます。

先生が見ることができない、という理由で、体操部や吹奏楽部の練習ができないのは子供が可哀想。外部から講師を呼んでもいいのでは？

交通安全運動を増やして欲しいです。変質者が出ると先生から気を付けて、と先生からお話があっても、子供は恐怖心を煽られ怖がるだけでなんの為になりません。気を付けてと話されたなら、実際先生が下校の時に変質者が出た場所まで付き添ったり、危ない所まで付き添ったり、行動をしてください。子供は、守られていると安心出来ます。教員が減っているとニュースになっていますが、役員を集める、ボランティアとして保護者に募る等方法はあります。虐め問題と同じく交通安全運動も大切です。子供の命を真剣に考え守って欲しい。保護者にもっと、協力を願えば必ず応えてくれますよ。

陸上大会や運動会、マラソン大会等少しずつですが開催出来ると運動が得意な子はモチベーションが上がると思います。

エアコン設置やタブレット配布など、迅速な対応をしてくださり感謝いたします。最近では、欠席連絡をスマホから送信できる方法に変更していただいた事が嬉しかったです。私自身もそうですが、四街道で育ち、今も四街道に住む友人も多いです。四街道が好きなんだと思います。子ども達には四街道を好きになってもらいたいです。今後も子ども達ファーストの学校教育をお願いいたします。

義務教育なので中学生までの給食費は無償化してほしいです

子供たちの遊びや学びを広げられるような、校庭や公園などの設備を充実させて頂けると良いと思います。

子ども1人ひとりの特性を捉えて、適切な対応をしてもらえる環境になって欲しい。教職員の態度が子どもの心を傷つける原因とならないようにする為、心の余裕が持てるような働き方改革も必要かと思う。

旭中学校への通学路が危険でバス停からも遠く不便なので早く整えてほしい。もしくは 小学校の近くに 中学校を新設してほしいです。

特別支援学級と交流学級の行き来が臨機応変にでき、インクルーシブ教育の入り口にいる現状に満足しています。教員が負担を軽くできるように業務改善を教育委員会主導で大胆に行ってください。教員の心の余裕は生徒にいい影響を与えます。

コロナ対応が学校ごとに異なっていて、良かったと思います。四街道の豊かな自然に触れる時間がもっとあると嬉しく思います。

できるだけいろいろな大人と出会い、いろいろな人と関わりながら、何か辛いことがあったときにも思い出せる顔がたくさんあるような環境で育てほしいと想っています。いつも温かいご指導ありがとうございます。

回答結果 集計表 < 保護者（中学校） >

I-1 お子様との続柄

| | 回答数 | 構成比 |
|--------|-----|--------|
| (1) 父親 | 18 | 5.3% |
| (2) 母親 | 324 | 94.7% |
| (3) 祖父 | 0 | 0.0% |
| (4) 祖母 | 0 | 0.0% |
| 計 | 0 | 0.0% |
| | 342 | 100.0% |

I-2 年齢

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| (1) 29歳以下 | 0 | 0.0% |
| (2) 30歳代 | 56 | 16.4% |
| (3) 40歳代 | 233 | 68.1% |
| (4) 50歳代 | 52 | 15.2% |
| (5) 60歳以上 | 1 | 0.3% |
| 計 | 342 | 100.0% |

II-3 現在の教育施策について、次の項目にどのくらい満足されていますか

| | 回答数 | | | | 不満 | 全体 |
|-------------------------------|-----|--------------------|-------------|--------------------|----|-----|
| | 満足 | どちらか といえば 満足 | どちらで もない | どちらか といえば 不満 | | |
| (1) 体験的な学習の充実について | 19 | 112 | 153 | 52 | 6 | 342 |
| (2) 読書活動の推進について | 30 | 133 | 146 | 27 | 6 | 342 |
| (3) 自尊感情の育成について | 8 | 95 | 209 | 26 | 4 | 342 |
| (4) 正義感・規範意識の育成について | 15 | 131 | 168 | 23 | 5 | 342 |
| (5) 子どもの体力向上について | 40 | 110 | 134 | 48 | 10 | 342 |
| (6) 食育と健康教育の推進について | 41 | 147 | 129 | 21 | 4 | 342 |
| (7) 異校種・教育機関との連携推進について | 8 | 75 | 203 | 49 | 7 | 342 |
| (8) 特別支援教育の推進について | 14 | 85 | 235 | 5 | 3 | 342 |
| (9) 少人数学級の推進について | 25 | 90 | 188 | 34 | 5 | 342 |
| (10) 教職員の授業力の向上について | 13 | 88 | 174 | 57 | 10 | 342 |
| (11) 主体的・対話的で深い学びの実現について | 8 | 92 | 192 | 44 | 6 | 342 |
| (12) 小中一貫教育の推進について | 20 | 100 | 194 | 20 | 8 | 342 |
| (13) 夢を育む教育の推進について | 11 | 81 | 212 | 35 | 3 | 342 |
| (14) 外国語教育の推進について | 17 | 107 | 139 | 60 | 19 | 342 |
| (15) 情報教育の推進について | 23 | 118 | 155 | 36 | 10 | 342 |
| (16) 家庭との連携による学習習慣の形成について | 7 | 84 | 187 | 52 | 12 | 342 |
| (17) 子どもたちの学びを支える支援について | 8 | 91 | 189 | 46 | 8 | 342 |
| (18) 地域が誇れる開かれた学校づくりについて | 14 | 100 | 188 | 35 | 5 | 342 |
| (19) 安全教育・安全体制の充実について | 24 | 132 | 156 | 24 | 6 | 342 |
| (20) 施設整備の充実について | 17 | 116 | 121 | 63 | 25 | 342 |
| (21) 四街道の自然環境の学習について | 21 | 108 | 192 | 15 | 6 | 342 |
| (22) 食を通じたふるさと四街道への愛着の醸成について | 23 | 104 | 184 | 28 | 3 | 342 |
| (23) 四街道の伝統文化の学習について | 11 | 67 | 235 | 24 | 5 | 342 |
| (24) 家庭教育の支援について | 6 | 69 | 189 | 67 | 11 | 342 |
| (25) 青少年の健全育成について | 12 | 88 | 212 | 23 | 7 | 342 |
| (26) 体験・交流活動等の場づくりについて | 7 | 83 | 199 | 46 | 7 | 342 |
| (27) 地域人材の活用による学校支援や地域づくりについて | 12 | 92 | 208 | 23 | 7 | 342 |
| (28) 地域ぐるみの安全体制の構築について | 27 | 133 | 160 | 21 | 1 | 342 |

II-4 今後の教育施策について、次の項目はどのくらい重要だと思いますか

| | 回答数 | | | | | 全体 |
|--------------------------------------|-------|-----|-----|-----------|--------|-----|
| | とても重要 | 重要 | ふつう | あまり重要ではない | 重要ではない | |
| (1) ICT機器を活用した教育（オンライン教育を含む）、情報モラル教育 | 155 | 147 | 36 | 4 | 0 | 342 |
| (2) ALTと連携した外国語教育、実践的な英語力の育成 | 189 | 123 | 28 | 1 | 1 | 342 |
| (3) 理数教育、科学技術教育 | 88 | 168 | 82 | 4 | 0 | 342 |
| (4) 自然をいかした教育、環境教育 | 66 | 176 | 93 | 7 | 0 | 342 |
| (5) 望ましい勤労観や職業観を育てる教育 | 116 | 167 | 56 | 3 | 0 | 342 |
| (6) 小中学校の連携教育、小中一貫教育 | 33 | 120 | 159 | 27 | 3 | 342 |
| (7) 学校間（幼・保・小・中・高・大等）の連携 | 54 | 130 | 137 | 20 | 1 | 342 |
| (8) 学校図書館を活用した教育、読書活動 | 59 | 161 | 111 | 11 | 0 | 342 |
| (9) 豊かな心を育む道徳教育、命の教育 | 158 | 137 | 45 | 2 | 0 | 342 |
| (10) 体力向上、健やかな体を育てる教育 | 100 | 186 | 51 | 5 | 0 | 342 |
| (11) 望ましい食習慣の形成、健康に関する教育 | 82 | 181 | 78 | 1 | 0 | 342 |
| (12) 障害のある児童・生徒への支援 | 134 | 157 | 50 | 1 | 0 | 342 |
| (13) いじめ・不登校の解消、相談体制の整備 | 188 | 130 | 24 | 0 | 0 | 342 |
| (14) 教職員の資質・指導力の向上 | 182 | 138 | 22 | 0 | 0 | 342 |
| (15) 少人数教育、個に応じた指導 | 103 | 173 | 64 | 2 | 0 | 342 |
| (16) 教職員の働き方改革、児童・生徒と向き合う時間の確保 | 138 | 156 | 46 | 2 | 0 | 342 |
| (17) 防災・防犯教育、安全・安心な学校づくり | 142 | 146 | 52 | 2 | 0 | 342 |
| (18) 家庭や地域社会との連携、多様な地域人材の活用 | 63 | 156 | 119 | 3 | 1 | 342 |
| (19) 学校の教育活動や運営状況に関する情報の発信 | 64 | 161 | 111 | 6 | 0 | 342 |
| (20) 相談活動、街頭補導活動 | 57 | 147 | 126 | 10 | 2 | 342 |
| (21) 国際理解を重視した教育、グローバル教育 | 150 | 145 | 44 | 2 | 1 | 342 |
| (22) 外国にルーツを持つ児童・生徒への支援 | 87 | 147 | 103 | 4 | 1 | 342 |
| (23) 市の歴史・文化・風土を重視した教育 | 29 | 130 | 167 | 15 | 1 | 342 |
| (24) 学校施設・設備の充実 | 104 | 166 | 72 | 0 | 0 | 342 |
| (25) 夢を育む教育 | 90 | 177 | 72 | 2 | 1 | 342 |
| (26) 多様性を認め合う教育 | 144 | 155 | 41 | 2 | 0 | 342 |

III-5 あなたのお子様は、次のような能力や態度がどの程度身についていますか

| | 回答数 | | | | | 全体 |
|---------------------------|---------|-----------------|-------------|----------|-------|-----|
| | 身につけている | どちらかといえば身につけている | あまり身につけていない | 身につけていない | わからない | |
| (1) 教科の基礎的な学力 | 45 | 167 | 94 | 33 | 3 | 342 |
| (2) ICT機器を活用する力や情報モラル | 30 | 187 | 94 | 18 | 13 | 342 |
| (3) 外国語（英語）を聞いたり、話したりする力 | 9 | 86 | 142 | 99 | 6 | 342 |
| (4) 環境やエネルギーを大切にする意識 | 19 | 140 | 128 | 34 | 21 | 342 |
| (5) 健康や安全を自己管理する力 | 38 | 193 | 82 | 20 | 9 | 342 |
| (6) 基本的な生活習慣や食習慣、整理整頓 | 32 | 170 | 107 | 31 | 2 | 342 |
| (7) 生き方や進路について考える力 | 16 | 120 | 148 | 43 | 15 | 342 |
| (8) 自ら学び、考え、主体的に行動する力 | 31 | 141 | 121 | 40 | 9 | 342 |
| (9) 新しいものを生み出す創造的な力 | 22 | 108 | 151 | 41 | 20 | 342 |
| (10) 表現力やコミュニケーション力 | 33 | 162 | 117 | 25 | 5 | 342 |
| (11) 豊かな心や情操 | 45 | 196 | 73 | 8 | 20 | 342 |
| (12) 思いやりの心や、善悪の判断など道徳心 | 104 | 207 | 24 | 3 | 4 | 342 |
| (13) 物事をやり遂げる粘り強さ | 52 | 160 | 103 | 18 | 9 | 342 |
| (14) 社会生活に必要な常識やマナー、あいさつ | 81 | 206 | 42 | 5 | 8 | 342 |
| (15) 社会に役立とうとする心や公共心 | 32 | 164 | 105 | 19 | 22 | 342 |
| (16) 伝統や文化を大切にし、郷土・国を愛する心 | 12 | 95 | 154 | 36 | 45 | 342 |
| (17) 体力や運動能力 | 69 | 158 | 90 | 19 | 6 | 342 |
| (18) 人間関係を築く力 | 51 | 207 | 61 | 10 | 13 | 342 |
| (19) 集団生活での協調性、きまりやルールの順守 | 104 | 204 | 20 | 7 | 7 | 342 |

Ⅲ-6 あなたのご家庭では、お子様とのかかわりの中で次のことをどのくらい心がけていますか

| | 回答数 | | | | 全体 |
|---------------------------------------|------------|----------------------------|--------------------|-------------|-----|
| | 心がけて いる | どちらか といえば 心がけて いる | あまり心 がけてい ない | 心がけて いない | |
| (1) 規則正しい生活習慣を身につけさせる | 167 | 164 | 11 | 0 | 342 |
| (2) 子どもが手伝う家事の分担を決める | 73 | 138 | 115 | 16 | 342 |
| (3) 悪いことはきちんと叱る | 277 | 64 | 1 | 0 | 342 |
| (4) 自分でできることは自分でさせる | 173 | 149 | 17 | 3 | 342 |
| (5) 家族で食事をする | 220 | 106 | 15 | 1 | 342 |
| (6) 将来の夢や目標について話をする | 143 | 159 | 38 | 2 | 342 |
| (7) 子どもの勉強をみる | 72 | 143 | 99 | 28 | 342 |
| (8) ものづくりや自然体験の機会をつくる | 47 | 119 | 161 | 15 | 342 |
| (9) 運動やスポーツをする機会をつくる | 105 | 124 | 103 | 10 | 342 |
| (10) 学校での出来事や相談などをきく | 189 | 135 | 17 | 1 | 342 |
| (11) 家族・地域の人にあいさつをさせる | 180 | 147 | 13 | 2 | 342 |
| (12) 学習環境を整える | 118 | 185 | 37 | 2 | 342 |
| (13) 地域行事への参加を促す | 29 | 112 | 166 | 35 | 342 |
| (14) 社会のきまりの大切さについて話をする | 166 | 155 | 19 | 2 | 342 |
| (15) 学校教育と社会とのつながりについて話をする | 71 | 166 | 94 | 11 | 342 |
| (16) 自分や家族の仕事について話をする | 142 | 146 | 50 | 4 | 342 |
| (17) 子どものプライバシーを尊重する | 107 | 208 | 26 | 1 | 342 |
| (18) ゲームや携帯電話・スマートフォンの使用についてルールや約束を作る | 142 | 161 | 36 | 3 | 342 |

Ⅲ-7 あなたは、お子様にどのように育ててほしいと思いますか（主なもの3つまで）

| | 回答数 | 票数/人数 |
|------------------|-----|-------|
| (1) 学力がある | 59 | 17.3% |
| (2) 思いやりがある | 244 | 71.3% |
| (3) 協調性がある | 73 | 21.3% |
| (4) 他人を認めることができる | 93 | 27.2% |
| (5) 心身がたくましい | 93 | 27.2% |
| (6) 我慢強さがある | 43 | 12.6% |
| (7) 自立心がある | 95 | 27.8% |
| (8) 行動力がある | 60 | 17.5% |
| (9) 柔軟性がある | 62 | 18.1% |
| (10) 創造性が豊か | 29 | 8.5% |
| (11) 適切な判断力がある | 148 | 43.3% |
| (12) 礼儀正しい | 88 | 25.7% |
| (13) 特にない | 1 | 0.3% |
| 計 | 342 | |

Ⅳ-8 あなたは、学校の活動に参加したり、先生に協力したりしたいと思いますか

| | 回答数 | 構成比 |
|------------------|-----|--------|
| (1) そう思う | 74 | 21.6% |
| (2) どちらかといえばそう思う | 203 | 59.4% |
| (3) あまりそう思わない | 57 | 16.7% |
| (4) そう思わない | 8 | 2.3% |
| 計 | 342 | 100.0% |

Ⅴ-9 四街道市の歴史や文化に興味がありますか

| | 回答数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| (1) 興味がある | 122 | 35.7% |
| (2) 興味がない | 55 | 16.1% |
| (3) どちらでもない | 165 | 48.2% |
| 計 | 342 | 100.0% |

V-10 四街道市の教育に関して、ご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください

タブレットを授業等で、もっともっと使って欲しい。重いのに毎日持ち歩くわりには、使われていないのが現状かと思う。中学の定期テストの英語のヒヤリングは、ALTがいるのだからネイティブの方をお願いして欲しい。

個に応じた学習についてもっと進めて欲しい。特に数学に関しては練習問題が少なすぎています。数をこなし、定着させることが重要で。例えばその日に習った部分の補修プリントを難易度別に2種程度準備をしていたら、個人で必要であれば持って帰って復習をするなど。またテスト前だけでなくもっと質問会の時間を作っていただきたいです。

長引くコロナ禍により、色々制限ある世の中で、心の成長が、気になります。こどもに明るい未来や希望の持てる教育をお願いいたします。

ワークですが、4択から選ぶようになってきている問題で、その4択があるからこそ、出来た気になってしまったり、答えが見えてしまっているものだから、ワーク、選び直して欲しい。

授業内容をわかりやすく、面白くして欲しいと思います。多様性を理解して、出来ることと出来ない事を認めて生徒に接して欲しい。子供の安心して過ごせる場所を作って欲しい。

スポーツが出来る場所や、学習出来る施設(図書館)の充実をお願いしたいです！！

小学校でも英語検定の集団受験ができるようにしてほしい

小中一貫をかかっているのだったら、地域によって小中進学が、バラバラになるのはどんなものかと、疑問に思う

意識の高い家庭や能力の高い子どもばかりでなく、四街道市の子ども全体が学力向上につながるような体験や環境づくりをしてほしい。

英語教育にもう少し力をいれてほしい。

暑さの変動に対して学校だけの判断ではなく、市教育委員会からの学校に対する安全確認をして欲しい。部活をクーラーのない室内でやったり、登校時の服装が暑い中3枚(体操服、シャツ、ベスト)も着込んでいるのは熱中症が心配です。体操服登校や体操服での受講を可能としたり、対策はあるはずですが、意見しても学校は昔からの決まりの一点張りです。何かあってからでは遅いと思います。

部活で市内の大会がテスト期間にかぶってきたりするので市内で試験日を固定してほしい。せめて同じ週に。その上で大会日を決定してほしい。

コロナ禍の為、難しい面もあるでしょうが、体験学習をもう少し取り入れて欲しいです。

学力はもちろん大事だとは思いますが、子供の時だからこそ、勉強以外に学ぶべき事がたくさんあるのではと思います。学校が、子供らしく、のびのびと成長できる場であると嬉しい。自分の学生時代に比べると、自分たちで何かを考え、やりとげるといった経験が少ないように思います。いつもルールがしかれた小さい枠の中だけ。先生方も、保護者の顔色ばかり気にして、思うように先生としての職務が出来ていない様に思います。学校の場合、もっと有意義な場所になると嬉しいです。時代的に難しいのかもしれませんが…

コロナで校外学習など、手近なところで済まされている。もっと、色々な社会科見学をさせたい。

IoTやデジタル化が進んでいますので、活用して、個に応じた学習の仕方を指導していただけるとありがたいです。

予算の関係で学習ワークを配布しないのは適切ではないと思います。最低限学習するためのワークは使用するべきです。予算を削るところをはきちがえないでください。

体育授業の前に塩分チャージをさせたいと思います。熱中症の子が減るのではと思います。

授業ごとの着替え(制服からジャージ、ジャージから制服)が多すぎる。10分しかない休み時間で着替えと移動教室、なのに2分前着席の決まりを守るように言われ、忙しくてトイレにも行かれない。給食の時間も短く、分刻みの生活。もう少し余裕を持った学校生活ができないものか?と思う。登下校の時間厳守は重要に思うが、10分しかない休み時間で2分前着席とは、大人でも厳しいと思う。校内ではジャージで過ごしてもいいのではないかなと思う。

部活動を充実させてあげたい。近隣のテニスコートを夕方から開放するなどしてあげてほしい。

英語のALTの先生の授業を多く受けられるようにして欲しい。コロナ禍前にあった、小学生の夏休み職業体験を復活させて欲しい。中学生も職場体験を再開してあげて欲しい。

パソコンを一人一台取り入れてくれたことがすごく良かったです。オンライン授業もうけることができありがたかったです。

子供が中学でソフトテニス部に所属して日々頑張っています。毎週2回(水・日)18時半から21時まで、酒々井中学校で酒々井クラブと言うテニスクラブに通っています。車で片道30分かかります。四街道でも、週2日夕方から市のテニスコートを解放して、近くでソフトテニスを出来る環境を作ってほしいです。子供たちの為に!

コロナのために中止になった行事などの変わりに行う行事をより充実したものにしてほしい。

○特に基礎の大事な数学、英語を更に少人数にし、理解促進をはかり、質問をしやすい環境にしてほしい。(できれば、全ての学習自体をところん方式ではなく、単位制にしてほしい)○繊細な子のために、クラス以外でも、落ち着いて授業を受けられる設備を整えてほしい。(騒がしい環境ではストレスも多かったり、自尊心を欠く経験をして落ち込んでしまう子が多い)ため、自尊心を大切に育ててほしい)○イジメなどがあつた場合、イジメを受けた子を別室にするのではなく、イジメの子や、問題を起こす恐れのある児童を別室にし、早々からケアをする必要があると思う。(多動や衝動性のある子がいるクラス運営はとても大変である。発達障害などの保護者への理解を深める必要があると思う。珍しいことではなく、早期支援が大事と周知することで、我が子を発達障害と認められえたら、低年齢から必要な支援を受けてもらいやすくなるのではないかな?)実際に、イジメを受け、対人恐怖や人を信じられなくなり、その後通常クラスには戻れなかったため、ともに授業や行事にも参加できず、色々なことを諦めている子供がいることに、目をそむけないでほしい。イジメを受けた子のケアももちろん大事で、ルームよつばのような場所を各学校に増やし、先生や部屋も増やしてほしい。(定員オーバーで、入室できず、孤独な生徒がいる)日中、学童などの施設や先生の確保なども、協体制度をつくり、利用できるようにするなどの工夫もできるのではないかな?体制を変えることや、先生の確保は非常に大変かと思いますが、子供一人一人にとって、人格形成のできる大事な時期に、多くの時間を過ごす学校のあり方、関わり方、とても大事だと感じております。前向きに検討いただけますようお願いいたします。

先生方の質の向上に努めてもらいたいです。昔と違って、先生方のプライベートな時間の確保も大事かと思いますが、いろいろなものが削られているように感じることもあり、多少は先生方にも頑張ってもらいたいと感じることもあります。手抜きな先生に担任になってもらうよりも、一生懸命な子ども思いな先生に担任になってもらうほうが親としては嬉しく感じます。大変かと思いますが頑張ってください。

安全な通学路の確保、整備。中学校制服の見直し。

自分達親の世代と同じ感覚での指導では、これから生きる若い子の足枷になる。指導者が過去の自分達はこうであった、だからこうであれと言う指導は捨て去った方が賢明です。先生の機嫌で叱りつけるなど。これから先、様々な技術が発展し、人間である自分を1人1人が大切に出来る心の豊かさや自己を認めるスキルが大切になると思います。勿論勉強も大切だとは思いますが、いずれテクノロジーによって人が本来持つ個性の方が大切になってくると思います。10年20年後の子供達が心豊かな大人になってくれる教育を望みます。

積極的なようであつて、具体的な踏み込みが不足しているように思う。特にALT。

宿題が少なくもっと出してもらいたいです。宿題出す方と出さない方がいるので先生方に統一してもらいたいです。お願いします。

学力の差について学校ごとに市内でも差があるように聞きます。塾に行かなければ勉強のコツを教えてもらえないのは残念です。テストの勉強方法を寺子屋のような仕組みで放課後教えてくれるとかがあれば自主的に参加することもできるかと。学校職員ではなく、OB、OGなど地域で協力してくれる方を探すとか。

多くの方々のお陰で、私自身が、見えない部分、捉えられていない部分での市の教育の魅力などが構築され続けているのだと思います。携わってくださる先生方を始め、関係者の方々には、感謝いたします。私が学ばせていただいている環境では、「本来、教育とは、家庭教育が基本」と教わっています。家庭環境が穏やかであれば、学校をはじめ、社会で何かあったとしても、元気を取り戻して、また頑張る気力が持てるということで、親として、子どもに何を施せるか、残せるか…思慮しながらの日々です。学校教育に携わってくださるの方々には、子ども達のために協力していただいていると感じています。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

コロナ禍でオンライン授業が受けることができず助かりました。今後も何らかの理由で出席できないとき、オンラインで授業を受けられれば学習についていきやすいのではないかと思います。

部活動について、異動で顧問が変わると指導の考え方も変わり子供達が困惑しチームとして成り立たない場面をみる。そういう事がなくなるようにしてほしい。

日々の部活をしっかりやってほしい。コロナの影響もあると思うが、大会への移動(送迎)など親の負担が多すぎる。

コロナ禍で行事が縮小されたり、中止になるのは仕方ない事ですが、他校ができて本校ができないなどの行事に偏りがあるのは不公平と感じます。学校判断だとしても、市内で統一して欲しいです。小中と英語教育に力を入れているようですが、学習内容にかなり違いを感じます。小学校では楽しく英語に触れる事をしてきましたが、中学の先生は、小学校で習ってきていると思い授業を進めてしまい、授業についていけない生徒が多く、理解度が低いように感じます。また、教員の質にも問題があるように思います。中学で英語嫌いにならないように、教員の質を考えて欲しいです。

色々な分野の職業(システムエンジニア、薬剤師、歯科衛生士、役所の方、企業方など)の方のお話や体験を聞ける機会があればと思います。

市内に防犯カメラを増やして下さい。そうしなければ犯罪者を摘発出来ません。子供を本気で守って下さい。

これから少子化が進むが、職員は不足という社会なので、千葉市と連携した教育活動もしても良いのではないかと思います

小学校は自然や食に対する教育をしっかり行っていただき、とてもよかったです。中学校はコロナ禍ということもあり、中止になるものが多かったので残念でしたが、少しずつ現状がよくなっているのので、これからの活動に期待しています。体育祭、修学旅行など、今しか作れない思い出をたくさん作ってほしいです。あと、思春期になり、家での会話が減ってきて、学校での様子が見えないことが多いので、学校側からいろいろ教えてくれると安心できます。

学校に協力したいが、仕事もあるので、PTA活動に関しては、やりたい人や当日参加可能な人だけとか強制的なのはやめてほしいです。やりたくないのではなく、できない時もあるので。子供一人ですべてはやらなくてはいけなくて3人居るので強制的なのが本当に辛かったです。

先生方の働き方が大変気になります。どうか、ご無理のないように、地域や企業の協力のできることを、ボランティアで協力できることがあればどんどん力を借りるべきだと思います。

中学校で英語の授業についていけない生徒が多数います。小学校での英語教育が中学の授業では全く役に立っていません。

回答結果 集計表 < 保護者（幼稚園・保育所等） >

I-1 お子様との続柄

| | 回答数 | 構成比 |
|--------|-----|--------|
| (1) 父親 | 89 | 9.5% |
| (2) 母親 | 849 | 90.2% |
| (3) 祖父 | 0 | 0.0% |
| (4) 祖母 | 1 | 0.1% |
| 計 | 2 | 0.2% |
| | 941 | 100.0% |

I-2 年齢

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| (1) 29歳以下 | 110 | 11.7% |
| (2) 30歳代 | 613 | 65.1% |
| (3) 40歳代 | 215 | 22.8% |
| (4) 50歳代 | 3 | 0.3% |
| (5) 60歳以上 | 0 | 0.0% |
| 計 | 941 | 100.0% |

I-3 お住まいの地域（中学校区）

| | 回答数 | 構成比 |
|--------------|-----|--------|
| (1) 四街道中学校区 | 276 | 29.3% |
| (2) 四街道西中学校区 | 148 | 15.7% |
| (3) 四街道北中学校区 | 103 | 10.9% |
| (4) 千代田中学校区 | 233 | 24.8% |
| (5) 旭中学校区 | 60 | 6.4% |
| (6) わからない | 121 | 12.9% |
| 計 | 941 | 100.0% |

II-4 今後の教育施策について、次の項目はどのくらい重要だと思いますか

| | 回答数 | | | | | 全体 |
|--------------------------------------|-------|-----|-----|-----------|--------|-----|
| | とても重要 | 重要 | ふつう | あまり重要ではない | 重要ではない | |
| (1) ICT機器を活用した教育（オンライン教育を含む）、情報モラル教育 | 411 | 357 | 145 | 28 | 0 | 941 |
| (2) ALTと連携した外国語教育、実践的な英語力の育成 | 522 | 321 | 90 | 7 | 1 | 941 |
| (3) 理数教育、科学技術教育 | 271 | 366 | 291 | 13 | 0 | 941 |
| (4) 自然をいかした教育、環境教育 | 400 | 397 | 138 | 5 | 1 | 941 |
| (5) 望ましい勤労観や職業観を育てる教育 | 322 | 390 | 200 | 26 | 3 | 941 |
| (6) 小中学校の連携教育、小中一貫教育 | 142 | 316 | 385 | 86 | 12 | 941 |
| (7) 学校間（幼・保・小・中・高・大等）の連携 | 222 | 350 | 313 | 49 | 7 | 941 |
| (8) 学校図書館を活用した教育、読書活動 | 215 | 423 | 277 | 23 | 3 | 941 |
| (9) 豊かな心を育む道徳教育、命の教育 | 588 | 275 | 72 | 3 | 3 | 941 |
| (10) 体力向上、健やかな体を育てる教育 | 441 | 386 | 110 | 3 | 1 | 941 |
| (11) 望ましい食習慣の形成、健康に関する教育 | 340 | 430 | 162 | 9 | 0 | 941 |
| (12) 障害のある児童・生徒への支援 | 447 | 382 | 106 | 5 | 1 | 941 |
| (13) いじめ・不登校の解消、相談体制の整備 | 652 | 237 | 49 | 1 | 2 | 941 |
| (14) 教職員の資質・指導力の向上 | 577 | 286 | 71 | 5 | 2 | 941 |
| (15) 少人数教育、個に応じた指導 | 329 | 403 | 182 | 23 | 4 | 941 |
| (16) 教職員の働き方改革、児童・生徒と向き合う時間の確保 | 523 | 337 | 76 | 2 | 3 | 941 |
| (17) 防災・防犯教育、安全・安心な学校づくり | 567 | 293 | 77 | 3 | 1 | 941 |
| (18) 家庭や地域社会との連携、多様な地域人材の活用 | 238 | 412 | 269 | 16 | 6 | 941 |
| (19) 学校の教育活動や運営状況に関する情報の発信 | 242 | 391 | 279 | 22 | 7 | 941 |
| (20) 相談活動、街頭補導活動 | 174 | 378 | 348 | 32 | 9 | 941 |
| (21) 国際理解を重視した教育、グローバル教育 | 390 | 372 | 169 | 9 | 1 | 941 |
| (22) 外国にルーツを持つ児童・生徒への支援 | 245 | 400 | 261 | 24 | 11 | 941 |
| (23) 市の歴史・文化・風土を重視した教育 | 108 | 291 | 443 | 79 | 20 | 941 |
| (24) 学校施設・設備の充実 | 396 | 399 | 142 | 3 | 1 | 941 |
| (25) 夢を育む教育 | 343 | 396 | 173 | 24 | 5 | 941 |
| (26) 多様性を認め合う教育 | 514 | 317 | 102 | 8 | 0 | 941 |

Ⅲ-5 あなたはお子様に、どのような能力や態度を身につけて欲しいですか（主なもの3つまで）

| | 回答数 | 票数/人数 |
|---------------------------|-----|-------|
| (1) 教科の基礎的な学力 | 233 | 24.8% |
| (2) ICT機器を活用する力や情報モラル | 103 | 10.9% |
| (3) 外国語（英語）を聞いたり、話したりする力 | 260 | 27.6% |
| (4) 環境やエネルギーを大切にすること意識 | 37 | 3.9% |
| (5) 健康や安全を自己管理する力 | 174 | 18.5% |
| (6) 基本的な生活習慣や食習慣、整理整頓 | 107 | 11.4% |
| (7) 生き方や進路について考える力 | 126 | 13.4% |
| (8) 自ら学び、考え、主体的に行動する力 | 523 | 55.6% |
| (9) 新しいものを生み出す創造的な力 | 54 | 5.7% |
| (10) 表現力やコミュニケーション力 | 268 | 28.5% |
| (11) 豊かな心や情操 | 118 | 12.5% |
| (12) 思いやりの心や、善悪の判断など道徳心 | 505 | 53.7% |
| (13) 物事をやり遂げる粘り強さ | 130 | 13.8% |
| (14) 社会生活に必要な常識やマナー、あいさつ | 212 | 22.5% |
| (15) 社会に役立つとすることの心や公共心 | 34 | 3.6% |
| (16) 伝統や文化を大切にし、郷土・国を愛する心 | 18 | 1.9% |
| (17) 体力や運動能力 | 79 | 8.4% |
| (18) 人間関係を築く力 | 257 | 27.3% |
| (19) 集団生活での協調性、きまりやルールの順守 | 124 | 13.2% |
| 計 | 941 | |

Ⅲ-6 あなたは、お子様にどのように育ててほしいと思いますか（主なもの3つまで）

| | 回答数 | 票数/人数 |
|------------------|-----|-------|
| (1) 学力がある | 137 | 14.6% |
| (2) 思いやりがある | 625 | 66.4% |
| (3) 協調性がある | 179 | 19.0% |
| (4) 他人を認めることができる | 392 | 41.7% |
| (5) 心身がたくましい | 293 | 31.1% |
| (6) 我慢強さがある | 72 | 7.7% |
| (7) 自立心がある | 237 | 25.2% |
| (8) 行動力がある | 183 | 19.4% |
| (9) 柔軟性がある | 197 | 20.9% |
| (10) 創造性が豊かな | 147 | 15.6% |
| (11) 適切な判断力がある | 377 | 40.1% |
| (12) 礼儀正しい | 191 | 20.3% |
| (13) 特いない | 4 | 0.4% |
| 計 | 941 | |

Ⅳ-7 四街道市の教育に関して、ご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください

外国人の子供が文化、常識の違いや日本語での意思疎通が難しく授業にならない現場が多くあるとよく聞くのでしっかりした対策をしてほしいです。

楽しく学校に通ってほしい。もし通うことが難しい状況になっても、学校以外での居場所が気軽に選べるようになってほしい子供たちの教育と同じように、教職員の皆様の待遇の面も大切にしていけたら良いと思います。

四街道小学校は連絡帳で欠席の連絡をするのですが、それを改善してほしいです。入学を控えて不安です。ネットでやりとりできるようにしてください。

父母の無償の協力を必然とする運営はしないように変えてほしい。(PTA等)

図書館の規模がとても小さく、設備も古いので、新しい図書館を作ってほしいです。本も古くて、新しい本、最近の本をたくさん入れてほしいです。

学校側には最先端の教育、指導を常にアウトプットし児童に指導を行ってほしい。この先はグローバルを重視した活動を教育の中にも取り入れて欲しいです。

まだまだ、好みや価値観について自然と男女分けてしまう環境があります。男の子でも女の子でも、好きな物は好きと言える環境。そしてそれを皆が自然に受け入れられる環境を目指して欲しいです。私含め、これまで生きてきた大人が、そういった価値観もっています。学校や幼稚園から子供達に、好きな物は好き 多様な時代 を自然のことで提示し、それが子供を通して保護者たちの価値観にも変化を与えていくような教育現場になって欲しいと望みます。また、外国籍のお子さんが増えてきています。そもそも日常生活におけるマナーや過ごし方そのものについて、双方理解のずれ違いや、価値観の違いが見えるのこともあります。外国籍の家庭(保護者含め)に教えてあげたり、気軽に聞ける会、困った時に支えられる環境をもっと市の支援として考えていくことはできませんか？移住してくる方々、また受け入れる市の住民、両方の理解が必要だと感じます。まずは双方共に安心できる「市のサポート」が基盤になってくるとおもいます。

子供たちのためにも忙しすぎる教職員の方の労働環境を改善して欲しいです。子供たちのために重要だと思います。

小6と年中の子供がいます。教育と言いますが、毎日教科書を持ち帰るのは重くて体に負担がかかります。置き勉可の教科書もありますが、国語や算数は計算ドリル+や漢字ドリル+漢字ノートなど持ち帰らなければいけません。なるべく全教科置き勉できるようにしていただきたい(児童が必要なら持ち帰る)のと、ランドセル以外のリュックも可能にしたいです。

通学路について不安があり親が送迎しないといけない環境に感じます。歩道の確保や横断歩道など適切な場所に設置を望みます。

基礎英語力や身体能力を向上させるような教育をしてほしい

学校に通っていないので、どのような教育をしているのか、全くわかりません。小学校によってどのような特色や違いがあるのか、気になります。

預かり保育（一時保育）のある保育園を増やしてほしい。テンダーラビング保育園わらびにも預かり保育をしてほしい。

公共の古い和式トイレを洋式トイレへ変更してほしいです。子供の通う幼稚園に和式トイレはありません。家庭でも和式トイレの使い方を指導する機会はありませんので、衛生的に上手く使えるか疑問です。親も和式トイレは何十年も使用していませんし、使用したくありません。もし小中学校でまだ大多数を和式トイレを使用しているようでしたら、洋式トイレへ変えて欲しいです。

私達は30年以上前に小学校時代だったので今の教育と異なる事が沢山あると思います。現状の科目項目や、こんな事をやっています情報など入学前に知りたいなどは思っています。

学童の時間を受益者負担でいいので、他のスクールと連携して、バスの送り迎え付きで英語、体操、水泳、絵画など、選択制で習い事ができる仕組みを取り入れてほしい。幼稚園は預りの時間に習い事ができるため、共働き世帯にとって、とてもありがたい。幼稚園と連結してでもよいので、学童時間も安心して習い事ができる環境を整えてほしい。可能であれば、来年から運用開始できるように早急に取り組んでほしい。四街道市は全ての小学校に学童が併設されており、子育てしやすい街なので、子供も楽しく充実した学童生活が送れるよう、より教育面を選択できる街に早急に対応してほしい。またランドセルをランリュックやリュックにするなど、市として子供の負担を軽減することも検討してほしい。四街道市教育委員会に期待します。未来の日本を支える子供達に。教育に時間をかけることは惜しまず、誠実で質明な対応を望みます。託しました。よろしくお願いたします。

学校と地域との交流はとても大切なことだと思うのですが、我が子の小学校では今それを軽くみているようで、とても残念で悲しく思います。お互い協力し合う気持ちを忘れないで欲しいです。

みんなが同じように行動し、多数意見に流されるような枠にはめる教育でなく、一人一人を尊重し認める声かけのある教育をしていただけたら安心です。

給食費無償化

ITの強化

・1クラスの人数をできる限り少ない人数で先生の目の届きやすい人数にしてほしい。・学年ごとに進級するのは仕方ないが、できないまま進級するより、科目毎に再度学び直しが選べる制度があれば、それが望ましい。特に数学においては、つまづいたまま進むのは時間の無駄だと思います。できない生徒をおいてきぼりにしない制度の構築を希望します。・子供が楽しみにできるイベント作りをお願いしたい。

子どもが元来持っている自由な発想や知的好奇心を拾い上げて、自らの考えを表現できる力が身につくような教育をしてほしいです。例えば、突拍子もない意見や回答を一蹴にせず、何でそう考えたのか、それはどのような解釈に基づくものかを子どもに尋ねるような姿勢を教員に持っていただきたいです。

通園、通学路の安全性をもっと確保して欲しい。雑草が生い茂っている所や寂しい通学路、雪の日登校にて、直通バス運行など、もう少し住民の声に耳を傾けて欲しい。

未就学児しかいないので、小中学校の教育が全くみえない。教員が働きやすい環境整備を望む。モラルのない、前科あるような教員が教鞭をとるような学校に通わせたくないで、このような教員排除に努めて欲しい。教員免許を剥奪できないままなら、公表すべき。四街道市にいないことを願います。

しっかりとしてほしい

通学路を整備して欲しい。歩道が狭かったり、信号が不十分だったり、不安な点が多い。

タブレットやインターネットの活用や英語などとても必要だと感じています。しかし、現状ついていけない親がいることも事実だと思います。一緒に出来るようになりたいけど、わからないからと子供任せにならないような環境や勉強会があれば参加してみたいと思います。

先生方も無理をなさらず、未来ある児童生徒のために、引き続き御指導のほど、宜しくお願いたします。

子どもの健康を考えた政策をお願いします。成長期に長時間のマスク生活で与える影響の大きさを知り、苦しんでもマスクを外しにくい状況の改善を求めます。

引っ越してきたばかりで市内の学校の特色がわからない。学習や活動などを発信してほしい。

タブレット活用等、全く進んでいないのが気になる。このご時世、それでは生き抜いていけないと思うので、情報系はもっと力を入れて欲しい。

就学前の教育でなくても良いのでしょうか？小学校に関してデジタル化が進んでないことや学童ルームの問題など学校側の“不手際”的なことに多数直面しており、がっかりしています。具体的でなくすみません。また先日災害時の引き渡し訓練をやりましたが何のために校庭に整列するのか、雨天の場合はなぜ中止にするのか、など実際の災害時に本当にこれで大丈夫なのか、と疑問が残りました。

幼稚園、小学校、中学校ともにクラスの人数を減らして欲しい。少人数制の細かな教育をお願いしたい。

子どもたちが笑顔で学校に通えることが一番だと思っています

四街道小学校のクラスの人数が多いように思います。老朽化も進んでるように思うので、校舎の補修もしてほしいです。

保育園が少なく、利用申請しても空きがない状態で利用できない。小規模保育だけでなく、3歳から5歳も預けられる保育園を増やしてほしい。

友達と遊べる場所、公園などが近所がない。あつたとしてもあまり管理されておらず遊べない。ボール禁止や自転車禁止。遊具も少ない。

小・中を通して元気で思いやりのある教育をしていただき。元気に逞しく生きていける子供になっていけるように家庭・学校が連携していけるといいと思います。

とにかく安全管理には気をつけてほしい。生まれてからずっと市内に住んでいますが、子供の頃に登下校中や遊びに行った時などに変な人に声をかけられることがありました。危ない目にもありました。昔から変質者が多い地域です。見守りをしっかりしていただきたい。ニュースなどでは教師にもそういう人がいるとやっています。ちゃんと見極めて厳しく管理していただきたい。近年は必ず熱中症になる生徒が出ています。気温や湿度を考えて授業をして、絶対にならないようにしてもらいたい。

まだまだ障害の枠のクラスとかがそれぞれあるみたいので色々な種類の障害の子達が学べる環境が整えば良いなあと思います
ダウン症の4歳のこどもを育てております。小、中学校の環境はまだわかりませんが、周りが彼女を理解し、認め、共に学校生活をおくれる環境であってほしいと思っています。

ITリテラシーが低く、有効活用出来ていない。小学校の登下校で犯罪に巻き込まれないような工夫がもっと必要だと思う。

いろいろと子育てを支援する制度を設けていただき、ありがとうございます。

日本の伝統的民族衣装を一人で身につけられないのは日本人として残念に思います。引き継ぐためにも子供達に着付けを教えて欲しいです。

支援を必要とする人に情報があまり伝わっていないように感じる。市民の誰でも気軽に情報を得られる場が欲しい。

通う予定の小学校が遠く、狭い道路脇を歩かなくては行けなくて危ないのと、夏も危険な暑さの中長い道のりを歩かせるのが心配な為、バスを設けてくださるとも助かります。

自然とともに生きる力、体力、直感力、思いやりの心、他を認める心、自分の意思を主張できて他人の意思を否定せず受け止める心が伸びて欲しいと思いました。また正しい事を教えて欲しいと思います。例えばマスクについてですが、マスクはウィルスを防ぐことはできません。けれど子どもは先生方の「マスクをしてコロナにかからないようにしましょう」を信じて健気にマスクをつけています。熱中症の危険をはじめ、酸素不足やコミュニケーション力が育ちにくい事の危険性、チアノーゼや鼻血や顔色の変化に気が付きにくいことによる危険性なども発信して欲しいと思います。

現在されているかは分かりませんが、要望として生徒に事象に関して結果だけでなく過程も伝えてあげて欲しいです。

すんでいる場所から1番近い小学校に入学させたいです。

小学校の学区は住所でみて一番近い所に行けるようにはならないのか？

教科書を置いて帰り少しでも荷物を軽減してもらいたいです。

近隣に私立校が少ないため、公立校でも、学力だけではなく考える力や得意分野を伸ばす教育をしてほしい。

子供のイベントがあるとうれしい。お祭りなど地区での小さいものがやめてしまっているの。

四街道市に引っ越してきて、市の子供への支援や政策の充実さに驚きました。特別支援として現金をもらうより、全員がもれなく学校での支援が受けられるようなお金の使い方が望ましいです

教育に対してはさほど経験をしておりませんので、意見ではありませんが多様化についての捉え方をもっと広くしていけたら良いと感じます。

柔軟な対応ができて他人を思いやれる大人が増え、頭のカタイ古い考えの大人がいなくなることを願います。

ありがとうございます。

県外などからの移住で子どもが増えてきているので、それぞれの小学校の通学区を改めて見直して欲しい。交通量の多い道路で横断歩道のない場所、歩道が十分に確保出来ていない場所の改善をお願いしたい。

学校によって問題が起きたときに対応の差があると思うので、その差をうめてほしい。

子どもが学業のためタブレット端末を使うことによる、視力や脳への害についてよく検討して欲しい。

幼稚園、小学校に対する相談窓口がほしい。私立幼稚園の不満を直接話しても聞き入れてくれない。市の方で改善してもらうように指導してほしい。

・外国から来た家庭への支援をもっとしてあげて欲しいです。幼稚園でも小学校でも困っている方が多いので。・幼稚園によって色々な対応が異なるのが気になります。もう少し他の園と話す機会や設けたり、連携をとってもらえると嬉しいですね。それぞれの園の考え方があっていい。不審者メールの開示やコロナの情報開示なども差があるので。・小学校の人数が多くなりすぎて、入れなくなるのでは？という不安や、中学校もいっぱいになってしまうのでは？という不安もあります。教育施設を増やすことはないのでしょか？・園や学校での悩みを気軽に話せる場所ができたらいいなと思います。

感染状況、天候などに対して、柔軟な対応。またそれに関する発信をもっとしてほしい。

四街道だけでなく、子どもたちみんなが笑顔で過ごせる世の中になったらいいなと、日々思っています。安心して暮らせるよう、四街道市全体で子どもたちを見守ってほしい地域であってほしいです。

「学力の経済学」という教育経済学者の中室牧子さん著書を参考に教育を進めて欲しい。また、子供のデータと教員のデータをしっかり細かく取り、エビデンスに基づいた教育をして欲しいです。思い込みで教育を進めないで欲しい。教員の質についても、教員免許があるからといって質が担保されているわけではないので、質を担保する為に教員の情報を公開し、データで見える化して欲しい。イエール大学助教授の成田悠輔博士にもコンタクトを取って是非、最先端の教育をお願いします。昔の教育に縛られずに、教育の新陳代謝を良くして欲しいです。

1学年につき1クラスの小学校は近隣の学校と合併してほしい。子どもたちにとってクラス替えがあり、様々な友達と仲良くできる環境があるということはとても良いことだと思う。

コロナ禍の中でですがコロナ禍以前の様に子供と親が共にできる活動を少しずつ再開していただければと思います(遠足など)

千葉県一の子育て支援、教育を目指してほしい！教育すべてに関わるものへの無償化！

通学路で危険な箇所があるので、ガードレールを設置する等の安全に登下校できるような対策をお願いしたいです。

教員の指導力の差がなくなる様に若い教員を育て、フォローし合える環境を作って欲しいです。また、経験年数が長い教員も定期的に研修を行い、時代に合った指導ができると良いと思います。講師や指導員を増やして、教員の負担を減らし、働きやすい環境にすることが質の高い教育に繋がると思います。

コロナ禍で出来なかったことなどで、子どもたちの行事は良いのですが、保護者がやらなきゃいけない業務など(役員、PTAなど)簡素化できるところは見直してほしい。

四和小の通学路が狭すぎて心配です。子供を巻き込むような事故は二度と起きてほしくないです。あとは学校の老朽化が気になります。建物が複雑過ぎに感じます。

小学校や幼稚園などのセキュリティ対策をしてほしい。今は誰でも入れてしまう。

先生方の負担が大きいと子どもたちにも影響があると思うので、先生方が余裕を持って教育に専念できるよう働き方改革を含め待遇改善をどんどんしてほしい。

先生方にはいつも子どもたちと毎日向き合っていていただき感謝申し上げます。保護者同士の話では、関わる先生や友達によって同じ一年でも全然違うという印象を受けることがあります。私も自分の恩師とまだ連絡を取り合っていますが、子どもたちひとりひとりの良いところを沢山見つけて褒めてくれる先生は、人生において本当に心の支えになると実感しています。そんな先生が増えて欲しいと思うばかりです。

図書館が少なく、子供向けの本も古く、少ない。もっと新しい本を入れて欲しい。児童センターが古く小さい。もっと広くて体を動かせる場所を作って欲しい。

私達は四街道に転入して6年あまりで、どのような教育がされているのかこれから知っていくと思います。子供には優しくやさしさ誠実さを生涯にわたって身につけてほしいと思っています。多様性の世の中とは言いますが変わらないこともたくさんあるはずですので、人として最も大切な心の健康、相手を思いやる心を育む教育を、家庭、学校、地域で連携できたらと思います。

過度なコロナ対策により子供たちの心の成長が妨げられないよう対策をお願いします

子供達がより良い環境で過ごせるように、問題が起きてから動くのではなく、問題が起きる前に未然に防ぐ行動力を示して頂きたいと思っています。

四街道は小学校、中学校の連携を計っていると聞いているが、実際に行っている内容が分からないので周知してほしい。また、幼稚園から小学校に個人の情報(性格、特性など)を伝えてほしい。伝えていながら、伝えていないことを教えてほしい。小学校入学する前に、子どもが小学校見学や体験が出来ればスムーズに入学できるのではないか。

四街道中央保育園の一時保育コスモスを再開してほしい。

幼稚園のプール再開希望。小学生のランドセルの中身の重さの改善希望。

学童の長期休み期間中は、宅配でもいいので給食を提供してほしい。

四街道市の交換留学制度などをもっと活かして子供たちが日本の外にも目を向ける機会を増やし、グローバルに活動できる場をもっと増やしてほしい。

いじめなどを見逃さない許さないをしっかりとって欲しい。

英語教育を充実させてほしい

みそらや旭など、過疎化が進んでいる学校への支援をもっとしてほしい。もしくは地域活性化して子どもが増えるような政策をしてほしい。

プログラミングの授業を積極的に導入していただきたい。

もねの里に住んでいるが、思っていた以上に急激にこどもの数が増え、南小の今後が不安。教室の不足、特別教室や空き教室が無いことによる活動の制限など。市は土地の区画整理や売り出しの予定をある程度は把握していたはずなのに、なぜあんな小さな2階建ての学校に建て直したのか疑問。今後どう対応していく予定なのでしょう？

家庭と教育機関が連携して、子どもの長所を伸ばし、一人ひとりが自信を持てるように育てて行けたら良いと思います。核家族化で孤立し、情報過多で子育てに悩む人が多いと思うので、その人達の悩みが少しでも解消されるような社会になったらと思います。

今はスマホやタブレットなどを使いこなす子供もたくさんいると思いますが、SNSを使って個人情報を気軽に提示してしまったり、知らない人によって事件に巻き込まれたりするニュースをたまたま目にします。小学校低学年からネットリテラシーをしっかり学べるようにして欲しいです。SNSで個人情報を世界中の誰にでも見られる状態になってしまうことは、自分が思うよりも恐ろしいこと、それを悪用する人間がいることを認識・理解させて欲しいです。

古い設備や備品、制服等は数年おきに見直ししてほしい。ブラック校則と呼ばれている校則がないようにしてほしい。

旭川市のようにほらないでほしいです。

いじめが起こったときに適切に迅速に対処できるようにしてほしい。今はいじめられた側が学校に行かない、保健室登校などいじめた側から逃げるような対応が多いと思うがいじめた側は普通に学校に行っているという状況がおかしいと思う。

図書館を新しくしてほしいです

いじめやハラスメントを起こさない環境、また万が一起きてしまった場合には真摯に対応する姿勢を大切にしてほしいです。

子供が子供らしく、のびのびと、勉強も楽しく、思いやりをもてるような成長をサポートしていただければと思います。和式トイレもあっても構わないですが、どうしても学校のトイレが暗いので、清潔感のあるトイレになるといいと思います。冷暖房に関しても特に夏が暑くなっているので、早めに冷房をつけるなどしてほしいです。仕事をしているので、PTAなどの集まり（特に学童の集まり）はあまりない方が助かります。あとは女の子なので、男性教諭が担任になる場合、女性の先生にも色々相談できる（生理やホルモンに影響したりする問題）ようにしていただくと良いと思います。もちろん、親に相談できる関係を築くことが前提ですが。将来的に四街道中学校に入学予定なのですが、制服がそろそろ変わってほしいと思います。制服を見て、私生活への受験も考えたりします。あとはコロナに関して学校としても色々大変なことと思いますが、マスクはなるべく外してほしい（しない事でイジメにあっている子がいると聞きました）。表情が分からない、呼吸が苦しいというのは成長期において心配です。したい人はしていいというスタンスの方が良いのではと思います。

和良比小学校の学区に住んでいるものです。小学校のクラスが多い。先生の目が行き届いているのか不安。できるのであれば学区の見直し。

最近話題になっている重過ぎるランドセルや通学カバンが気掛かりです。私自身、中学生から肩こり頭痛に悩まされ、大事なテストや受験の際は本当に辛かったのを覚えています。

子どもの安全第一で、幼稚園や小学校など個別指導が必要な点があると思う。引っ越しをし、いろいろな家庭がいる四街道市なのでその家庭家庭にあった支援ができるといいと思う。

桜ヶ丘会館近くの通学路が危険すぎます。学童の料金が高すぎて利用できません。PTA活動が負担。

・親世代が他の地域からの移住してきたので周りとの関わりがないと得られない情報もあるので、知らないことがたくさんあります。情報を得られる場所がほしいです。・ICTも大事だと思いますが、視力低下することへの懸念やタブレットにのめり込んでしまうことへの不安もあります。なので紙ベースでのやり取り、他者とのコミュニケーションをとることの大事さも引き続き大切にしたいだけだと助かります。・小学校に入学すると幼稚園や保育園とのギャップで子どもも親も大変と聞くので、少人数やスクールサポートスタッフの先生方をできるだけ配置してほしいです。

学校での発達支援を充実させて欲しい。親が介在しなくても課題を判断して適切にサポートしてもらえるシステムが欲しい。ソーシャルワーカー？ケアマネージャー？コーディネーター？プロデューサー？何と呼ぶのかわからないが社会的に客観的に判断して親を支える存在が欲しいです。

お弁当の日というのはハッキリと言って家庭環境や家庭事情によって、とても負担で目的を全く達成していないのでやめて欲しい。小学校では季節柄、食品のいたみや6月にも設けられていて、おかしと思う。

アメリカのようにお金の使い方に関する教育、性教育に力を入れて欲しい。

物の大切さ、命の大切さ、家族の存在の大切さなど、教えてあげてほしいです。後、弱い物いじめなど、いじめをすると必ず自分に返ってくるという事を教えたり、自分がした事は必ず自分、自分の周りや、いつかは自分の大切な人たちに代わってくるなどそういった事を教えてあげて下さい

タブレットの貸し出しが1人1台ありますが、毎日非常に重いものをランドセルに入れて持ち運びしています。使うかどうかわからないのに学校に持って行き、家ではほとんど活用していないのに持って帰ってくる…子供の体が心配です。それだけが原因ではないと思いますが、酷い頭痛に悩まされています。タブレットの管理体制をもう少し整えて欲しいです。ただばら撒くだけでは無意味です。

子育てに力を入れてほしい。習い事だったりの助成があると助かります。

これからの子ども達の未来が環境や障害にかかわらず、ひらかれるような、教育をお願いいたします。

学童との連携や協力をお願いしたい。特に学校の一部に学童がある場合、子供にとっては生活の一部であり大人の事情は関係ないと思う。管轄が別だからと言わず、お互い協力して地域の子供を育てて欲しい。またPTA活動のついて、もっと簡素化したりして誰もが参加しやすい、苦痛や負担にならないようなものになるよう市が率先して改革してほしい。

まだ未就学児なので、これからということになります。子ども達が安心して安全に生活できることが第一だと考えております。

先生の人数をもっと増やして欲しいです。色々な先生と関わる機会がある方が子ども達にとってもいいと思います。

障害や心の問題等で学校に通いづらい子供達への教育の充実を望みます。

子育てを日本一をかせぎたいなら、それを支える先生や保育士、幼稚園教諭を大切にしてください。親に都合の良い市になっている。それを支える先生方が四街道から消えていく。都合の良い市が子育て日本一は、語れない。まずは、行政対応から検討してください。コロナ対応を含めて。市長が、変わったから期待していたが、まだ何も変わりが見えない。

山梨小、旭小、みぞら小の合併。この3校は常に少人数で、いい面もあるが人数が多いメリットの方が多いと思う。一年生からの英語の授業は継続してほしい。

教育委員会と相談しようにもならないようなのですが意見させていただきます。鹿渡（四街道高校裏）の不自然なポリープみたいになっている部分の学区はなんとなかならないでしょうか。もう間に合いませんし受け入れるしかないのですが目と鼻の先の学校なのに行けないので…せめて千葉市のように微妙な部分は選択制にしてみたいです。また就学前説明会も割と直前にチラシが保育園に来ましたが平日の昼間に開催されても参加が難しいです。今は共働きの世帯も多いと思いますし時間外にやれとは言いませんが昼時にzoomで視聴できるようにするとか工夫してみたいかたがでしようか。あとよくある質問は学校ごとに公開してほしいですし入学時に必要な物品は半年くらい前には必ずホームページなどで公開して頂きたいです。（もしくは夏？の就学前健診でプリントを配るとか）購入してから不可と言われても困るのでキャラクター商品（文具など）が許可されているのかも合わせて開示して頂きたいです。

図書館にもっと新しい本をたくさん入れて欲しい。色褪せた古い本がたくさんある。

教育をまだ受けていないので、分からないです。

英語の授業が低学年からありとても楽しんで取り組んでいます。小さいうちから様々なことに興味をもってほしいので理科や科学の授業も取り組んでほしい。

保育所で学習要素（机に向かって文字を練習する等）を取り入れて頂けるとありがたいです。

外国籍の児童が多いので、それらに対応した通訳が必要。英語や中国語ができる人は多いが、最近増えてきているベルシャ語などに対応する人材確保を希望します。

昨今、学校教員の大変さがSNSで注目されていて、初めて理解しました。一般企業でも働き方改革と言われて以前より働きやすくなってきています。コロナ禍で、PCを使用した授業が導入されたことと聞きましたが、コロナが落ち着いてもこういった物を駆使して、先生方が何か楽になることが増えればいいなと思っています。また、朝練や部活動などもどんどん委託して、先生は児童の成長面を見ていただくことに注力できたらいいのにとずっとと思っています。一般企業と違い、公務員なので新しいことへの導入に賛否両論あると思いますが、先生方に余裕が生まれることが児童へもプラスになると思っています。ご検討のほど、よろしく願い申し上げます。

・タブレット学習等、新しい分野を導入していますが、自然(植物や生物)と触れ合う学習も積極的に行ってほしいです。・学校によって、教育に差が出ているなど感じます。タブレットも、まったく活用できていない学校もあります。・コロナ関連の通学停止の基準も学校によって異なり、いつも対応に困っています。同じ状況で、A校は登校自粛、B校は登校可、市で統一していただきたいと思えます。・学童の環境も良くないと思えます。現状、民間の学童が四街道市に多く、市の学童を選ぶしか選択肢はありません。家庭が負担する費用は何倍も違いますが、需要はあると思えます。積極的に誘致していただきたいです。・図書館もとても古く、本の種類も少ないと感じています。オープンな自習室も少なく、また子供が少しでも声を出したら、とても気を遣う雰囲気です。そのため、子どもたちの希望もあり、千葉市中央図書館に本を借りに行っています。新しい鈴木市長に代わり、四街道のこれからの変革に期待しております。

障害のある子の教育、自立に力を入れて欲しい。

学校の設備を多様性に合わせていくとよいと思われる。車椅子など。また、質の高い教育を望む。

いつも子供たちの事を第一に考え、様々な活動を行ってくださり、ありがとうございます。私の子供たちはまだ就学前なので、学校にはお世話になっておりませんが、もし可能でしたら、それぞれの学校ではどのような学習を行い、どんな子供を育てよう教育を進められているのか、四街道市のフリーペーパーなどで外へ伝えていただければ嬉しいです。もちろん、それぞれの学校のHPなどで公開しているのだと思うのですが、そのような「気になる人だけ調べる」ようなコンテンツではなく、広く多くの人の目にとまるような伝え方をしていただければ、関心の無かった人たちの目も向けるようになるかと思えます。ご一考いただければ嬉しいです。

私立高校や中学が少なく魅力に欠ける。誘致してほしい。

小学校も場所によって人数、クラス数が異なる。少人数クラスの方が生徒への関わりも増える。中央小でなく、四和小などに行かせたい。

屋外でのマスクの着用について千葉県からの発表はありましたが、未だに小学校からの通達がありません。暑くなっていますので着用の有無について速やかな対応をお願いしたいです。

外国人にも友好教育ですよろしく申し上げます

子供の自主性(考える力)を育てる教育を希望

図書館を充実させて、本により親しみを持てるような施設にしてもらいたい。ゲームなどのデジタルもいいが、本を通して色々な知識や感情を育む事は、教育にも繋がると思う。また、高齢化、核家族化が進む中、高齢者との関わりも減る事は、それぞれの世代にもつたない所もあると思えます。子供と高齢者のふれあいがある教育を、これからも続けて欲しいです。

学校からの書類のペーパーレス化を推進してほしい。手紙が多い。臨時休校の判断が遅い。健康観察カード意味がない。毎日提出する負担がおおきい。交通安全教育の推進。特に道路の歩行者の徹底。朝練や体育ではマスクを外す。熱中症予防。マラソン大会のウォーミングアップの時間が少ない。十分体を暖めてからスタートすること。保護者面談は希望制にしてほしい。特に必要ない家庭はやらない。通知表の総合所見はいらない。その分、授業改善に時間を使って下さい。そのほうが、子どもたちのためになります。

四街道市がそもそもどのように教育に力を入れているのかがよくわからない。

障害児にもっと選択肢をあたえてあげられるようにしてほしい。肩身が狭いです。

明石市の児童福祉支援等を四街道でもぜひやってほしい

子供へのタブレットの普及や英語教育の充実。小学校に入学前から、未就学児の学力差や運動能力差、集団行動力差があるように感じる。幼稚園と遜色ない指導をする保育園は増えてきたが、そういう保育園は定員に達しており入れない。幼稚園と遜色ない指導をする保育園(こども園)が増えて、もう少し自分の子育てや考え方に合った保育園が選べられると嬉しい。小1プロブレムが心配。

先生方にもっと余裕を持ってお仕事をしていただけるために、少人数学級の実現や、事務職員の増員などお願いしたいです。

インターネットやアプリなどを活用して情報発信をたくさんしてほしい

子ども達への教育や配慮について考えていただき大変な難く思いますが、学校の先生方の健康あつての教育だとも考えています。どうか過剰なご無理の無いよう、お気を付けください。

どのような事があるのかよくわからないので、積極的に発信してほしい。

公立私立関わらず、生きて行く力を身につけられる教育を望みます。

小学校や中学校の校舎をきれいにしてほしい

教育行政は学校教育に偏りがちです。学校教育(教員)が行うことと社会教育(保護者、地域、企業)が行うことを整理して、どちらも力を入れていただきたいと思えます。

英語が話せるようになる授業をして欲しい!! 西中学校の制服を変えてほしい!!

怪我するからと遊具を撤去するのはいかがなものか。怪我しないように気をつけるなど、そういったことからの学びも多いのではないかと。

教員が働きやすい環境を整えられるようにしてほしいと思えます。

まだ教育を受けていないので分からない

夫婦共働き家庭の子育てを支援する制度を充実させてほしい。

子どもだけでなく社会人の教育も考え、子どもから高齢者まで、みんなが活躍できる街にほしい

社会に出て働く上で必要な力を身につけて欲しいです。暗記すればokというものではなく、目標に向かってのプロセスを組み立てられる、行動できる、そのような力が大事だと思います。また、仕事をするのに1人でできるものもありますが、ほとんどの仕事は教え、教えられる、など人と関わる、コミュニケーションとして仕事していかなければならないと思えます。相手にどのように話したら納得、理解してもらえるか、相手が話している時、どのような聞く態度でいけば相手の意図を汲み取ることができるか、集団生活の中でそういう人間性を育てる場所であって欲しいと思えます。

子供達が色々なことに挑戦できる環境、共働きの親が安心して仕事と子育てを両立できる体制があるといいです

安全に健やかに学べる場であってほしいと思えます

自己肯定感を育む教育に力を入れて欲しい。教員自身も自己肯定感の高い人材を任用、または研修に力を入れて欲しい。

PTAの負担を少なく、先生達の負担も少なくなるようにして欲しい。共働きの家庭でも育てやすいようにして欲しいです。

私は他県から移住してきましたが、障がいを持った方の為の施設も充実していいと思えますし、本当に子供からお年寄りまで住みやすい街だと誰もが感じるんじゃないかな?と私は個人的に思っています。今後も四街道市がどのように変わっていくか楽しみです。四街道市に移住して良かったです。意見や要望ではなくすすみます。

子どもが未就学の為かあまり四街道市の教育に関して知る機会が無い。イメージが湧くような広報をお願いしたい。

基礎的な学力を学びつつも、他市のモデルとなるような新しい教育活動を期待しています。例えば、外国語や芸術活動など何かに特化した時間を少し増やす等を希望します。

市民の声を反映してもらいたいです。

家族・親子関係について。精神的に不安定な人が増えてきている今の社会。心のエネルギーが保てるか枯渇するか、乳児期からの親子関係が非常に大きいと感じています。自分をかけがえのない大切な存在と自己認識できるか。自己を肯定し未来を切り開くパワーがあるか、それには親子関係、特に母子関係でしょうか、とても影響が大きいということ。自分と親の関係を見つめてもらう為にも、自分を大切にすることも、小中学校の学校教育に取り入れれたり、保護者へも発信することなどを積極的に行ってほしいです。

しっかりと、幼保、小、中連携し、それぞれにしっかりと子どもと向き合う人材を当ててほしい。幼稚園に関して、共働きが増えていく中で、幼稚園に通わせたくても、住んでいる場所や、送り迎えを考慮し、諦めてしまうこともある。せめてそれぞれに18時まで開園してほしい。また、それぞれに様々な発達、今の社会を考え、それぞれに子どもたちに習い事のできやすい環境を整えてほしい。

教員の数を増やして、少人数の学級の実現を目指してほしい。外国語教育も大事だが、国語の学習時間ももっと確保して欲しい。

四街道にもっと家族で買物ができる施設が欲しいと思う。ヨーカドーでは、小さい。イオンモールのような大規模なもの。四街道で全て完結できるような複合商業施設。今は結局、佐倉や印西に行くので、四街道よりもそっちのほうが詳しくなりました。完全にベッドタウンとなってしまっている。何か、四街道のシンボルとなるような他の市の人がわざわざ来るような施設があると、良いと思う。

四街道中学の制服デザインが前時代的。

子ども達が生きる力を育むことのできる教職員の育成と、教師員が生き生きと働くことのできる職場環境の充実を求めます。

一方的な教える教育ではなく、子どもたちと先生とのやりとりの中で考える力を養えるような教育を希望します。

PTA不要だと考えます。委託などできませんでしょうか？また、先生方のプライベートな時間はとても大切だと思います。外部にお願いできるものはしていただけるようにしていただきたいです

他の小学校との関わり合いを増やすような行事があっても良いかなと思います。保育園や幼稚園で別々になった時に同じ行事で会えると嬉しい

社会は経済や政治、世界や世の中の流れに合わせてやり方や経営方法を柔軟に変化させているのに教育現場は私の子供の頃からあまり成長していないことにかなり衝撃を受けた。遅れていると思う。もう少し柔軟に瞬発力をつけて対応してほしい。複雑にするのではなく必要なことを簡潔にスマートにして欲しい。

子供達を安心、安全に育成していくため、日頃支援やご協力をありがとうございます。正直、生活面でまだまだ厳しさを感じることがありますが、引き続きご助力下さいます様、宜しくお願いします。

ハード面の整備と共に、教員の就労環境改善といった教員が自らの能力を発揮、集中できるソフト面の整備促進が重要と捉える

身近な知り合いに学校の事を聞ける環境が無い為、どのような教育をしているのか知るすべが殆ど無い。今どのような教育に力を入れているのか幼稚園、保育園などにも情報を展開して頂きたい。

PTAの役員に必ずならなければならない制度に納得がいかない。学校・地域社会の連携や子ども第一に考えることは大事だが、女性の就労率も高まる中、出来る人が行うことはできないのか？

まだ親自ら、小学校や中学校の情報を集めている状態ではないので市の教育についてよくわかっていません。市の教育全体を気軽に、楽しく見れるようなサイト・アプリ等があるといいなと思います。(未就学・小・中・高と分けずに一括で、がなお良い)役所のHPは文字ばかりで見える気になれません。

ある程度のルールの中で自由に過ごせる環境がいい

未就学児ですが、小学校の情報がほとんど入ってこない感じがあります。先生方のメンタルが健康であるように、働き方を改善してほしいです。健やかな心の状態で子供達に接してほしいからです。また、子育て支援を平等にするために子供手当の所得制限は行わないで欲しいです。コロナ給付金の所得制限無しの政策は素晴らしいと思いました。四街道市で子育てをしてよかった、と思えるような政策を同世代の市長に期待しています！！(関東の明石市になって欲しいです)頑張ってくださいね。共働き家庭など放課後時間を有効的に教育に充てる施策

和良比小学区に住んでいます。新しい家が増え、子供も増えてきていると思います。学校の規模が大きくなるのが予想されます。それに伴い、早めに、学校設備の充実、学校や保育に関わる人の人員確保に力を入れていただけると安心です。多様化する子供、一人一人に向き合うためには、子供に関わる人の時間的余裕、人員の多さが必要不可欠だと思います。子供たちが大きくなっても四街道市で子育てをしたいと思える市にしていきたいです。期待しています。

教育の質をしっかりと保ってほしい。

小、中学校の施設の充実、小学校の集団登校をお願いします。

安心して通わせられる環境であれば良いと思います。

小さなコミュニティではなく、地域や色々な文化や人に触れて学習し成長できる環境になる事を望みます。小さい頃からたくさん人や価値観に触れることで多様性を認められる心が育つと思います。

お世話になります。2歳半の娘を育てている母です。要望ではないのですが、私は今30歳で最近の教育について友達からも話を聞くとやはり保護者や世間の印象が昔とは変わってきていて伸び伸びという点で制限がかかっている気がしてしまいます。今後どうなるかは時代の流れとは思いますが、親世代としては駄菓子屋行って一日ハッピー！友達と喧嘩したら仲直りしてハッピー！遊具で遊んだらちょっと怪我したけど楽しかったからオッケー！みたいなあの頃の自由さ、見守り、地域や教育機関の一体力が戻ってくればなあと思ってしまいます。良い方向で寛容な時代がまた来ると良いと思います。色んな面に目を向けておられるかと思いますが、応援しています。よりよくしようとアンケートして下さいありがとうございます。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

共働きが多い中、支援が少ない

子ども達を認め、同じ人間として寄り添って教育をして欲しい。

病院を受診する際、受診料、薬代が無料なのがとても助かっているの、このまま継続してほしいです。千葉市のように、習い事にかかる月謝の補助があるとより嬉しいです！

子育てしやすい環境を整えて下さり、ありがとうございます。今後も宜しくお願い致します。

図書館をもっと広く子供たちが本を選びたい勉強したくなる様にして欲しいと思います。

日本の伝統文化に関する学修に力を入れてもらいたい。

子どもに対する教育について重要な点はたくさんあると思いますが、子どもたちが健やかに学べる環境を整えることを一番に考えて、子どもたちの実態に合わせながら、先生方が負担なく子どもと向き合えるゆとりや時間の確保を優先して教育活動を進めて欲しいと思います。それが、子どもたちにとって最良の環境整備だと考えます。

子供に発達障がいがあるため、小学校に、事前に見学やお話できる環境があればありがたいです。

現在計画されている教育プロジェクトの明確化と優先順位の明確化

時代に合わせて情報発信、英語力、いじめ問題などを重視する教育にどんどん改革するべき。今までこうだったからと言う考え方に固執するのではなく、より良い時代に合わせた教育を。

日々多忙な中ありがとうございます。先生方の大変さを感じた上でお伝えさせていただきます。小学校の合理的配慮の提供は、素人である親が判断して行われることが多いように感じます。それも親が言えば従うというように感じ、疑問に思えます。また、南小学校のこのしかわかりませんが、この配慮は、子ども達に分断を伝えてしまっているように思えてなりません。同じクラスの中で、職員を増やして頂くなり、地域の人々に研修をうけてもらい、中に入ってもらいながらできたらいのに、と思います。映画「みんなの学校」をご存知でしょうか？理想と現実はあるとは思いますが、でも、やれることはあるのではないのでしょうか。今の合理的配慮は、やり方、伝え方をかなりきをつけないと、子ども達に、差別や上下関係、分断を抑え込むことになりかねないと思います。これからの日本を作っていく子どもたちに、伝えたいことは、真逆です。様々な問題課題があることと思いますが、どうか子ども達が生きていく楽しさを感じられる義務教育に繋がるよう、変革をよろしくお願い致します。

先生がもう少し一人一人としっかり向き合い、情報を取得して欲しい。質問してもいつもあいまいに返事をされるので、しっかり見れているのか不安に思う

四街道市に転入して数ヶ月ですが、さまざまな国の方をお見かけします。我が子がこれから大きくなる中で、そういった多国籍のお友達と関わる機会が増え、世界が広がっていくと考えると楽しみです。その中で、お互いの思想等を理解し合えるために、四街道市の教育として力を入れていくことも大切なのではないかと思います。

働いている両親が多い中、学童の充実及び設備の強化を望みます。子育て世帯が多く四街道市に引っ越ししてくるが増加傾向にあるように思うのでまた共働き世帯も同じように多くなっているはずだから、学童を増やしてほしい。

小学校で放課後を活用して習い事ができるサポートをして欲しいです。（共働きなので、平日に習い事の送迎をすることができないため。）

外国語教育に関しては、読み書きよりも、聞く力話す力に重心をおいてほしいです。

子供に目標にチャレンジする機会を与えてください。どのような手段で達成するか、考え主体的に行動することができる教育が重要になってくると思います。

物井駅周辺は子育て世帯が増えているように思う。自分の子供がこれから小学校に入学する時になって、学校の教室数の確保や学童の利用が難しくならないか不安に感じている。

教育目標と指導力、環境のバランスがうまく取れないと行けないと思う。

教員の過度な時間外勤務が無いよう、対応いただきたい。（部活動の指導を外部委託するなど）

保護者からの要望ばかりを聞くのではなく、現場の教師の処遇改善や、権利についてもっと考えて欲しい。

英語が話せる外国人とのコミュニケーションができる場を作って欲しい。

教員の勤務時間を守り、それより早く登校しない、昇降口を開けないようにしてほしい。多様化する教員の仕事に対して専門知識の必要な仕事と、事務処理や授業時間以外に子供と関わるなど専門的ではない仕事を分けて、専門職以外の仕事をするための必要な人材と財源を確保してほしい。先生の負担軽減と多くの教員以外の人員で子供をみることで、個々の子供たちの安心や満足度に繋がると思う。不登校の子供が学校に来なくてもいい場所を増やす。学生ボランティアと学ぶ場や、民間の団体、リモートで繋がれる場など、多様な場所を子供が選べる体制にしてほしい。また、それが困っている子全員に届くよう紹介してほしい。いじめの側への対策をとれる体制を整えてほしい。必要があれば警察や弁護士などと学校や被害にあった子供が簡単に連携をとり合えて、被害者が怯えなくてすむ学校をつくってほしい。

子供たちの将来を明るくできるような教育をお願いします。

抽選でネット会議に参加して話し合うのもいいと思います。

小学校の人数の偏りが気になる。増え続ける学校については学区の変更などの対策はあるのか。

子供に手厚い手当を充実してほしい。

子どもたちはコロナ禍で制限されるなか過ごし、近頃は知らない人と挨拶を交わすことを危ないなどと教えられる子どもたちの世界が、社会が狭まっています。そんななか難しいかもしれませんが、子どもたちの「やりたい」という意欲を大事に、そして尊重、実現させてあげて欲しいと思っています。もし地域の私たちができることがあるのなら見守りたいです。よろしくお願いします。

子どもを見守る職業の人が時間的・金銭的に余裕ある生活を送り、子どもたちにおおらかに接することができるような仕組みをお願いします。

物井駅周辺にも学びの場や施設を増やして欲しい。

学区の見直しをしてほしい。

教育の機会は所得制限等関係なく、全ての子どもに等しく受ける権利があるものだと思います。又、保育士、幼児教諭、様々な教職員の負担軽減は急務であり、給与面含め、具体的な改革が必要と考えます。部活動指導や体育、英語等、外部に委託する事により指導内容の専門性が高まったり、維持費等の経費削減・軽減できる事もある様なので、四街道市としても独自に取り入れてみては如何でしょうか。

通学路の歩道整備、子供の交通安全対策を徹底してほしい。これは子供たちが注意していても安全ということはない子供たちが出来ることではないので大人、市が環境を整えるべきだと思う。

外国語を学ぶ機会、今だからこそ外でいろんな体験をする機会があるといい。

ICT教育の強化。英語を未就学児からとり入れる（聞き流し）。詰め込み教育ではなく、もう少し新しい発想での教育。

命の尊さ、性教育など、生きていく上で大切なことを当たり前前に授業に取り入れて欲しい。

中高一貫校があると教育の選択肢が増えて良い

子供に様々な学習の機会を与えていただけたらと思います。

公園の遊具が設置される地面に土ではなく、転んだりしても痛くなく、雨がやんだ後乾いてすぐ遊べるような地面に変えてほしい。

教育機関への情報が少ないと感じるので、ネットや情報誌を通じて学校の特色等を載せて欲しい。

現在どのような教育なのかわかりませんが、団体行動も大切にしつつ個性を大切にしてほしいです。保護者と学校が簡単に連携できるシステムがあればいいと思っています。

児童の健全な育成も大切ですが、教職員の心身ももの健康、健全、就労環境の整備があつてこそその教育活動と考えます。子どもたちの安全安心のためにもよろしくお願いします。

総合の時間や道徳の時間などを活用し、お金（ローンなどについて）の授業や、SNSなどネットでのマナーや交通マナーなどを教えていただけるととても助かります。

私立の幼稚園と保育園に通っているのが市が教育についてどのような事を行なっているのか知りませんが、私のように「何をしているのかわからない」という人はいらっしゃると思うので、どのような事を行なっているのかを教えてください。市政日よりやHPに載せているだけでは認知度、理解度は上がらないと思います。

保育士や教員の一日にできる仕事量は限界があると思います。市は教員や保育士のやるべきことを明確にし、教員、保育士の業務改革を進めてほしいと思います。もし、業務改革の途中である教員や保育士にできないことや、やるべきことではない事ができたのなら、なるべく早い段階でやめるべきです。市内にある学校や保育所で、仕事の共通化、統一化ができるなら推し進めるべきです。余計な仕事を減らして仕事の合理化、電子化、機械化を推し進め、教員や保育士にこどもと接する時間を作る施策をしてください。教員の数が足りないというニュースを最近よく耳にします。何故教員志望者が少ないかは現場にいる方がよくご存知だと思うので、現場の声によく耳を傾けて業務改革を進めていただけると一市民として安心します。国策も影響があると思うので、市だけでどうにかする問題ではないとは思いますが、まずは市でできることから進めていただければと思います。

共働き家庭が増えている今、PTA活動等の保護者への負担を減らして欲しい。

共働き世帯が増えており、土日休みがあたりまえではなく、平日休みの家庭も多いので、両親が仕事でも子供たちが安心して過ごせる居場所をつくってほしい。

四街道市の実態を知りませんが、教科書の持ち帰り等によりランドセルが過度に重いようであれば、改善してほしいです。

よりよい教育のための設備や人的資源への投資はぜひ惜しまず取り組んでいただければ幸いです。

いじめのない学校、および、いじめがあっても隠したり見なかったふりをしたりせず解決できる仕組みづくりをしてほしいです。子供が安心して通える学校にしてください。

人と人の距離が近く感じられる教育を望みます。いまはインターネットなどで人と人の距離が近いようで遠く感じます。先生方を業務などで忙しいと思いますが、生徒一人一人をきちんと見てくれる学校であってほしいです。

今の社会小さな頃から良い情報も悪い情報も簡単に手に入る時代だと思います。だからこそ全てにおいていけないことと良いことを細かく大人が教えてあげなくてはいけないのではないかと思います。基本的な学習だけではなく生きていく上で必要な情報を学校でも家庭でも教えていけたらいいと思います。

学校ごとに対応力の差が大きい為、解消してほしい。(ネットの対応や学童など)千代田、もねの里地区の学校までの距離に差が大きいので、小学校区を選べるようにしてほしい。四街道図書館の改装や充実を前向きに検討してほしい。

もねの里に住んでいますが、毎年保育園が出来ているくらい子供が増えているので、保育園に通っている子供達が小中学校に通う頃、設備や環境がその人数に対応出来る状況か心配です。

回答結果 集計表 < 教職員（小学校） >

I-1 性別

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| (1) 男性 | 94 | 39.2% |
| (2) 女性 | 142 | 59.2% |
| (3) 回答しない | 4 | 1.7% |
| 計 | 240 | 100.0% |

I-2 年齢

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| (1) 29歳以下 | 58 | 24.2% |
| (2) 30歳代 | 55 | 22.9% |
| (3) 40歳代 | 41 | 17.1% |
| (4) 50歳代 | 67 | 27.9% |
| (5) 60歳以上 | 19 | 7.9% |
| 計 | 240 | 100.0% |

I-3 経験年数

| | 回答数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| (1) 4年以下 | 49 | 20.4% |
| (2) 5～9年 | 42 | 17.5% |
| (3) 10～19年 | 58 | 24.2% |
| (4) 20～29年 | 33 | 13.8% |
| (5) 30年以上 | 58 | 24.2% |
| 計 | 240 | 100.0% |

II-4 現在の教育施策について、次の項目はどのくらい充実していると思いますか

| | 回答数 | | | | | 全体 |
|-------------------------------|--------|----------------|---------|-----------------|---------|-----|
| | 充実している | どちらかといえば充実している | どちらでもない | どちらかといえば充実していない | 充実していない | |
| (1) 体験的な学習の充実について | 21 | 102 | 83 | 32 | 2 | 240 |
| (2) 読書活動の推進について | 40 | 133 | 55 | 11 | 1 | 240 |
| (3) 自尊感情の育成について | 9 | 106 | 101 | 22 | 2 | 240 |
| (4) 正義感・規範意識の育成について | 9 | 108 | 96 | 26 | 1 | 240 |
| (5) 子どもの体力向上について | 10 | 110 | 87 | 32 | 1 | 240 |
| (6) 食育と健康教育の推進について | 27 | 103 | 86 | 23 | 1 | 240 |
| (7) 異校種・教育機関との連携推進について | 19 | 77 | 95 | 45 | 4 | 240 |
| (8) 特別支援教育の推進について | 23 | 128 | 65 | 21 | 3 | 240 |
| (9) 少人数学級の推進について | 11 | 69 | 52 | 71 | 37 | 240 |
| (10) 教職員の授業力の向上について | 14 | 117 | 91 | 17 | 1 | 240 |
| (11) 主体的・対話的で深い学びの実現について | 12 | 105 | 96 | 24 | 3 | 240 |
| (12) 小中一貫教育の推進について | 30 | 101 | 79 | 26 | 4 | 240 |
| (13) 夢を育む教育の推進について | 10 | 81 | 115 | 28 | 6 | 240 |
| (14) 外国語教育の推進について | 68 | 130 | 33 | 8 | 1 | 240 |
| (15) 情報教育の推進について | 35 | 138 | 57 | 7 | 3 | 240 |
| (16) 家庭との連携による学習習慣の形成について | 9 | 96 | 100 | 30 | 5 | 240 |
| (17) 子どもたちの学びを支える支援について | 11 | 96 | 83 | 45 | 5 | 240 |
| (18) 教職員の資質能力の向上について | 11 | 113 | 91 | 25 | 0 | 240 |
| (19) 子どもに向き合える環境づくりについて | 8 | 89 | 76 | 49 | 18 | 240 |
| (20) 地域が誇れる開かれた学校づくりについて | 19 | 94 | 89 | 37 | 1 | 240 |
| (21) 安全教育・安全体制の充実について | 29 | 120 | 76 | 13 | 2 | 240 |
| (22) 施設整備の充実について | 10 | 75 | 66 | 59 | 30 | 240 |
| (23) 四街道の自然環境の学習について | 22 | 88 | 89 | 35 | 6 | 240 |
| (24) 食を通じたふるさと四街道への愛着の醸成について | 10 | 87 | 91 | 48 | 4 | 240 |
| (25) 四街道の伝統文化の学習について | 13 | 78 | 97 | 47 | 5 | 240 |
| (26) 家庭教育の支援について | 5 | 73 | 120 | 34 | 8 | 240 |
| (27) 青少年の健全育成について | 13 | 96 | 114 | 16 | 1 | 240 |
| (28) 体験・交流活動等の場づくりについて | 10 | 87 | 106 | 33 | 4 | 240 |
| (29) 地域人材の活用による学校支援や地域づくりについて | 20 | 109 | 80 | 26 | 5 | 240 |
| (30) 地域ぐるみの安全体制の構築について | 32 | 112 | 78 | 11 | 7 | 240 |

II-5 今後の教育施策について、次の項目はどのくらい重要だと思いますか

| | 回答数 | | | | | 全体 |
|--------------------------------------|-------|-----|-----|-----------|--------|-----|
| | とても重要 | 重要 | ふつう | あまり重要ではない | 重要ではない | |
| (1) ICT機器を活用した教育（オンライン教育を含む）、情報モラル教育 | 117 | 99 | 22 | 2 | 0 | 240 |
| (2) ALTと連携した外国語教育、実践的な英語力の育成 | 82 | 124 | 30 | 4 | 0 | 240 |
| (3) 理数教育、科学技術教育 | 46 | 139 | 52 | 3 | 0 | 240 |
| (4) 自然をいかした教育、環境教育 | 43 | 134 | 53 | 9 | 1 | 240 |
| (5) 望ましい勤労観や職業観を育てる教育 | 60 | 128 | 48 | 3 | 1 | 240 |
| (6) 小中学校の連携教育、小中一貫教育 | 29 | 133 | 71 | 6 | 1 | 240 |
| (7) 学校間（幼・保・小・中・高・大等）の連携 | 36 | 133 | 65 | 6 | 0 | 240 |
| (8) 学校図書館を活用した教育、読書活動 | 47 | 136 | 54 | 2 | 1 | 240 |
| (9) 豊かな心を育む道徳教育、命の教育 | 89 | 122 | 27 | 2 | 0 | 240 |
| (10) 体力向上、健やかな体を育てる教育 | 68 | 144 | 28 | 0 | 0 | 240 |
| (11) 望ましい食習慣の形成、健康に関する教育 | 51 | 145 | 43 | 1 | 0 | 240 |
| (12) 障害のある児童・生徒への支援 | 110 | 107 | 21 | 2 | 0 | 240 |
| (13) いじめ・不登校の解消、相談体制の整備 | 123 | 98 | 19 | 0 | 0 | 240 |
| (14) 教職員の資質・指導力の向上 | 96 | 114 | 29 | 1 | 0 | 240 |
| (15) 少人数教育、個に応じた指導 | 121 | 104 | 14 | 1 | 0 | 240 |
| (16) 教職員の働き方改革、児童・生徒と向き合う時間の確保 | 170 | 60 | 9 | 0 | 1 | 240 |
| (17) 防災・防犯教育、安全・安心な学校づくり | 82 | 124 | 33 | 1 | 0 | 240 |
| (18) 家庭や地域社会との連携、多様な地域人材の活用 | 47 | 147 | 42 | 3 | 1 | 240 |
| (19) 学校の教育活動や運営状況に関する情報の発信 | 36 | 134 | 65 | 4 | 1 | 240 |
| (20) 相談活動、街頭補導活動 | 36 | 124 | 71 | 6 | 3 | 240 |
| (21) 国際理解を重視した教育、グローバル教育 | 55 | 134 | 47 | 3 | 1 | 240 |
| (22) 外国にルーツを持つ児童・生徒への支援 | 84 | 112 | 42 | 2 | 0 | 240 |
| (23) 市の歴史・文化・風土を重視した教育 | 32 | 117 | 79 | 10 | 2 | 240 |
| (24) 学校施設・設備の充実 | 125 | 96 | 18 | 1 | 0 | 240 |
| (25) 夢を育む教育 | 52 | 129 | 56 | 2 | 1 | 240 |
| (26) 多様性を認め合う教育 | 106 | 109 | 25 | 0 | 0 | 240 |

II-6 あなたの学校の児童・生徒は、学習の内容をどの程度理解していると思いますか

| | 回答数 | 構成比 |
|----------------|-----|--------|
| (1) 大部分を理解している | 3 | 1.3% |
| (2) だいたい理解している | 185 | 77.1% |
| (3) あまり理解していない | 43 | 17.9% |
| (4) 理解していない | 0 | 0.0% |
| (5) わからない | 9 | 3.8% |
| 計 | 240 | 100.0% |

III-7 あなたは、ご自身の職務について忙しいと感じていますか

| | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| (1) 常に忙しい | 156 | 65.0% |
| (2) 時期によって忙しい | 83 | 34.6% |
| (3) あまり忙しくない | 1 | 0.4% |
| (4) 忙しくない | 0 | 0.0% |
| 計 | 240 | 100.0% |

Ⅲ-8 次のうち、勤務していて増えたと感じるものはありますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|---|-----|-------|----------|
| (1) 授業の工夫 | 81 | 33.8% | |
| (2) 一人一人に応じた学習指導 | 135 | 56.3% | |
| (3) 生活指導が必要な児童・生徒 | 150 | 62.5% | |
| (4) 放課後や土曜日の指導 | 28 | 11.7% | |
| (5) 保護者や地域住民への対応 | 122 | 50.8% | |
| (6) 対応が難しい苦情や要望 | 80 | 33.3% | |
| (7) 会議時間 | 80 | 33.3% | |
| (8) 校務分掌 | 91 | 37.9% | |
| (9) 事務関係の書類作成 | 135 | 56.3% | |
| (10) 教育委員会や管理職からの指示・伝達 | 71 | 29.6% | |
| (11) 安全性確保の時間（校内外の見回り、新型コロナウイルス感染症対策など） | 132 | 55.0% | |
| (12) 教材作成などの授業準備の時間 | 59 | 24.6% | |
| (13) 児童・生徒の学習評価に費やす時間 | 52 | 21.7% | |
| (14) 研修などの出張 | 51 | 21.3% | |
| (15) 時間的な余裕 | 39 | 16.3% | |
| (16) その他（ ） | 13 | 5.4% | 残業、ストレス等 |
| 計 | 240 | | |

Ⅲ-9 直近の1年間でストレスは増えましたか

| | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| (1) 増えた | 129 | 53.8% |
| (2) 少し増えた | 82 | 34.2% |
| (3) あまり増えていない | 24 | 10.0% |
| (4) 増えていない | 5 | 2.1% |
| 計 | 240 | 100.0% |

Ⅲ-10 あなたは、学校の教職員として生きがいを感じますか

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------------|-----|--------|
| (1) 感じる | 71 | 29.6% |
| (2) どちらかといえば感じる | 129 | 53.8% |
| (3) あまり感じない | 31 | 12.9% |
| (4) 感じない | 9 | 3.8% |
| 計 | 240 | 100.0% |

Ⅲ-11 あなたは、日々の職務の中で課題と感じることは何ですか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|----------------------------|-----|-------|---------------|
| (1) 児童・生徒の基礎学力の低下 | 129 | 53.8% | |
| (2) 児童・生徒の道徳心や規範意識などの低下 | 134 | 55.8% | |
| (3) 児童・生徒の健康状態や体力の低下 | 103 | 42.9% | |
| (4) 児童・生徒の基本的な生活習慣の乱れ | 136 | 56.7% | |
| (5) 児童・生徒の問題行動やいじめ・不登校 | 117 | 48.8% | |
| (6) 地域や家庭環境などによる児童・生徒の教育格差 | 99 | 41.3% | |
| (7) 家庭の教育力の低下 | 141 | 58.8% | |
| (8) 地域の教育力の低下 | 49 | 20.4% | |
| (9) 家庭・地域・学校の連携 | 46 | 19.2% | |
| (10) 学校の施設や設備 | 84 | 35.0% | |
| (11) 授業など学習指導 | 72 | 30.0% | |
| (12) 教職員の心身の健康状態 | 129 | 53.8% | |
| (13) 職場の人間関係 | 61 | 25.4% | |
| (14) 特に感じない | 1 | 0.4% | |
| (15) その他（ ） | 4 | 1.7% | 教職員の教育力、人材不足等 |
| 計 | 240 | | |

Ⅲ-12 あなたは、どのような研修を受けたいと思いますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|-------------------------|-----|-------|-----------|
| (1) 学年・学級経営 | 71 | 29.6% | |
| (2) 教科の指導や専門性 | 122 | 50.8% | |
| (3) 総合的な学習の時間の指導 | 22 | 9.2% | |
| (4) 道徳や特別活動などの指導 | 46 | 19.2% | |
| (5) ICT教育の指導 | 143 | 59.6% | |
| (6) 児童・生徒のニーズに応じた指導 | 74 | 30.8% | |
| (7) 生徒指導・生徒理解に関する指導 | 75 | 31.3% | |
| (8) カウンセリングやコーチングの技術 | 89 | 37.1% | |
| (9) 教職員の倫理観を高める研修 | 18 | 7.5% | |
| (10) 円滑な人間関係を築く能力を高める研修 | 35 | 14.6% | |
| (11) 民間企業の職場体験 | 43 | 17.9% | |
| (12) 学校経営・学校運営に関する研修 | 26 | 10.8% | |
| (13) その他（ ） | 8 | 3.3% | 働き方改革、法律等 |
| 計 | 240 | | |

Ⅳ-13 四街道市の教育に関して、ご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください

| |
|--|
| 各小中学校の施設の、大半は昭和50年代ごろに建てられたものでかなり老朽化しています。安全、安心な学校にすべく大規模な工事をお願いします。また、校庭の環境整備も学校職員によっておこなっていますが、高木の伐採、校舎跡地の管理など対応しきれないものが多々あります。財政的に厳しいことは存じておりますが、少しでもこの課題を解決すべく対応していただきたいと願うばかりです。 |
| 施設の充実、委員会からのペーパーのデータ化等をお願いしたい。また、家庭教育の充実は学校だけではかなわないと感じている。 |
| 仕事が大変です。増やすすし算だけでなく、減らす引き算もおねがいします。朝の校門消毒は千葉市ではやっていません。出席簿の下書きも理論はわかりますが、千葉市はやっていません。企画会議は20年前になくなったということです。あまり他市と比べるのも違いますし、四街道市の良さもたくさんあります。ですが、減らしてもよいものもありますのでご検討いただけたらと思います。 |
| 予算が少なく、指導書などが充分に買えない。 |
| 施設・設備の充実をお願いします。 |
| 学校間の格差を感じます。地域性や学校の実態というものがあるのも理解できるが、新型コロナ対応時に、学習や活動の実施の判断が学校任せ、校長判断になり、子供達の経験や学習に格差が出てしまったと感じる。ある程度のガイドラインを市で出していただきたいかった。 |
| 養護の先生の、大きな学校小さな学校で、人数の違いは、あっても、中身は、変わらないように、見掛けられるので、成田のように養護の先生をサポートできる支援員さん元経験者などを、つけてあげてほしい |
| ①学校内のインターネット回線の接続がとても弱く、ネットを活用した授業や研修、会議が円滑に進みません。ネット回線を強くしてほしいです。②共有データの容量がいっぱいで、データ保存ができないときがあります。市のきまりで、写真や動画は外付けHDDに保存すると聞きました。全校がそれを守っているのか、確認をお願いしたいです。 |
| 出張はなるべくなくし、リモートの実施を望みます。また、35人学級になっていない学年があり、学級人数もさらに減らせることと学習効果も高まり教育的効果も非常に高まると思います。これらのアンケートをとって終わりではなく、実際に行動に移して頂けることを望みます。 |
| 他市に比べて、台風などによる臨時休校の連絡が、学校任せで遅くなる傾向があると感じます。教育委員会からスムーズに指示があると、各学校が歩調を合わせて素早い対応ができると思います。 |
| コロナ対応、個に応じた指導等きめ細やかな仕事が求められており、それらを実行するには一人あたりの仕事が多すぎます。柔軟な人員配置で職場の戦力を増やして欲しいと思います。 |
| 日々忙しいです。残業や休日出勤もたくさんしています。働き方改革にはほど遠いです。四街道に限らず、教員を酷使していると、優れた人材は教員離れし、教員の質は落ち、いずれ日本の教育界は崩壊すると感じています。少人数学級（30人以下）の実現、予備教員の配置、残業手当配給など、国が教育にしっかり予算をつけて、教員の意欲を向上させ、子供たちと向き合える心のゆとりのある環境作りに努めていただきたいです。また、似たような調査が多く、書類作成、報告など事務処理の時間が年間を通して多いので、何か研修を増やすよりは、減らす努力を教育委員会にはしていただきたいです。 |
| プール指導を一括で受けてもらえる場所があれば、すごく助かります。 |
| 子どもを安心して育てられる教育環境の充実を図るようよろしくお願いいたします。 |
| 働き方改革とはいえ、放課後の保護者への対応や事務作業、打ち合わせ、教材研究が重なることは日常茶飯事です。土日出勤をしないようにとは思っていますが、やはり土日のどちらかは、半日出勤する職員がほとんどです。どうしたらよいものか…と考えているところです。なるべく家族との時間を大切にしたいと思います。 |
| コロナ対応について、他市のように教育委員会が市としての指針を出していただきたい。現場は、行事ごとにどうするか検討するために多く時間を費やしても、他の学校との差を保護者から非難される場合も少なくない現状で、疲弊しています。 |
| 子育て1番の町です。やる気のある、力のある教員をどうぞ増やしてください。そして、教員が笑顔で子どもたちと接することのできる余裕もてるよう、支援していただきたいです。 |
| 英語科教育、ICT教育など、常に先を見て準備を進め、いち早く対応していることが素晴らしいと思います。教員の資質向上が、子供たちの夢の実現に繋がると思考します。教員がより子供たちへの時間がとれるような施策を講じていただければありがたいです。 |
| これからもよろしくお願いいたします。 |
| 現状職員の数が不足、現場で働いている職員の職務内容が増えている。その中で、街頭指導などの時間外労働も強制されている。これでは、市から出されている残業時間短縮は難しいと感じる。その辺も含めて業務改善をしていく必要があるのではないかと感じる。 |
| アンケートという形で、ボトムアップが実現すればとてもいいことだと思います。これがデータ集計、結果公表で終わらないことを願います。子どもが一番とは思いますが、教職員の職務は慈善活動ではなく、1つの職業だと思っています。採用倍率低下、療休増加、これからは転職、離職率も上昇すると思います。有能な人材を確保するためには、相応のメリット、労働条件が必要ではないでしょうか。四街道市の教育に関わる全ての人材で、教育振興が図られると良いと思います。 |
| ①通級指導教室が市内に2教室は、少ない。中学校区に最低1教室はほしい。通えないために、通級を諦めている児童・保護者がいます。②指導要録をデータ管理にして、ゴム印・丸印の押印の手間をなくしてほしいです。 |
| 子どもたちを大切にしてくださいありがとうございます。 |

市教育委員会で、特別支援教育に関わる指導主事がお一人しかいません。また、その指導主事が異動すると、別の方がそこを担当するようになります。特別支援教育はとても重要で、各校より上がってくる書類等も大変多いです。2人体制にして、一人が異動してももう一人が残って、新しく入った指導主事に1年かけて仕事を教えていくようにすればよいと考えます。委員会あてに、承認をお願いしたこともなかなか帰って来ず、児童や保護者からの信頼関係に関わるのではないかと危惧される場面があります。

市教委からの通達をデジタル化してほしい。場合によっては期限を過ぎるものがあり、困っている。何のために校務支援システムがあるのかわからない。ICT支援員が校務支援システムの使い方知らないことも困る。校務支援システムはインターネットエクスペローラを使っているが、サポート期限を過ぎても使って問題ないのか疑問。Teamsにあげたformsの回答ページもインターネットエクスペローラで開いてしまうので、リンクコピーでChromeで回答している。Wi-Fi環境がない家庭への支援がないと、宿題でドリルパークを出せない。

実際に子どもへの対応に役立つ研修を行ってほしい。

特別支援学級など、校舎が建設された時には想定していなかった学級が年々増加しており、教室数が足りません。図工室や研修室、図書を読み聞かせの部屋などを全て潰して、特別支援教室にしています。使っていないプールの敷地を利用するなどして、教室を増やしてほしいです。

給食が美味しくなることを願っています。一部の学校で使われているお皿兼お盆は、教育上良くないと思います。左にご飯、右に汁物が置けません。日本の伝統を伝えたいものです。

職員の数を増やしてほしいです。

個別指導の必要な児童が多すぎます。それに担当が対応しきれいていません。支援員の強化はできないのでしょうか。また、産休補助、代替教員の確保に尽力してください。

外国人家庭の保護者との連絡をしてくれる人材を常勤で学校に配置してほしい。

人員不足解消と教室不足の解消

提出書類が年を追う毎に増えていく。また、その他の事務作業にかかる時間も増えている。教員という職業は、どんな仕事をどんなところまで行うべきなのか。内容の精査をお願いしたい。また、多様化する子ども達への学習方法や環境の整備、人材の配置等が全く追いついていない。もっと現場を見て、現状を理解し、必要な人事や支援を行って欲しい。何より、教育へかける予算の意識が、今後の市の未来へと繋がっていることに気付いて欲しい。

修繕が必要なお金があっても、なかなか直らない。学校の設備が乱れていると、児童生徒の落ち着きのなさに、つながる気がします。もう少し、環境を整えてあげたいです。

四街道市の教職員は、印旛地区内で人事異動を行っているため、四街道に継続して勤務することはできません。ぜひ、人事異動の範囲内での行政の共通した取組があるとよいです。例えば、印旛地区9市町で異なることとして、校務支援システム、G1GAスクール構想の端末など。もちろん、学校設置者の市町教委の方針に則るのですが、仕事をする県費負担教職員がどの市町に異動してもら働きやすい環境を整えていただきたいです。

教育（子供）を重視する方向であると発信するのであれば、外国籍の児童への対応の充実、学級費の廃止→市会計といった対応を早急に考えるべきだと思う。結果として、教育にお金がかかりやすくなることになるが、予算の拡充をお願いしたい。

あまりにも忙しくて常に余裕がないです。

再任用教員の授業研修をなくしていただきたい。

情報機器の扱い方など、各校での差が大きいのので、ある程度のラインまでは統一してほしい。（Teamsの活用など）

他市から異動してきて、各人で仕事の忙しさの差が大きいと感じました。各文書の直前での変更、ICTや外国語などへの取り組み方の学校間の差、個人間での仕事量の差などを感じました。各校で自由に指導できると言う響きは良いですが、ある程度の統一は必要なのかな、と感じました。

昨年度自費出版となったしだれざくらを、カラーにし、たくさんこどもたちの作品を以前のように載せてほしい。

教育施設を充実させてほしい。

行事等の決定が遅く、学校毎に判断を任せることが多いので、後手になってしまう。市で統一して早めの判断をしていただきPCの校務支援システムの機能をもっと充実させて欲しい。（他市に比べて使える機能が少ないので）

各校の特別支援学級に支援員の方を1名はつけてほしいです。

働き方改革と国では位置付けているが、全く改革が行われていない。むしろ、昔以上にやるが増えており、教員離れはその通りだと思う。また、学校によって仕事量が違ったり、管理職の考え方一つで帰る時間が大幅に変わってくる。余計なものは、どんどんなくしていき、一人でも休日に学校へ仕事をしに来ぬようにしてもらいたい。教員は皆疲弊している。今すぐに改革を行って欲しいと切に願う。

8月の研修が他市町村より多いと思います。うちの学校でいえば、7月中に個人面談があるので、出勤日が増えないように、研修希望者が、その7月の面談の間を縫って、いくつかある研修の中から選択できるシステムだいいと思います。

昨今の学校現場は、常に人手不足。学校教育の充実のために、マンパワーを補っていただきたい。

トイレの改修等、施設の改善を望む。

回答結果 集計表 < 教職員（中学校） >

I-1 性別

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| (1) 男性 | 63 | 54.8% |
| (2) 女性 | 51 | 44.3% |
| (3) 回答しない | 1 | 0.9% |
| 計 | 115 | 100.0% |

I-2 年齢

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| (1) 29歳以下 | 20 | 17.4% |
| (2) 30歳代 | 32 | 27.8% |
| (3) 40歳代 | 19 | 16.5% |
| (4) 50歳代 | 38 | 33.0% |
| (5) 60歳以上 | 6 | 5.2% |
| 計 | 115 | 100.0% |

I-3 経験年数

| | 回答数 | 構成比 |
|------------|-----|--------|
| (1) 4年以下 | 24 | 20.9% |
| (2) 5～9年 | 14 | 12.2% |
| (3) 10～19年 | 32 | 27.8% |
| (4) 20～29年 | 11 | 9.6% |
| (5) 30年以上 | 34 | 29.6% |
| 計 | 115 | 100.0% |

II-4 現在の教育施策について、次の項目はどのくらい充実していると思いますか

| | 回答数 | | | | | 全体 |
|-------------------------------|--------|----------------|---------|-----------------|---------|-----|
| | 充実している | どちらかといえば充実している | どちらでもない | どちらかといえば充実していない | 充実していない | |
| (1) 体験的な学習の充実について | 6 | 47 | 42 | 17 | 3 | 115 |
| (2) 読書活動の推進について | 15 | 58 | 38 | 2 | 2 | 115 |
| (3) 自尊感情の育成について | 6 | 53 | 52 | 4 | 0 | 115 |
| (4) 正義感・規範意識の育成について | 13 | 63 | 31 | 8 | 0 | 115 |
| (5) 子どもの体力向上について | 7 | 41 | 41 | 23 | 3 | 115 |
| (6) 食育と健康教育の推進について | 18 | 63 | 28 | 6 | 0 | 115 |
| (7) 異校種・教育機関との連携推進について | 9 | 39 | 50 | 15 | 2 | 115 |
| (8) 特別支援教育の推進について | 12 | 54 | 37 | 11 | 1 | 115 |
| (9) 少人数学級の推進について | 5 | 25 | 40 | 29 | 16 | 115 |
| (10) 教職員の授業力の向上について | 11 | 55 | 37 | 11 | 1 | 115 |
| (11) 主体的・対話的で深い学びの実現について | 8 | 54 | 46 | 7 | 0 | 115 |
| (12) 小中一貫教育の推進について | 11 | 45 | 41 | 15 | 3 | 115 |
| (13) 夢を育む教育の推進について | 5 | 43 | 49 | 12 | 6 | 115 |
| (14) 外国語教育の推進について | 17 | 54 | 38 | 6 | 0 | 115 |
| (15) 情報教育の推進について | 28 | 61 | 20 | 4 | 2 | 115 |
| (16) 家庭との連携による学習習慣の形成について | 5 | 35 | 53 | 20 | 2 | 115 |
| (17) 子どもたちの学びを支える支援について | 6 | 53 | 36 | 16 | 4 | 115 |
| (18) 教職員の資質能力の向上について | 11 | 53 | 39 | 11 | 1 | 115 |
| (19) 子どもに向き合える環境づくりについて | 8 | 38 | 39 | 19 | 11 | 115 |
| (20) 地域が誇れる開かれた学校づくりについて | 9 | 42 | 51 | 10 | 3 | 115 |
| (21) 安全教育・安全体制の充実について | 14 | 57 | 38 | 6 | 0 | 115 |
| (22) 施設整備の充実について | 6 | 23 | 27 | 43 | 16 | 115 |
| (23) 四街道の自然環境の学習について | 3 | 21 | 60 | 23 | 8 | 115 |
| (24) 食を通じたふるさと四街道への愛着の醸成について | 7 | 34 | 59 | 12 | 3 | 115 |
| (25) 四街道の伝統文化の学習について | 2 | 12 | 61 | 30 | 10 | 115 |
| (26) 家庭教育の支援について | 3 | 30 | 57 | 21 | 4 | 115 |
| (27) 青少年の健全育成について | 12 | 55 | 43 | 5 | 0 | 115 |
| (28) 体験・交流活動等の場づくりについて | 6 | 31 | 55 | 18 | 5 | 115 |
| (29) 地域人材の活用による学校支援や地域づくりについて | 3 | 31 | 49 | 23 | 9 | 115 |
| (30) 地域ぐるみの安全体制の構築について | 8 | 42 | 53 | 10 | 2 | 115 |

Ⅱ-5 今後の教育施策について、次の項目はどのくらい重要だと思いますか

| | 回答数 | | | | | 全体 |
|--------------------------------------|-------|----|-----|-----------|--------|-----|
| | とても重要 | 重要 | ふつう | あまり重要ではない | 重要ではない | |
| (1) ICT機器を活用した教育（オンライン教育を含む）、情報モラル教育 | 65 | 46 | 3 | 1 | 0 | 115 |
| (2) ALTと連携した外国語教育、実践的な英語力の育成 | 43 | 55 | 16 | 1 | 0 | 115 |
| (3) 理数教育、科学技術教育 | 21 | 60 | 33 | 1 | 0 | 115 |
| (4) 自然をいかした教育、環境教育 | 19 | 51 | 41 | 4 | 0 | 115 |
| (5) 望ましい勤労観や職業観を育てる教育 | 41 | 62 | 10 | 2 | 0 | 115 |
| (6) 小中学校の連携教育、小中一貫教育 | 25 | 61 | 24 | 5 | 0 | 115 |
| (7) 学校間（幼・保・小・中・高・大等）の連携 | 23 | 55 | 30 | 6 | 1 | 115 |
| (8) 学校図書館を活用した教育、読書活動 | 13 | 61 | 39 | 2 | 0 | 115 |
| (9) 豊かな心を育む道徳教育、命の教育 | 44 | 54 | 16 | 1 | 0 | 115 |
| (10) 体力向上、健やかな体を育てる教育 | 36 | 59 | 17 | 3 | 0 | 115 |
| (11) 望ましい食習慣の形成、健康に関する教育 | 32 | 56 | 24 | 3 | 0 | 115 |
| (12) 障害のある児童・生徒への支援 | 56 | 50 | 9 | 0 | 0 | 115 |
| (13) いじめ・不登校の解消、相談体制の整備 | 76 | 31 | 7 | 1 | 0 | 115 |
| (14) 教職員の資質・指導力の向上 | 55 | 44 | 14 | 1 | 1 | 115 |
| (15) 少人数教育、個に応じた指導 | 57 | 48 | 9 | 1 | 0 | 115 |
| (16) 教職員の働き方改革、児童・生徒と向き合う時間の確保 | 92 | 18 | 3 | 1 | 1 | 115 |
| (17) 防災・防犯教育、安全・安心な学校づくり | 49 | 51 | 14 | 1 | 0 | 115 |
| (18) 家庭や地域社会との連携、多様な地域人材の活用 | 26 | 62 | 24 | 3 | 0 | 115 |
| (19) 学校の教育活動や運営状況に関する情報の発信 | 20 | 59 | 33 | 3 | 0 | 115 |
| (20) 相談活動、街頭補導活動 | 25 | 44 | 35 | 10 | 1 | 115 |
| (21) 国際理解を重視した教育、グローバル教育 | 26 | 66 | 20 | 3 | 0 | 115 |
| (22) 外国にルーツを持つ児童・生徒への支援 | 42 | 55 | 15 | 2 | 1 | 115 |
| (23) 市の歴史・文化・風土を重視した教育 | 14 | 43 | 49 | 6 | 3 | 115 |
| (24) 学校施設・設備の充実 | 77 | 32 | 6 | 0 | 0 | 115 |
| (25) 夢を育む教育 | 26 | 57 | 29 | 3 | 0 | 115 |
| (26) 多様性を認め合う教育 | 57 | 46 | 12 | 0 | 0 | 115 |

Ⅱ-6 あなたの学校の児童・生徒は、学習の内容をどの程度理解していると思いますか

| | 回答数 | 構成比 |
|----------------|-----|--------|
| (1) 大部分を理解している | 3 | 2.6% |
| (2) だいたい理解している | 84 | 73.0% |
| (3) あまり理解していない | 26 | 22.6% |
| (4) 理解していない | 1 | 0.9% |
| (5) わからない | 1 | 0.9% |
| 計 | 115 | 100.0% |

Ⅲ-7 あなたは、ご自身の職務について忙しいと感じていますか

| | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| (1) 常に忙しい | 82 | 71.3% |
| (2) 時期によって忙しい | 30 | 26.1% |
| (3) あまり忙しくない | 2 | 1.7% |
| (4) 忙しくない | 1 | 0.9% |
| 計 | 115 | 100.0% |

Ⅲ－８ 次のうち、勤務していて増えたと感じるものはありますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|---|-----|-------|---------------|
| (1) 授業の工夫 | 41 | 35.7% | |
| (2) 一人一人に応じた学習指導 | 54 | 47.0% | |
| (3) 生活指導が必要な児童・生徒 | 65 | 56.5% | |
| (4) 放課後や土曜日の指導 | 38 | 33.0% | |
| (5) 保護者や地域住民への対応 | 57 | 49.6% | |
| (6) 対応が難しい苦情や要望 | 56 | 48.7% | |
| (7) 会議時間 | 36 | 31.3% | |
| (8) 校務分掌 | 38 | 33.0% | |
| (9) 事務関係の書類作成 | 62 | 53.9% | |
| (10) 教育委員会や管理職からの指示・伝達 | 38 | 33.0% | |
| (11) 安全性確保の時間（校内外の見回り、新型コロナウイルス感染症対策など） | 48 | 41.7% | |
| (12) 教材作成などの授業準備の時間 | 38 | 33.0% | |
| (13) 児童・生徒の学習評価に費やす時間 | 26 | 22.6% | |
| (14) 研修などの出張 | 15 | 13.0% | |
| (15) 時間的な余裕 | 17 | 14.8% | |
| (16) その他（ ） | 7 | 6.1% | 部活指導、研究授業の準備等 |
| 計 | 115 | | |

Ⅲ－９ あなたは、直近の1年間でストレスは増えましたか

| | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| (1) 増えた | 58 | 50.4% |
| (2) 少し増えた | 37 | 32.2% |
| (3) あまり増えていない | 20 | 17.4% |
| (4) 増えていない | 0 | 0.0% |
| 計 | 115 | 100.0% |

Ⅲ－10 あなたは、学校の教職員として生きがいを感じますか

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------------|-----|--------|
| (1) 感じる | 38 | 33.0% |
| (2) どちらかといえば感じる | 54 | 47.0% |
| (3) あまり感じない | 21 | 18.3% |
| (4) 感じない | 2 | 1.7% |
| 計 | 115 | 100.0% |

Ⅲ－11 あなたは、日々の職務の中で課題と覚えることは何ですか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|----------------------------|-----|-------|---------------------|
| (1) 児童・生徒の基礎学力の低下 | 61 | 53.0% | |
| (2) 児童・生徒の道徳心や規範意識などの低下 | 38 | 33.0% | |
| (3) 児童・生徒の健康状態や体力の低下 | 45 | 39.1% | |
| (4) 児童・生徒の基本的な生活習慣の乱れ | 35 | 30.4% | |
| (5) 児童・生徒の問題行動やいじめ・不登校 | 50 | 43.5% | |
| (6) 地域や家庭環境などによる児童・生徒の教育格差 | 47 | 40.9% | |
| (7) 家庭の教育力の低下 | 61 | 53.0% | |
| (8) 地域の教育力の低下 | 24 | 20.9% | |
| (9) 家庭・地域・学校の連携 | 16 | 13.9% | |
| (10) 学校の施設や設備 | 53 | 46.1% | |
| (11) 授業など学習指導 | 19 | 16.5% | |
| (12) 教職員の心身の健康状態 | 59 | 51.3% | |
| (13) 職場の人間関係 | 24 | 20.9% | |
| (14) 特に感じない | 1 | 0.9% | |
| (15) その他（ ） | 6 | 5.2% | 教職員の労働環境、施設・設備の老朽化等 |
| 計 | 115 | | |

Ⅲ-12 あなたは、どのような研修を受けたいと思いますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|-------------------------|-----|-------|----------------|
| (1) 学年・学級経営 | 30 | 26.1% | |
| (2) 教科の指導や専門性 | 44 | 38.3% | |
| (3) 総合的な学習の時間の指導 | 11 | 9.6% | |
| (4) 道徳や特別活動などの指導 | 15 | 13.0% | |
| (5) ICT教育の指導 | 67 | 58.3% | |
| (6) 児童・生徒のニーズに応じた指導 | 29 | 25.2% | |
| (7) 生徒指導・生徒理解に関する指導 | 32 | 27.8% | |
| (8) カウンセリングやコーチングの技術 | 39 | 33.9% | |
| (9) 教職員の倫理観を高める研修 | 9 | 7.8% | |
| (10) 円滑な人間関係を築く能力を高める研修 | 16 | 13.9% | |
| (11) 民間企業の職場体験 | 26 | 22.6% | |
| (12) 学校経営・学校運営に関する研修 | 13 | 11.3% | |
| (13) その他（ ） | 9 | 7.8% | 特別支援教育、クレーム対応等 |
| 計 | 115 | | |

Ⅳ-13 四街道市の教育に関して、ご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください

英検を無償で受けられるのは子どもたちにとっては良いことではあるが、そのための職員の負担が大きい。時間的に拘束され、監督者としての責任を負うにも関わらず、給与が発生せずボランティアで取り組む、という体制自体が働き方改革の逆を行っているように思う。市で推進しているのであれば、市の職員が対応していただくなり、監督者を募るなりして対応していただきたい。

増え続ける外国人生徒や保護者への支援を。言葉の問題や学習指導、日本の学校制度や考え方を理解してもらうために、専属の通訳、サポーターを配置してほしい。ひとつひとつ対応が本当に大変です。

物理的な環境が整っていないので、整備して欲しい。

タブレットや机上シールドなど、現在にあった個々への資材への投資は非常にありがたい。しかし、机やロッカーなど、常日頃使うものへの投資、ケアをもっと積極的にお願したい。

全教科のデジタル教科書の普及。生徒1人ずつタブレットを使って止まらないWi-Fi環境。

とにかく全教室にクーラーを設置していただきたいです。夏は暑すぎて授業になりません。

スクラップアンドビルドの精神で、新しい取り組みをするなら廃止にする取り組みもあってほしい。それが叶わないなら教職員の人数を増やしてほしい。

心の教育や適応指導、学習への意欲向上は、現状から喫緊の課題だと感じます。教育環境整備や指導力向上に関する指導・支援はたいへんありがたいです引き続きお願いします。さらに授業や生徒への指導に時間がかけられるように、学校職員の事務負担軽減に関する具体的な取り組みの検討をお願いします。

英検の施策は学校教職員への負担でしかありません。学校は会場だけ貸すのみにして頂きたいです。

市の施策である英検の公費受検が、結果として教員の時間外勤務を強いています。時間外でなくなるよう、改善をお願いします。

毎年全教職員で指導案作成と授業展開を行わなければならないことを変えてほしい。せめて、2年に1回にするなどの緩和を求めます。先生方は疲弊しています。授業力向上は最も大切にしなければならない教師の大切な要素ですが、研究授業だけで指導力が向上するわけではないと思います。他にも方法はあるのではないのでしょうか。

環境をさらに整えてほしいです。教職員の加配をお願いいたします。

備品、消耗品に関する予算が少ないと感じる。また、学校施設は直接生徒に関わることなので、体育館、グラウンド等市内同じレベルにまではしていただきたい。

縁あって自分が児童生徒のときに四街道市に転入をして以後9年間お世話になりました。四小と西中での9年間は一番充実した期間でした。そして今職員として四街道市の教育に関わることができて幸せです。親御さんの中にも知り合いができて良かったです。今後ともよろしくお願いします。

特別教室にエアコンを設置してほしい。

年一回の全員展開の指導案づくりが多忙化につながっていると思っています。

GIGAスクール構想により、一人一台タブレットを整備していただいたので、積極的に活用して、小中での相互授業参観等を行っていただければ、小中一貫教育が進められると思います。職員のなかでも意識に差があると思います。ICT機器に苦手意識がある方もいると思いますが、まず実践することが大事だと思います。

〇〇教育が多すぎて時間が足りません。生徒に向き合う時間と教科の教材研究の時間が確保できるようやることを減らしていただくとありがたいです。

タブレットの効率が悪いので、iPadにしてほしい。理科室の環境が悪いので、エアコンなどの設置や充実した実験ができる環境に整備してほしい。

本校だけでもしれないが、文書やルールが細か過ぎて一つ一つの対応に時間がかかる。長欠の報告やさまざまなことを簡略化してほしい。

働き方改革を進めるためには、人員の補充は不可欠であると考えている。検討してほしい。

生徒にとってだけでなく、教職員にとっても過ごしやすい学校となるように、これからも支援をお願いいたします。

年々、温暖化の影響なのか、夏の暑い期間が長くなっているように感じるので、早急にすべての特別教室にエアコンの設置をお願いしたい。

生徒に関わる業務に集中できるよう、集金事務や雑務の負担を軽減していただきたい。スクールサポーターが必要不可欠で最終的には「子どものため」に、一日も早く私たちの働き方「正常化」が進むように教育に関わる全ての人が、それぞれの立場でできることを強力に進めてほしい。本年度、市内の中学校でも（定数以外だと思うが）欠員が当たり前になってきている現状も聞いている。待ったなし。このままでは四街道市の教育が死んでしまいます。

いつもありがとうございます。私たちも、現場で一生懸命に頑張りますので、みんながよりよく働けるように、よろしく願います！

日本語も英語も通じない外国国籍の生徒や家庭への、アンケートや保健関係提出物、集金引き落とし口座作成等の翻訳や補助をしていただくと助かります。

人は財産。ゆとりある予算と人材確保をお願いします。

施設、設備ので老朽化に伴い修繕要望をするが予算がなく放置状態の箇所があり！環境が人を育てると思いますので、市長さんをはじめ議員さんたちに市の財政が増えるためのことについて議論してほしいと思います。学習者スポーツも指導する環境づくりと人材育成確保をお願いします。

(生徒にとって)通いたい、(保護者にとって)通わせたい、(教職員にとって)勤めたい学校となるよう、不祥事根絶に心がけ「すべては子どもたちのために」を合言葉に、今後も職務に専念していきたいです。

カラープリンターのインクが買えず、写真さえ印刷できない。したいことができない。
電話が少なく、放課後は家庭連絡をしたい担当が溢れかえっている。

働き方改革の視点からも一人年一回の指導案を作成しての授業研を教科一人にお願いしたいです。指導案検討や研究協議等にも参加することで授業力も上がっていくと考える。

①今後、夏場の特別教室での授業や指導が暑さのため、体調不良を起こす生徒が出るのが心配です。是非各小中学校の特別教室にエアコンの配置を確実にお願いします。②教師用PCのスペックが低く、ICT化を進めるに当たり、処理が遅くなるので働き方改革を進めている割には肝心なところが古いまま。不便なことが未だ多い。

日本語を話せない外国人家庭が増えてきて、年度当初の提出物、引き落とし口座の手続き等、担任の負担がかなり多いです。その点のサポートをしていただけると助かります。

教員の数を増やしてほしい。

回答結果 集計表 < 市民 >

I-1 性別

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| (1) 男性 | 303 | 40.8% |
| (2) 女性 | 425 | 57.2% |
| (3) 回答しない | 15 | 2.0% |
| 計 | 743 | 100.0% |

I-2 年齢

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-----|--------|
| (1) 29歳以下 | 89 | 12.0% |
| (2) 30歳代 | 131 | 17.6% |
| (3) 40歳代 | 161 | 21.7% |
| (4) 50歳代 | 159 | 21.4% |
| (5) 60歳以上 | 203 | 27.3% |
| 計 | 743 | 100.0% |

I-3 お住まいの地域（中学校区）

| | 回答数 | 構成比 |
|--------------|-----|--------|
| (1) 四街道中学校区 | 173 | 23.3% |
| (2) 四街道西中学校区 | 133 | 17.9% |
| (3) 四街道北中学校区 | 113 | 15.2% |
| (4) 千代田中学校区 | 126 | 17.0% |
| (5) 旭中学校区 | 134 | 18.0% |
| (6) わからない | 64 | 8.6% |
| 計 | 743 | 100.0% |

II-4 現在の教育施策について、次の項目にどのくらい満足されていますか

| | 回答数 | | | | 不満 | 全体 |
|-------------------------------|-----|--------------------|-------------|--------------------|----|-----|
| | 満足 | どちらか といえは 満足 | どちらで もない | どちらか といえは 不満 | | |
| (1) 生涯学習環境について | 21 | 108 | 509 | 77 | 28 | 743 |
| (2) 公民館活動について | 25 | 129 | 490 | 71 | 28 | 743 |
| (3) 図書館の利用について | 49 | 185 | 348 | 108 | 53 | 743 |
| (4) スポーツ環境について | 22 | 156 | 406 | 112 | 47 | 743 |
| (5) スポーツ活動の支援について | 12 | 97 | 490 | 101 | 43 | 743 |
| (6) 高等教育機関等と連携した学習機会について | 5 | 53 | 569 | 85 | 31 | 743 |
| (7) 地域における人材の育成・活用について | 6 | 72 | 514 | 118 | 33 | 743 |
| (8) 地域遺産の保護・保存、継承について | 12 | 92 | 516 | 88 | 35 | 743 |
| (9) 芸術文化活動の支援について | 10 | 87 | 520 | 92 | 34 | 743 |
| (10) 家庭教育の支援について | 16 | 78 | 481 | 124 | 44 | 743 |
| (11) 青少年の健全育成について | 14 | 96 | 510 | 87 | 36 | 743 |
| (12) 体験・交流活動等の場づくりについて | 19 | 110 | 488 | 95 | 31 | 743 |
| (13) 地域人材の活用による学校支援や地域づくりについて | 13 | 103 | 510 | 86 | 31 | 743 |
| (14) 地域ぐるみの安全体制の構築について | 21 | 162 | 420 | 99 | 41 | 743 |

Ⅱ-5 今後の教育施策について、次の項目はどのくらい重要だと思いますか

| | 回答数 | | | | | 全体 |
|-----------------------------|-------|-----|-----|-----------|--------|-----|
| | とても重要 | 重要 | ふつう | あまり重要ではない | 重要ではない | |
| (1) 生涯学習の推進 | 146 | 309 | 251 | 31 | 6 | 743 |
| (2) 社会教育施設（公民館・図書館）の整備 | 183 | 310 | 219 | 27 | 4 | 743 |
| (3) 公民館事業の充実 | 94 | 225 | 362 | 45 | 17 | 743 |
| (4) 図書館事業の充実 | 179 | 304 | 235 | 15 | 10 | 743 |
| (5) スポーツ施設（総合公園体育施設等）の整備 | 176 | 312 | 229 | 20 | 6 | 743 |
| (6) スポーツ事業の充実 | 136 | 287 | 290 | 21 | 9 | 743 |
| (7) 各種団体・サークル等の活動支援 | 80 | 229 | 384 | 34 | 16 | 743 |
| (8) イベントの開催、文化・芸術・歴史等に触れる機会 | 126 | 302 | 284 | 18 | 13 | 743 |
| (9) 講座・教室など学習機会の提供・情報発信 | 114 | 298 | 300 | 26 | 5 | 743 |
| (10) 地域人材の育成・活用 | 137 | 312 | 279 | 12 | 3 | 743 |
| (11) 伝統文化・地域遺産の継承 | 121 | 269 | 318 | 25 | 10 | 743 |
| (12) 家庭教育の支援 | 231 | 298 | 201 | 10 | 3 | 743 |
| (13) 青少年の健全育成の推進 | 193 | 313 | 224 | 8 | 5 | 743 |
| (14) 家庭・学校・地域の連携 | 250 | 292 | 196 | 2 | 3 | 743 |

Ⅲ-6 あなたは、四街道市の子どもたちに、どのように育ってほしいと思いますか（主なもの3つまで）

| | 回答数 | 票数/人数 |
|------------------|-----|-------|
| (1) 学力がある | 120 | 16.2% |
| (2) 思いやりがある | 459 | 61.8% |
| (3) 協調性がある | 172 | 23.1% |
| (4) 他人を認めることができる | 238 | 32.0% |
| (5) 心身がたくましい | 144 | 19.4% |
| (6) 我慢強さがある | 51 | 6.9% |
| (7) 自立心がある | 180 | 24.2% |
| (8) 行動力がある | 126 | 17.0% |
| (9) 柔軟性がある | 112 | 15.1% |
| (10) 創造性が豊か | 146 | 19.7% |
| (11) 適切な判断力がある | 275 | 37.0% |
| (12) 礼儀正しい | 245 | 33.0% |
| (13) 特になし | 12 | 1.6% |
| 計 | 743 | |

Ⅲ-7 子どもたちや、教育について課題と感ずることは何ですか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|-------------------|-----|-------|------------------|
| (1) 基礎学力の低下 | 218 | 29.3% | |
| (2) 道徳心や規範意識などの低下 | 338 | 45.5% | |
| (3) 健康状態や体力の低下 | 252 | 33.9% | |
| (4) 基本的な生活習慣の乱れ | 244 | 32.8% | |
| (5) 問題行動やいじめ・不登校 | 389 | 52.4% | |
| (6) 家庭環境などによる教育格差 | 270 | 36.3% | |
| (7) 家庭の教育力の低下 | 140 | 18.8% | |
| (8) 地域の教育力の低下 | 93 | 12.5% | |
| (9) 家庭・学校・地域の連携 | 176 | 23.7% | |
| (10) 学校の施設や設備 | 127 | 17.1% | |
| (11) 教職員の指導力の低下 | 201 | 27.1% | |
| (12) 特に感じない | 49 | 6.6% | |
| (13) その他（ ） | 36 | 4.8% | 社会への適応力、協調性、多様性等 |
| 計 | 743 | | |

Ⅲ-8 あなたは、子どもたちの登下校時や遊んでいるときなどに、地域の子どもたちを見守っていますか

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------------|-----|--------|
| (1) いつも見守っている | 63 | 8.5% |
| (2) とときどき見守っている | 234 | 31.5% |
| (3) どちらともいえない | 220 | 29.6% |
| (4) あまり見守っていない | 106 | 14.3% |
| (5) 見守っていない | 120 | 16.2% |
| 計 | 743 | 100.0% |

Ⅲ-9 あなたは、「地域の教育力」を高めるためにどのような取り組みが必要だと思いますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|--------------------------------------|-----|-------|-------------|
| (1) 地域の大人が、子どもに関心を持ち、ほめたり、注意したりする | 306 | 41.2% | |
| (2) 子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする | 419 | 56.4% | |
| (3) 家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする | 152 | 20.5% | |
| (4) 地域活動や行事などを活発にする | 209 | 28.1% | |
| (5) 治安を良くし、子どもたちが安心して遊べるようにする | 436 | 58.7% | |
| (6) 子どもが、保護者以外の大人（近所の人など）とふれあう機会を増やす | 218 | 29.3% | |
| (7) 伝統芸能や文化を子どもたちに伝えていく | 217 | 29.2% | |
| (8) 特にない | 22 | 3.0% | |
| (9) わからない | 37 | 5.0% | |
| (10) その他（ ） | 27 | 3.6% | 地域人材の育成・活用等 |
| 計 | 743 | | |

Ⅲ-10 あなたは、地域の教育活動に参加したり、ボランティアに協力したりしたいと思いますか

| | 回答数 | 構成比 |
|------------------|-----|--------|
| (1) そう思う | 83 | 11.2% |
| (2) どちらかといえばそう思う | 337 | 45.4% |
| (3) あまりそう思わない | 242 | 32.6% |
| (4) そう思わない | 81 | 10.9% |
| 計 | 743 | 100.0% |

Ⅳ-11 「生涯学習」とは、人が生涯にわたり、自らの意志で自発的に行う学習活動のことです。

あなたは、この1年くらいの間に、次に示す「生涯学習」をしたことがありますか。（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 |
|--|-----|-------|
| (1) 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など） | 324 | 43.6% |
| (2) 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など） | 207 | 27.9% |
| (3) パソコン・インターネットに関すること | 180 | 24.2% |
| (4) 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など） | 136 | 18.3% |
| (5) 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など） | 198 | 26.6% |
| (6) 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など） | 132 | 17.8% |
| (7) ボランティア活動（点字、手話、介護など）やそのために必要な知識・技能 | 58 | 7.8% |
| (8) 育児・教育（幼児教育、教育問題など） | 94 | 12.7% |
| (9) 自然体験や生活体験などの体験活動 | 65 | 8.7% |
| (10) 社会活動（社会・時事問題、国際問題、環境問題など） | 54 | 7.3% |
| (11) その他 | 9 | 1.2% |
| (12) していない | 189 | 25.4% |
| 計 | 743 | |

Ⅳ-12 今後、市民の方が学びたいときに学べるようにするために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか（主なもの3つまで）

| | 回答数 | 票数/人数 | |
|---------------------------|-----|-------|--------------------------|
| (1) 施設の開館時間の延長 | 136 | 18.3% | |
| (2) 施設の利用手続きの簡素化 | 269 | 36.2% | |
| (3) 市主催講座の増加 | 135 | 18.2% | |
| (4) 指導者の確保・育成 | 167 | 22.5% | |
| (5) 休日や夜間などの講座の充実 | 159 | 21.4% | |
| (6) 託児つき講座の充実 | 139 | 18.7% | |
| (7) 学習・活動成果が活かせる場づくり | 120 | 16.2% | |
| (8) 学習・活動に関する相談体制づくり | 60 | 8.1% | |
| (9) 学習・活動情報の提供 | 157 | 21.1% | |
| (10) 地域の団体の活動支援 | 79 | 10.6% | |
| (11) 学校施設の開放 | 95 | 12.8% | |
| (12) 大学など教育機関や企業との連携 | 145 | 19.5% | |
| (13) ユニバーサルデザインの視点による環境整備 | 62 | 8.3% | |
| (14) 特にない | 44 | 5.9% | |
| (15) わからない | 73 | 9.8% | |
| (16) その他（ ） | 30 | 4.0% | インターネットの活用、施設の整備、経済的な支援等 |
| 計 | 743 | | |

IV-13 四街道市の歴史や文化に興味がありますか

| | 回答数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| (1) 興味がある | 314 | 42.3% |
| (2) 興味がない | 132 | 17.8% |
| (3) どちらでもない | 297 | 40.0% |
| 計 | 743 | 100.0% |

V-14 あなたは、健康についてどのように感じていますか

| | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| (1) 健康である | 197 | 26.5% |
| (2) 普通 | 352 | 47.4% |
| (3) 健康に不安を感じる | 169 | 22.7% |
| (4) 健康でない | 25 | 3.4% |
| 計 | 743 | 100.0% |

V-15-1 あなたは、どの程度の頻度で運動をしていますか

| | 回答数 | 構成比 |
|--------------|-----|--------|
| (1) ほとんど毎日 | 117 | 15.7% |
| (2) 週に2～3回程度 | 181 | 24.4% |
| (3) 週に1回程度 | 139 | 18.7% |
| (4) 月に1～3回程度 | 86 | 11.6% |
| (5) 全くしていない | 220 | 29.6% |
| 計 | 743 | 100.0% |

V-15-2 問15-1で1～4と回答した方にお伺いしますあなたはどこで運動をしていますか（あてはまるものすべて）

| | 回答数 | 票数/人数 |
|------------------------|-----|-------|
| (1) 自宅及び周辺 | 413 | 79.0% |
| (2) 市内公共施設（公園、体育館） | 86 | 16.4% |
| (3) 市内民間施設（ジム、スポーツクラブ） | 35 | 6.7% |
| (4) 市外公共施設（公園、体育館） | 43 | 8.2% |
| (5) 市外民間施設（ジム、スポーツクラブ） | 39 | 7.5% |
| 計 | 523 | |

V-15-3 問15-1で5と回答した方にお伺いします条件が合えば運動したいと思いませんか

| | 回答数 | 構成比 |
|-------------|-----|--------|
| (1) 運動したい | 170 | 77.3% |
| (2) 運動したくない | 50 | 22.7% |
| 計 | 220 | 100.0% |

VI-16 四街道市の教育に関して、ご意見やご要望がございましたら自由にご記入ください

子供関係の支援は所得関係なしに平等にしてほしいです。交換留学もまた活発になったら良いと思います。

四街道駅南側はもねの里のような広い施設があって良いが、北側はとても狭く暗いので子供が行きたがらない。もねの里までは子供1人で行けないため北側にももっと明るく広い施設があると良い。四街道駅周辺の空き店舗が多く治安が悪い印象。駅から四街道高校周辺までの道幅が狭く道にゴミ置き場が多いため高校生や自転車とすれ違う時には車とぶつかりそうになるため1人では歩かせずらい。ゴミ置き場（ゴミ袋がそのまま道に置かれている）が道にあるとカラスがいて子供が道を通れないことがよくあり困っている。そのような場所は多いと思うので市内全体でしっかりとゴミ箱の設置を検討してほしい。中央名和どおりの線路下を通る道は通学路で多くの子供が通っているが暗くて狭すぎる。

歩道をたくさん作ってほしい。車通り多いのに通学路狭い。

物井に図書館、本屋がないので不便です。

教育費無償化、塾等受講支援金の創設、PTA活動の簡素化の推進

学校に通うような年齢の子供はもうおりませんが、聞くところによると部活動がいろいろと大変なようですね。教師の方々の負担となったり、指導する先生がいらっしゃらなくて思うように活動できなったり。それでも地域の方の協力があって続けられるところは良いですが、そういう方も見つからなくてOBの方で細々と活動しているところもあるとか（直接聞いたわけではないので違っていたらすみません）。もっと教育委員会、地域、学校で連携して、良いほうに向かえば良いですね。生涯学習ですが、大体の講座が日中に行われるので、興味はあるけれど行けないという若い方もいらっしゃいます。講師の方や場所の確保なども大変ですが、もうちょっと遅い時間や休日にも開催されていれば若い方も学びやすいのではないのでしょうか。

様々な疾病発生時や、それぞれの家庭環境の格差によって、子供達の教育に影響が出ないよう、タブレット学習体制が十分に機能するよう、整備をお願いします。

すみません、あまり関心がなかったのでこれからの若い人たちに頑張ってもらいたいです。

教育と言っても、大人が子供に教えるもの、と考えてしまいがちですが、もっと大人が人に対して関心が持てるような声掛けをするべきじゃないでしょうか…私が子供の頃に比べて、世の中全体が生きにくく感じています。自分以外は敵、なんでしょう？大人は全て正しいのでしょうか？もっと、おおらかに。「受け入れる」広い心が育つ住民が増えて下さいませように。

全国学力テストをはじめとする全国規模での学力評価等に対する具体的な数値目標を設定し、学校毎の達成度を集計し市民へ公開される仕組み作りがされると良いと思う。理想的には文科省の定める指針に沿った四街道市独自の小学校及び中学校向け学力テストを実施する事で学校毎に客観的に学力評価出来ると思う。

教育の趣旨が違ってもかもしれませんが、毎朝小学校前で交通安全のボランティアをしてくださっている方が、毎回数減信号の際に点滅しているから走って渡るように指導されています。点滅信号は立ち止まらせるのが正しい判断です。小学生は大人に言われたら呼ばれるがまま渡ってしまいます。交通事故が起きてからでは遅いので危険に感じています。改善されたら安全で良いと思います。

| |
|--|
| <p>中学校の制服について。女子生徒スカート以外の選択肢はあるのかなのか、それとも検討しているのかどこかでわかりやすく発信してくれればと思います。</p> |
| <p>子ども達が自由にボールなどで遊べる公園や広場が少なすぎると思います。ほとんどの公園ではボール使用禁止になっているため、以前から四街道市に大きなスペースで自由に遊べる公園があればずっと思っていました。</p> |
| <p>子ども達の未来が明るいものであってほしい。さまざまな差別がなく、やりたいことが当たり前になるような教育環境を作り上げたいことを期待します。</p> |
| <p>1.学習室の拡充 (例)千葉駅ペリエ6Fのbookcafe コメダ珈琲店の1人用席 ※wifi完備 上記の様な1人でも簡単に学習出来るスペースが欲しいです。</p> |
| <p>人材確保に予算をもっとつけてほしい。人は宝、教育は健全な宝育成に欠くことができないものと考えからです。</p> |
| <p>四街道市の学力があがるように読書の推進を学校でもすすめてほしいです。体育館が古いところの修理をお願いします。</p> |
| <p>この地域の文化的教育に関しては、とても積極的とは言えないと感じます。まず施設があまりに古い。市民会館やそれに付随する各施設の老朽化が顕著。市役所もあまりに古く、積極的に利用したいとは思えない。まずは大きな企業を誘致し、市としての財源確保を急ぐべきでしょうか。ある程度の財源確保が出来たら四街道駅周辺の再整備。また駅に近い場所に大きな文化施設を作って欲しい。これは津田沼駅付近のモリシアの様な複合型でも良いと思います。音楽、芸術、スポーツは地域を活性化します。また部活動に積極的に力を入れた高校がたくさんあると、そこを目指して来る他の地域の子供たちも増える。私立高校に任せきりになってはダメです。県立高校にも市政が介入出来る様にして、たくさんの支援をして欲しい。そうしたら地域はもっと発展して行くと思います。若い市長さん。頑張ってください！応援しています！教育委員会にも若い力を。古い考え方を刷新出来る推進力を望みます。</p> |
| <p>子供を教育する前に、先ずは大人から。情報を得る機会が少ない。</p> |
| <p>わらうべの里さんが頑張って活動してらっしゃると思います。引き続き、活動を続けて欲しいですし、協力できることは進んでやりたいなあと思います。</p> |
| <p>四街道で子育てをして良かったのは、わらうべや親子クラブなど他の人と交流する場があったことです。もう子供たちは市外に住み、現在の小学校や中学校の対応がどのように変わっているのかわからないので何とも言えませんが、先生と親の距離が近いほうが、子供達のトラブルなく過ごせるような気がしました。自身の学習としましては、最近ではコロナで自粛しましたが、運動や学習の講座などが平日の昼間ではなく、夜間や休日にあれば参加したいです。</p> |
| <p>子供達が通る道が危なすぎるのでもう少しどうにかしてもらえないだろうか</p> |
| <p>フリースクールや夜間中学があるといいと思います。</p> |
| <p>子供たちはすでに成長しており、近所の子どもらを通して感じるのですが、もっと、自然に触れる機会を増やしてあげたい。四街道には直ぐそばに、田圃や雑木林が残っていて、鳥たち、木々、田植え、畑仕事などを身近で見られる。こういう時代だからこそ、自然を知り、生き抜く力を育てる教育が必要かと思えます。</p> |
| <p>学習に関しては力を入れていただいていると感じますが、子どもたちが四小学区は大きな公園もなく、公園にフェンスをつけていただくなどの子ども達が体を使って思いっきり遊べるような公園を作るなどの環境整備をお願いしたいです。遊具も何にもない小さな公園ばかりあっても、草刈りが大変なだけで誰も遊べないです。</p> |
| <p>四街道市だけで出来ない部分もありますが、自身が思う事を述べさせて頂きます。まず、初等教育から単位制を導入してはどうかと思えます。基本的には通学して単位を取得して行く中で、イジメや病気等、通学出来なくなった生徒の為に、フリースクールやオンライン授業、週一回のスクーリング等で単位を取得して行く等、学習の選択肢を増やしてほしいです。又、一部の天才的な人の為に学習が得意な人は、先行して単位を取得して飛び級を可能にしては、どうかと思えます。中等教育から始まる部活については、廃止が妥当だと思えます。理由は、教員の負担を軽減する事と将来、選手として活躍する可能性のある人を安全に育成する為にプロに託すべきと思えます。外国からの移民の生徒については、出来れば学年に1人は、外国語が出来る教員がいるのが望ましいと思えます。又、フリースクールを用意して1年程度、日本語教育をしてから本人の学力にあった学年に入れるのが望ましいと思えます。英会話教育やIT教育は、初等教育から始まるのが望ましいと思えます。起業や金融の基礎を学ぶ機会を初等教育から始め、中等教育では、実際に会社法人を作らせてみる。高等教育では、中等教育で作った会社法人を経営してみると、日本に欠けている、イノベーションが起し易い環境になるのではと思えます。以上、自身の思うところを述べさせて頂きました。</p> |
| <p>子育て環境について力を入れてほしいです。</p> |
| <p>安全な、ある程度のスペース、距離がある遊歩道があればウォーキング等が出来て良いと思います。街並みの景観も良くなると思いますが、現実問題、四街道の道路は一車線が多く、毎日渋滞が発生しています。改善してほしいです。</p> |
| <p>発達に遅れやアンバランスのある子どもの支援も、積極的にしてほしいです。障害とは認定されていなくても、グレーゾーンの子どもの相談や、学校での支援が必要だと思えます。</p> |
| <p>既に始まっていると思いますが、お金や性について学校や家庭で子供達に早めに理解出来るよう指導して欲しいです。</p> |
| <p>学んでいることが、その後どのように役立てられるのか、(あるいは自身に役立てられるか)を含む教育はモチベーション向上につながると思っています。コロナ禍で職を失い、困っている人は周りでも耳にします。学生から大人まで通えるたの習い事ではなく職業訓練校が市内にあったら良いなと思えます。(ポリテクセンターのような)</p> |
| <p>教育についての取り組みの強化。地域との連携を測れるようにして欲しい。</p> |
| <p>大日小のプールを使える様にしてほしい。</p> |
| <p>通学路の整備がイマイチなところが多い。治安が良いとは思わない。</p> |
| <p>これからも四街道市をよろしくをお願いします。</p> |
| <p>小さい市ならではの特色を出して欲しい。</p> |
| <p>子供の教育に関しては、学校教育の充実だけでなく、家庭教育や地域における教育力の向上も重要な課題であるとする。今後さらに増加して行く仕事を引退された地域の方々などの人材を有効に活用し、教育だけでなく、育児や地域の抱える問題を市民が中心となって解決していく地域社会作りが求められる。その為の指導者の育成や、そういった活動が行いやすい環境整備などについては市が中心となって行っていくべきだと考える。生涯学習についても重要であるとするが、市として行う以上、単なる自己満足の趣味活動で終わるような事業ではなく、上記にあげたような地域社会のために貢献できる人材の確保・育成に繋がるとよいと考える。そこまでいかなくとも、地域の人と人とを結びつけ、地域コミュニティが活性化するような事業を行って頂くことを期待する。</p> |
| <p>子供たちに実践の英語力をつけるため、家庭での留学生受け入れを(ホームステイ)等をやってもらいたいです</p> |
| <p>子どもがサッカーをしています。練習環境がありません。公園では人数がいるとできないので、せめて週に数回でもいいので、学校の校庭を解放していただきたいです。</p> |
| <p>小学生ぐらいの男子たちが公園や道路上で自転車やウィリーをするように乗っていて危険だと感じた。交通安全の観点から徹底して指導してほしい。あと、球技ができる公園が少ないように感じるので、整備してほしい。</p> |
| <p>人員を確保して、子どもの指導にあたってほしいです</p> |
| <p>子供たちが自由に遊べる場所が少ないと感じております(ボール遊びなど)。遊び場を増やしてほしいです。放課後に子供たちが伸び伸びと遊べる場所を提供していただきたい。子供たちが遊ぶ場所がないため、空き地や道路で遊び地域の方から苦情が出る時があるためです。</p> |
| <p>新しい市長さんは、やる気があり子供達の教育の大切さを、わかってくださっていると思えます。教育格差をなくし、子供達の様々な能力を伸ばせる、施設、仕組みを開発する事が重要だと思います。新しい事を始める時は、必ず賛成ばかりではなく反対も多いと思えますが、若さと、やる気で乗り切り頑張ってください。応援しております。</p> |

ダイバシティ教育。特に小学校低学年の頃から多様性を認め尊重し、自身とは違う人についても理解出来る教育が必要と思う。人種、言語、宗教、LGBT、発達障害、身体障害者など等。地域の歴史や文化教育は、視野が狭くなる可能性もあるので程々で良いと思う。英語やIT、プログラミング等の教育を、子どもからシニア世代まで受けられる環境整備が重要と思う。また図書館整備も、紙の本だけでなく、eBOOK化して配信していくことも、わざわざ図書館に向かう必要がなくなりシニアの生涯教育に有効かと思う。

○図書館について 四街道は、古い蔵書が多く、最新の知識を得たり話題の書籍を読むには適していない。四街道は、自習するための環境が整っていないため、佐倉南図書館を利用している。○家庭と地域の教育力について 例として、ホームセンターなど走り回る子供には、危険と思われる場面が多々みられる。他人が子供に走ると危ないよ話をすれば、親から苦情を言われることもあり、無視する人が多いという。子供を放置する親、苦情を言う親、関与しない地域住民。教育力という面から見れば、悪くなる一方ではないかと思う。○公園について 自宅の近所に物井さくら公園があるが、利用者の違法駐車が見られる。駐車しないように看板を設置してある場所もあるが、公園の駐車場のすぐ前や公園の裏側など非常識な場所に駐車しており、交通事故の危険もある。駐車場を増やすか違法駐車をやめさせることができればと思います。

小中一貫教育といわれているが、具体的に何が一環なのかつながりがわからない。

温水プールを開館時間を夜8時までに戻してほしい(仕事帰りに7時閉館では間に合わない)。消毒作業があると言うが、コロナ前は清掃さえもしていないかったのか。施設管理者との契約はどうかしているのか。図書館の建て替え、蔵書の充実を図ってほしい。汚い古い本ばかりで魅力がない。佐倉市の南図書館や成田市の豊富な蔵書を見習ってほしい。

横断歩道の白いライン、道路標識。蛍光灯等、道路がしっかり整っていると事故も減るし治安も落ち着きます。小学生に挨拶を返されなくなり、ご時世でしょうが寂しいです。

人間関係や心の問題などで学校へ通うことが難しい子が、気軽に教育を受けられる場や、逃げ場などをもっと整備してください。あと欧米の考えを見習って、いじめられる子を隔離するのではなく、いじめ側が心の病気である認識を持って、各種対応をするように意識改革をしていってください。

・子どもを対象にした講座を増やしたり、参加人数を増やしてもらいたい。参加させてみたい講座等があっても人数制限がありたいので抽選にもって参加できない。・小学校の授業に、もっと地域の人材を活用したら良いと思う。家庭やパソコン(情報)などは 地域に人材がたくさんいると思う。・タブレットの導入で、簡単に調べることができるとあるが、実際に見たり、触ったりする体験が減ってきているように感じる。実際に体験することも並行してやってもらいたい。・図書館を充実させて欲しい。特に子ども向けの本が少ないため 佐倉市の図書館を利用せざるを得ない。

1) 小学1年生からの英会話授業を支援する機会がありました。幼児が親との会話で日本語を学ぶと同様、ALTとの対話で耳と口と身体で楽しくコミュニケーション力を育成する様子を見て、素晴らしい試みに感激しました。2) 学校支援地域推進会議に参加する機会がありました。自然同好会、メダカの会、本の読み聞かせの会、触合いパトロール隊などが地域づくりに励んでいる姿に感謝します。このような有益な活動が地域住民に十分PRされておらず、ボランティアで参加する人の輪の広がりがもう一歩とされます。高齢化で辞める人もいる中でマンパワーを充足して持続可能な体制を構築して欲しいと願っています。3) 四街道市には石器時代～縄文時代～古代に続く貴重な財産があるが市民に公開し活用する文化財保存公開教育に生かす施設が必要です。四街道市域だけ(たこ壺指向)ではなく広く下総/上総全域との文化・産業の関係性も分るコンセプトで連携展示し、子供達が千葉県民としての地域愛を育むのに活用できればと思います。

教育の無償化とあるものの、制服、教材、部活、給食、修学旅行等様々な費用がかかっているのが現状だと思うので、そこも含めた無償化を進めて貰いたい。

修学旅行や遠足など、学外の時間を増やすべき。

・教師への支援 子どもたちのより良い学びのためには教師の協力が不可欠ではあるが、近年では教師の福利厚生が不十分ではないかと感じる。教師の頑張りも期待するのであれば、それ相応の支援があるべきだと思う。・生涯教育について 生涯教育は義務教育とは異なり自由、かつ主体的に学びを深めることができる機会であると思う。そのため、学校での課題やテストに嫌悪感を抱いている子どもであっても、自分が楽しいと思える学びを見つけることが可能になると思う。だからこそ、こうした勉学への嫌悪感を払拭し、学びの豊かさを知ってもらう必要がある。そのため、学問の楽しさを広めてくれるような専門家や大学教授を招いて、イベントを開催する等の取り組みがあれば良いと思う。

お祭りや花火大会などのイベントで地域を盛り上げて、少しでも市民が明るい気持ちになるような機会を作ってほしい。

教育予算は他の市町村と比べると多くはないと思います。児童、生徒、教職員、学校現場が望む備品や環境整備の充実のためにも、必要なものを準備していくこと。

図書館の本をもっと充実させて欲しい。古い本ばかりで、行っても魅力を感じられない。返却ポストを四街道駅やイトーヨーカドー内など、市民がよく行くところに設置してくれるともっと活用できると思います。運動施設も車でないといけないので、もっと交通機関を使えば気軽に行ける場所にあるとお年寄りから子供まで身体を動かす機会が持てるのではないかと思います。

国としてコロナの状況を見ていろいろ解除してる中、四街道市は学校の参観など解除が遅すぎる。授業参観は全校なのに、運動会や式典は人数制限など、今しかない子供の成長も見れない。勉強だけが全てではないはず義務教育の期間に、行事などを通して成長する子供達を親が見れないことが多すぎて、非常に残念に思っている。学校によっても様々でその基準が分かりづらい。学校が守りに入りすぎると、子供達はのびのびと学校生活が送れないと思う。学校側は大変だとは思いますが、大事な時期を親として見送りたいと思ってることをもう少し親身に考えていただきたい。

核家族化で、更に共働きが普通である現在では、子供たちの宿題の負荷が高過ぎる。(自分達世代より明らかに多い)学校教育のみでうまくいかないものか。共働きしなくて良い状況になればいいのだが、いずれにせよ、習い事にもお金と親の時間的な負荷がかかるし、共働きの世帯にとってもっと暮らしやすく、子供の教育に力を入れるだけの余裕と時間が欲しい。

教師の児童、生徒に対する言葉使いが悪いのが気になる。暴言等。

四街道はプールや図書館、スポーツ体育館など子供から大人まで利用出来る今時の箱物が必要なのではないでしょうか？

地域の教育について考えるにあたって大事なことは目的を何処にするかという点にあると考えられます。例えば、優秀な子供をさらに伸ばしたいのか、あまり優れていない子供をサポートして育てたいのかという2つの目的だけでも教育方針は大きく変化します。前者であれば、例えば成績が優秀な子供に促進講習といったような更なる教育を施すことが良いように感じられます。一方で、後者の場合には成績不振の子供に補習を行うということが良いように感じます。最も、補習という名前で行えばネガティブなイメージが着いてしまいます。そのため子供に劣等感を植え付けてしまい悪循環を生んでしまうため、上手い方法を考えなければなりません。他にも、子供を塾に通わせているというように家庭毎に事情が異なることは容易に想定できるため、個別に対応していく必要があります。このように、子供の学力を上げたいならば、どの層に向けて力を入れたいのかを考えていくことで具体的な方針が見えやすくなると考えられます。ここでは学力にのみ注視して書いてきましたが、子供の好奇心や愛国心を育てたいといったような他の分野に関しても同じような方法を取ることで上手くいくように考えられます。そして、最も重要なことは家庭・学校といった個別の機関や個人とコミュニケーションをとり、何が一番求められているかを見つけ出し、それにあった教育振興基本計画を策定すべきだと思います。

公園での注意事項にボール遊び(野球だと思われる)をしないとありますが、子どもは守っているようですが、高齢の男性がゴルフボール多く持参して練習している姿を目にします。子どもが守っているのに手本となる大人がするなんておかしいですね。子どもが楽しく遊べる環境はどのようにしたら確保できるのでしょうか。平日の夕方に行くの散歩中に、行名木川で小学生の学年か中学生か不明ですが遊んでいるのではなく、もめているようなイジメのような場面を目にしましてしまいました。止めに入ることもできず何処に連絡したら良いものか悩み自分が情けなく思いました。何か解決方法があると良いと思いました。

学習の習得に関して、学校は家庭に任せきりである。勉強する子しない子で格差が大きくなるので、もう少し学校側も勉強をさせるような対応をして欲しいし、面白い授業等、教員のスキルアップもして欲しい。

孫やその先の子供たちの為に、いじめや差別をされない、しない環境を整備してほしいと思います。

みそら団地の周りには自然環境がわずかに残っています。その場所を活用して、地域NPOメダカの会とほかの子どもを見守る活動をしている団体との連携での活動(たるやまの郷)を広報などで取り上げてほしいです。地域の自然環境教育もできるNPOなので、総合学習の時間に学校近くの自然に触れる機会を作れるような仕組み作りをしてほしいです。

教職員の方の労働環境を整え、教員不足にストップをかけることが、子供たちの未来にもつながっていくことだと思います。

小学校、中学校の教育に関して、昔に比べて親のクレームが増えたような気がする。また学校側も理不尽なクレームに対して折れないで対処して欲しい。

財政的に考えると、子供向けの教育を充実することを希望します。

子供が減っているのだから、適宜学校の合併など検討して欲しい。人数が少ないが故に行えない活動もある。また、ひとたびイジメが起きてしまうと、親も子ども逃げ道が絶たれてしまう。PTAの参加不参加が確認されていない。実際は強制参加である。これは、問題なのでは？

障害者に対する配慮が足りない

図書館の整備をお願いします。

他の市区町村では実施していないような面白い教育をしてほしい。例えば、英語を話せる外国人を集めて小さい街を作り、異国文化に触れつつ語学を学ぶ。とか。逐次、市民から意見聴取をしてほしい。

四街道市に中高一貫の学校がない。私立はもちろん、公立もないと言う事は中学受験などを考える時に子供を他市に行かせるしかない。小さい頃に四街道市から出るという事は、子供も四街道市に思い入れはなくなり成人式など、四街道市のイベントには参加しない。旭中学校は色々な場所から子供達が集まっているが、学校周りをもう少し開けさせる必要があると思う。子供も少なくなり、大人も学校周りに居ないので、事件や事故があってから行政が動き出しても遅い。高校、大学受験などで漢検や英検、数検、TOEICが必要なのに小学校で情報を促したりする事はない。もっと学力を伸ばす努力を市全体で考えてほしい。学力の差が出過ぎて、このまま高校受験などで他の市の子と争わなきゃいけないのかと思うと焦ってくる。どこで何のスポーツやサークルをやっているのかさっぱり分からない。もっと色々情報を発信して欲しい。

まだ仕事をしているので地域の事をする時間がとれません。また、運動をする時間もとれません。仕事を辞めた時にゆっくり考えたいと思っています。

図書館をいつも利用しています。司書の方も、いつもとても親切に対応して下さいます。また、移動図書館が、とても助かっています。児童図書がもう少し最近流行りのものがあると嬉しいなと思っています。小学校図書と連携するなどしてほしいです。子供が、学校でいつも人気の本が借りられていて、読みたいのに図書館に行くのと本がない。という時もあります。家で買ってあげようにも、シリーズものだと家計が厳しくて、、、

学校でいま学んでいることが、大切なことであれば、それがどんな風に役立っているかが実感できるように、具体的に教えてほしいです。

将来子供を中学に通わせるのが不安です。通学路が大型トラックトラクターが多く行き交う通りしかないところを通るしかなく、隣の市の中学の方が近い(2箇所ある)ので、そちらも選択出来るようにして欲しいです。

学校以外の教育の場(学童、放課後デイサービスなど)もまた教育の場と言えると思うのですが、現場の理解、学校などで実際何が必要とされているのか、大変であるのはわかりますが知る努力はするべきと思う。それ以外でも、教育する場だけでなく家庭、(家族)の状況、教育方法、しつけで子供がどんな人間性を持つかが大きいので家族との協力も必要と思う。

子供達が安心して、学校で教育が受けられる四街道市に！！(今、問題になっているヤングケアラー) いじめによる不登校など、安心して学校にいける親も子供も笑顔輝く四街道市に！！

小学校の水泳指導 四街道は実施のようですが、数回の水泳では効果は期待できない。単元計画を見直し正課体育に力を入れてほしい。子供たちの「できた」を増やしていく教育を望みます。

小学校での英語活動をもっと多く取り入れるべき。以前から(ずーっと)英語をやっていくといいながら、ちょこっと経験できる程度から進歩がなさ過ぎて、びっくりです。もっと真剣に取り入れ、誰もが楽しく英語に触れ合えるようにしてほしい。我が子は、大学生です。英語には不満がありましたが、先生方が、いろいろ経験させてくださりとても感謝してます。お米作りは親子で楽しめました。このような地域の方々との触れ合いも多く取り入れると、地域を愛する子が増えるのでは。音楽、スポーツで生活が(大人も子供も)生活感ができる四街道市になるように。

小・中学校の学習レベルが低く、高校受験の時、他市の同級生と差を感じたので改善してほしい。

年間を通して農作業を学ぶ機会があったらいいと思います。学校内にある畑ではなく、地域の方の農地をかりてなど。草取りなども。

公園の整備。一番近くの「かるがも公園」雨が降ると、砂場に水が溜まって1週間ほど水が抜けない。遊具は少ないのに、遊び方の看板にはボール禁止と書いてある。公園でボールが使えないなら、どこでボールを使えばいいのですか？

千葉市の習い事応援キャンペーンを四街道市でもやってほしい。子供に習い事をさせたくとも、お月謝が払えない家庭があり、市からの援助があれば、文化芸術の振興になり、芸術家の育成につながると思います。

教師の多岐にわたる仕事量を減らすためにも、専門家・指導者を増やす。SDGsを意識した教育、給食のフードロス、子供たちに無理やり食べさせるのではなく、子供食堂や、学校菜園などに使えるしくみ作り。

教育の前提として、安全な暮らし(無事故、治安の良さ)が確保されていることが大切。今後、千代田団地は急激な高齢化となる。千代田の住民は比較的高い見識の高い人(公務員、大企業の役員などだった人)が多いので、そういった方をうまく活躍してもらえ教育の場があればいいのではないかとオンライン講座による生涯学習支援もよいのではないかと？

経済格差による教育格差が生じていると思います。生活が大変な世帯のお子様はどうか教育に対する手を差し伸べていただけたらいいなと思います。

歴史(中国史)を特に図書館の本を借りて読んでいますが蔵書がやや少ないと思います。

ご苦労様です。よく頑張ってくれています。

図書館を充実させてほしい。(佐倉市の図書館を利用させてもらっています)

様々なお稽古事があると思うのですが、何に興味があるのか、体験が大事だと思うのですが、安価でお試しが出来る場があればいいかと思えます。

毎朝、四小の生徒が登校時に合せてゴミ捨てに行きます。子供達を見て元気をいただいております。今後共、子供たちが安心できる環境づくり、地域の教育力の向上を切にお願いいたします。

学区によって習い事の差がある。子供たちが自分で通える所、学区内での運動、学習塾、英会話など。学区で差が出ないように市として推進計画してほしい。送迎、費用負担の軽減を希望。

今、問題になっている、学校の先生たちへの負担の増加。あまりにもなんでもやらせすぎだと思う。雑務が多すぎて、肝心の授業のための時間が減り、質の高い教育が出来なくなっている。部活動も、土日の練習などは外注に任せべき。朝練もなくていいと思う。ちゃんと税金を使って、先生たちの労働環境を整えてください。先生たちがもっと気持ちと体力的にも余裕ができれば、子供たちへもいい対応・教育ができるようになると思う。(コロナ対策の学校の消毒など業者によってもらうべきです。)

図書館の本をもっと充実させてほしい。(子供が興味を持ったタイミングで借りたいのに、リクエストを出しても他館から取り寄せなので時間がかかる)市内の図書館にない本もネットリクエストできるようにしてほしい。子供向けの講座を増やしてほしい。公的な場所で、様々な経験が出来れば子育て世代としてありがたい。

土日でも学校の校庭を開放し子供たちがボール遊び等ができるようにしてほしいと思います。

学校教師と地域住民の連携。特に部活動等、住民の力を借りる。高校、大学でクラブ活動をやってきたメンバーでシニアは力を発揮可能。ほとんどのメンバーは社会貢献したい人々です。教師の負担を減少させ、充実した(心身ともに)余裕のある形を作るべき。教師の余裕が子供たちの教育に大きな影響を与える。

四街道市の歴史博物館を作るような話あったけどなかなか出来ませんね。

近所の子供たちがすれ違う時にどの子もきちんと挨拶ができていて、いつも感心しています。これからもそんな子供が増えるようになると良いと思います。

コロナ下で、子供たちの学校行事等に支障が出て大変残念に思います。少しでも、元の生活に戻れるよう願っています。

中学校の部活顧問のやる気がないと、まともな活動をしていない。(旭中卓球部)

金銭的な援助をもっと充実させてほしい。昨今、習い事が当たり前になっているため、人並みに習わせる程度の援助はほし

子供の未来に不安がないような明るい未来になるよう、教育制度を整えてほしい。信頼できる心温かい市長を中心に子育てがしやすい街づくりもどうぞ宜しくお願いいたします。

生涯学習の場をもうちょっと増やしてほしい。以前千代田公民館の松尾芭蕉の講座は、とても興味深いものでした。古典・文学でお願いします。図書館は昔とちっとも変わらず、もう少し考えてほしいです。

四街道市に限らず、現在の日本の状況が続けていけば、今の中高生が影響を一番受けるでしょう、その為に、食と健康、日本の歴史、子供の教育等、真実を子供たちに教育し本物を伝えていくことが、日本を良くし、子供たちの未来を守ってあげられると思うので、大人の役割は責任重大であると思われま

・山梨小周辺のガードレール、信号歩道の確保・給食費の無償化・旭中学校への通学路(田んぼ)の人が少なく、危険な気がする・父親の育休ではなく、産前、産後休暇の制度が欲しい。・保育士の人材確保(給料アップ)・小中学校のリモート授業の整備・山梨小の子供たちは、すれ違うと必ず明るい挨拶をしてくれるので嬉しいです。・小さい子とも優しく遊んでくれます。・緑のジャケットを着てパトロールしてくださっている方々はありがたいですが、交通ルールを守っていない方が多い気がします。(横断歩道じゃないところを渡る。)

学校にスクールカウンセラーが週一で来ていたが、役に立たない。保健室に常に来てほしい。小学校の時に適正が無い教員がいた。適正が無い教員は弾く制度が欲しい。公園を子供優先にするべき。※小学生の時に、公園でボール遊びをしていたら老人に怒られた。老人は公園でゲートボールをしていた。

小学校、中学校は地域の学校です。子供を真ん中に、地域、保護者と学校と一緒に子供の育ちを見守り、サポートする関係が築けるよう、もっと学校をオープンにし、地域の方や保護者の力を借りて、学運営ができるシステムができると良いと思います。

学校と幼稚園、保育所の増設をして欲しい。スーパー等のお店が少ないため、増やしてほしい。年金や保険のお金が高すぎる。自動販売機やポスト等の当たり前の物が少ない。駅前のバスロータリーが激しく混んでいるため危ないと思う。公園が少ない。

一昨年(2020年)、去年(2021年)は、新型コロナウイルス感染症が多く緊急事態宣言が終了するまで、教育を受けることができなかったすべての人に教育の機会を条件を付けて与えてください。四街道市の教育は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を実施してから行ってください。

わろうべの里や総合公園に行く交通の便が悪く、不便です。充実を希望します。

病院の不便さにびっくり。土日祝でも当番医を作ってほしい。

高齢者が、学校でボランティアができる場があると良いと思います。

体力づくりができる場所が駅北側であれば、利用する市民が増えるのではないかと。四街道は、自然も豊かで年配者も多い。いろいろな体験や、自然づくりに携わっている人に話を聞く機会があればいいかと思

現在の公立中学校の教員は手一杯と感じる事が多く、委託できる所が(部外や課外活動等)部外に出した方がそもその学校活動が回る様な気がします。

近くの公園などで、気軽に参加できる運動する場所(ラジオ体操等)があると良いと思う。

四街道市内には、八木原貝塚があったり、発掘調査が度々行われていると耳にしたことがあります。同時に、市内には出土した遺物を展示することができる博物館のような大きな施設はないとも聞きました。私は、遺跡や遺物が多いことも、四街道市の魅力の一つだと思っています。子供たちの教育のためにも、大人や高齢の方も、私たちが暮らす市の文化や歴史について触れることができるような施設を整えていただきたいです。

小学校の登下校時、道に広がって歩くのはとても危ないと感じております。親御さんが一緒にいても注意しないため、自転車にぶつかりそうになったりしているのを見ると、ヒヤッとします。出来ればこの交通安全については、親御さんと子どもももう少し力を入れていただけたほうが、昨今のニュースを見てもよろしいのではないかと思えます。

年をとっても住みやすい(老人にやさしい)四街道市に期待しています。

通学中の子供がいなくて実態がわからない。このこと自体が問題なのではないでしょうか

子供や高齢者に集中せず、どんな年代でも学べる機会があればいいとおもいます。年に1-2回程度からスタートできれば、将来ももっといろんなことに挑戦してみようという気持ちになると思う。

子供たちが安心して、学校、塾等に通えるように、交通関係の安全の充実。

図書館が、魅力に欠けています。他市を見習って、もう少し図書館の充実をお願いしたいです。

図書館の書籍は、全て市民の目に触れる配架にしてほしい。タイトルを指定して出してきてもらうのではなく、漠然と気になった本を借りる一歩が重要。ズラッと並んでいて、ふと手に取る機会を増やしてほしい。夏休みなどに、児童に同じジャンルの本は3冊までと以前はなっていたが、今はどうなのだろうか。言語道断だと思う。本により、切り口が異なったり、著者によって見解が違うことすらあるし、また、情報のあたらしさも違う。夏休みこそ、じっくり一分野について掘り下げられるよう、一気に同分野の本を沢山借りて調べられるべきであるのに、、、はつきり言って、学びということをおぼろげにしか言えない。学校生活において、率直に言うと、上に突出した児童は下に突出した児童と同様に生きづらく、理解を得られない(特に先生方に)。分布図の両端は、ともに寄り添って理解し、また児童の特性に合わせてもっと児童の自主性に任せる見守り方も有効だと思う。四街道では、学習機会が少なすぎ、千葉市を利用することが多い。市外などで利用できないことも多い。四街道市単独では難しいことや、あれもこれもとはいかないことも多いと思うので、いっそ千葉市をもっと利用しやすくしてほしい。もちろん、こちらからも千葉市に何かを提供できるとなおよいが。

東京都と比べて、土曜日登校が無いことや、夏休みなど長期休暇に入る前に短縮日課が多かったり休みに入るタイミングが早かったりと学習時間が全国的に見て足りているのか不安に思う。(子を市内の小学校に通わせています)

インフラ整備 四街道駅周辺の整備(都市計画)が棚上げされ、老朽化も目立つのにいつされるかも示されない。人の通らない道(3・3・7号線)などに注力する前に基本的に老朽化整備をちゃんとしてもらいたい。駅前通りの松並木に松の落ち葉が溜まっていても、道路管理課はなにもしない。都内など、あんなに落ち葉が溜まっているところを見たこともない。ボランティアをあてにする前に基本的なことをしっかりしてもらいたい。1年に2度くらいいいので、道路側溝の落ち葉やゴミの清掃をすることで、排水溝が詰まることもなくなり、結果豪雨対策、余計な清掃代(予算)の節約になると思います。そういう環境が青少年の育成に役立つと思うので、青少年なその親を巻き込む清掃活動でももう少し工夫したゴミゼロ運動を教育指導してもいいかとも思いました。

コロナ禍でいろいろなスポーツサークル等が中止になり、ここ数年は運動しなくなりました。早く体育館での運動を再開してほしいです。

市に住んでいても、四街道といえば・・・がわからない。子供にも、犬にも優しい街にしてほしいです。

教育はとても重要。国際、社会問題など、正しい考えを持てる、そして、行動力や人々を助けられるに人間になれるような教育をしていてもらいたい

図書館の利用。駅などで受け取れることができるようにしてほしい

元気な高齢者を指導者に活用する。すばらしい能力がもっていない。

英語教育が充実していると思う。コロナが落ち着いたら、お祭りが各地で再開し、地域の人たちとの繋がりが増え（若い家族と昔から住んでいる世帯の交流）そこから教育的なところが広がってほしいと思う。大きな不満はない。四街道市が学力に劣っていると思わない。

学校だけの教育だけでなく、小学生から施設とか障害者の中に入り、人はみんな平等であることを知ってほしい。

小学校の支援級（サポートクラス）の指導力、対応などが各学校により違って困っているという話を聞きました。なるべく統一できるようにしてほしいと思います。教頭先生の考えによってガラリと変わってしまうような話を聞きました。四街道小学校は、先生の人数は変わらないのにサポートのクラスだけ増えて、支援が行き届いていない、放課後等ディサービスの事業所職員への対応も悪いと聞きました。何とかしてもらいたいです。

英国で3年、米国で7年、現地校で子供を小学校、中学、高校に通わせました。そこでよいと感じ、日本でも参考になると感じたことは、次の2点です。1. 特事がフェアかフェアでないかを見方を小学校低学年から教える。いじめがフェアでないことを教える。2. 国の歴史、文化のいいところをしっかりと小・中・高等教育で教える

児童の増加に伴い、学区の急な変更があり、とまどいを感じている。もっと長期的な視野に立った取り組みをしてほしい。

四街道市には、これぞと誇れる名所や名物が思い出されます。このことから、子供や一般の人たちにも親しみ易く、語り継げるものが出てほしいと思います。例えば、君津市では、市の名勝をカルタで読んだものがあると聞きましたが、この様なものを参考にされ、四街道市の良いところをアピールしてほしいと思います。

子供達のことを一番考えた教育をしてほしい。我が子は2020年度中学3年生で修学旅行が中止になった学年です。他市では代替日帰り旅行などあったようですが全く何もしない。今でも恨んでいます。当時時間はGOTOトラベルキャンペーンの中、なぜ就学旅行だけいけないのか？校長は「どんな形でも修学旅行はやりませう」と子供達に言っていたという。子供達の納得のいく学校生活をさせてください。

現在、市外に就労中のため、あまり活動に参加できていませんが、暇になりましたら、高齢者向けの教養講座や軽スポーツ講座などに参加したいと思っています。地域での子供の見守りなどにも参加したいです。なるべく、介護保険を使わない生活を目指そうと思っていますので、参加する機会の提供などを、よろしく願い申し上げます。

千葉市の図書館の充実した設備（規模は小さくていいのですが）が、希望です。

最近若いご家族が増えたように思います。四街道は緑も多く、子供たちは恵まれた環境にあると思います。この環境が生かされればよいと思います。

未婚のため、あまり注目していませんでした。今は、小学校でもタブレットを導入している地域もあるようなので、どのような教育が進められているのかには興味があります。また、ゆとり世代の自身としては大人でも参加できる教育講座などもあるとい嬉しです。緑ゆたかな広い公園があると嬉しです。

学校教育予算を増やして、各学年に1人ずつの「少人数担当教員」を配置して、行き届いた教育につなげてほしい。学校給食を全額市が負担（父母負担をなくす）する。青年が市の平和事業に参加できる仕組みを作って、青年の力を平和事業に生かしてほしい。過程環境による教育格差が生じないように、行政は充分支援してほしい。

生涯学習には、学習ニーズの多様化、高齢化等、様々な側面があると思います。子供を守り、育む事業として、市民の学んだ成果を地域・社会に還元したり、年を経ても生き甲斐が感じられたり、健康を促進できる環境づくりをお願いしたいです。日々お忙しいとは思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

公教育においては、英語教育の充実が必要。英会話で児童・生徒が意思疎通出来るレベルまで。子育て世代にも育児教育の充実を。中高年には、健康に関する教育など、生涯学習の充実を望みます。大学進学をサポートする奨学金制度を創設を。

四街道市を活性化させるために、いろいろな地域おこしは大切かと思います。すぐにこれはないですが、知恵を絞って、協力的体制の強化をして、発展できたらと思います。

月1回でもリモート会議でも大丈夫なので、中学校、保育園、PTAと教育委員会で会議を行い、お互いの情報を知る機会を増やしてほしいです。

息子は今年度高校生となりましたが、受験生でした、塾の無い日や、塾が始まるまでの時間は、毎日のように千代田公民館を利用して受験勉強していました。ですが、高校生の時はOKでも、中学生は17時までしか使えませんといわれししぶ帰宅していました。受験生なら、騒ぐことなく必死に勉強しますし、通常の21時まで使用させていただきたいです。

四街道市というわけではなく、どこでも、よその家の大人が子供たちに声をかけ、みんなで見守っていくことが大事。問題のある子供達も心を開いていく。自分の家だけがすべてではないと思うことで、視野が広がるし素直な子になる。周りの大人が地域へも恩返ししようと思うようになる。優しく育つ。人と信頼関係を築けるようになる。頑張れるようになる。やさぐれないことが大事。ルールを守れるようになる。それが大事。核家族、親戚関係など、薄くなっている今だからこそ、地域が大事。学校にもどんどん地域を入れるべき。

子育て世代の若い市長に期待します。

・自転車の乗り方、ルールを守れていない学生が多いと思う。年1でいいので、小、中、高生に自転車指導する機会があればと思います。・インターネットやSNSの正しい使い方など、学校教育に取り入れるべきかと思います。・道德の時間に正しい日本語や言葉遣いなど社会に出たときに役立つ授業などしてほしいかと思います。

地球温暖化対策を具体的に学校でも家庭でも職場でも取り組む意欲が湧くようなことを早急に進めてほしい。例えば、ごみ焼却施設を実際に見学し、こんなに暑いんだということを子供や一般人に実感してもらい環境破壊を深刻に受け止める機会を持ってほしい。無駄な熱と二酸化炭素の放出が地球の未来を破壊し自分の子や孫の世代が将来「暑い暑い暑い！」と異常気象に苦しむことになる。また教育では、最先端技術（水素発電、バイオ発電など）を学び、SDGsを社会でも家庭でも体を動かして工夫する人間を育て上げてほしい。それが思いやりにもつながっていくと思う。

教育は生徒や学生のためだけに必要なものではなく、これらを情報や教養を必要とする四街道市民全体を対象にした「教育の概念」と思われます。そこで「四街道市民に必要な教育」とはどのような形にしたいかを考えて、以下の提案をします。

1. 「地理的条件・立地」や「歴史・遺跡」、「地場産業」の理解と把握すること。自らが生活している環境に対する理解が必要です。「地理的条件・立地」や「歴史・遺跡」は、学校の授業でも学ぶことができると思いますが、地域のボランティア団体に要請して、現地で現物に触れながら学ぶことが実体験として鮮明に記憶されるものと考えます。また、「地場産業」については、企業の現場見学会を実施し、事業の内容や社会への貢献などの各企業から四街道市民への説明会を行う協力を依頼し、地域社会の意義や貢献などを理解できるようにする。2. 「自然環境の保全」千葉市や東京に近く存在するにも関わらず、豊かな田園風景と森林を有していることが、掛け替えのない財産であると思えます。この素晴らしい自然環境を、さらに整備して、幾世代にも引き継いでいけるものではなくてはなりません。四街道市の行政と自然保護団体のボランティアの協力のもとに、現地で学ぶ自然環境の教育として、これらの活動が連続と引き継がれば素晴らしいと考えます。3. 「図書館の充実」図書は在庫拡大と管理には莫大な予算が必要になりますが、近隣の市と連携し、それぞれの市で得意の分野を分担し、図書の在庫と管理を行えば、低コストでより豊かなものに拡大できると思います。在庫の確認などはインターネットを活用し、貸出や返却なども最寄りの図書館で行えるなどの利点を活用すれば、住民の利用度をあげられると思います。

昨今は、地域の子供に注意したりすると逆恨みをされたり、住んでいる地域にもよりますが、近所づきあひも、どの程度まで関りを持った方がいいのか、難しい課題だと思われま。これからの四街道発展のため、より一層の取り組みをお願いするとともに、期待しております。

子供が成長して「自分のふるさと」を良く思い出の場所と思える、総合的な教育内容に期待したい。四街道市に住んで30年以上経ち、私が子育てしていた頃より随分子育てしやすい環境になって来たと思う。よりよい四街道の未来を楽しみにしている学校によって校則、規則が違うことにおかしいと思っています。現在西中に2人通っていますが下着の色まで白と決められチェックされ、きびしすぎるとし、下着チェックする学校に不安を感じます。

子育て（子どもの義務教育は15年前）に終わり、最近の教育の状況がよくわからない。アンケートをもとめられても、教育の現状がわかる資料がなければ意見を述べることはできない。アンケートを有意義なものにするうえで、ランダムで対象を抽出するやり方では、期待する答えは得られずムダになると考える。公費を有効に使ってアンケートを行うのであれば、子育て中の方、子育て義務教育が終わった直後の方に求めるべきである。

人は教育によってのびるので、力を入れてもらいたい。市の発展に重要です。教育をもっと充実させて下さい。

縁あって13才の頃より東京から四街道に越して来ました。今では孫も4人こちらで暮らしてそれぞれ教育を受けています。”いじめ”にあう事もなく両親も共働しながら市の力を借りて助かっています。1つ気になる事があるとすれば、市内の通学路がせまい所が多いので、八街でおきた様な事故がおこらない事を祈ります。も1つありました！小児科が少ない。母親のかわりに小児科に連れて行く事がありますが、とてもこんな事が多いです。

通学道路整備。公園の整備（・子供と一緒にすべる大人OKのスベリ台や鉄棒。・スケートボード、ボールを使える場所が必要。1人遊びの子供がスベリ台をゴールにしてバスケットボールをしたり、壁サッカーをしている。注意するのはかわいそうではないが、設備もないのでボールがとんで来て街燈がこわれたり、車、フェンスが傷ついたりする。）兄弟、姉妹が別々の保育園で送り迎えが大変
歩道の整備と安全性を高めて欲しいと思います。

教育、進学等、学習じゅくでない所でもっとアドバイスが欲しい。（学校等）

古屋城跡公園が立ち入り出来ない状況に荒れています是非とも整備をお願いします。現在、住む人のいない家（家屋）の持ち主に連絡して草とり等してもらおうようにお願いしたい。

教員は毎日のように遅くまで働いている。抜本的な解消策を。

①親子で参加出来る職業体験の企画を増やして欲しい。（地元企業や農家で）②小学生や中学生が、ディスカッションや発表が英語で出来るような英語の授業にして欲しい。

外国人受け入れで、英語教育を充実させる。オリ・パラ競技選手につながる学校への支援。姉妹都市との連携を強化。

教育は誰れの責任か。このことを理解せず、市や好言の組織に頼り過ぎていないか。昭和時代には親が真剣に考え、自己の要望を削ってまで教育に力を注ぎその負担に答えようとする意識が教育に色濃く反映されていたと思うが、教育環境の整備を言い訳に施策を強要する風潮へと変化していないだろうか。教育とは何か。教育を受けたい人が、その努力を自ら実施しているのか十分に考慮し、先ず自助努力の考え方を進めることが最重要ではなからうか？人間にとって一番大切なことは、今の教育という現場で言われていることあるのでしょうか？

学校設備の充実やIT関連等の教育機材の更なる導入を進めて頂きたい。教養講座等を多く開催し、様々な知見に触れる機会を増やして頂きたい。学校施設のセキュリティ強化の推進をお願いしたい。衛生面で安心して学べる仕組みの充実をお願いしたい。スポーツイベントの開催を増やして頂きたい。

1. 文化センター等、交通量の多い方向への行事予定表示や活動実態の広報等もっと充実し、効果的な周知による参加等充実を計って欲しい。2. 八木原小学校外壁の汚れが目立ちます。学校等きれいにし、学生や学校近所の者が気持ち良く勉強が出来る様、更に学校利用の施設等の充実・参加が出来る様に充実を計って欲しい。公共施設の施設そのものもそうであるが周りの環境整備・道路拡張等の整備も行って欲しい。それをするにどうすれば効果的に推進して行けるか市には考えて欲しいと思います。

駅の南側にも図書館をつくってほしいです。少子化や核家族化が進み、子どもが健全に育つ環境づくりは四街道市の重要課題であると考えます。昔に比べると、自由に遊べる場所（空間）がかなり限られています。自然の中で自由に遊べるような場、堂々とボール遊び（公園で禁止…どこで野球、サッカーする？学校？）ができるような場、子どものかくれ家（整備（補装）されてないこいの森のような、土、草、花、木にふれあえるような…（たろうやまの里のようなイメージ））になるような場が増えるといいと思います。（昔は道路や空き地、林などでのびのびと走りまわっていました。）また、家庭教育、経済格差支援のため、子ども食堂やわらわらべなどを活用し、誰でも使える放課後塾（自習でもOK）のような子どもの居場所があってもいいと思います。（地域人材の活用）大人みんなで子どもを育てよう、見守ろうという雰囲気ができるといいなと思います。コロナ禍で子どもの活動が制限され、体験学習や活動の機会がかなりとぼしくなっており、仲間づくりも困難になっている子どもも多いと思います。必要以上の厳しい制限はとりやめ、早くソーシャルディスタンスを重視する社会から、困った時こそ助け合う、思いやり、声かけ、コミュニケーションをとっていこうとするあたたかい社会に戻してほしいです。（子どもに黙食させるのかわいそう。）行政からはたらくかが大事だと思います。マスクも強制ではなく、自由にしてほしいです。

中学校の制服をレンタルできるように市でやってほしい。利用料を払ってもいいので。（卒業で不用になった制服・シャツなど、市民から寄付してもらいレンタルできると親は大変助かります。）他県市でやっているのをTVで見て、すばらしいアイデアだと思いました。四街道市でもマネできたらいいと思いました。

公民館などの公共施設で気軽に参加できる講習会や勉強会があったら参加したいです。そのような場があまりないように思います。

学校の制服や学習道具（ノート、教科書など）リサイクルを積極的に行って家計の負担を少しでも減らしたらどうかと思う。

この調査票は、教育に関する質問ととらえていますが、子供達を見守る為に、あえて記載させて頂きますが、先日、公園で子供がシャボン玉をしている時、犬を抱きかかえた大人（70才台）が、子供にシャボン玉を中止する様言葉をかけていた。自分の歩行路に中止する様求めたのである。こんな大人がいるのかと残念であった。私達大人は子供達を大事にしたいものである。

・文化財の展示、広報の活用（四街道には立派な文化財があるのに広く市民に知られていない）・地域行事や子供に伝統文化を受けついで楽しんでほしい（ふるさと祭りでの子供のみこしや踊りのコンテストをしてみても）・子ども達が安心して楽しく生活できる街づくりをしてほしい

四街道中央公園の街灯が暗すぎて、小・中・高生すべての生徒がキケン、特に四街道高校女性生徒が部活帰りキケンすぎるし、不良になりやすい。ウォーキング、ジョギング者も躊躇するし、悪循環すぎる。大木をスリムにカットして、街灯の間隔を狭くして、LEDにかえれば明るくなって、大人の運動者が増えれば自然に生徒の安全につながる。人目は大事です。夏に変質者がでやすいので心配です。これも教育につながるので、検討して下さい。

小学生が帰り道、右側通行を守らず、他の歩行者の事を考えずに広がって歩くのをよく見かける。私自身も体験している事だが、危ないと感じる事もあるので指導してほしいと思う。尚、私が注意しても、他の子も…となりかねないので注意するにもしづらい。

公園で外国人の子供と日本人の子供が仲良くあそんでいるのがほほえましい。差別がない教育ができてきているのかな？

5年前に引越して来たばかりなので四街道の教育の現状が良くわかりませんでした。

子どもたちの遊ぶ場所を無くさないで下さい。

お金の勉強をしたほうがいい。大人になってやくだつものを学んでほしい。海外のように。学びが楽しくない、課外授業など体をつかって学んだほうが印象に残る。学びや体験の機会が少ない、イベントや参加型のものをふやしてほしい。アンケートのみで生かしていない。実感が無い。

我が子が幼い頃は農業体験や工作体験、様々な事でお世話になり、情緒豊かに育っているように感じます。子どもは地域で育てるとはよくききますが、たやすいことではなく、心から感謝申し上げます。

リタイアされた高齢者が増加していくなかで、健康でありかつ教育関係に意欲ある高齢者を、学校教育や地域教育力の拡充に活用する施策の展開をご検討願います。

図書館をもっと少し充実してほしい。自習で利用できるようなとうれしい。

インターネットをつかったほうがいい。市がつくり発信する発信する物はきょうみがない。一般のクリエイターなどをオススメしてくれたほうがみる。

・子供が学べる場が少なく感じます。（図書館、スポーツ施設、文化活動等）・学校、市、市民が連携して学びたい子供達が学べる場所を提供し続けるべきだと思います。・市役所の受付の人達をそういう場へ配置転換して活性化することを望みます。

体験したい！！学びたい！！ドキドキ、ワクワクする魅力ある教育施設（年齢関係なく）がほしい！！（例えば）浦安市のような大きい図書館や郷土博物館のような施設。四街道市には魅力あるものが何一つない。残念！！

中学校の部活動が変わると報道されています。そのためにも地域のスポーツそれぞれの種目の組織をしっかりと市でも支援して、小学生から中学生へとつなげていけるような組織づくりに励んで欲しいと思います。是非地域でのスポーツが盛んになるような組織・活動等に力を入れて欲しいと思います。金銭面での支援も…。

四街道市にとって市内の子供たちは、市の未来を担う大切な宝です。充実した教育環境の整備をお願いしたい。欧米等の良い部分を可能な限りとり入れて教育のモデル市になるような取組みをお願いします。スポーツについても才能のある子供を早期に見つけられるような仕組みの構築（ジャマイカのような）をお願いします。

このようなきかきをもうけて頂いて有難いです。サークル活動等も四街道市はありますが初心者でも気軽に入会できるような体制もあると初めてでも気がねなくとけこめると思います。また、以前のように、子供達が小学・中学・高校と使用する物をお互いリサイクル品として使い回せる事ができると大変有難いです。（算数セット、制服、ジャージ等々）

教育とともに、児童の通学路の整備を望みます。

地域により小学校の定員に大きな差があり、もうすこし小学校を分散できたらいいのではないかと思う。学区があるので難しいとは思いますが…

TRC八千代中央図書館を利用します。何度でも足を運びたい施設です。四街道にもこの様な所を作ってください。

・以前、吉岡体育館施設利用に行きましたが職員の対応の悪さにおどろき二度と行ってません。民間スタッフの勉強してほしい、ひどいもんでした。・外国人居住者の児童で小学校に行っていない人を見かけます。ご対応された方がよろしいのではないのでしょうか？又、居住者の方には、日本の文化、つき合い方、決り事等語学を含め、もっと大きく広めたいと問題が生じて来ると思います。

鷹の台の住民です。公共施設（旭公民館、保健・福祉センター）を利用していますが、交通便が悪く、運転できなくなると困ります。鷹の台地区にコミュニティセンターがあればと思います。

・「生涯学習」を実行する機会を市主導で推進されたい。・都市に近い四街道市には、「教育」に関し豊富な知識・経験を持った方が多数いると思われる。能力を活用する機会・場を設定し、市民参加で交流できることはいかがでしょうか。（「教育」のジャンルは問わず）

知っている人は知っている。わからない人は全く知らない。もっと全体に知らせてほしい。PRの仕方を考え直してほしいです。よろしくをお願いします。

中学校の部活動を指導できる人材を確保してほしい。学校単位の時代ではない、自治体単位で考えていく必要がある。

教育とは学校ばかりの問題ではないと思いますが、学校だとすれば現在は教師不足、労働時間が多過ぎる等の学校現場の声も聞きます。日本では末端で本当に苦慮している一番大変な人の声を聞こうとする職場環境になっていず、身体を壊したり心を病んだりして現場を去る人が多いのが現実の様ですが、これでは子供には最低限の事しか教えられないと思っています。教師もイライラして頭でっかちな子や口の達者な保護者にたうちまきません。昔の人は知識が豊富で今は時間にも余裕があります。職員としてではなく“見守り隊”とか“助っ人”の様形で教室や運動場の隅に居てもらい、時には教師も先輩達の知恵を拝借して地域一緒になって子供を育てて行ったらいいと思います。人の目があれば”いじめ”も無いと思うのですが。見張りじゃなくて気配があればそれで充分効果有りだと考えるのですが…。

常識のない親が多すぎる。あいさつの出来ない人が多すぎる。

市内の施設について、知らないことが多いため、あまり利用したことがありません。世代別に分けて、紹介してくれる資料があるとうれしいです。トイレ駐車場の情報も入れてほしいです。（子育て世代、高齢者世代では利用目的が異なるため）スポーツ施設をもっと増やしてほしい。近所にバスケットゴールがある公園がないので残念。

イベントの開催・文化・芸術・歴史等に触れる機会をもっと作り、宣伝やアピールが必要だと思えます。図書館事業をもっと充実した内容にしてほしい。（例えば千葉市の図書館のように）

私達が住んでいる地区には図書館がないので不便です。（特に高齢者の方、小さなお子さんのいる人）

旭中学生徒の登下校時挨拶は大変良く出来ていると思います。私達住民も自然と挨拶をするようになります。従って、適時朝礼等で挨拶の励行を生徒にお願いしたらどうでしょうか。以上

・子のお話を聞くと、親が子を放置している例が多いように思います。・そのためか子が大人を信用していない。（親も教師も）・学校の先生方も大変だと思います。・子が試験勉強をするのに自宅では集中しづらいので、わるうべの里、ファミレス、ヨーカドーなどで勉強しています。→自習が快適にできる場所が家の近くにあるといいなとも思います。（上にあげた場所は混んでいたりと、うるさかったり、あまり良い環境ではない。図書館の自習スペースも空いていない。環境が、ルールがやりづらいことも。）

公園の整備。作るだけでなく維持管理が必要。公園内の補装やフェンスの補修。子供や老人が歩くのに危ない。

児童・生徒に1人1台ずつタブレットが貸与され、自宅でオンライン学習やパソコン学習ができることが、ありがたいです。今後もうこうしたオンラインやパソコンを使った学習をとりいれていただけるとよいと思います。また、インターネットの安全な利用に関する学習もとりいれてほしいです。

障害を持っている子、持ってしまった子、健全の子と一緒に学び成長していけるような学校生活を望みます。

広報

中学校の部活動をすすめていく時、教職員の負担が大きすぎ、外部コーチを雇うという案をニュースで見ました。具体的に民間のスポーツ教室や文化の教育者を委託する準備や構想は練られているのか。スムーズに進んでほしいです。四街道市内には「ダリー語」を母国語にしている方が年々増えています。日本の25%にあたりと聞きました。子供達（外国籍の）や保護者の方へのフォロー。教職員が保護者への連絡する際のフォローなど市としての活動がどのような体制になっているのか。こちらも明確になるといいなとも思います。

総合公園職員の対応が良くないと感じる。それは、子供達の活動に対し規制が多く、自由に活動ができない。運動場が少なすぎて、市外との交流ができない。スポーツ青少年課の電話対応が悪い。説明が明確ではない。

月に数回程度でも良いので、算数など、学力に差が出やすい授業は、レベル別にクラスの班を分けて勉強させてほしいです。都内の公立小学校では、すでにそういった学校があります。（市内でもありましたら、すみません…）先生の確保が大変かもしれませんが、宜しくお願い致します。

・子供の学習能力が低下しているのは、学校と言うより、各家庭（親の知的レベルの低さ、モラルの低さ）に問題があると思う。ただ、これを改善するのは容易ではないでしょう。・南小学校の建替え時に、旧住民からの反対で、確保していた新しい土地に新たに校舎を建てるのではなく、現在の場所に建て直したと聞いています。確保していた土地は、結局全て住宅になりました。当然子供が増えます。でも受皿である南小が、児童受け入れ飽和状態です。学区の見直し以前に、もっと未来を見ずえた新校舎建築ができなかったのかと大変疑問です。「旧住民」よりも「未来の住民」に目を向けるべきでしたね。・今は無くなりましたが、夕方の市内放送に、ずっと疑問を持っていました。「私達が帰る時間だから周囲の人は見守れ」と言っていましたよね。そもそも、この文面おかしかったと思います。「自分の身の安全は、自分でまず確保する」のが当然です。社会ルールや交通ルールを守らない子供の為に、周囲の人が目を配るのは変です。

自習室の拡充

私は、千葉市内でフリースクールスタッフとして働いております。4、5月は、問い合わせも多く、多くの子ども達、親御さん達が日々学校に行けず苦しんでいます。教育機会確保法もできましたし、もっと自由にどこでも学べる場（勉強だけでなく、色んな事）を増やして欲しいです。不登校の子=困った子ではなく、困っている子なのです。勉強も、苦手な子に寄りそい多様性のある学びをして欲しいです。「どんぐりの森プレーパーク」というステキなフィールドがあるので、フリースクールを併設するとか、色んな方法があると思います。

四街道市に転入して来て1年がたちました。以前は教育現場に関わっていましたが、親の介護や孫の世話などで社会に関わる機会が狭くなっています。社会問題になっているヤングケアラー等支援活動について学校地域が取りあげることで「生きる力」を育てていただけたらと考えています。

教育という名の子(若い世代)を育てたいなら、子供たちを遊ばせる場所をつくってほしい。うるさいなどの理由で公園が減ったり、ボール禁止、室内じゃなく室外においやったり(ヨーカドー)、後は年代別で分かれている場所がほしい。(0~1、2~3、4~6など)

新たな教育振興基本計画では子どもの教育施策に重点をおいて策定していただくようお願い申し上げます。

図書館の本を充実してほしいです。歩きたばこがなくなるような教育

子供達が興味のある事を学べる環境づくりをしていただけたらと思います。

とても住みやすい環境です。強いて言うならスポーツ施設をもっと増やしてきれいにしてほしいです。

・私は四街道市の出身ではないので、実際の小中学校でどのような授業をしているのかは分からないのですが、私自身の経験では、算数、数学の授業内容が計算練習に終始してしまい、数学的な思考力を養うことが難しかった記憶があります。基礎的な計算力は大事ですが、それ以上に論理的な思考力が大切だったと仕事をしてよく感じます。・以前、四街道市の青少年健全育成に関わる方と会ったことがありますが、本当に青少年の健全な育成に資するのかと疑問に感じるほど言動が粗暴で驚きました。立派な計画を立てるのなら、その実行の担い手もきちんと計画されるべきだと思います。・生涯教育に関して、図書館は膨大な情報から興味のある分野を見つける端緒になる施設なので、やりすぎなくらい蔵書を充実させて欲しいです。以上です。

校則・規制を少なくし、少人数学級で学力の差のつかない配慮をして欲しい。洋式トイレに全て直して欲しい。

(健康や運動)近くでやれるとよいけど、車も乗れなくなると、ジムにも行けなくなる。もちろん買物もできない。先が不安です。

現在は、核家族が多いです。子供達に高齢者とふれあいの場があると良いと思うのですが。(子供達の悩み事、相談事を聞いてあげる。)

首都圏でも有数のベッドタウンであり、昔からソーシャルステイタスが高い新住民が連綿と。ただ、見えない貧困層は急激に増えている。格差。わろうべの里や公民館などで、塾に行けない子供への勉強の手伝いなども要。一ただ、わろうべとか中学生、小学生、高校生、勉強しているふりしてWi-Fiつかってスマホやゲームしてる。やはり「自習室」が必要。

不登校の子供が多い。教育者が暴言を言ったり、相手によって差別がある。

登下校時によく声かけをしますが、ちゃんと挨拶が返ってきて、とても気持ちが良いです。

もうすぐ70才になる私ですが「教育～」もうずいぶん離れてしまって、市の広報でアチコチで何かをしているんだあって事ぐらいの知識しかなく困ったアンケートだった。私は博多出身で小さい頃から博多山笠やどんたくの他山笠は【子供山笠】があって各地区で小さな山笠が出てほとんどの家がそれに向かってホースやバケツで水をかけて盛り上がっていた。他地蔵まつりや夏休みは毎日ラジオ体操と…自宅(実家)も「やおや」と人の出入が多く自然と多くの人達に係わり沢山の目があった。今の四街道は9万人を超えた市ではあるが、コロナの時代も有り閉鎖的な人達が土地柄というか多い様な気がしています。地域の教育力はむしろか弱いのだと思う。まず教育って【家庭環境】が基本で成績より心豊かに子供らしく育てているかがポイントではないかと…去年犬の散歩で下校中の小学生4~5年の女の子が1人で帰っていたら女の子の方から「ワア犬かわいい」と私もうれしく「ありがとう。何年生なのかとか、1人で帰るのあぶないよ」と話していたら親御さんが車で迎えに来て、その親御さんは車の中から私をにらみつけて去って行きました。むずかしいですよ、へたに声は掛けられません。新しい若い市長になられ四街道が明るく住みやすい町になる事を心から願っています。いじめや虐待等四街道市は大丈夫?なのかなとニュースを見るたびに思います。日本も安全ではない国になっている。そして小さい事では犬の便あちこち放置、ゴミステーションの汚い出し方(西中の近く)をしている。子供達は見ている!!教育はここからか。

コロナ禍で、集まれる場が少なくなっていると思うが、子ども達や、大人も今だからこそ学びたいものをアンケート等で調べ、開催できると良いのでは?又、気軽に集まれる場や、マーケットなどで交流できたら良いと思う。

まず教育の対象となる子供達を増やす事が必要だと思います。子供達を増やすには、子育て世代が住みやすい環境づくり、税金等の優遇、四街道市独自の児童手当などをすべき。環境に関しては、ヤードなど治安の悪い場所が四街道市は多く、非常にイメージが悪く、若い世代の誘致に課題あり。同じ千葉県の流山市おたかの森を見習い、子育て世代に魅力的な街づくりをして欲しい。若い人が増えれば相乗効果で人が増え税収も増え、上記の手当てはまかなえるのでは。環境づくりの予算にとぼしいのであれば、千葉市四街道区となる道も考えるべきではないか。成田市なら空港、成田山、印西市なら千葉ニュータウンの大型商業施設などあるが、四街道市には正直何もない。何か目玉となる企業、施設の誘致など大改革が必要です。図書館の時間を延長とかそんなレベルで教育の向上はありえません!!考えが甘いです。公務員的な考えですね。民間の識者に相談するなど古い考えは捨てて欲しい。新たに市長になられた鈴木さんに期待しています。今、私自身もねの里に住んでいますが、比較的環境が良く、子供達、子育て世代が多い様に思います。この最寄り駅の物井駅周辺は、開発されていない土地も広くあり、伸びしろの大きい地域だと思います。物井駅を中心に何か計画を立ててみてはいかがでしょう。少子高齢化が進む中で、より多くの税金を納める世帯の獲得が市町村の生き残りのカギとなると思います。高齢者の多い市町村は、収入見込めず、支出が増えるのみ、何の明るい未来も見えません。教育委員会だけの問題ではなく、市全体としてとらえ改善して欲しい。このアンケートをただ意見を聞くだけにとどめないで欲しい、本気で四街道を良い街にして下さい。基本計画策定の為のアンケートとの事ですが、ありきたりな計画なら、計画しないで他の仕事をした方がましだと思いますよ。今後も市民の声を聞く機会を増やして下さい。本当に今後の四街道に期待していますよ。宜しくお願いします。